

SHOWA UNIVERSITY
COLLEGE OF NURSING

2021 年度

SYLLABUS

授 業 計 画

昭和大学医学部附属看護専門学校

目 次

シラバスの読み方

1 年

基礎分野

社会学	3
教育学	6
心理学	8
論理学	10
倫理学	12
人間関係論	15
生活科学	17
健康科学	19
医療情報と統計処理の基礎	22
国際関係論	25
家族関係論	27
コミュニケーション論	29
英語 I	31
英語 II	33
音楽	35
国語文章論	37

専門基礎分野

形態機能学 I	43
形態機能学 II	46
形態機能学 III	49
形態機能学 IV	52
薬理学	55
微生物学	58
医療概論	61
生化学	64
栄養学	67
公衆衛生学と関係法規	70
社会福祉	73
健康教育論	77
リハビリテーション論	79
病理学	83
臨床医学 I	86
臨床医学 II	89
臨床医学 III	92
臨床医学 IV	95
臨床医学 V	98

専門分野 I

看護学概論	103
看護理論	106
3 共通基本技術	108
日常生活援助《理論編》	111
日常生活援助《実践編》	115
臨床看護総論	120
フィジカル・アセスメント	124
基礎看護学実習 I	129

専門分野 II

成人看護対象・目的論	135
老年看護対象・目的論	139
老年看護援助論 I	143
小児看護対象論	145
母性看護対象・目的論	149

統合分野

地域・在宅看護概論 I	155
医療安全 I	158

2 年

専門基礎分野

緩和医療	163
臨床医学 VI	166
臨床医学 VII	170
臨床医学 VIII	174

専門分野 I

看護過程の展開	181
治療処置における援助《理論編》	185
治療処置における援助《実践編》	189
基礎看護学実習 II	193

専門分野 II

成人看護援助論 I	201
成人看護援助論 II	206
成人看護援助論 III	210
成人看護援助論 IV	214
成人看護学実習 I	216
老年看護援助論 II	220
老年看護援助論 III	224
老年看護学実習 I	228

小児看護目的論	231
小児看護援助論Ⅰ	234
小児看護援助論Ⅱ	239
母性看護援助論Ⅰ	243
母性看護援助論Ⅱ	248
精神看護対象論	252
精神看護目的論	255
精神看護援助論Ⅰ	257
精神看護援助論Ⅱ	262
統合分野	
地域・在宅看護概論Ⅱ	267
地域・在宅看護援助論Ⅰ	271
地域・在宅看護援助論Ⅱ	275
地域・在宅看護援助論Ⅲ	277
看護研究	280
医療安全Ⅱ	284
災害看護	287
看護の統合と実践Ⅰ	290
領域横断演習	293

3 年

専門分野Ⅱ

成人看護学実習Ⅱ	299
老年看護学実習Ⅱ	303
小児看護学実習	307
母性看護学実習	310
精神看護学実習	314

統合分野

在宅看護論実習	321
看護の統合と実践Ⅲ	324
看護の統合と実践Ⅳ	327
総合学習	330
統合実習	335

授業科目の索引	339
---------	-----

「授業計画（シラバス）」の読み方

この「授業計画（シラバス）」は第1学年～第3学年までの各授業科目について、その目標、授業方法、授業内容などを解説したものである。以下、各授業科目の解説の中で使用されている用語とその意味について説明する。

「一般目標(GIO)」における GIO は“General Instructional Objective”の略であり、その日本語表現が「一般目標」である。通常、「一般目標」というより GIO と英語で表現されることが多いので、ここでもあえて英語表現をつけている。これは、学修者がその授業の学修の結果期待される成果を総括的に示したものである。

「行動目標 (SBOs)」におけるは SBOs “Specific Behavioral Objectives”の略であり、その日本語表現が「行動目標」である。やはり GIO と同様、SBOs と英語で表現されることも多いので英語表現もつけてある。SBOs は、知識・技能・態度の3つの領域においてどのようなことができるようになることが望ましいかを具体的に記述したものである。ここに掲げられた SBOs がすべて達成できたとき、GIO が達成されたことになる。なお、SBOs の個々の目標を表すとき、日本語としては「～できるようになること」などと名詞形で表現する方が自然であるが、通常「～できる。」と文章の形で表されるので、ここでもそのようにしている。

GIO と SBOs とは成績評価をなるべく客観的に行なうために考え出された概念である。学生は SBOs を読むことにより、その授業における学習のポイントをつかむことができる。

各授業科目についての説明項目の内容は以下の通りである。

■授業形式

対面授業と遠隔授業があり、遠隔授業はオンデマンドとオンタイムがある。対面授業とは主に登校しての演習、遠隔授業のオンデマンドは教員がテキストや画像などのコンテンツを用いた授業を配信したもの、遠隔オンタイムは学生同士、教員とのディスカッション等をリアルタイムで行うものである。

■アクティブラーニング

授業内で行うディスカッション、グループワーク等のアクティブ・ラーニングについて記載されている。

■評価方法

当該授業科目の評価の方法と内訳、フィードバックがある場合はその方法、評価の概要が記載されている。

■ディプロマ・ポリシーとの関連

ディプロマ・ポリシーと当該授業科目の関連性が記載されている。

■オフィス・アワー

当該授業担当者の対応時間・場所・連絡先が記載されている。授業に関する質問等はここにすること。詳しくは「学生生活（オフィス・アワー）」参照。

■教 材

当該授業科目で使用するテキスト、推奨参考図書、プリント等が記載されている。

■準備学習

当該授業科目の習熟度を高める為の予習・復習の内容が記載されている。

■全学年を通しての関連科目

当該授業科目に関連した科目が記載されている。

■予定表

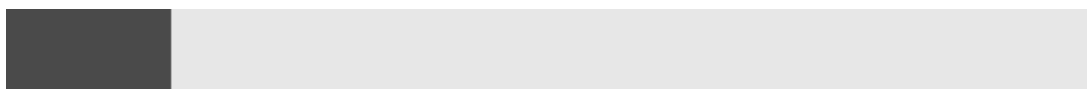
各回での授業予定が書かれている。

これら記載された内容を参考にする事で、授業の全体像をつかむことができ、また各授業の準備を行うことができる。

学生はこのシラバスを上手に活用して、各科目の学習に役立ててもらいたい。

1 年

基礎分野



社会学

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 須長 史長
 授業形式等 : 講義 (遠隔・対面) 演習 (対面)
 担当教員 : 須長 史長 富士吉田教育部 准教授

●一般目標 (GIO)

多様な人々が住まう社会を的確に把握し理解するために、自らの価値観にとらわれない柔軟な考え方や姿勢を身につけ、社会学的な思考ができる。

●行動目標 (SBOS)

1. 社会学的な思考の特徴をキーワードを用いて指摘できる。
2. ラベリングや逸脱現象の具体例を指摘できる。
3. ラベリングに基づくアイデンティティ形成のメカニズムを説明できる。
4. 「優しい関係」という語を用いて、「友だち地獄」という社会現象を説明できる。
5. 社会学的な視点から現代社会における若者コミュニケーションを説明できる。
6. 授業で学んだ内容について、具体例を挙げながら適切にまとめることができる。

●アクティブ・ラーニング

1. 毎時間、自分の生活を振り返り、授業内容に該当する社会現象を見つけ出し、報告することが求められる。
2. 第4, 7回目の授業で、授業中に問題解決を求める課題が出題される。

●評価方法

学期末レポート (45%)

: 授業に関するものが出題されるが、詳細は授業時間内に示される。

: 2,000 字程度

受講レポート (55%)

: 毎回、授業時間中に提出される。

: 授業の内容を整理するもの、授業に関連する事柄を身の回りの出来事から解答することを中心とする

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
須長 史生	原則としてメールでの対応とする。必要に応じてリモート対応も可	sunaga@cas.showa-u.ac.jp

●授業概要

社会学の基本的な考え方や諸理論の習得を通じて、社会現象に対する自分自身の視座の獲得、洗練化を目指す。特に寮生活や身近な友人関係などが分析の対象とし、社会的な方法論の基礎を身につける。またそれを用いて社会現象を理解する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「社会的貢献」および「自己研鑽」と関連性を持つ科目である。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	キャラ化する／される子どもたち	土井隆義	岩波ブレット	2009 年
参考図書	考える社会	小林淳一・木村邦博 編	ミネルヴァ書房	1991 年

●準備学習（予習・復習）

毎時間の受講レポートを通じて学習内容の整理や応用が求められる。また第4回目以降は必ず教科書の該当箇所を読んでから授業を受けることが求められる。

●全学年を通しての関連科目

1 年 人間関係論、生活科学、家族関係論、心理学、健康科学
2 年の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0 s	担当
1	2021. 6. 08	火	2	社会学入門	【遠隔：オンデマンド】 1. 社会学とは何か 2. 不思議と当たり前 3. 相対主義的価値観 4. 社会学の意義	1, 2, 6	須長
2	2021. 6. 15	火	2	逸脱現象の社会学 1	【遠隔：オンデマンド】 1. 逸脱とは何か 2. 原因論と社会的アプローチ 3. 第一次的逸脱と二次的逸脱	1, 2, 3, 6	須長
3	2021. 6. 22	火	2	逸脱現象の社会学 2	【遠隔：オンデマンド】 1. 道徳事業家 2. ラベリング理論 3. ラベリングに基づくアイデンティティ形	1, 2, 3, 6	須長
4	2021. 6. 29	火	2	逸脱現象の社会学 3	【遠隔：オンデマンド】 1. ラベリングに基づくアイデンティティ形成と二次的逸脱との関係 2. ラベリングする自己との向き合い方	1, 2, 3, 6	須長

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0 s	担当
5	2021. 7. 06	火	1	現代若者論 1	【対面】 1. コミュニケーション偏重の時代における自我 2. 「優しい関係」の定義 3. 「優しい関係」が求められる社会背景 4. 他者の「圏外化」	4, 5, 6	須長
6	2021. 7. 13	火	1	現代若者論 2	【対面】 1. 「友だち地獄」の定義と発生メカニズム 2. フラット化する親子関係, 教師生徒関係 3. アイデンティティとキャラ	4, 5, 6	須長
7	2021. 7. 20	火	1	現代若者論 3	【対面】 1. キャラ社会のセキュリティ感覚 2. キャラ化した自己が傷ついた時 3. 「友だち地獄」の克服の方法 4. まとめ	4, 5, 6	須長

教育学

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 金 龍哲
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 金 龍哲 保健医療学部 看護学科 客員教授

●一般目標 (GIO)

人を理解し、社会を理解し、社会に生きる人間を理解するために、人間が成長発達、世代交代していくために不可欠な教育の本質を理解し、自他の成長を促す教育の役割と効果を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 教育とは何かが、説明できる。
2. 教育の場と種類について説明できる。
3. 人を教えるということについて説明できる。
4. 教育を受けて成長することについて説明できる。
5. 教育の目標と評価について説明できる。

●評価方法

評価方法：定期試験（筆記試験）（80％） 課題（20％）

評価（教学上の判定）の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
金 龍哲	授業終了後クラスルーム内で、受ける	

●授業概要

看護師を目指すものとして、人を理解し、社会を理解し、社会に生きる人間を理解するために、人間が成長発達、世代交代していくために不可欠な教育について学ぶ。教育とは何かを日本の教育制度を基盤として、社会におけるいろいろな教育について学ぶ。さらに、対象の健康に責任を持つ看護師として、人の健康を維持改善させるための理論（健康教育論）への理解の基盤となる内容とする。

●アドミッション・ポリシーの関連

「プロフェッショナルリズム」「コミュニケーション」「専門的実践能力」に関連した科目である

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	現代社会の人間形成	金龍哲編著	三恵社	2017

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 社会学・看護学概論・人間関係論
2 年 健康教育論他・2 年の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 5. 07	金	4	教育とは何か	【遠隔：オンデマンド】 1. 教育学の定義 2. 教育の歴史 3. 教育についての法律	1	金
2	2021. 5. 14	金	4	子ども観と発達	【遠隔：オンデマンド】 1. 子ども観の形成 2. 発達 3. 教育の在り方、役割		
3	2021. 5. 21	金	4	教育の場と種類①	【遠隔：オンデマンド】 1. 西洋の教育 2. 教育の種類	2	
4	2021. 5. 28	金	4	教育の場と種類②	【遠隔：オンデマンド】 1. 日本の教育 2. 現代教育の諸問題		
5	2021. 6. 04	金	4	人を教えるということ	【遠隔：オンデマンド】 1. 学校教育 2. 学校制度改革の動向 3. キャリア教育 4. 生涯教育	3	
6	2021. 6. 11	金	4	教育と成長	【遠隔：オンデマンド】 1. 発達を支える・促す 2. 教育による発達の理論 ピアジェ、エリクソン 3. 教育による発達	4	
7	2021. 6. 18	金	4	教育の目標と評価	【遠隔：オンデマンド】 1. 評価と目標の関係 2. 現在の目標・評価論 3. パフォーマンス課題とループ リック	5	

心 理 学

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 對馬 早希子
 授業形式等 : 講義(遠隔)
 担当教員 : 對馬早希子 昭和大学東病院 臨床心理士／公認心理師

●一般目標 (GIO)

看護の対象である人間の心理を推測しよりよい援助を実践するために、人間の心の働きや人間の行動原理を多面的に理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 知覚の働きや、知覚の成立・種類について説明できる。
2. 記憶の分類、記憶の過程を述べ、忘却に影響する条件を説明できる。
3. 学習の基本的原理と、学習に影響する条件を説明できる。
4. 人間の成長は、発達段階があり、各段階に必要な発達課題があることを説明できる。
5. 思考の働きや、思考力の発達について説明できる。
6. パーソナリティの概念について説明できる。
7. 適応過程における心の働きを述べることができる。

●評価方法

評価方法：定期試験（筆記試験）（80％） 課題（20％）

評価（教学上の判定）の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
- ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
- ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受付けできない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
對馬 早希子	授業終了後、クラスルームで質問を受け付ける。電話でも質問を受け付ける。	(PHS) 3987

●授業概要

看護師は、対人援助職である。対人援助職は、援助する相手の自主性や自己決定を尊重し、相手の感情状態を的確に把握し、相手の成長を促すような心理的対応が求められる。これらにこたえるために人間の心や行動のメカニズムの基礎を学ぶ。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「プロフェッショナリズム」「専門的実践能力」に関連した科目である。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	新体系看護学全書 基礎科目 心理学	早坂泰次郎 他著	メヂカルフレンド社	2017

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の各領域の科目全般
2 年の各領域の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4.08	木	4	心理学 感覚・知覚	【遠隔：オンデマンド】 1. 心理学とは 2. 感覚・知覚とは 3. 知覚の成立・種類 4. 心理的環境	1	對馬
2	2021. 4.15	木	4	記憶と忘却	【遠隔：オンデマンド】 1. 記憶の働きと発達 2. 忘却の過程と条件 3. 記憶の変化と工夫	2	
3	2021. 4.22	木	4	学習の原理や影響	【遠隔：オンデマンド】 1. 心理学における学習とは 2. 学習に関連する諸理論 3. 学習に影響する諸条件	3	
4	2021. 5.06	木	4	発達と思考	【遠隔：オンデマンド】 1. 発達段階、ライフサイクル の理解 2. 思考の作用と思考力の発達	4 5	
5	2021. 5.13	木	4	パーソナリティの概念①	【遠隔：オンデマンド】 1. 知能・人格・性格とは何か 2. 知能検査 3. 人格の理解	6	
6	2021. 5.20	木	4	パーソナリティの概念②	【遠隔：オンデマンド】 1. 自己とパーソナリティ 2. 性格検査		
7	2021. 5.27	木	4	適応過程における心の働き	【遠隔：オンデマンド】 1. 適応とは何か 2. 感情、情緒とは何か 3. 適応の機制	7	

論 理 学

対象学年 : 1 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 飯島 裕子
 授業形式等 : 講義 (遠隔・対面)
 担当教員 : 飯島 裕子 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●一般目標 (GIO)

ものごとを筋道立てて段階的に判断し、自己の考えを系統立てて表現できるようになるために、論理的思考とその思考を表現できる力を身につける。

●行動目標 (SBOs)

1. 論理的思考とは何かを説明できる。
2. 論説文の読み方、書き方、議論の方法について説明できる。
3. 論理的思考の有効性について、説明できる。

●評価方法

評価方法：定期試験（筆記試験）(80%) 課題 (20%)

評価（教学上の判定）の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- ＊成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 ＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 ＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
飯島 裕子	授業終了後、クラスルーム内で質問を受け付ける。	

●授業概要

看護を考える上で、事象（対象から得られた情報＝事実）から推論し、対象の状態を判断するという科学的思考力や論理的思考とその思考を表現できる力の必要性を理解できるようにする。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「プロフェッショナリズム」「専門的実践能力」に関連した科目である。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図書名	著者名	出版社名	改定年
プリント	授業内で提示する			

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0s を確認し、予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の科目全般・2 年の科目全般・3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 9. 03	金	1	論理的思考の基礎①	【遠隔：オンデマンド】 1. 論理とは 2. 論理的思考とは	1	飯島
2	2021. 9. 10	金	1	論理的思考の基礎②	【遠隔：オンデマンド】 3. 看護と論理 4. 認識論		
3	2021. 9. 17	金	1	論理的思考の基礎③	【遠隔：オンデマンド】 5. イドラ論 6. 推論①	2	
4	2021. 10. 01	金	1	論理的思考の基礎④	【遠隔：オンデマンド】 7. 推論② 8. 帰納法、演繹法		
5	2021. 10. 15	金	1	論理的思考の実践①	【遠隔：オンデマンド】 9. 論理的に読む書く①	3	
6	2021. 10. 29	金	1	論理的思考の実践②	【遠隔：オンデマンド】 10. 論理的に読む書く②		
7	2021. 12. 02	木	1	【対面】まとめ		1 2 3	

倫 理 学

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 小林 如乃
 授業形式等 : 講義(遠隔・対面)
 担当教員 : 小林 如乃 医学部 衛生学公衆衛生学講座 講師
 福地本 晴美 昭和大学江東豊洲病院 昭和大学保健医療学部看護学科 講師

●一般目標 (GIO)

医療者として、自己の価値観の形成や他者の価値観を尊重する姿勢を身につけるために、医療倫理(生命倫理含む)について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

1. 倫理とは何かを説明する。
2. 日常生活の中で起こる倫理的課題について述べる。
3. 医療従事者と生命倫理について説明する。
4. 患者の権利とインフォームドコンセントの必要性について、説明する。
5. 死を共有する医療の現状と倫理的課題について説明する。

●評価方法

評価方法：定期試験(筆記試験)(80%) 課題(20%)

評価(教学上の判定)の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要(平均点、不合格者の人数など)について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの

※成績の再考を求めたりするものは受付けできない。
 ※「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 ※科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小林 如乃	授業終了後、講義室または演習で質問を受け付ける。電子メールでも質問を受け付ける。	yukinology@med.showa-u.ac.jp
福地本 晴美		fukutimoto@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

倫理学とは、何がよいことで、何が悪いことなのかという判断が、どのような基準や根拠に基づいているのかを明らかにしようとするものである。日常生活のなかで浮かび上がってくるような問いを考え、先人の思索や知恵に学び、現代社会における倫理的問題について考える。また、看護を実践していくものとして向き合う必要が生じる、生命倫理(医療倫理)や患者の権利、インフォームドコンセントについて、倫理学的視点から具体的なエピソードを通して臨床現場における倫理判断の基本について理解を深めるために臨床経験豊富な教員が教授にあたる。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「プロフェSSIONALISM」「コミュニケーション能力」「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
参考図書	よくわかる看護者の倫理綱領	東京医科大学看護専門学校 編 著	照林社	2017
プリント	担当教員より講義資料配布			

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の科目全般
2 年の科目全般
3 年の科目全般

●予定表 *5～7回は、AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う。

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 6. 01	火	1	倫理とは	【遠隔：オンデマンド】 1. 倫理とは何かを説明できる 1) 倫理とは何か 2) 倫理と道德、法の違い 3) 倫理、道德、法の関係	1	小林
2	2021. 6. 03	木	1	倫理的課題	【遠隔：オンデマンド】 1. 日常生活の中で起こる倫理的課題について考える 1) 基本的人権 2) 人間についての理解 3) 自己の価値観の形成 4) 他者の価値観の尊重	2	小林
3	2021. 6. 08	火	1	倫理的判断①	【遠隔：オンデマンド】 1. 医療従事者と生命倫理について考える 1) 生命倫理とは 2) 医療従事者の倫理的判断能力とは	3	小林
4	2021. 6. 15	火	1	倫理的判断	【遠隔：オンデマンド】 3) 倫理的判断の実際 自律尊重、善行、公正、正義、誠実・忠誠、無危害 4) 医療専門職の倫理規定		

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOS	担当
5	2021. 7.08	木	3	インフォームド コンセント①	【対面】 1. 患者の権利とインフォームド・ コンセントの必要性について考える 1) 患者と医師の関係 2) インフォームドコンセントとは	4	福地 本
			1				
6	2021. 7.08	木	4	インフォームド コンセント②	【対面】 3) 患者の権利とインフォームド コンセントを取り巻く日本の現状と課 題		
			2				
7	2021. 7.15	木	2	死と倫理	【対面】 1. 死を共有する医療の現状と倫理的課 題について説明できる 1) 尊厳死とは	5	小林
			1				

人間関係論

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 高橋 浩子
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 高橋 浩子 (昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師)

●一般目標 (GIO)

基本的な人間関係を築く能力を養うために、人間関係のあり方やその特徴を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 人間関係の基本的意義を述べることができる。
2. 人間関係における社会的相互作用を述べることができる。
3. グループダイナミックスとは何かを述べることができる。
4. 保健医療チームにおける人間関係の意義について説明できる。

●評価方法

評価方法：定期試験（筆記試験）(80%) 課題 (20%)

評価（教学上の判定）の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- ＊成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 ＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 ＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
高橋 浩子	授業終了後、クラスルームで質問を受ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

看護の対象である人との関係を築くための基本的な人間関係のあり方について、相互作用やカウンセリングの観点から学修する。さらにグループダイナミックスを効果的に活用するための基本理論と保健医療チームの特質とチームワークの意義について学修する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「コミュニケーション能力」「チーム医療」「社会的貢献」に関連した科目である

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	健康支援と社会保障① 健康と社会・生活	平野かよ子、渡戸一郎編	メディカ出版	2016

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語、概念をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の各領域の科目全般
2 年の各領域の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4. 09	金	1	人間関係の基本的意義と 社会の成り立ち	【遠隔：オンデマンド】 1) 自分を見つめることの重要性 2) 個人-集団-社会の関係	1	高橋
2	2021. 4. 16	金	1	個人の生活と理解	【遠隔：オンデマンド】 1) 日常生活 2) ライフスタイル 3) 集団としての家族	1 2	
3	2021. 4. 23	金	1	集団理論	【遠隔：オンデマンド】 1) グループダイナミクス 2) 個人と集団の違い・集団の特徴	2	
4	2021. 4. 30	金	1	個人及び集団における対 立と協働	【遠隔：オンデマンド】 1) 人間関係にける相互作用 2) 対立と葛藤・解決方法 3) 自己理解、他者理解の技術 カウンセリング技法	2 3	
5	2021. 5. 07	金	1	集団と組織・保健医療 チームの人間関係の意義	【遠隔：オンデマンド】 集団と組織・保健医療チームの 特質と意義	4	
6	2021. 5. 14	金	1	知識社会とグローバル ゼーション	【遠隔：オンデマンド】 地域社会と個人の相互作用と活 動	2	
7	2021. 5. 21	金	1	科学からとらえた健康行 動・集団の中での行動	【遠隔：オンデマンド】 1) ホーソン研究 2) PM 理論	3	

生活科学

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 金子 礼子
 授業形式等 : 講義 (遠隔) 演習 (遠隔)
 担当教員 : 金子 礼子 : 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師
 柴田 雅子 (実務教員)

●一般目標

看護者としてその人らしい生活を支援するために、日常生活の事象を科学的に捉えながら人と生活との関係を理解する。

●行動目標

1. 人間が生活することの意義を述べることができる。
2. 人間の生活環境が説明できる。
3. 人間の生活動作の原理とメカニズムがわかる。

●評価方法

評価方法：実践に基づいたレポート（80%）アクティブ・ラーニングでの課題（20%）

評価（教学上の判定）の概要について

① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。

② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。

③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- ＊成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 ＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 ＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●アクティブ・ラーニング

自身にとっての健康で文化的な最低限度の生活とは何かを考え、実際の生活の計画をたててみる。それをグループワークで共有し、個性性、多様性、普遍性等について考える

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
金子 礼子	授業終了後、クラスルームで質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

生活科学とは、生活者・消費者の視点から人間生活の向上をめざして、人間が人間らしく生きるために必要な条件を科学的に追及し、実践する学問である。看護者として人々が健康に資するよう生活過程を整えられるように人間が生活することの意義や人間の生活環境を学ぶ。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

自らの生活を認識することから始まり、生活環境の社会的背景を踏まえて、個人、家族、地域について幅広く対象の生活を理解し、コミュニケーションに勤め、プロフェッショナルとして介護計画に役立てることが出来る。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
プリント	授業時に公開する			

●準備学習（予習・復習）

各講義のSB0sを確認し、資料等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 学年：社会学、人間関係論、家族関係論
2 年の領域の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 4. 08	木	1	人間が生活することの 意義と生活環境①	【遠隔：オンデマンド】 1. 生活概念の理解 1) 生活とは何か (日常生活とは何かも含む)	1	金子
2	2021. 4. 15	木	1	人間が生活することの 意義と生活環境②	【遠隔：オンデマンド】 2. 生活の変遷	1	
3	2021. 4. 22	木	1	人間が生活することの 意義と生活環境③	【遠隔：オンデマンド】 3. 現代の生活環境 1) 社会、自然環境等	1 2	
4	2021. 5. 06	木	1	人間が生活することの 意義と生活環境④	【遠隔：オンデマンド】 2) 衣、食、住生活 その1	1 2	
5	2021. 5. 13	木	1	人間が生活することの 意義と生活環境⑤	【遠隔：オンデマンド】 3) 衣、食、住生活 その2	1 2	
6	2021. 5. 20	木	1	人間が生活することの 意義と生活環境⑥	【遠隔：オンデマンド】 4. 家庭経済	1 2	
7	2021. 5. 27	木	1	人間が生活することの 意義と生活環境⑦	【遠隔：オンタイム】 5. 演習	3	柴田

健康科学

対象学年	: 1 学年 後期
単位・時間数	: 1 単位 15 時間
責任者名	: 弓桁 亮介
授業形式等	: 講義 (遠隔)・演習 (対面)
担当教員	: 堀川 浩之: 昭和大学富士吉田教育部 教授 弓桁 亮介: 昭和大学富士吉田教育部 准教授 松崎 鈴 : 昭和大学富士吉田教育部 講師

●一般目標 (GIO)

健康と運動の関わりを知り、健康の保持・増進ができるようになるために、自分の体力及び体型を客観的に認識し、健康と体力を向上させるための様々なトレーニングを効果的かつ安全に実施する方法を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 運動が身体と精神に与える影響を概説できる。
2. トレーニングの3原理5原則を概説できる。
3. スポーツ傷害について説明できる。
4. 体力テストの測定項目と体力要素を列举できる。
5. 体脂肪率やBMIを用いて自分の体型を評価できる。
6. エアロビクトレーニングの目的と方法を概説できる。
7. カルボーネン法を用いて運動強度を算出できる。
8. ボルグのスケール (主観的運動強度) を説明できる。
9. レジスタンストレーニングの目的や方法を概説できる。
10. 自重やチューブを用いたレジスタンストレーニングを正しく実施できる。
11. コンディショニングの目的や方法を概説できる。
12. G ボール (バランスボール) 及びストレッチングを正しく実施できる

●評価方法

評価方法: 定期試験 (70%)、授業態度 (30%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- ※成績の再考を求めたりするものは受付けできない。
- ※「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
- ※科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
堀川 浩之	授業終了後、講義室及び体育館で質問を受け付ける。また、メールでの質問も受け付ける。	horikawa@cas.showa-u.ac.jp
弓桁 亮介	授業終了後、講義室及び体育館で質問を受け付ける。また、メールでの質問も受け付ける。	yumigeta@cas.showa-u.ac.jp
松崎 鈴	授業終了後、講義室及び体育館で質問を受け付ける。また、メールでの質問も受け付ける。	@cas.showa-u.ac.jp

●授業概要

健康と運動の関わりを学び、健康的な身体を保持する上で運動が重要であることを理解する。自分の体力や体型を客観的に認識するとともに、学習した知識と関連付けることで生活習慣を見直す。また、健康や体力を高めるための様々な運動やトレーニング（エアロビクトレーニング、レジスタンストレーニング、コンディショニング）を実践することで、日常生活に取り入れる態度を養う。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

健康と運動の関連性を理解し、体力や体型を客観的に認識するための知識を習得することで、「専門的実践能力」に繋げる。また、健康や体力を高めるための運動やトレーニングを実践し、日常生活に取り入れることで健康な身体を保持することで「自己研鑽」をする。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
参考図書	これからの健康とスポーツの科学	安部 孝・琉子友男	講談社	2000
プリント	授業で配布する			

●準備学習（予習・復習）

【予習】

授業の前には各回の SB0 を確認し、学習項目の概要を予習する。わからない用語をレポートにまとめておく。

【復習】

学習内容や配布したプリントをもとに、各分野の運動（エアロビクトレーニング、レジスタンストレーニング、コンディショニング）における知識と技能を高める。また、学習内容と生活習慣を結びつけ日常生活のなかに取り入れることでより理解が深まる。授業で理解できなかったことは、オフィス・アワーを活用し、担当教員に直接質問する。

●全学年を通しての関連科目

1 年の領域の科目全般
2 年の領域の科目全般
3 年の領域の科目全般

●予定表

*学習項目により、ABCD の 1 クラス制、A・B と C・D の 2 クラス制、A・B・C・D の 4 クラス制に分かれて実施する。

回	年月日	曜日	クラス	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 9. 01	水	ABCD	4	健康と運動	【遠隔: オンデマンド】 1. 運動が身体と精神に与える影響 2. スポーツ傷害	1 2 3	弓桁
2	2021. 9. 02	木	A・B	3	体力測定	【対面】 1. 体力の分類 2. 体力要素と測定法 3. 新体力テストの実施	4	堀川 弓桁 松崎
			C・D	4				

回	年月日	曜日	クラス	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
3	2021. 9. 09	木	A・B	3	形態測定	【対面】 1. 形態（身長、体重、体脂肪）計測の実施 2. 体脂肪率及び BMI を用いた体型の分類	5	堀川 弓桁 松崎
			C・D	4				
4	2021. 9. 16	木	A	1	エアロビック トレーニング	【対面】 1. エアロビクトレーニング の特性、効果、実施方法 2. エアロビクトレーニング 中の心拍数の測定を実施 3. 運動強度と心拍数の関係 4. ボルグのスケール	6 7 8	堀川
			B	2				
			C	3				
			D	4				
5	2021. 9. 30	木	A	1	レジスタンス トレーニング	【対面】 1. レジスタンストレーニング の特性、効果、実施方法 2. 自重及びチューブを用いた レジスタンストレーニングの 実践	9 10	松崎
			B	2				
			C	3				
			D	4				
6	2021. 10. 7	木	A	1	コンディショニ ング	【対面】 1. G ボールエクササイズの特 性、効果、実施方法 2. G ボールを用いたエクササ イズの実践	11 12	弓桁
			B	2				
			C	3				
			D	4				
7	2021. 10. 14	木	A	1	コンディショニ ング	【対面】 1. ストレッチングの特性、効 果、実施方法 2. スタティックストレッチ ングを用いたパートナーstre ッチングを実践	11 12	弓桁
			B	2				
			C	3				
			D	4				

医療情報と統計処理の基礎

対象学年	: 1 学年 前期
単位・時間数	: 1 単位 30 時間
責任者名	: 小風 暁
授業形式等	: 講義 (遠隔・対面)
担当教員	: 吉本 隆彦: 医学部 衛生学公衆衛生学講座 講師 大久保茂子: 医学部 衛生学公衆衛生学講座 助教

●一般目標 (GIO)

情報化に対応し得る能力を養い、情報の取り扱いを適切に行うセンスとスキルを身につけるために、情報倫理、情報リテラシー、ネットワーク、病院情報システムなどについて理解する。また、正確な状況判断および、実践で得られた知見を活用して看護の質を向上させるために、統計処理の基礎を学び、データの解析法と解釈の仕方を修得する。

●行動目標 (SBGs)

1. 情報の概念について説明できる。
2. コンピューター、インターネットに関する基本的な機能・構成について説明できる。
3. 医療における情報の活用について述べるができる。
4. 看護における情報の取り扱いについて説明できる。
5. 統計学と医療、看護の関わりについて説明できる。
6. データの種類とまとめ方を説明し、実践できる。
7. 確率と分布の概念を学び、データを正しく解釈できる。
8. データに合わせた統計解析手法を選択できる。
9. 母集団・標本の概念および推定について説明できる。

●評価方法

評価方法: 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題提出 20%

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- ※成績の再考を求めたりするものは受付けできない。
- ※「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
- ※科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
吉本 隆彦	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	yoshimotot@med.showa-u.ac.jp
大久保茂子	電子メールでも質問を受け付ける。	arita@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

情報化に対応し得る能力を養い、情報の取り扱いを適切に行うセンスとスキルを身につけるために、情報倫理、情報リテラシー、ネットワーク、病院情報システムなどについて基本的な知識を学ぶ。

また、コンピューターで情報がどのように処理されているのか基本原理を学び、知的財産権、プライバシーなど情報をめぐる倫理的問題や法について学ぶとともに、情報をどのように扱うべきかを理解する。さらに、インターネットによって瞬時に情報が世界をめぐり社会である中で、情報通信技術がどのように活用されるべきか情報システムの基本的知識について学ぶ。

情報化により、様々なデータを収集・閲覧することが容易となった現代において、データの正しい解釈は必要不可欠な能力となっている。そこで、看護分野での統計学とその関わりについて理解するとともに、記述統計や推測統計の概念について基本的な知識を学ぶ。また、データの種類やまとめ方を学び、データに基づいた統計学的手法を選択できるようになることを目指す。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中の「プロフェッショナリズム」「自己研鑽能力」を身につけることを中心に学ぶ。情報リテラシーを高め、医療情報を扱うための基本的な知識（情報システム・倫理・法律を含む）の習得およびデータの解析法と解釈などの統計学的手法の理解を通して看護職に必要な知識の習得を目指す。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	看護医療系のための情報科学入門 新訂版 第2版	椎橋実智男 他著	サイオ出版	2020

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年～3 年の科目全般

●予定表 *14 回目は、AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021.4.08	木	3	情報の概念①	【遠隔：オンデマンド】 1. 情報とは何か 2. 情報リテラシー	1	吉本
2	2021.4.15	木	3	情報の概念②	【遠隔：オンデマンド】 3. 情報の特性 4. 情報処理 5. 情報の保護	1	吉本
3	2021.4.22	木	3	コンピューター、インターネットの機能と構成①	【遠隔：オンデマンド】 1. コンピューターの機能・構成要素 2. 情報の量 3. 論理演算	2	吉本
4	2021.5.6	木	3	コンピューター、インターネットの機能と構成②	【遠隔：オンデマンド】 4. インターネット、セキュリティ 5. 情報モラル	2	吉本

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
5	2021. 5. 13	木	3	医療における情報の活用①	【遠隔:オンデマンド】 1. 医療の情報化が果たす役割 2. 病院情報システム	3	吉本
6	2021. 5. 17	月	4	医療における情報の活用②	【遠隔:オンデマンド】 3. 情報化による医療の変化 4. ヘルスリテラシー	3	吉本
7	2021. 5. 20	木	3	看護における情報の取り扱い	【遠隔:オンデマンド】 1. 看護記録と情報管理 2. 診療記録の原則 3. 看護における情報の活用	4	吉本
8	2021. 5. 24	月	4	統計学と医療、看護の関わり	【遠隔:オンデマンド】 1. 記述統計と推計統計 2. 統計学と医療、看護の関わり 3. 調査・研究と統計学	5	大久保
9	2021. 5. 27	木	3	データの種類とまとめ方	【遠隔:オンデマンド】 1. データの種類 2. データのまとめ方 3. グラフ化	5, 6	大久保
10	2021. 6. 03	木	3	確率と分布の概念	【遠隔:オンデマンド】 1. 確率といろいろな確率分布 2. 正規分布の意味と使い方 3. カイ二乗分布の意味と使い方	7	大久保
11	2021. 6. 10	木	4	データに合わせた統計解析手法①	【遠隔:オンデマンド】 1. 適切な統計手法の選択法 1 1) t 検定 2) カイ二乗検定	8	大久保
12	2021. 6. 17	木	4	データに合わせた統計解析手法②	【遠隔:オンデマンド】 2. 適切な統計手法の選択法 2 1) 散布図 2) 相関	8	大久保
13	2021. 6. 24	木	4	母集団と標本の概念①	【遠隔:オンデマンド】 1. 母集団と標本 1) 標本抽出法 2) 2 つの誤差	9	大久保
14	2021. 7. 08	木	1	母集団と標本の概念②	【遠隔:オンデマンド】 2. 推定の意義 1) 点推定 2) 区間推定 3) 総括	9	大久保
			4				
15	2021. 9. 01	水	1	まとめ【対面】		1～9	大久保

国際関係論

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 工藤 芳子
 授業形式等 : 講義 (遠隔)・演習 (遠隔)
 担当教員 : 工藤芳子 昭和大学国際交流センター 准教授

●一般目標 (GIO)

国際社会の動向や我が国と他国との関係を学び、国際的な医療保健/福祉における問題を認識し、国際社会における看護師の役割や課題について修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 国際社会の動向を述べることができる。
2. 世界の国々を社会経済/医療保健の指標をもとに分析し説明することができる。
3. 国際社会におけるわが国の現状と課題を述べることができる。
4. 国際連合の組織と役割、世界保健機構について述べるができる。
5. 日本の国際協力における政府開発援助と国際協力機構(JICA)について述べるができる。
6. 国際社会における看護師の役割や課題について述べるができる。

●アクティブ・ラーニング

グループワークを用いて自ら世界の国々の社会経済/医療保健の指標データをもとに分析し発表する機会を設け、能動的な事象の理解を促す。

●評価方法

評価方法：定期試験(筆記試験)60%、発表(内容と発表の相互評価)40%

評価(教学上の判定)の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要(平均点、不合格者の人数など)について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- ※成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
- ※「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
- ※科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
稲垣 昌博	クラスルーム内で質問を受けつける	
工藤 芳子	時間：事前連絡の上、随時対応 場所：昭和大学国際交流センター	初回、講義の時に伝える

●授業概要

社会経済のグローバル化や、紛争、自然災害、感染症などが国境を越えて世界に影響を及ぼす状況において、看護師の役割は日本国内だけでなく多様な状況下にある国や地域の人々を対象とし拡大している。本講義では国際社会の動向や我が国と他国との関係を学び、国際的な医療保健/福祉における問題を認識し、国際社会における看護師の役割や課題について理解する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目では国際社会の構造から「社会的貢献」の必要性を理解し、「専門的実践能力」および「自己研鑽」の必要性を認識し、学習を通じたディプロマ・ポリシーの達成を目指す。

●教材（テキスト、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
プリント	授業時に掲示する			

●準備学習（予習・復習）

日常生活の中で新聞やニュースなどから国際社会の動向や医療保健の問題を拾い出し考察し、疑問や意見を整理して講義に臨むこと。講義終了後は事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の各領域の科目全般
2 年の各領域の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 5. 21	金	3	国際関係	【遠隔：オンデマンド】 1. 国際関係とは何か 1) 領土 2) 領海 3) 領空 4) 国内法と国際法 2. わが国の周辺諸国との諸問題	1	稲垣 ・ 工藤
2	2021. 5. 28	金	3	世界の国々の特徴と理解 1: 概要	【遠隔：オンタイム】 地理、経済、文化、保健の指標の理解	2, 3	工藤
3	2021. 6. 04	金	3	世界の国々の特徴と理解 2: 各論(グループワーク)	【遠隔：オンタイム】 データを用いた国の分析と発表	2, 3	工藤
4	2021. 6. 11	金	3	国際医療協力の実際 1：日本の政府開発援助	【遠隔：オンタイム】 1. 政府開発援助の歴史と現状 2. JICA(国際協力機構)、JDR(日本政府国際緊急救助隊)の活動	5	工藤
5	2021. 6. 18	金	3	国際医療協力の実際 2：国際連合	【遠隔：オンタイム】 国際連合とその専門機関の動向 1) UNICEF(国際連合児童基金) 2) WHO(世界保健機関) 3) UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) 4) WFP(国連世界食糧計画) 5) FAO (国連食糧農業機関) 8) UNDP (国連開発計画) 9) ILO (国際労働機関)	4	工藤
6	2021. 7. 02	金	3	国際医療協力の実際 3：NGO の活動と特徴	【遠隔：オンタイム】 NGO の活動	5	工藤
7	2021. 7. 9	金	3	わが国の現状と国際保健課題、看護師に期待される役割 (GW)	【遠隔：オンタイム】 演習：看護師の役割のまとめ	6	工藤

家族関係論

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 相川 頌子
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 相川 頌子 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●一般目標 (GIO)

看護者として、家族全体を対象とし適切な援助を提供するために、家族間の人間関係の心理や行動について学び、家族と健康問題の関連について修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 家族とは何かが説明できる。
2. 夫婦関係論が説明できる。
3. 親子関係論が説明できる。
4. 家族と社会が説明できる。
5. 家族関係における理論が述べられる。

●評価方法

1. 評価方法：定期試験（筆記試験）（70%）、演習課題（30%）
 2. フィードバック：演習課題は評価後に返却します。
 3. 評価（教学上の判定）の概要について
 - ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- ＊成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 ＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 ＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
相川 頌子	クラスルームで、質問を随時受ける	aikawa.shoko@ocha.ac.jp

●授業概要

看護の対象は、患者とその家族である。そのため、患者と家族を一単位として捉え、家族を援助の対象とする視点は必要不可欠である。家族全体を対象とし適切な援助を提供するために、我が国の家族の変遷、家族関係、家族を理解するための基礎理論や家族の健康問題について学ぶ。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「プロフェッショナルズム」「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	改定年
プリント	担当教員より、提示する			

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0s を確認してから講義にのぞむこと。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことはクラスルームで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の各領域の科目全般
2 年の各領域の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 4. 09	金	2	家族とは何か①	【遠隔：オンデマンド】 家族をめぐる基本概念、近代家族 と性別役割分業	1	相川
2	2021. 4. 16	金	2	家族とは何か②	【遠隔：オンデマンド】 家族の変貌、ジェンダーの視点		
3	2021. 4. 23	金	2	夫婦関係論	【遠隔：オンデマンド】 配偶者選択と結婚、夫と妻の役割、離婚	2	
4	2021. 4. 30	金	2	親子関係論	【遠隔：オンデマンド】 ペアレンティング、祖父母の役割、3 歳児神話と育児不安	3	
5	2021. 5. 07	金	2	家族と社会①	【遠隔：オンデマンド】 患者家族と在宅ケア、家族の介護機能・ストレスマネジメント	4	
6	2021. 5. 14	金	2	家族と社会②	【遠隔：オンデマンド】 高齢社会と少子化		
7	2021. 5. 21	金	2	家族関係における理論	【遠隔：オンデマンド】 家族システム論、家族発達段階論、まとめ	5	

コミュニケーション論

対象学年 : 1 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 田中 周一
 授業形式等 : 講義 (遠隔)・演習 (対面)
 担当教員 : 田中 周一 昭和大学富士吉田教育部 教授
 加藤 夕紀子 外部講師

●一般目標 (GIO)

専門職として看護実践に必要な質の高い円滑なコミュニケーション能力を身につけるために、コミュニケーションとは何かについての基本的知識を理解できる。

●行動目標 (SBOs)

1. コミュニケーションにはどのような種類とポイントがあるのかを説明できる。
2. 医療現場におけるコミュニケーションの主な種類とポイントを概説できる。
3. 相手の立場、習慣などによってコミュニケーションのあり方が異なることを概説できる。
4. 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションのあり方を示すことができる。
5. 患者に寄り添うために必要なコミュニケーションのあり方を例示することができる。
6. 人との接し方の基本となるマナーやモラルについて概説できる。
7. 礼儀正しい挨拶の基本を実践できる。
8. 他者の話への傾聴の姿勢を実践できる。
9. 対人関係に係る身体表現の特徴を学び、その表現を活用することができる。
10. 高齢者とコミュニケーションをとる際に留意すべきポイントを指摘することができる。
11. 悩みを抱える他者の問いかけへの答えをグループ作業で討議することができる。
12. 国家試験形式のコミュニケーション関連問題にグループ作業で取り組むことができる。

●評価方法

評価方法：終講試験（筆記試験）（60％）各種グループ作業の参加態度・積極性（10％）提出物（30％）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
田中 周一	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	shuichi-t@cas.showa-u.ac.jp

●授業概要

専門職として看護実践に必要な質の高い円滑なコミュニケーション能力を身につけるために、コミュニケーションとは何かについての基本的知識を学ぶとともに、各種の身体的訓練をおこなう。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション」「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
参考図書	事例で学ぶ医療コミュニケーション・スキル	マーガレット・ロイド／ロバート・ボア	西村書店	2007 (第2刷)
参考図書	わかりあえないことから コミュニケーション能力とは何か	平田オリザ	講談社現代新書	2012

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
参考図書	あたりまえだけどなかなかできない 敬語のルール	山岸弘子	明日香出版社	2007
参考図書	すべらない敬語	梶原しげる	新潮新書	2008
プリント	担当教員より、掲示・配布する			

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0s を確認し授業に臨む。授業終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義などで積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の領域の科目全般
2 年の領域の科目全般
3 年の科目全般

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。

●予定表

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2022. 1. 17	月	3 4	コミュニケーションの概要	【対面】 コミュニケーションとはいかなるものかについて全般的な導入をおこなう。	1 2	田中
2	2022. 1. 24	月	3 4	礼儀作法の基本	【対面】 接遇・傾聴・挨拶の重要性を理解し、実践する。	1～8	
3	2022. 1. 27	木	3 4	身体表現の基礎	【対面】 他者とのコミュニケーションの際に用いる多様な身体表現を学ぶ。	9	
4	2022. 1. 28	金	1	患者体験にふれる *講師：加藤夕紀子	【遠隔:オンデマンド】 患者の体験談から医療者に求められるあり方を学ぶ。	2 3 5	
5	2022. 1. 31	月	3 4	高齢者とのコミュニケーションの基本	【対面】 高齢者とのコミュニケーションの際のポイントとなることさらに学ぶ。	1 3 4 10	
6	2022. 2. 03	木	3 4	他者の悩みに向き合う	【対面】 人生相談を素材に他者の悩みに答える討議をグループ作業で実践する。	2 5 11	
7	2022. 2. 10	木	3 4	医療人にとってのコミュニケーションの基本	【対面】 医療現場で想定されるコミュニケーション場面を考えるとともに、国家試験形式の設問に取り組む。	1～5 12	

英語 I

対象学年 : 1 学年 通年
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 小松 薫
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 小松 薫: 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●一般目標 (GIO)

医療の状況に応じて、英語でコミュニケーションがとれるようになるために、英会話力を身につける。

●行動目標 (SBOs)

1. 医療の状況に応じて英語でコミュニケーションがとれるようになる。

●評価方法

評価方法: 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- ※成績の再考を求めたりするものは受付けできない。
 ※「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 ※科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小松 薫	授業終了後、クラスルームを通じて質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

日常生活や医療現場での英会話力を身につける。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「コミュニケーション能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材 (テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	Lifesaver New Edition	井上真紀、佐藤利哉	株) センゲージラーニング	2019

●準備学習 (予習・復習)

各講義の SBOs を確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。また、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次回の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 英語Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 10.13	水	5	Don' t worry. 励ましの声をかけましよう。	【遠隔:オンデマンド】 異国で病気にかかった外国人患者の不安を取り除く言葉かけをする。	1	小松
2	2021. 10.20	水	5	How may I help you? どうなさいましたか。	【遠隔:オンデマンド】 病院で困った様子の外国人患者の初診の手続きを手伝う。		
3	2021. 10.27	水	5	How are you feeling? 気分を聞いてみましょう。	【遠隔:オンデマンド】 明るくはっきりと自信をもって英語で患者に挨拶のことばをかける。		
4	2021. 11.17	水	2	Could you fill in This medical questionnaire? この問診票に記入いただけますか。	【遠隔:オンデマンド】 症状や病名を表す英単語を使って、外国人患者の問診票記入の手伝いをする。		
5	2021. 11.24	水	2	Take the elevator, please. 行き先を案内しましょう。	【遠隔:オンデマンド】 病院の中、外国人患者がどこへ行ったらいいか、わかりやすく説明する。		
6	2021. 12.01	水	2	What are your symptoms? 症状を尋ねましょう。	【遠隔:オンデマンド】 さまざまな症状を尋ねる。		
7	2021. 12.08	水	5	Where does it hurt? 痛みの場所を聞きましよう。	【遠隔:オンデマンド】 優しい態度で外国人患者の痛みの場所を聞き、訴えに適切な指示を与える。		

英語 II

対象学年 : 1 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 小松 薫
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 小松 薫: 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●一般目標 (GIO)

医療の現場で使える英語力を養い、医療に役立つ情報収集のために、英語の文献を理解する読解力を身につける。

●行動目標 (SBOs)

1. 医療の状況に応じて英語でコミュニケーションがとれるようになる。
2. 英語の文献を理解する。

●評価方法

評価方法: 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの

※成績の再考を求めたりするものは受付けできない。

※「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小松 薫	授業終了後、クラスルームを通じて質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

医療に関連する最新の英語論文を理解するには、基本的な英語表現だけでなく、医療英語表現や単語に関する知識を持つ必要がある。この講義では、医療に関連した英語の文章を精読し、その内容を素早く、正確に理解することによって、医療に関する知識を身につけ、医療現場での英会話を身につけることを目指す。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「コミュニケーション能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	Lifesaver New Edition	井上真紀、佐藤利哉	株) センゲージラーニング	2019

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0s を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 英語 I ・コミュニケーション論

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 12. 23	木	5	How long have you had these symptoms? 病状の持続時間を聞きましょう。	【遠隔: オンデマンド】 文献講読も同時に 2 度にわたり、2 本読む。テキスト中から適宜選ぶ。	2	小松
2	2022. 1. 15	土	2	I' m going to take a blood sample. 検査の手順を説明しましょう。	【遠隔: オンデマンド】 病気やけがの治療を受ける外国人患者にねぎらいの言葉をかける	1	小松
3	2022 1. 27	木	1	Let me take your vital signs. 入院患者との会話を学びましょう。	【遠隔: オンデマンド】 英語の説明によって不安を和らげる。 バイタルサインを調べるときの英語表現を覚えて仕事を進める。		
4	2022. 1. 29	土	2	Your surgery will be tomorrow. 手術前後の説明をしましょう。	【遠隔: オンデマンド】 手術の前後の処置の説明を英語で行い患者が安心と信頼をもって手術が受けられるよう手伝う。		
5	2022 2. 03	木	1	There are three kinds of Medicine. 薬の説明をしましょう。	【遠隔: オンデマンド】 薬の説明を看護師からもある程度できるように英語表現を覚える。		
6	2022. 2. 05	土	2	Are you worried about Anything? 文化の違いによる心配事を聞きましょう。	【遠隔: オンデマンド】 異文化を理解し人権を守ることを意識し、国際社会に生きる看護師を目指す。		
7	2022 2. 09	水	1	It' s time to be discharged. 退院後の説明をしましょう。	【遠隔: オンデマンド】 退院する患者にねぎらいの言葉や退院後の生活指導を英語で行いましょう。	1 2	

音 楽

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 松崎 由樹子
 授業形式等 : 講義 (遠隔)・演習 (対面)
 担当教員 : 松崎 由樹子 : 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●一般目標 (GIO)

豊かな感性を養い、情緒的発達を促すための音楽を理解できる。

●行動目標 (SBOs)

1. 合唱を通して、ハーモニーの重要性を理解する。
2. 合唱や音楽鑑賞を通して感じたことを表現することができる。

●評価方法

評価方法 : レポート (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受付けできない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
松崎 由樹子	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

看護師はその豊かな感性を持って、患者さんの思いに寄り添う姿勢が求められる。この授業では、合唱を通して、調和することの大切さと、音楽鑑賞を通して感じることを表現することで、豊かな感性を育む。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「アイデンティティ」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

講義時にプリントを配布する。

●準備学習 (予習・復習)

演習が主となる授業であり、特に昭和大学校歌や看護専門学校の歌は学校行事で必ず合唱するため、歌詞やメロディーを復習し、素敵なハーモニーができるように臨むこと。

●全学年を通しての関連科目

1～3 年の科目全般

●予定表

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。(5・6 回目)

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対 象 SB0s	担当
1	2021 4. 14	水	1	校歌の説明、練習 1	【遠隔：オンデマインド】 校歌について	1 2	松崎
2	2021 4. 14	水	2	校歌の練習 2 音楽史	【遠隔：オンデマインド】 校歌練習、音楽史について		
3	2021 4. 21	水	1	音楽療法①	【遠隔オンデマインド】 音楽療法について 1		
4	2021 4. 21	水	2	音楽療法②	【遠隔：オンデマインド】 音楽療法について 2		
5	2021 4. 28	水	1	校歌合唱 1	【対面】合唱		
			2	その他の合唱 1	【対面】合唱		
6	2021 5. 12	水	1	校歌合唱 2	【対面】合唱		
			2	その他の合唱 2	【対面】合唱		
7	2021 5. 12	水	4	【遠隔：オンタイム】 まとめ（レポート作成）自宅学習 当日レポート提出			

国語文章論

対象学年 : 1 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 田中 周一
 授業形式等 : 講義 (遠隔・対面)・演習 (対面)
 担当教員 : 田中 周一 昭和大学富士吉田教育部 教授

●一般目標 (GIO)

言語運用とはいかなることなのかを理解するために、日常生活のなかで無意識に運用している言語、すなわちわたしたちの大半にとって手足のように運用できる唯一の言語である母語、日本語というものにあらためて自覚的に向きあう姿勢を確立する。

●行動目標 (SBOs)

1. 授業内容を簡潔にまとめることができる。
2. 言語にかかわる多様な問題に意識的に取り組むことができる。
3. 漢字書き・かな書きの適切な使い分けができる。
4. みずからの語彙力を高めることができる。
5. 文学的な文章と実務的な文章の区別ができる。
6. 主観的な文と客観的な文の区別ができる。
7. 400 文字前後の文章の趣旨を的確に把握することができる。
8. 200 文字前後の文章の趣旨を的確に把握することができる。
9. ブレインストーミングを実践することができる。
10. 意見構築の必須条件への理解を論証的意見文というかたちで表現することができる。

●評価方法

評価方法：定期試験（筆記試験）（80％） 課題（20％）

評価（教学上の判定）の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- ＊成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 ＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 ＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメント

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
田中 周一	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	shuichi-t@cas.showa-u.ac.jp

●授業概要

日本語運用のための基盤を確立するため、日本語にまつわる多様な局面にふれるとともに、文書作成の基本的要件、すなわち漢字力・語彙力をはじめ、まとまった分量の文章を書くために必要な様々な文章能力の向上を目指す。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
参考図書	日本語練習帳	大野 晋	岩波新書	1999
参考図書	日本語の作文技術 (新装版)	本田勝一	講談社	2005
参考図書	理科系の作文技術	木下是男	中公新書	1981
参考図書	問題な日本語	北原保雄	大修館書店	2004
参考図書	悪文一裏返し文章読本	中村 明	ちくま学芸文庫	1995
参考図書	漢字と日本人	高島俊男	文春文庫	2001
参考図書	日本語と外国語	鈴木孝夫	岩波新書	1990
参考図書	知的な科学・技術文章の徹底演習	塚本真也	コロナ社	2007
プリント	授業時に提示する			

●準備学習 (予習・復習)

各講義の SB0s を確認し授業に臨む。授業終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義などで積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年～3 年の全科目

●予定表

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。(6・7 回目)

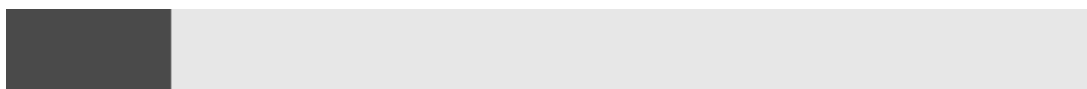
*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 11. 25	木	4	書くことの意義	【遠隔：オンデマンド】 読み書きする能力の重要性を確認する。 あわせて、看護師国家試験をはじめとする医療分野国家試験の出題傾向の変化（長文化）を考察する。	1 2	田中
2	2021. 12. 02	木	4	漢字	【遠隔：オンデマンド】 漢字で書くか、かなで書くかという日本語における文字表記の問題に実践的に取り組む。	2 3	
3	2021. 12. 17	金	3	類義語 慣用句	【遠隔：オンデマンド】 類義語の練習問題をおこなう。 類語辞典の使用法と必要性を理解する。	2 4	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
4	2021. 12. 24	金	3	文章の種類 主観と客観	【遠隔：オンデマンド】 文章の種類ならびに客観的な 文と主観的な文とを区別する 力を養う。	2 5 6	田中
5	2022. 1. 07	木	3	読解力の養成	【遠隔：オンデマンド】 比較的短めの文章の内容をで きるだけ早く的確に把握する 力を養う。	2 7 8	
6	2022. 1. 11	火	3 4	ブレインストーミング	【対面】 書くための材料集めとして、 頭のなかに嵐を起こすブレイ ンストーミングの実践をおこ なう。	1 2 9	
7	2022. 1. 18	火	3 4	論証的意見文	【対面】 ブレインストーミングの結果 を活用し、説得力をもって意 見構築するための基本練習を おこなう。	1 2 10	

1 年

專門基礎分野



形態機能学 I

対象学年	: 1 学年 前期
単位・時間数	: 1 単位 30 時間
責任者名	: 大塚 成人 : 医学部 解剖学講座 肉眼解剖学部門教授
授業形式等	: 講義 (遠隔) 演習 (対面)
担当教員	: 森山 浩志 : 医学部 肉眼解剖学肉眼解剖学部門准教授

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、人体の正常構造と機能を系統的に理解できる。

●行動目標 (SBOs)

1. 体表からみた人体の部位、骨格からみた人体の区分を説明できる。
2. 人体の方向と位置を示す基準面、身体の部位の方向、縦の基準線の用語を説明できる。
3. 骨の形態と構造、組織と組成、発生と成長を説明できる。
4. 骨の連結の種類および関節の一般構造、形状、可動性を説明できる。
5. 骨格筋の構造と作用を説明できる。
6. 体幹、上肢、下肢、頭頸部の骨格と筋の構造と運動を説明できる。
7. 骨格筋、心筋、平滑筋の比較とそれぞれの特徴を説明できる。
8. 骨格筋の収縮機構、収縮の種類と特性を説明できる。
9. 神経系を構成する細胞、神経系の構造と機能を説明できる。
10. 脳と脊髄および脊髄神経と脳神経の構造と機能を説明できる。
11. 脳の高次機能、上行および下行伝導路を正しく説明できる。
12. 循環器系の構成、心臓の構造、心臓の拍出機能を説明できる。
13. 血管の種類と構造、動脈の構成と支配領域を説明できる。
14. 静脈の構成と分布領域、リンパ系の構成、リンパの循環を説明できる。
15. 胎児循環と生後循環への切り替えについて説明できる。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題提出 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの

*成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

*「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

*科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
森山 浩志	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	veloce@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

形態機能学は、人体の構造と機能を学ぶ学問であり、看護師にとって最重要の基礎となるものである。看護は、人々の健康増進および疾病予防、病気や障害を有する人々あるいは死に臨む人々のケアが含まれる。そのため、フィジカル・アセスメントや疾病の理解の基盤ともなる人体を構成する各器官の形態、構造を器官系別に学び、各臓器相互のつながりを統合的に理解できるようにする。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	人体の構造と機能① 解剖生理学	林正 健二	メディカ出版	2020
参考図書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学	坂井建雄 他著	医学書院	2018

●準備学習(予習・復習)

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅱ～Ⅳ、生化学、フィジカル・アセスメント、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、病理学
2年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4. 13	火	3	人体の形態と構造 運動器の総論	【遠隔:オンデマンド】 1. 人体の構造と区分 2. 方向と位置を示す用語 3. 人体の骨格と骨の連結 4. 骨格筋の構造と作用	1 2 3, 4 5	森山
2	2021. 4. 20	火	3	体幹の骨格と筋	【遠隔:オンデマンド】 1. 脊柱と胸郭 2. 背部、胸部、腹部の筋	6	
3	2021. 4. 27	火	3	上肢の骨格と筋	【遠隔:オンデマンド】 1. 上肢の骨格と筋 2. 上肢の運動	6	
4	2021. 5. 11	火	3	下肢の骨格と筋	【遠隔:オンデマンド】 1. 下肢の骨格と筋 2. 下肢の運動	6	
5	2021. 5. 18	火	3	頭頸部の骨格と筋 筋の収縮	【遠隔:オンデマンド】 1. 頭頸部の骨格と筋 2. 咀嚼運動と顔面表情運動 3. 骨格筋の収縮機構と特性	6 6 7, 8	

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当	
6	2021. 5. 25	火	3	神経系の構造と機能	【遠隔: オンデマンド】 1. 神経細胞と支持細胞 2. 興奮の伝導と伝達 3. 神経系の構造	9	森山	
7	2021. 6. 01	火	3	脳室と髄膜 大脳と間脳	【遠隔: オンデマンド】 1. 脳室と髄膜の構造 2. 脳脊髄液の循環 3. 大脳と間脳の構造と機能	10		
8	2021. 6. 08	火	3	脳幹、小脳、脊髄	【遠隔: オンデマンド】 1. 脳幹の構造と機能 2. 小脳の構造と機能 3. 脊髄の構造と機能	10		
9	2021. 6. 15	火	3	脊髄神経と脳神経	【遠隔: オンデマンド】 1. 脊髄神経の構造と機能 2. 脳神経の構造と機能	10		
10	2021. 6. 22	火	3	脳の高次機能 下行および上行伝導路	【遠隔: オンデマンド】 1. 脳の高次機能と障害 2. 運動機能と下行伝導路 3. 感覚機能と上行伝導路	11		
11	2021. 6. 29	火	3	循環器系総論 心臓の構造	【遠隔: オンデマンド】 1. 循環器系の構成 2. 体循環と肺循環 3. 心臓の位置と外形 4. 心臓壁	12		
12	2021. 7. 06	火	3	心臓の血管と神経	【遠隔: オンデマンド】 1. 心房、心室、弁装置 2. 冠状血管系 3. 心臓に分布する神経 4. 刺激伝導系と心電図	12		
13	2021. 7. 13	火	3	末梢循環系総論 体循環の動脈	【遠隔: オンデマンド】 1. 血管の構造 2. 側副循環と吻合 3. 大動脈弓、胸大動脈 4. 腹大動脈、総腸骨動脈	13		
14	2021. 7. 20	火	3	体循環の静脈	【遠隔: オンデマンド】 1. 上大静脈に集まる静脈 2. 下大静脈に集まる静脈 3. 門脈系と奇静脈系	14		
15	2021. 9. 08	水	3	胎児循環 リンパ系	【遠隔: オンデマンド】 1. 胎児循環 2. リンパ本幹とリンパ管 3. 領域リンパ節 4. リンパの循環	14 15		
	未定			解剖見学（演習：対面）		1, 2 6, 10 12-14		大塚

形態機能学Ⅱ

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 本田 一穂:医学部 顕微解剖学
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 舟橋 久幸:昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、人体の正常構造と機能を系統的に理解できる。

●行動目標 (SBOs)

1. 細胞の構造と機能を説明できる。
2. 組織を分類し、それぞれの構造と機能を説明できる。
3. 呼吸器系・消化器系・泌尿器系の位置、構造および機能を説明できる。
4. 生殖器系の位置、構造、機能および人体の発生過程を説明できる。
5. 感覚器系の位置、構造および機能を説明できる。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題提出 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
舟橋 久幸	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	hisafuna37@aol.com

●授業概要

形態機能学は、人体の構造と機能を学ぶ学問であり、看護師にとって最重要の基礎となるものである。看護は、人々の健康増進および疾病予防、病気や障がいを持つ人々あるいは死に臨む人々のケアが含まれる。そのため、フィジカル・アセスメントや疾病の理解の基盤ともなる人体を構成する各器官の形態、構造を器官系別に学び、各臓器相互のつながりを統合的に理解できるようにする。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	人体の構造と機能① 解剖生理学	林正 健二	メディカ出版	2020
参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学	坂井 建雄 他	医学書院	2018

●準備学習(予習・復習)

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワー質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学Ⅰ、形態機能学Ⅲ、形態機能学Ⅳ、生化学、フィジカル・アセスメント、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、病理学
2 年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4. 12	月	1	人体とはどのようなものか	【遠隔:オンデマンド】 ヒトの位置づけ、人体の階層性	1	舟橋
2	2021. 4. 12	月	2	細胞	【遠隔:オンデマンド】 細胞の基本的な構造と機能		
3	2021. 4. 19	月	1	組織	【遠隔:オンデマンド】 人体を構成する4つの組織 (上皮・支持・筋・神経)	2	
4	2021. 4. 19	月	2	消化器系の構造①	【遠隔:オンデマンド】 内臓の分類 「口腔・咽頭・食道・胃」 味覚器、嚥下のメカニズム（1）	3	
5	2021. 4. 26	月	1	消化器系の構造②	【遠隔:オンデマンド】 「小腸・大腸」		
6	2021. 5. 10	月	1	消化器系の構造③	【遠隔:オンデマンド】 「肝・胆・膵」、腹膜		
7	2021. 5. 17	月	1	呼吸器系の構造	【遠隔:オンデマンド】 「気道」、嗅覚器 嚥下のメカニズム（2） 「肺」、胸膜、縦隔		
8	2021. 6. 14	月	1	泌尿器系の構造	【遠隔:オンデマンド】 「腎臓」、「尿路」	4	
9	2021. 6. 21	月	1	生殖器系の構造①	【遠隔:オンデマンド】 男性生殖器		
10	2021. 6. 28	月	1	生殖器系の構造②	【遠隔:オンデマンド】 女性生殖器		
11	2021. 7. 05	月	1	人体の発生	【遠隔:オンデマンド】 受精、胎児の発生		

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
12	2021. 7.12	月	1	感覚器系の構造①	【遠隔:オンデマンド】 視覚器	5	舟橋
13	2021. 7.19	月	1	感覚器系の構造②	【遠隔:オンデマンド】 聴覚・平衡覚器		
14	2021. 9.06	月	1	感覚器系の構造③	【遠隔:オンデマンド】 皮膚とその多様なはたらき		
15	2021. 9.13	月	1	まとめ	【遠隔:オンデマンド】 細胞、組織、器官系（主に、「内臓器官」、及び、感覚器系）	1～5	

形態機能学Ⅲ

対象学年	: 1 学年 前期
単位・時間数	: 1 単位 30 時間
責任者名	: 泉崎 雅彦
授業形式等	: 講義 (遠隔)
担当教員	: 泉崎 雅彦: 医学部 生理学講座生体調節機能学部門教授 飯塚 眞喜人: 医学部 生理学講座生体調節機能学部門准教授 政岡 ゆり: 医学部 生理学講座生体調節機能学部門准教授 上條 翔太郎: 医学部 生理学講座生体調節機能学部門助教

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、人体の正常構造と機能を系統的に理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 人体の恒常性を保つしくみを説明できる。
2. 食欲を調節するしくみを説明できる。
3. 咀嚼と嚥下のしくみを説明できる。
4. 栄養の消化と吸収のしくみを説明できる。
5. 便の形成と排泄のしくみを説明できる。
6. 換気のしくみを説明できる。
7. 外呼吸と内呼吸のしくみを説明できる。
8. 血液中のガス運搬のしくみを説明できる。
9. 呼吸を調節するしくみを説明できる。
10. 体温とその調節のしくみを説明できる。
11. 血液の成分とそれらの機能を説明できる。
12. 心臓機能とその調節のしくみを説明できる。
13. 血管機能と血圧を調節するしくみを説明できる。
14. リンパ系と胎児循環について説明できる。
15. 尿を生成するしくみを説明できる。
16. 体内の水分と電解質を調節するしくみを説明できる。
17. 排尿のしくみを説明できる。
18. 酸塩基平衡とその異常を説明できる。

●評価方法

評価方法: 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題提出 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) に ついて周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
- ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
- ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
泉崎 雅彦	メールで連絡や質疑応答を行います。対面の場合は、放課後に大学1号館5階520号室で実施します（事前にメールで連絡してください）。	masahiko@med.showa-u.ac.jp
飯塚 眞喜人		iizukam@med.showa-u.ac.jp
政岡 ゆり		faustus@med.showa-u.ac.jp
上條 翔太郎		kamijo.s@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

形態機能学は、人体の構造と機能を学ぶ学問であり、看護師にとって最重要の基礎となるものである。看護は、人々の健康増進および疾病予防、病気や障害を有する人々あるいは死に臨む人々のケアが含まれる。そのため、フィジカル・アセスメントや疾病の理解の基盤ともなる人体を構成する各器官の構造と機能を器官系別に学び、各臓器相互のつながりを統合的に理解できるようにする。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目では、人体の正常構造と機能を系統的に理解し、看護職としての「専門的実践能力」を身につけるための土台を育む。この学修プロセスを通して、「自己研鑽」できる意欲と態度を養う。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

講義時にプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	人体の構造と機能① 解剖生理学	林正 健二	メディカ出版	2020

●準備学修（予習・復習）

各講義のSB0sを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。講義終了後は、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことはオフィス・アワー（メール、対面）で質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年	形態機能学Ⅰ、形態機能学Ⅱ、形態機能学Ⅳ、生化学、フィジカル・アセスメント、
1年	リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、病理学、生化学
2年	臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
3年	科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象SB0s	担当
1	2021. 4.13	火	4	人体の恒常性を保つ機能	【遠隔:オンデマンド】 1. 生理学とは 2. ホメオスタシス (恒常性) 3. フィードバック機構	1	飯塚
2	2021. 4.20	火	4	消化器系の機能 (1)	【遠隔:オンデマンド】 1. 食欲 2. 咀嚼と嚥下 3. 消化と吸収①	2 3 4	上條
3	2021. 4.26	火	4	消化器系の機能 (2)	【遠隔:オンデマンド】 4. 消化と吸収② 5. 排泄	4 5	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
4	2021. 5. 11	火	4	呼吸器系の機能 (1)	【遠隔: オンデマンド】 1. 換気	6	泉崎
5	2021. 5. 18	火	4	呼吸器系の機能 (2)	【遠隔: オンデマンド】 2. 外呼吸と内呼吸 3. ガスの運搬	7 8	
6	2021. 5. 25	火	4	呼吸器系の機能 (3)	【遠隔: オンデマンド】 4. 呼吸の調節	9	
7	2021. 6. 01	火	4	体熱産生と体温	【遠隔: オンデマンド】 1. 体温の分布 2. 熱の出納 3. 体温調節	10	政岡
8	2021. 6. 08	火	4	血液 (1)	【遠隔: オンデマンド】 1. 血液の機能と成分 2. 赤血球	11	
9	2021. 6. 15	火	4	血液 (2)	【遠隔: オンデマンド】 3. 白血球 4. 血小板と血液凝固および線溶 5. 血液型と輸血 6. 血液の発生	11	
10	2021. 6. 22	火	4	循環器系の機能 (1)	【遠隔: オンデマンド】 1. 心臓の機能①	12	飯塚
11	2021. 6. 29	火	4	循環器系の機能 (2)	【遠隔: オンデマンド】 2. 心臓の機能② 2. 血管の機能①	12 13	
12	2021. 7. 06	火	4	循環器系の機能 (3)	【遠隔: オンデマンド】 3. 血管の機能② 4. リンパ系 5. 胎児循環	13 14	
13	2021. 7. 13	火	4	泌尿器系の機能 (1)	【遠隔: オンデマンド】 1. 尿の生成	15	
14	2021. 7. 20	火	4	泌尿器系の機能 (2)	【遠隔: オンデマンド】 2. 水分と電解質平衡 3. 排尿の生理	16 17	
15	2021. 9. 08	水	4	泌尿器系の機能 (3)	【遠隔: オンデマンド】 1. 酸・塩基平衡	18	泉崎

形態機能学Ⅳ

対象学年 : 1 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 砂川 正隆

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 : 砂川 正隆 : 医学部 生理学講座生体制御学部門教授

塚田 愛 : 医学部 生理学講座生体制御学部門講師

池本 英志 : 医学部 生理学講座生体制御学部門助教

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、人体の構成及び生理機能を系統的に理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 生体機能の調節について概説する。
2. 内分泌系 (ホルモン) の生理機能について説明する。
3. 神経系と筋・骨格系の機能および運動の機序について説明する。
4. 感覚のしくみについて説明する。

●アクティブ・ラーニング

内分泌系、神経系、感覚器系、筋・骨格系、それぞれの範囲が終了後に課題 (練習問題) を出します。必ず提出 (解答) すること。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (MCQ と記述) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
- ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
- ・その他、明確な理由があると思われるもの

- * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
- * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
- * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
砂川 正隆	基本は電子メールで質問を受け付ける。対面を希望する場合は、電子メールでアポイントを取った後、来室すること。	sun@med.showa-u.ac.jp
塚田 愛		m-tsukada@med.showa-u.ac.jp
池本 英志		h_ikemoto@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

形態機能学は、人体の構造と機能を学ぶ学問であり、看護師にとって最重要の基礎となるものである。看護は、人々の健康増進および疾病予防、病気や障害を有する人々あるいは死に臨む人々のケアが含まれる。そのため、フィジカル・アセスメントや疾病の理解の基盤ともなる人体を構成する各器官の形態、構造を器官系別に学び、各臓器相互のつながりを統合的に理解できるようにする。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	人体の構造と機能① 解剖生理学	林正 健二	メディカ出版	2020

●準備学習(予習・復習)

各講義の SBOs を確認し配布資料で予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、課題をもとに事後学修を進め、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことはメールで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学Ⅰ～Ⅲ、生化学、フィジカル・アセスメント、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、病理学、生化学
 2 年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
 3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4. 14	水	3	生体機能の調節	【遠隔:オンデマンド】 1. 神経性調節 2. 体液性調節	1	砂川
2	2021. 4. 14	水	4	ホルモンの生理機能①	【遠隔:オンデマンド】 1. 内分泌器官、分泌調節機構 2. ホルモンの概要、作用機序 3. 代表的疾患と病態	2	
3	2021. 4. 21	水	3	ホルモンの生理機能②			
4	2021. 4. 21	水	4	ホルモンの生理機能③			
5	2021. 4. 28	水	4	ホルモンの生理機能④			
6	2021. 5. 10	月	2	ホルモンの生理機能⑤			
7	2021. 5. 17	月	2	神経系の機能①	【遠隔:オンデマンド】 1. 神経系の構造と機能 2. 脊髄の構造と機能 3. 脳の構造と機能 4. 脊髄神経と脳神経 5. 高次機能 6. 自律神経による内臓機能の調節	3	
8	2021. 6. 14	月	2	神経系の機能②			
9	2021. 6. 21	月	2	神経系の機能③			
10	2021. 6. 28	月	2	神経系の機能④			
11	2021. 7. 05	月	2	感覚機能①	【遠隔:オンデマンド】 1. 感覚の種類と性質	4	塚田

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
12	2021. 7. 12	月	2	感覚機能②	【遠隔:オンデマンド】 2. 体性感覚 3. 疼痛 4. 視覚 5. 聴覚 6. 平衡覚 7. 味覚 8. 嗅覚	4	塚田
13	2021. 7. 19	月	2	筋・骨格系の機能①	【遠隔:オンデマンド】 1. 骨の生理的な機能 2. 骨の発生と成長 3. 筋の収縮機構	3	池本
14	2021. 9. 06	月	2	筋骨格系の機能②	【遠隔:オンデマンド】 4. 運動系の制御機構、錐体路系と錐体外路系	3	池本
15	2021. 9. 13	月	2	生体機能の調整	【遠隔:オンデマンド】 全体のまとめ	1 2 3 4	砂川

薬理学

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 木内 祐二 (薬理学)

授業形式等 : 講義(遠隔)

担当教員 : 木内 祐二 : 医学部 薬理学 (医科薬理学部門) 教授
辻 まゆみ : 医学部 薬理学 (医科薬理学部門) 教授 (員外)
小山田 英人 : 医学部 薬理学 (医科薬理学部門) 講師
宇高 結子 : 医学部 薬理学 (医科薬理学部門) 講師
佐々木 晶子 : 医学部 薬理学 (医科薬理学部門) 講師

●一般目標(GIO)

患者などの対象者に対して、薬の特性を理解したうえで、正しい与薬や服薬指導、服薬後の観察を実践するために、薬物の特徴・作用機序、人体への影響 (効果や副作用) および薬物の管理を理解する。

●行動目標(SBOs)

1. 薬理作用と薬物動態について説明できる。
2. 薬物の特徴に応じた管理方法を説明できる。
3. 末梢神経作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
4. 中枢神経系作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
5. 循環器系作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
6. 呼吸器系作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
7. 消化器系作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
8. ホルモン系作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
9. 抗感染症薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
10. 抗悪性腫瘍薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
11. 医薬品添付文書の読み方を説明できる。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) に ついて周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
木内 祐二	授業終了後、電子メールで質問を受け付ける。	ykiuchi@med.showa-u.ac.jp
辻 まゆみ		tsujim@med.showa-u.ac.jp
小山田英人		oyamadah@med.showa-u.ac.jp
宇高 結子		ykanda@med.showa-u.ac.jp
佐々木 晶子		sakiko@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護師には、医師に指示された薬剤を正しく与える責務がある。与薬後は、対象者の観察を行い、薬剤の効果や副作用を確認する。また、薬剤師と連携・協働して薬剤を取り扱い、服薬指導することも看護師の重要な役割である。そのため、薬理学の概念、代表的な薬物の特徴と薬物療法の基礎知識を学修し、使用する薬剤の管理方法・薬剤の作用・副作用、期待される効果を正しく理解する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	わかりやすい薬理学	安原 一・小口勝司 編	ヌーヴェルヒロカワ	2014

●準備学習(予習・復習)

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。オンデマンド講義の受講後は、重要な事項やキーワードなどをまとめ、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは電子メールで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、病理学、生化学
 2 年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
 3 年の科目全般

●予定表

*一部 AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021.9.08	火	1	薬理学の概念①	【遠隔：オンデマンド】 第 1 章 総論 (P. 1～50) 1) 薬物療法の目的 2) 薬理作用と作用機序 3) 薬物動態と薬効 4) 副作用と有害作用 5) 薬物相互作用	1 2 11	木内 辻
2	2021.9.14	火	4 1	薬理学の概念②	【遠隔：オンデマンド】 6) 薬物療法に影響を与える因子 7) 中毒 8) 新薬の開発と倫理 9) 医薬品の管理		

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
3	2021. 9. 28	火	4 1	末梢神経系作用薬①	【遠隔:オンデマンド】 第2章 末梢神経作用薬 (P. 51~70) 1) 末梢神経作用薬	3	辻
4	2021. 10. 05	火	4 1	末梢神経系作用薬②	【遠隔:オンデマンド】 2) 局所麻酔薬		
5	2021. 10. 12	火	4 1	中枢神経系作用薬①	【遠隔:オンデマンド】 第3章 1) 中枢神経作用薬 (P. 73~100) (麻薬・大麻・覚せい剤等の取り扱いも含む)	4	宇高
6	2021. 10. 19	火	4 1	中枢神経系作用薬②	【遠隔:オンデマンド】 第3章 2) 中枢神経作用薬 (P. 73~100) (麻薬・大麻・覚せい剤等の取り扱いも含む)		
7	2021. 10. 26	火	4 1	心臓・血管作用薬①	【遠隔:オンデマンド】 第4章 心臓・血管作用薬 (P. 101~123、P. 126~140) 1) 抗高血圧薬 2) 心臓作用薬	4	
8	2021. 11. 02	火	1	心臓・血管作用薬②	【遠隔:オンデマンド】 3) 輸液・腎臓作用薬	4	
9	2021. 11. 16	火	4 1	抗炎症薬と呼吸器系作用薬①	【遠隔:オンデマンド】 第5章 抗炎症薬 (P. 155~194)	6	
10	2021. 11. 30	火	1 4	抗炎症薬と呼吸器系作用薬②	【遠隔:オンデマンド】 第6章 呼吸器系作用薬		
11	2021. 12. 07	火	1 4	抗感染症薬	【遠隔:オンデマンド】 第9章 抗感染症薬・消毒薬	9	
12	2021. 12. 14	火	1 4	心臓・血管系、消化器系およびホルモン、生殖器系作用薬①	【遠隔:オンデマンド】 第4章 心臓・血管作用薬 1) 脂質異常症 (P123~125) 2) 血液・造血器系作用薬 (P141~154)	5 7	小山田
13	2021. 12. 21	火	1 4	心臓・血管系、消化器系およびホルモン、生殖器系作用薬②	【遠隔:オンデマンド】 第7章 消化器系作用薬 (P195~212)		
14	2022. 1. 11	火	1	心臓・血管系、消化器系およびホルモン、生殖器系作用薬③	【遠隔:オンデマンド】 第8章 ホルモン系・生殖器系作用薬 (P213~240)	8	佐々木
15	2022. 1. 18	火	1	抗悪性腫瘍薬	【遠隔:オンデマンド】 第9章 抗悪性腫瘍薬 (P268~276)	10	佐々木

微生物学

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 伊與田 雅之

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 : 柳川 容子: 医学部 微生物学免疫学講座兼任講師

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、微生物の特徴と生体に及ぼす影響および病原微生物の感染予防について理解できる。

●行動目標 (SBOs)

1. 微生物(細菌、真菌、ウイルス、原虫)の特徴、感染経路、生体と微生物の相互関係が説明できる。
2. 生体の感染防御機構が説明できる。
3. おもな滅菌法と消毒法が理解できる。
4. 宿主の臓器・組織別にみる感染症と個々の病原体の関係が説明できる。
5. 宿主の因子が影響する感染症と個々の病原体の関係が説明できる。
6. 感染症の検査・治療の概要が理解できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) に ついて周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柳川 容子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	yyana@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

病原微生物の種類と特徴、感染経路、ヒトの感染防御機構について学ぶ。看護職は感染対策において中心的な役割を担っており、さらに指導的な役割を担うことが期待されている。対象者と接するにあたり、自身の感染防止とともに感染予防の観点から正しい知識を身につけ、合理的な対応、対策を行えるように基礎知識の習得を目指す。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	臨床微生物・医動物	矢野久子ほか	メディカ出版	2020
テキスト	ステップアップ 微生物学ノート	西條政幸	医学芸術社	2018

●準備学習(予習・復習)

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をノートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーにて質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 臨床医学Ⅰ～Ⅴ、専門分野Ⅰ
 2 年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
 3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 10. 28	木	1	病原微生物の種類と特徴 感染症法 感染経路	【遠隔:オンデマンド】 微生物の種類・特徴、感染症 法、感染経路	1	柳川
2	2021. 11. 04	木	3	感染症の分類 感染防御機構 感染・発病予防	【遠隔:オンデマンド】 新興・再興感染症、抗原・抗 体、液性免疫、細胞性免疫、 ワクチン、滅菌と消毒	1 2 3	
3	2021. 11. 18	木	3	感染症の検査・治療	【遠隔:オンデマンド】 グラム染色、抗酸菌染色、化 学療法薬	6	
4	2021. 11. 25	木	3	宿主の臓器・組織別にみる感 染症と病原体 1 ー呼吸器感染症、消化器系感 染症、尿路感染症	【遠隔:オンデマンド】 結核菌、マイコプラズマ、 大腸菌、赤痢菌、サルモネラ 属菌、コレラ菌、ピロリ菌、 黄色ブドウ球菌、ボツリヌス 菌、カンピロバクター、イン フルエンザウイルス、肝炎ウ イルス、ノロウイルス、赤痢 アメーバ	4	
5	2021. 12. 02	木	3	宿主の臓器・組織別にみる感 染症と病原体 2 ー性感染症、皮膚・粘膜の感 染症、皮膚に発疹が出現する感 染症、脳・神経系感染症	【遠隔:オンデマンド】 トラコーマクラミジア、淋 菌、髄膜炎菌、梅毒トレポ ネーマ、HIV、麻疹ウイルス、 水痘-帯状疱疹ウイルス、日 本脳炎ウイルス、 プリオン	4	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
6	2021. 12. 16	木	3	宿主の因子が影響する感染症 と病原体1 -人獣共通感染症、寄生虫 感染症、小児の感染症、母子 感染、高齢者の感染症	【遠隔:オンデマンド】 オウム病クラミジア、連鎖球 菌、百日咳菌、ロタウイルス、 風疹ウイルス、トキソプラズ マ原虫、マラリア原虫、蟯虫、 疥癬虫	5	柳川
7	2021. 12. 23	木	3	宿主の因子が影響する感染症 と病原体2 -日和見感染症、移植患者と感 染症、手術創・外傷と感染症、 血流感染症、薬剤耐性菌	【遠隔:オンデマンド】 レジオネラ菌、セパシア菌、 破傷風菌、表皮ブドウ球菌、 サイトメガロウイルス、カン ジダ、アスペルギルス、MRSA、 VRE、ESBL、MDRP	5	

医療概論

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 柴田 雅子
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 小川 良雄: (実務教員) 医学部 泌尿器科学講座教授
 的場 匡亮: 保健医療学部 保健医療学研究科准教授
 榎田 めぐみ: (実務教員) 保健医療学部 看護学科教授 柴田 雅子 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

保健・医療・福祉の連携を知り健康生活を守る医療人となるために、医学の歩みから医療の本質を考え、現代医療における医療者の役割、医療技術の進歩について学修する。

●行動目標 (SBOs)

1. 近代医学の歴史と変遷について説明できる。
2. 医療システムの現状と課題について説明できる。
3. 医療関係職種および医師の役割、看護師・医師の関係について説明できる。
4. 医療事故を防ぐ様々な取組について説明できる。
5. 現代医療の展望と課題について説明できる。

●評価方法

評価方法: 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題提出 (20%)

フィードバック: 課題提出後、柴田教員よりクラスルーム内でフィードバックを行う。

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小川 良雄	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールおよび電話でも質問を受け付ける。	ogawayos@med.showa-u.ac.jp 03-3784-8699
的場 匡亮	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	matoba@nr.showa-u.ac.jp
榎田 めぐみ		m.enokida@nr.showa-u.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護学を学び、質の高い看護の実践能力を身につけるためには、あるべき医療の姿を正しく捉えることが必要である。最初に近代医学の進歩の歴史、医学が人間の生命や尊厳をどう捉えているか、病気の診断、治療、予防、健康の増進、生活の質といったことを医学はどう具現化しているのかなど学ぶ。次に、最近の医療を取り巻く環境は刻々と変化しており、医療の考え方や仕組みも大きく変わりつつある。現在、そして将来の医療はどうあるべきか、どんな課題があるのかについて、最近の医療の動向を踏まえて考える。また、医療に従事する専門職として、他職種との連携を通して行うチーム医療の必要性について学ぶ。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門の実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	学生のための医療概論	千代豪昭 他編	医学書院	2012
プリント	必要時講師から配布される			

●準備学習(予習・復習)

各講義のSBOsを確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。事後学習として、講義の理解度を教科書にある各章の最終項にあるゼミナールで確認すること。また、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次回の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の科目全般
2 年の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4. 8	木	2	医学と医療	【遠隔: オンデマンド】 1. 近代医学の誕生と今後の課題 1) 感染症に対する医学との闘いと疾病構造の変化 2. 日本の近代化と医療の発達 1) 医学とは、医療とは	1	小川
2	2021. 4. 15	木	2	保健医療サービスのしくみ	【遠隔: オンデマンド】 1. 保健医療サービスの提供体制 1) 医療施設 2) 医療関連施設 3) 公衆衛生のための機関 4) 医療非営利の原則と医療機関運営 5) 医療費の効率化と合理化 2. 医療と経済 1) 診療報酬のしくみ 2) 産業としての医療 3) 社会保障としての医療 4) 国民医療費の動向	2	的場

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
3	2021. 4. 22	木	2	医療関係職種連携	【遠隔: オンデマンド】 1. 医療を支える人々 ～様々な医療関係職種とチーム医療～ 1) 医療に関する職種: 医療関係資格法 (医師法、歯科医師法など) 2) 医師について 3) 看護師について 4) チーム医療の発展 救急医療や外科手術におけるチーム 医療とコ・メディカルスタッフ間との 連携におけるチーム医療の必要性← 慢性疾患の増加、ターミナルケア	3	榎田
4	2021. 5. 06	木	2	医療事故	【遠隔: オンデマンド】 1. 医療事故とは 2. 医療事故の原因 3. 医療従事者の質の確保 4. チームパフォーマンス 5. ヒューマンエラー対策	4	柴田 (雅)
5	2021. 5. 13	木	2				
6	2021. 5. 20	木	2	患者中心の医療	【遠隔: オンデマンド】 1. 患者中心の医療 1) QOL を目指した現代医療 2) 先端医療の発達と患者の自己決定権 の発達 (インフォームドコンセント のあり方) 3) 医療従事者と守秘義務 (個人情報保護法における守秘義務違 反) 2. 医療技術の発達とチーム医療 : 多職種協働 3. 臓器移植医療の現状と課題 4. ゲノム医学の登場 5. 代替医療から統合医療	5	小川
7	2021. 5. 27	木	2	まとめ 【遠隔: オンタイム】		1～5	柴田

生 化 学

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 宮崎 章 (生化学)
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 宮崎 拓郎 : 医学部 生化学講座准教授 原口 省吾 : 医学部 生化学鋼材講師

一般目標 (GIO)

生体の性状なくみ・機能の破綻した状態である疾病を理解し看護実践するために、人体の生命現象をつかさどる化学物質の性状・動態・物質代謝・エネルギー代謝の仕組みを理解できる。

●行動目標 (SBOs)

1. 糖質の種類と特性および代謝について説明できる。
2. 脂質の種類と特性および代謝について説明できる。
3. タンパク質の種類と特性および代謝について説明できる。
4. アミノ酸の種類と特性および代謝について説明できる。
5. DNA と RNA の構造と機能および核酸代謝が説明できる。
6. 酵素とビタミンの種類と機能を説明できる。
7. 遺伝情報と先天性代謝異常症の仕組みを説明できる。
8. ホルモンの種類と機能を説明できる。
9. 血清タンパク質の種類と機能について説明できる。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題提出 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- ④ 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ⑤ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
- ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
- ・その他、明確な理由があると思われるもの

*成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

*「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

*科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
宮崎 拓郎	電子メールでも質問を受け付ける。	taku@pharm.showa-u.ac.jp
原口 省吾		shogo@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

生体がどのような化合物で成り立っていて、それらの化合物がどのように作られ、壊され、生体の恒常性が保たれているかということの基礎を学ぶ。生化学を学ぶことによって生体の性状なくみ・機能の破綻した状態である疾病の理解を目指す。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	人体構造と機能② 臨床生化学	宮澤恵二	メディカ出版	2020

●準備学習(予習・復習)

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学 I～IV、病理学、臨床医学 I～V
 2 年 臨床医学 VI～VIII、各領域の科目
 3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021 4.13	火	2	生化学の基礎①	【遠隔: オンデマンド】 1. 生体の構成成分 1) 糖質 2) 脂質 3) タンパク質 4) 核酸	1 2 3	原口
2	2021 4.20	火	2	生化学の基礎②	【遠隔: オンデマンド】 2. 元素の性質と原子の結びつき	4 5 6	
3	2021 4.27	火	2	生化学の基礎③	【遠隔: オンデマンド】 3. 物質の量・酵素	7 8 9	
4	2021 5.11	火	2	生化学の基礎④	【遠隔: オンデマンド】 4. 酸と塩基 5. 同化作用と異化作用		
5	2021 5.18	火	2	ホルモンの種類と機能	【遠隔: オンデマンド】 ホルモンと生理活性物質	8	6
6	2021 5.25	火	2	ビタミンと補酵素の種類と機能	【遠隔: オンデマンド】 ビタミンと補酵素		
7	2021 5.31	月	4	酵素反応の特性	【遠隔: オンデマンド】 1. 酵素反応の特性、阻害 2. 酵素の応用		
8	2021 6.07	月	4	糖質の代謝①	【遠隔: オンデマンド】 糖質代謝 (1)	1	宮崎
9	2021 6.14	月	4	脂質の代謝②	【遠隔: オンデマンド】 脂質代謝 (2)	2	
10	2021 6.21	月	4	タンパク質とアミノ酸代謝①	【遠隔: オンデマンド】 タンパク質代謝 (1)	3 4	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
11	2021 6.28	月	4	タンパク質と アミノ酸代謝②	【遠隔:オンデマンド】 タンパク質代謝(2)	3 4	宮崎
12	2021 7.05	月	4	DNA と RNA の構造と 機能および代謝	【遠隔:オンデマンド】 核酸代謝	5	
13	2021 7.12	月	4	代謝異常および関連 疾患	【遠隔:オンデマンド】 代謝の異常	7	
14	2021 7.19	月	4	血液の構成成分と働 きおよび尿の生成と 臨床検査	【遠隔:オンデマンド】 血液および尿	9	
15	2021. 9.06	月	4	遺伝情報と先天性代 謝異常症の仕組み	【遠隔:オンデマンド】 遺伝情報 先天代謝異常	7	原口

栄 養 学

対 象 学 年 : 1 学年 後期

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責 任 者 名 : 宮崎 章 (生化学)

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 : 宮崎 章 : 医学部 生化学講座教授

●一般目標 (GIO)

食生活・栄養管理の指導を実践するために、栄養状態の評価法、各種疾患・病態に対する食事療法・栄養療法に関する基礎知識を身につける。

●行動目標 (SBOs)

1. 肥満とやせ、BMI、基準体重の定義を説明できる。
2. 日本人の食事摂取基準における推定平均必要量、推奨量、目安量、目標量を説明できる。
3. 特定健康診査と特定保健指導を説明できる。
4. 5大栄養素の生理的意義を説明できる。
5. ビタミン・ミネラルのはたらきとその欠乏症を説明できる。
6. 各ライフステージにおける栄養学的問題点を概説できる。
7. 糖尿病、高血圧の診断基準と食事指導を説明できる。
8. 脂質異常症、肥満症、メタボリックシンドロームの診断基準と食事指導を説明できる。
9. 痛風・高尿酸血症、虚血性心疾患、脳卒中、肝炎・肝硬変に対する食事指導を概説できる。
10. 膵炎、慢性腎臓病の診断基準と食事指導を説明できる。
11. 胆石症、潰瘍性大腸炎・クローン病、胃切除術後、摂食・嚥下障害、褥瘡に対する食事指導を概説できる。
12. 経腸栄養法と静脈栄養法を概説できる。
13. 栄養サポートチーム (NST) を説明できる。

●評価方法

定期試験 (筆記試験) 80% 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
- ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
- ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
宮崎 章	昭和大学 1 号館 3 階 346 号室 (生化学講座教授室) で質問を受け付ける。予め来室時間を連絡して頂くことが望ましい。電子メールや電話での質問も受け付ける。	miya@med.showa-u.ac.jp 03-3784-8115 (教授室直通)

●授業概要

東洋医学で「医食同源」と言われるように、人間にとって食べることは、健康維持の基本である。そのため、子どもから高齢者に至るまで、適切な食生活を営むことが期待される。健康の維持・増進、疾病の予防・治療を目的とした各個人・患者の食生活改善の取り組みを支援することは、看護師の重要な使命である。本授業では、各ライフステージにおける生活活動と栄養の関係、各種疾病・病態に対する食事療法・栄養療法の基礎知識を学修する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である。

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

講義時に、テキスト内容を要約したプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	わかりやすい栄養学	中村美知子 他編	ヌーヴェルヒロカワ	2020
プリント				

●準備学習(予習・復習)

講義終了後、教科書の関連ページを熟読し、理解を深めて次回の講義に臨むこと。

●全学年を通しての関連科目

1年 臨床医学Ⅰ～Ⅴ、生化学、日常生活援助《理論編》、日常生活援助《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ
 2年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ・各領域の科目
 3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 10. 18	月	2	健康と栄養 日常生活と栄養	【遠隔:オンデマンド】 1. 肥満とやせ, BMI, 基準体重 2. 日本食の特徴 3. 日本人の食事摂取基準 4. スポーツと栄養	1 2	宮崎
2	2021. 10. 25	月	2	栄養指導・保健指導 食物と栄養	【遠隔:オンデマンド】 1. 病院食と約束食事箋 2. 特定健康診査と特定保健指導 3. 栄養素のはたらき	3 4	
3	2021. 11. 01	月	2	食物と栄養 ライフステージと健康教育	【遠隔:オンデマンド】 1. ビタミン・ミネラルとその欠乏症 2. 妊婦・授乳婦, 新生児, 学童, 思春期, 成人期, 老年期の栄養	5 6	
4	2021. 11. 22	月	2	疾患別食事指導の実際	【遠隔:オンデマンド】 糖尿病, 高血圧の診断基準とその食事指導	7	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
5	2021 11. 29	木	1	疾患別食事指導の実際	【遠隔:オンデマンド】 1. 脂質異常症, 肥満症, メタボリックシンドロームの診断基準とその食事指導 2. 痛風・高尿酸血症, 虚血性心疾患, 脳卒中, 肝炎・肝硬変の食事指導	8 9	宮崎
6	2021 12. 06	木	1	疾患別食事指導の実際	【遠隔:オンデマンド】 1. 膵炎, 慢性腎臓病の診断基準とその食事指導 2. 胆石症, 潰瘍性大腸炎・クローン病, 胃切除術後, 摂食・嚥下障害, 褥瘡の食事指導	10 11	
7	2021 12. 13	木	1	栄養療法	【遠隔:オンデマンド】 1. 栄養療法の種類と適応 2. 経腸栄養法と静脈栄養法 3. 栄養サポートチーム (NST)	12 13	

公衆衛生学と関係法規

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 小風 暁 (公衆衛生学)

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 : 箕浦 明 : 医学部 衛生学公衆衛生学講座助教

●一般目標 (GIO)

人々の健康の保持増進や疾病予防に必要な知識を習得するために、公衆衛生の動向や組織的な保健活動及び看護に必要な保健医療福祉に関する法令と対象への活用について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 公衆衛生の理念を説明できる。
2. 公衆衛生の現状と動向を説明できる。
3. 疫学の基本技法および健康指標を説明できる。
4. 感染症とその対策について説明できる。
5. 食品衛生と栄養について説明できる。
6. わが国の母子保健の現状と今後の課題について説明できる。
7. 学校保健について説明できる。
8. 環境の変化が人々に与える影響と環境保全について説明できる。
9. 地域保健活動について説明できる。
10. 生活習慣病と健康づくり対策について説明できる。
11. 健康教育とヘルスプロモーションについて説明できる。
12. 保健衛生法について説明できる。
13. 産業衛生について説明できる。
14. 法の概念について説明できる。
15. 衛生法規の概念とその分類について説明できる。
16. 医事法について説明できる。
17. 精神保健福祉について説明できる。
18. 労働法について説明できる。
19. 環境法について説明できる。

●アクティブ・ラーニング

我が国が抱える現代社会の課題について講義内で取り上げ、その課題を解決するために必要な公衆衛生学的手法と関係法規について、自分自身で検討し結論をまとめていく時間を設ける。

●評価方法

定期試験 (筆記試験) 80% 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
- ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
- ・その他、明確な理由があると思われるもの

*成績の再考を求めたりするものは受け付けられない。

*「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

*科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
箕浦 明	電子メール・電話にて質問を受け付ける。	minoaki@med.showa-u.ac.jp 03-3784-8135 (直通)

●授業概要

本科目では、人々の健康の保持・増進及び疾病予防に必要な基礎的知識を習得するために、公衆衛生の領域と活動対象、環境衛生、疾病予防、健康教育、健康管理、衛生行政、保健医療福祉に関する諸制度の概要とそれを規定する諸法令などを学ぶ。
--

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能」「社会的貢献」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	公衆衛生	平野かよ子、曽根智史等編	メディカ出版	2021
テキスト	国民衛生の動向	一般財団法人 厚生労働統計協会	一般財団法人 厚生労働統計協会	2021 発行

●準備学習(予習・復習)

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	社会福祉、基礎看護学概論、成人看護対象・目的論、小児対象論、母性対象・目的論、地域・在宅看護概論Ⅰ
2 年	小児看護目的論、精神看護対象論、精神看護目的論、地域・在宅看護概論Ⅱ
3 年	の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 9. 03	金	3	公衆衛生の理念	【遠隔:オンデマンド】 公衆衛生の始まりと健康を維持する要因	1	箕浦
2	2021. 9. 03	金	4	公衆衛生の現状と動向	【遠隔:オンデマンド】 1. 公衆衛生の現状と動向 2. 公衆衛生に関する法規	2	
3	2021. 9. 10	金	3	疫学の基礎	【遠隔:オンデマンド】 疫学と健康指標	3	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
4	2021. 9. 10	金	4	感染症とその関連法規	【遠隔: オンデマンド】 1. 感染症の現状と動向 2. 感染症の予防および感染症患者に対する医療に関する法律	4	箕浦
5	2021. 9. 17	金	3	食品保健と栄養	【遠隔: オンデマンド】 1. 食品衛生と食品に関する法 2. 公衆衛生と栄養	5	
6	2021. 9. 17	金	4	母子保健と学校保健	【遠隔: オンデマンド】 1. 母子保健の現状と動向 およびその関係法規 2. 学校保健の現状と動向およびその 関係法規	6 7	
7	2021. 10. 01	金	3	生活環境と地域保健活動	【遠隔: オンデマンド】 1. 化学的環境、社会的環境、 地球環境、身の回りの環境 2. 地域保健活動の現状と動向および 地域保健法	8 9	
8	2021. 10. 01	金	4	生活習慣病と健康教育	【遠隔: オンデマンド】 1. 生活習慣病の現状と動向 2. 生活習慣病予防に関する法規 3. 健康教育・ヘルスプロモーション	10 11	
9	2021. 10. 15	金	3	保健衛生法	【遠隔: オンデマンド】 1. 保健衛生法 1) 共通保健法 2) 分野別保健法	12	
10	2021. 10. 15	金	4	産業保健	【遠隔: オンデマンド】 1. 産業保健の現状と動向 2. 産業保健に関する法規	13	
11	2021. 10. 29	金	3	法の概念と衛生法規	【遠隔: オンデマンド】 1. 法の概念 2. 衛生法規とは 1) 医事法規 2) 薬事法規	14 15	
12	2021. 10. 29	金	4	医事法	【遠隔: オンデマンド】 1. 医事法 医療法、医療関係資格法、保健医療 福祉資格法および医療を支える法	16	
13	2021. 11. 05	金	3	精神保健福祉	【遠隔: オンデマンド】 1. 精神保健福祉の現状と動向 2. 精神保健福祉に関する法規	17	
14	2021. 11. 05	金	4	労働法と環境法	【遠隔: オンデマンド】 1. 労働法 2. 環境法 3. 労働法および環境法に関する我が 国の課題	18 19	
15	2021. 11. 12	金	4	総まとめ	【遠隔: オンデマンド】 まとめ	1～19	

社会福祉

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 銚丸 俊一

授業形式等 : 講義 (遠隔) 演習 (対面)

担当教員 : 銚丸 俊一 (実務教員) : 昭和大学江東豊洲病院総合サポートセンター

●一般目標 (GIO)

人々の地域や家庭での生活へのトータルケアマネジメントの基礎的能力を身につけるために、現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向、医療保険、介護保険、所得保障、公的扶助、社会福祉 (権利擁護・児童福祉・女性福祉・障害者福祉) の各制度の課題とサービスを理解できる。現場の事例と各制度・サービスの関係性を理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

1. わが国の社会保障制度について説明できる。
2. 現代社会の変化 (人口動態・人口構成・地域社会の変化) と社会保障・社会福祉の動向を説明できる。
3. 社会保険制度について説明できる。
4. 医療保障制度について説明できる。
5. 介護保険制度について説明できる。
6. 公的扶助制度について説明できる。
7. 権利擁護について説明できる。
8. 児童福祉・女性福祉について説明できる。
9. 障害者福祉について説明できる。
10. 医療と社会福祉の連携とその実際について説明できる。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (70%)、オンデマンド授業課題提出 (20%) 演習参加 (10%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●アクティブ・ラーニング

社会保障・社会福祉の諸制度を活用する事例検討を行う。大学病院での看護師が会う、心理・社会的支援が必要な患者・家族の立場を考え、その支援方法について主体的に検討していく。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
鉾丸 俊一	遠隔：メール 対面：終了後、その場で質問を受け付ける	s-hokomaru@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護師には、人々の地域や家庭での生活へのトータルケアマネジメントの視点とともに、様々な福祉職への理解と連携の姿勢が期待されている。そのため、看護師には社会保障・社会福祉制度に関する知識・素養がますます必要となってくる。そこで、本授業は社会保障・社会福祉制度とそれらの政策的課題を学び、チーム医療における看護師として、必要な隣接領域学問のひとつである、ソーシャルワークの関わり方・倫理・アセスメント・支援計画を理解して、協働して解決する過程を自身で導く内容とする。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

現代社会の変化と社会保障・社会福祉諸制度・ソーシャルワークの視点を理解することで、多様な個人・家族・地域、保健・医療・福祉に関わるそれぞれの専門職と良好な人間関係を構築し、個人・家族・地域について幅広く対象を理解する力を育む。

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	社会福祉と社会保障	増田雅暢 島田美喜 平野かよ子	メディカ出版	2020.1 .15

●準備学習(予習・復習)

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 公衆衛生学と関係法規、社会学、母性看護対象・目的論、地域・在宅看護概論Ⅰ
2年 地域・在宅看護概論Ⅱ、地域・在宅看護援助論Ⅰ～Ⅲ、各領域の科目
3年の科目全般

●予定表

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

*9, 10 回は AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 9. 3	金	2	現代社会と社会福祉・社会保障	【遠隔・オンデマンド】 1. 生活課題と社会福祉・社会保障 2. 地域自立生活支援 3. 社会福祉法	2	鉾丸
2	2021. 9. 10	金	2	暮らしと社会福祉・社会保障 ①	【遠隔・オンデマンド】 1. 社会保障の定義 2. 社会保障の歴史	1	鉾丸
3	2021. 9. 17	金	2	暮らしと社会福祉・社会保障 ②	【遠隔・オンデマンド】 1. 社会福祉の担い手と役割	2 10	鉾丸

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
4	2021. 10. 01	金	2	福祉の実践、資源の活用①	【遠隔・オンデマンド】 1. 社会福祉実践の目的 2. 社会福祉（ソーシャルワーク）実践方法・技術	7 10	鉾丸
5	2021. 10. 15	金	2	福祉の実践、資源の活用②	【遠隔・オンデマンド】 1. 社会資源の活用方法 2. ネットワークづくり	10	鉾丸
6	2021. 10. 22	金	1	ライフサイクルと社会福祉 ①	【遠隔・オンデマンド】 1. 子ども・家庭福祉 2. 子育て支援・少子化対策 3. 児童虐待（防止） 4. 母子保健・特定妊婦 5. 児童福祉法 6. 女性福祉（DV 防止）	7 8	鉾丸
7	2021. 10. 29	金	2	ライフサイクルと社会福祉 ②	【遠隔・オンデマンド】 1. 障害児・者と福祉 2. 障害者総合支援法 3. 相談支援 4. 自立支援医療 5. 補装具費 6. 難病対策	9	鉾丸
8	2021. 11. 5	金	2	ライフサイクルと社会福祉 ③	【遠隔・オンデマンド】 1. 高齢者保健福祉施策 2. 老人福祉法 3. 高齢者の権利擁護 4. 高齢者虐待（防止） 5. 地域包括支援センター	2 5 10	鉾丸
9	2021. 11. 19	金	1 2	事例検討	【対面】 演習・グループワーク 1. 児童虐待・DV・特定妊婦事例 2. 高齢者虐待事例	7 8 10	鉾丸
10	2021. 11. 26	金	1 2	事例検討	【対面】 演習・グループワーク 1. 権利擁護事例 2. 単身・独居・親族無：高齢者在宅支援事例	2 5 7 10	鉾丸
11	2021. 12. 03	金	2	生活保護	【遠隔・オンデマンド】 1. 公的扶助制度の仕組み 2. 生活困窮者自立支援法	6	鉾丸
12	2022. 1. 14	金	2	地域福祉	【遠隔・オンデマンド】 1. 地域福祉の定義 2. 地域福祉計画 3. 社会福祉協議会 4. 地域包括ケアシステム	2 10	鉾丸
13	2022. 1. 17	月	1	社会保障制度（社会保険）①	【遠隔・オンデマンド】 1. 公的年金制度の仕組み 2. 企業年金 3. 雇用保険 4. 労災保険	1	鉾丸
14	2022. 1. 21	金	2	社会保障制度（社会保険）②	【遠隔・オンデマンド】 1. 医療保険制度の仕組み 2. 健康保険 3. 高額療養費（限度額適用認定） 4. 出産育児一時金 5. 後期高齢者医療	3 4	鉾丸

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
15	2021. 1. 24	月	1	社会保障制度（社会保険）制度③	【遠隔・オンデマンド】 1. 介護保険制度の仕組み 2. 要介護認定 3. ケアマネジャー 4. ケアプラン	5	鉾丸

健康教育論

対象学年 : 1 学年 後期

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 堀川 浩之

授業形式等 : 講義 (対面)

担当教員 : 堀川 浩之 : 富士吉田教育部 教授

●一般目標 (GIO)

対象の健康状況を理解し介入計画の立案・実行および評価ができるようにために、支援者として必要な健康教育の基本理念・概念を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 健康とは何かについて説明できる。
2. ヘルスビリーフモデルについて説明できる。
3. セルフケア、エンパワメントを支えるセルフエフィカシーについて説明できる。
4. 行動変容の段階とそれぞれのステージに応じた健康教育の方法を説明できる。
5. 計画的行動理論を説明できる。
6. ストレス理論とコーピングを説明できる。
7. ソーシャルサポートを種類分けし説明できる。
8. 社会的学習理論とローカルオブコントロールを説明できる。
9. 討議において自己の役割を適切に果たすことができる。
10. ヘルスプロモーションの活動戦略を説明できる。
11. 事例に対して健康教育モデルをどのように展開するか説明できる。

●評価方法

評価方法 : レポート (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) に ついて周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
- ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
- ・その他、明確な理由があると思われるもの

※成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●アクティブ・ラーニング

第 1 回ではグループワークを取り入れる。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
堀川 浩之	メールでの対応とする。大学指定のメールアドレス (●●●@stud.showa-u.ac.jp のもの) 以外での問い合わせには対応しない。また、メールの件名に科目名を入れ、本文中に自身のクラス・番号・名前を明記すること。これ以外のものも対応しない。	horikawa@cas.showa-u.ac.jp

●授業概要

健康教育は、単に人々に健康について教える教育ではなく、人々が自分自身で、あるいは自分たちで求め獲得できるように支援することが基本となる。そのため、支援者として必要な健康教育の基本理念・概念を学修する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「専門的実践能力」の達成を中心に学ぶ。対象者の健康を保持増進するための知識・技能を理解し実践する能力を身につける。またグループワークでは自らの役割を理解し、他者の意見を傾聴する態度を養いコミュニケーション能力を高める。

●教材（テキスト、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
参考書	行動科学 健康づくりのための理論と応用	畑栄一、土井由利子	南江堂	2009

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0s を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。講義終了後は、事後学修として、講義内容を整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 公衆衛生学と関係法規、専門分野 I
2 年の領域の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2022. 2. 7	月	2	健康の概念	【対面】 1. 健康の定義 2. 健康教育とは 3. 健康づくり調査	1, 9	堀川 浩之
2			3	行動変容（個人）モデル	【対面】 1. KAP モデル 2. ヘルスビリーフモデル 3. セルフエフィカシー	2, 3	堀川 浩之
3			4	行動変容（個人）モデル	【対面】 1. 行動変容と健康教育の方法 2. 計画的行動理論	4, 5	堀川 浩之
4	2022. 2. 14	月	3	行動変容（個人間）モデル	【対面】 1. ストレス理論とコーピング 2. ソーシャルサポート	6, 7	堀川 浩之
5			4	行動変容（個人間）モデル	【対面】 社会的学習理論とローカルオブコントロール	8	堀川 浩之
6	2022. 2. 15	火	3	行動変容（集団）のモデル	【対面】 ヘルスプロモーションの活動戦略	10	堀川 浩之
7			4	健康教育の実際	【対面】 生活習慣病への健康教育	11	堀川 浩之

リハビリテーション論

対象学年 : 1 学年 後期

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 仲保 徹

授業形式等 : 講義 (遠隔)・演習 (遠隔・対面)

担当教員 : 仲保 徹(実務教員) : 保健医療学部 理学療法学科 准教授
 川手 信行(実務教員) : リハビリテーション医学診療科 教授
 前田 卓也(実務教員) : 保健医療学部 理学療法学科 講師
 鶴田 かおり(実務教員) : 保健医療学部 理学療法学科 講師
 松本 有祐(実務教員) : 昭和大学病院リハビリテーションセンター (理学療法士)
 関 雅良(実務教員) : 昭和大学病院リハビリテーションセンター (作業療法士)
 尾崎 尚代(実務教員) : 保健医療学部 理学療法学科 准教授
 上條 史子(実務教員) : 保健医療学部 理学療法学科 講師
 石原 剛(実務教員) : 保健医療学部 理学療法学科 講師

●一般目標 (GIO)

障害をもつ人々に対し、社会復帰に向けての看護実践に必要なリハビリテーションを実施できる能力を身につけるために、リハビリテーションとその技術を幅広く学修する。

●行動目標 (SBOs)

1. リハビリテーションの概要について説明できる。
2. 運動器疾患のリハビリテーションについて説明できる。
3. 脳血管疾患のリハビリテーションについて説明できる。
4. 呼吸理学療法について説明できる。
5. 虚血性心疾患のリハビリテーションについて説明できる。
6. リハビリテーションにおける機能評価等の基本的技術を習得する。

●アクティブ・ラーニング

講義の内容の中で興味関心があったことについて、自ら調べ簡潔にまとめる。まとめた内容は授業後に定められた Google フォーム上に提出する (講義課題)。

●評価方法

評価方法 : 講義課題 (20%) 定期試験 (筆記試験) (80%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
仲保 徹	電子メールで質問を受け付ける。	nakabo@nr.showa-u.ac.jp
川手信行		kawate@med.showa-u.ac.jp
前田卓也		maeda.t@cmed.showa-u.ac.jp
鶴田かおり		k.tsuruta@cmed.showa-u.ac.jp
松本有祐		matsu-2118@cmed.showa-u.ac.jp
関 雅良		otseki@cmed.showa-u.ac.jp
尾崎尚代		h_ozaki@cmed.showa-u.ac.jp
上條史子		kamijo@nr.showa-u.ac.jp
石原 剛		trepaese08@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護師には対象となる人々が地域や家庭での生活をその人らしく、障害があっても出来る限り不自由がないように支える能力が期待される。そのため、後遺症が残りやすい主な疾患のリハビリテーションの知識とともに、日常生活において看護師が関わる基本的技術を習得する内容とする。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「チーム医療」「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	成人看護学⑤ リハビリテーション看護	黒宮 暁子他	メディカ出版	2020

●準備学習(予習・復習)

各講義の行動目標を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 臨床医学Ⅰ～Ⅴ、日常生活援助《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ
 2年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
 3年の科目全般

●予定表 6, 7回目はAB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 11. 26	金	4	リハビリテーションの概要	【遠隔：オンデマンド】 1. リハビリテーションの定義と概念 2. リハビリテーションの対象 3. 疾病・障害・生活機能分類 4. リハビリテーションの分野 5. リハビリテーション看護の対象	1	川手

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
2	2021. 12. 03	金	3	運動器疾患のリハビリテーション	【遠隔：オンデマンド】 1. 運動器系の障害とリハビリテーション 1) 骨折のリハビリテーションプログラム 2) 変性疾患のリハビリテーション 3) 末梢神経障害のリハビリテーション 2. 廃用性症候群の予防 1) 関節拘縮 (1) メカニズム (2) 評価 (3) 予後 2) 筋萎縮 (1) メカニズム (2) 評価 (3) 予後・回復 (4) 治療・訓練と看護 3. 運動器系の障害に対する運動療法	2	前田 仲保
3	2021. 12. 16	木	4	脳血管疾患のリハビリテーション	【遠隔：オンデマンド】 1. 脳神経障害とリハビリテーション 1) リスク管理 2) 片麻痺の運動機能評価 3) 高次脳機能評価 4) 片麻痺に対する運動療法 (1) ベッドサイドでのリハビリテーション (2) 基本動作獲得に向けたトレーニング 5) 社会生活復帰に向けた支援	3	関 仲保
4	2021. 12. 23	木	4	呼吸理学療法	【遠隔：オンデマンド】 1. 基本概念 2. 呼吸運動の指導 1) リラクゼーション・ストレッチ 2) ロすぼめ呼吸 3) 腹式呼吸 3. 気道浄化 1) 排痰手技(スクイーピング) 4. 運動療法 1) 持久力トレーニング 2) 筋力増強運動 3) ADL トレーニング 4) リスク管理	4	鶴田 仲保
5	2022. 1. 14	金	3	虚血性心疾患のリハビリテーション	【遠隔：オンデマンド】 1. 急性期リハビリテーション 1) 段階的な離床 2. 回復期リハビリテーション 1) 運動療法 (1) ウォームアップ (2) 持久力トレーニング (3) レジスタンストレーニング (4) レクリエーション運動 (5) クールダウン 2) リスク管理	5	松本 仲保

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
6	2022. 1.27	木	4	リハビリテーションにおける機能評価等の基本的技術	【対面】 1. 演習にてベッドサイドで行う身体機能の評価・運動療法を実施 1) 運動機能の評価（関節運動、筋力） 2) 関節運動トレーニング（可動域改善・筋力強化） 3) リスク管理 2. 演習にて病棟でのリハビリテーションを実施 1) 各種歩行補助具の使用方法 2) 歩行介助 3) リスク管理	6	1. 担当 仲保 石原 2. 担当 尾崎 上條
			3				
7	2022. 2.3	木	4				
			3				

病 理 学

対象学年	: 1 学年 通年
単位・時間数	: 1 単位 15 時間
担当講師名	: 矢持 淑子
授業形式等	: 講義 (遠隔)
担当教員	: 矢持 淑子: 医学部 臨床病理診断学教授

●一般目標(GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、疾患の原因、発症、進展過程について修得する。

●行動目標(SBOs)

1. 病理学の定義・分類が説明できる。
2. 疾患の原因と分類が説明できる。
3. 先天異常について説明できる。
4. 代謝障害について説明できる。
5. 循環障害について説明できる。
6. 炎症について説明できる。
7. 免疫について説明できる。
8. 腫瘍について説明できる。
9. 老化と死が生物学的に説明できる。

●評価方法

評価方法: 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) に ついて周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
- ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
- ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
矢持 淑子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	onizuka@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

病理学は看護師が科学的根拠に基づいた看護を行う場合の土台となる学問であり、疾患の発症・進展の過程、患者に対する影響を学ぶ。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	疾病の成り立ち① 病態生理学	山内 豊明	メディカ出版	2020

●準備学習(予習・復習)

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、臨床看護総論、老年看護対象・目的論、成人看護対象・目的論、小児看護対象論
2 年	臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目全般
3 年	の科目全般

●予定表

*一部 AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 9. 06	月	3	病理学の定義・分類、疾病の原因・分類	【遠隔: オンデマンド】 1. 病理学の定義、分類 2. 疾病の原因 1) 内因、外因 2) 公害病、 3) 医原病など 3. 疾病の分類 1) 先天異常 2) 代謝障害 3) 循環障害 4) 炎症 5) 腫瘍	1 2	矢持
2	2021. 9. 13	月	3	先天異常・代謝障害	【遠隔: オンデマンド】 1. 先天異常 1) 診断と予防法 (1) 遺伝障害 (2) 胎児奇形 (3) 先天異常 2. 代謝障害 1) 脂質・タンパク質・糖質の代謝障害 2) 退行性病変、進行性病変	3 4	
3	2021. 10. 04	月	3	循環障害 老化と死	【遠隔: オンデマンド】 1. 循環障害 1) 血液・リンパ節の循環障害、 組織変化 2. 老化と死	5 9	
4	2021. 10. 14	木	4 1	炎症と免疫①	【遠隔: オンデマンド】 1. 生体防御作用としての炎症 2. 免疫の働き	6 7	

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
5	2021. 10. 18	月	3	炎症と免疫②	【遠隔: オンデマンド】 3. アレルギー	6 7	矢持
6	2021. 10. 25	月	3	腫瘍①	【遠隔: オンデマンド】 1) 発生や分類 2) 転移と進行度	8	
7	2021. 11. 1	月	3	腫瘍②	【遠隔: オンデマンド】 3) 診断		

臨床医学 I

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 柴田 雅子

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 : 安原 努 (実務教員) : 昭和大学大学院 保健医療学研究科 准教授

扇谷 芳光 (実務教員) : 医学部 放射線医学 (放射線科学部門) 教授

伊藤 芳紀 (実務教員) : 医学部 放射線医学 (放射線科治療学部門) 教授

三浦 倫一 (実務教員) : 医学部 麻酔科学講座 准 教授

小林 玲音 (実務教員) : 医学部 麻酔科学講座 講師

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために、診察手技、症候、診断方法および主な治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 臨床検査とその役割について説明できる。
2. 画像診断とその役割について説明できる。
3. 疾患に対して行われる主な治療とその意義や特徴について説明できる。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) に ついて周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。

- ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー : 授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
安原 努	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	rinbyou@med.showa-u.ac.jp
扇谷 芳光		ohgiya@med.showa-u.ac.jp
伊藤 芳紀		yito@med.showa-u.ac.jp
三浦 倫一		z22miura@med.showa-u.ac.jp
小林 玲音		reon_pc@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

臨床現場における各種検査、画像診断、放射線治療、外科的治療とその意義について実例を示しながら解説する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床検査	大久保昭行 編集	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学	福田国彦 他著	医学書院	2016

●準備学習(予習・復習)

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅱ～Ⅴ、フィジカル・アセスメント
 2年 治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、各領域の科目
 3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 10. 06	水	4	臨床検査とその役割①	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 一般検査 2. 血液検査	1	安原
2	2021. 10. 13	水	4	臨床検査とその役割②	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 化学検査 2. ホルモン検査 3. 生理機能検査		
3	2021. 10. 20	水	4	臨床検査とその役割③	【遠隔授業：オンデマンド】 4. 免疫・血清検査 6. 微生物検査 7. 病理検査		
4	2021. 10. 27	水	4	画像診断とその役割①	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 放射線診断 1) X線診断 2) 血管造影 3) IVR	2	扇谷
5	2021. 11. 20	土	1	画像診断とその役割②	【遠隔授業：オンデマンド】 4) MRI 5) 超音波検査 6) 核医学診断	2	扇谷
6	2021. 11. 24	水	4	主な治療とその意義①	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 放射線治療 1) 人体に対する影響 2) 治療の3原則 3) 治療の方法	3	伊藤

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
7	2021. 12.01	水	4	主な治療とその意義②	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 外科的治療 1) 手術侵襲と生体反応	3	三浦
8	2021. 12.08	水	4	主な治療とその意義③	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 外科的治療 1) 手術侵襲と生体反応	3	小林

臨床医学Ⅱ

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 柴田 雅子

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 :

浅野 拓 (実務教員)	: 医学部 内科学講座 循環器内科学部門	准教授
安達 太郎 (実務教員)	: 医学部 内科学講座 循環器内科学部門	講師
松本 英成 (実務教員)	: 医学部 内科学講座 循環器内科学部門	講師
住田 有弘 (実務教員)	: 医学部 内科学講座 循環器内科学部門	講師
児玉 雄介 (実務教員)	: 医学部 内科学講座 循環器内科学部門	講師
塚本 茂人 (実務教員)	: 医学部 内科学講座 循環器内科学部門	講師
金子 堯一 (実務教員)	: 医学部 内科学講座 循環器内科学部門	講師
望月 泰秀 (実務教員)	: 医学部 内科学講座 循環器内科学部門	講師
相良 博典 (実務教員)	: 医学部 内科学 (呼吸器・アレルギー内科学部門)	教授
田中 明彦 (実務教員)	: 医学部 内科学 (呼吸器・アレルギー内科学部門)	准教授
鈴木 慎太郎 (実務教員)	: 医学部 内科学 (呼吸器・アレルギー内科学部門)	講師
山本 真弓 (実務教員)	: 医学部 内科学 (呼吸器・アレルギー内科学部門)	講師

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために、系統的疾患 (循環器・呼吸器) の病態生理・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 主な循環器疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
2. 主な呼吸器疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) に ついて周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー：

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
浅野 拓	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	t-asano@med.showa-u.ac.jp
安達 太郎		adachitaro@med.showa-u.ac.jp
松本 英成		matsumoto.hidenari@med.showa-u.ac.jp
住田 有弘		sumida@med.showa-u.ac.jp
児玉 雄介		yk2857@med.showa-u.ac.jp
塚本 茂人		shigeosaka777@med.showa-u.ac.jp
金子 堯一		k-kaneko@med.showa-u.ac.jp
望月 泰秀		y_mochizuki@med.showa-u.ac.jp
相良 博典		sagarah@med.showa-u.ac.jp
田中 明彦		tanakaa@med.showa-u.ac.jp
鈴木 慎太郎		szshintr@med.showa-u.ac.jp
山本 真弓		ymym0018@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各種疾患の病態生理・症状・治療・検査について実例を示しながら解説する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	疾患と看護① 呼吸器	讃井 将満 他著	メディカ出版	2020
テキスト	疾患と看護② 循環器	野原 隆司 他著	メディカ出版	2020

●準備学修(予習・復習)

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅱ～Ⅴ、フィジカル・アセスメント
2年 治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、各領域の科目
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象SBOs	担当
1	2021. 9.02	木	1	循環器系の病状と病態生理	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 動悸 2. 呼吸困難 3. 胸痛 4. チアノーゼ 5. 浮腫など	1	住田
2	2021. 9.9	木	1	循環器系の検査と介助	【遠隔授業：オンデマンド】 1. X線検査 2. 心電図 3. 心エコー 4. 心臓カテーテル 5. 核医学など	1	安達

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
3	2021. 9. 16	木	4 1	循環器系の代表的な治療法	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 内科的治療法 2. 外科的治療法	1	望月
4	2021. 9. 30	木	4 1	循環器系の主な病態と治療	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 心不全、ショック、動脈硬化など		松本
5	2021. 10. 07	木	4 1	循環器系の主な疾患の 病態生理・症状・治療①	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 血圧異常 2. 血管系疾患 1) 大動脈 2) 末梢動脈 3) 静脈系		金子
6	2021. 10. 20	木	2	循環器系の主な疾患の 病態生理・症状・治療②	【遠隔授業：オンデマンド】 3. 不整脈		浅野
7	2021. 11. 04	木	4	循環器系の主な疾患の 病態生理・症状・治療③	【遠隔授業：オンデマンド】 4. 心臓弁膜症 5. 心膜心筋疾患 6. 先天性心疾患		浅野
8	2021. 11. 18	木	4	循環器系の主な疾患の 病態生理・症状・治療④	【遠隔授業：オンデマンド】 7. 虚血性心疾患		塚本
9	2021. 10. 06	水	1	呼吸器系の主な症状と病態 生理	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 呼吸器の基礎 1) 解剖生理 2) 病態 3) 症候	2	山本
10	2021. 10. 13	水	1	呼吸器系の検査と介助	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 閉塞性疾患（喘息、COPD）		相良
11	2021. 10. 20	水	1	呼吸器系の主な疾患の病態 生理・症状・治療①	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 感染症 1) 感冒 2) 肺炎 3) 結核 4) 非結核性抗酸菌症		山本
12	2021. 10. 27	水	1	呼吸器系の主な疾患の病態 生理・症状・治療②	【遠隔授業：オンデマンド】 2. びまん性肺疾患 1) サルコイドーシス 2) 過敏性肺臓炎 3) 抗酸球性肺炎		鈴木
13	2021. 11. 17	水	1	呼吸器系の主な疾患の病態 生理・症状・治療③	【遠隔授業：オンデマンド】 3. 胸膜疾患 4. 縦隔疾患 5. 肺塞栓症		鈴木
14	2021. 11. 20	土	2	呼吸器系の主な疾患の病態 生理・症状・治療④	【遠隔授業：オンデマンド】 6. 肺がん 7. 腫瘍性疾患 (気管支鏡、CT 下穿刺などの検査含 む)	2	田中
15	2021. 11. 24	水	1	呼吸器系の主な疾患の病態 生理・症状・治療⑤	【遠隔授業：オンデマンド】 8. 呼吸不全 (SAS, HOT や人工呼吸器含む)		田中

臨床医学Ⅲ

対象学年 : 1 学年 後期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 柴田 雅子

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 :

五藤 哲 (実務教員) : 医学部 外科学 (消化器・一般外科学部門) 講師

吉田 仁 (実務教員) : 医学部 内科学 (消化器内科学部門) 教授

高野 祐一 (実務教員) : 昭和大学藤が丘病院 消化器内科 講師

伊藤 敬義 (実務教員) : 昭和大学江東豊洲病院 消化器内科 准教授

江口 潤一 (実務教員) : 昭和大学江東豊洲病院 消化器内科 講師

鈴木 泰平 (実務教員) : 医学部 内科学 (腎臓内科学部門) 助教

伊與田 雅之 (実務教員) : 医学部 内科学 (腎臓内科学部門) 兼任教授

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために、主な系統的疾患 (消化器・腎臓) の病態生理・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 主な消化器系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
2. 主な腎臓疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー :

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
五藤 哲	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	sg46284628@med.showa-u.ac.jp
吉田 仁		hyoshida@med.showa-u.ac.jp
高野 祐一		yuichi1028@med.showa-u.ac.jp
伊藤 敬義		tito@med.showa-u.ac.jp
江口 潤一		j.eguchi@med.showa-u.ac.jp
伊與田 雅之		iyoda@med.showa-u.ac.jp
鈴木 泰平		taihei-s@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各種疾患の病態生理・症状・治療・検査について実例を示しながら解説する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	疾患と看護③ 消化器	三原 弘 他著	メディカ出版	2020
テキスト	疾患と看護⑧ 腎・泌尿器	西山 博之 他著	メディカ出版	2020

●準備学習(予習・復習)

各講義の SBOs を確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅱ～Ⅴ、フィジカル・アセスメント
 2 年 治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、各領域の科目
 3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 10. 04	月	1	消化器系疾患の病状と病態	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 嚥下困難 2. 嘔吐 3. 吐血、下血 4. 下痢、便秘 5. 腹部膨満、腹痛、腹水	1	五藤 他
2	2021. 10. 11	月	1	主な消化器系の検査	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 肝機能検査 2. 放射線検査 3. 内視鏡検査 4. 腹部超音波検査 5. CT 6. MRI 7. シンチグラフィー生検 8. 血管造影		
3	2021. 10. 18	月	1	主な消化器系疾患と治療①	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 胃・十二指腸潰瘍 (上部消化管良性疾患)		
4	2021. 10. 25	月	1	主な消化器系疾患と治療②	【遠隔授業：オンデマンド】 2. 食道がん、胃がん (上部消化管悪性疾患)		
5	2021. 11. 01	月	1	主な消化器系疾患と治療③	【遠隔授業：オンデマンド】 3. 潰瘍性大腸炎 4. クロールン病 5. 腸閉塞症 6. 腹膜炎 (下部消化管良性疾患)		

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
6	2021. 11. 22	月	1	主な消化器系疾患と治療④	【遠隔授業：オンデマンド】 7. 大腸がん (下部消化管悪性疾患)	1	五嶋 他
7	2021. 11. 29	月	1	主な消化器系疾患と治療⑤	【遠隔授業：オンデマンド】 8. 肝疾患① 1) 肝炎、肝硬変症 2) 門脈圧亢進症，肝不全、肝がん		吉田
8	2021. 12. 06	月	1	主な消化器系疾患と治療⑥	【遠隔授業：オンデマンド】 9. すい臓がん 10. 膵炎		高野
9	2021. 12. 13	月	1	主な消化器系疾患と治療⑦	【遠隔授業：オンデマンド】 11. 肝疾患② 1) 肝炎、肝硬変症 2) 門脈圧亢進症 3) 肝不全、肝がん		伊藤
10	2021. 12. 20	月	1	主な消化器系疾患と治療⑧	【遠隔授業：オンデマンド】 12. 胆石 13. 胆嚢・胆管炎		江口
11	2022. 1. 28	金	2	主な腎臓疾患の症状と病態 生理	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 浮腫 2. 高血圧 3. 尿毒症 4. 水電解質 5. 血液異常	2	鈴木
12	2022. 2. 04	金	2	腎臓疾患の検査	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 腎機能検査、超音波検査 2. 放射線検査、CT, MRI 3. シンチグラフィー、生検、血管造影		伊與田
13	2022. 2. 09	水	4	糸球体腎炎の病態と治療	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 急性腎炎症候群 2. 慢性腎炎症候群 3. ネフローゼ症候群		
14	2022. 2. 10	木	2	腎不全の病態と治療	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 急性腎障害 2. 慢性腎臓病		
15	2022. 2. 16	水	2	腎代替療法	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 血液透析 2. 腹膜透析		

臨床医学Ⅳ

対象学年 : 1 学年 後期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 柴田 雅子

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員:

寺崎 道重 (実務教員) : 医学部 内科学糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 講師
 福井 智康 (実務教員) : 医学部 内科学糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 准教授
 森 雄作 (実務教員) : 医学部 内科学糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 准教授
 小原 信 (実務教員) : 医学部 内科学糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 講師
 黄川 恵慈 (実務教員) : 昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター/内科 講師
 飯田 達也 (実務教員) : 医学部 内科学糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 助教
 広村 宗徳 (実務教員) : 医学部 内科学糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 講師
 若林 邦伸 (実務教員) : 医学部 内科学リウマチ・膠原病内科学部門 講師
 齋藤 文護 (実務教員) : 医学部 内科学血液内科学部門 講師

●一般目標 (GIO)

看護を实践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために、主な系統的疾患 (代謝系、内分泌系、アレルギー・膠原病、血液系) 疾患の病態生理・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 主な代謝系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
2. 主な内分泌系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
3. 主なアレルギー・膠原疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
4. 主な血液系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
寺崎道重	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	ttmichi@med.showa-u.ac.jp
福井智康		showauft@med.showa-u.ac.jp
森 雄作		u-mori@med.showa-u.ac.jp
小原 信		s6018@med.showa-u.ac.jp
黄川 恵慈		y.kigawa@med.showa-u.ac.jp
飯田 達也		tatsu-ii@med.showa-u.ac.jp

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
広村 宗徳		hiromura@med.showa-u.ac.jp
若林 邦伸		kuninobu@med.showa-u.ac.jp
齋藤 文護		b-saito@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各種疾患の病態生理・症状・治療・検査について実例を示しながら解説する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	疾患と看護④ 血液/アレルギー・膠原病/感染症	薊 隆文 他著	メディカ出版	2020
テキスト	疾患と看護⑧ 腎・泌尿器/内分泌・代謝	繪本 正憲 他著	メディカ出版	2020

●準備学習(予習・復習)

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ・臨床医学Ⅱ～Ⅴ・フィジカル・アセスメント
2年 治療処置における援助《理論・実践》・成人看護援助論Ⅰ・各領域の科目
3年の科目全般

●予定表

*一部AB合同クラス・CD合同クラスの2クラス制で行う。

*時限—上段：ABクラス、下段：CDクラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象SBOs	担当
1	2022.1.12	水	3	代謝系の主な疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔授業：オンデマンド】糖尿病-1(診断、病態、細小血管障害など)	1	寺崎
2	2022.1.21	金	1	代謝系の主な疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔授業：オンデマンド】糖尿病-2(急性合併症、治療など)		福井
3	2022.1.26	水	1 4	代謝系の主な疾患の病態生理・症状・検査・治療③	【遠隔授業：オンデマンド】糖尿病-3(治療、メタボリック症候群、大血管障害)		小原
4	2022.2.1	火	4	代謝系の主な疾患の病態生理・症状・検査・治療④	【遠隔授業：オンデマンド】脂質異常症		広村
5	2022.2.04	金	1	内分泌系の主な疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔授業：オンデマンド】1. 内分泌総論・下垂体疾患	2	森

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
6	2022. 2. 08	火	3	内分泌系の主な疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔授業：オンデマンド】 2. 甲状腺疾患	2	黄川
7	2022. 2. 10	木	1	内分泌系の主な疾患の病態生理・症状・検査・治療③	【遠隔授業：オンデマンド】 3. 副腎疾患	2	飯田
8	2022. 1. 31	月	1	免疫アレルギーの基礎	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 免疫アレルギー総論	3	若林
9	2022. 2. 08	火	2	アレルギー性疾患の病態生理・症状・検査・治療	【遠隔授業：オンデマンド】 2. アレルギー疾患各論 1) 気管支喘息 2) アレルギー性鼻炎 3) アトピー性皮膚炎 4) 接触性皮膚炎 5) 薬物・食物アレルギー 6) アナフィラキシー		
10	2022. 2. 09	火	2	リウマチ膠原病疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔授業：オンデマンド】 3. リウマチ膠原病疾患各論 1) 関節リウマチ 2) リウマチ性多発筋痛症 3) 全身性エリテマトーデス 4) 全身性強皮症	3	若林
11	2022. 2. 16	水	1	リウマチ膠原病疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔授業：オンデマンド】 4. リウマチ膠原病疾患各論 5) 多発性筋炎・皮膚筋炎 6) 混合性結合組織病 7) 血管炎症候群 8) シェーグレン症候群 9) ベーチェット病 10) 成人発症スティル病		
12	2021. 11. 19	金	4	血液系疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 正常の造血、白血球、赤血球、血小板の役割 2. 骨髄穿刺、出血傾向の検査	4	齋藤
13	2021. 12. 03	金	4	血液系疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔授業：オンデマンド】 3 非悪性腫瘍の病態		
14	2021. 12. 09	木	1 4	血液系疾患の病態生理・症状・検査・治療③	【遠隔授業：オンデマンド】 4. 造血器腫瘍（白血病、悪性リンパ腫）の診断と治療		
15	2021. 12. 17	金	4	血液系疾患の病態生理・症状・検査・治療④	【遠隔授業：オンデマンド】 5. 造血細胞移植と移植チーム医療		

臨床医学V

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 柴田 雅子

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 : 永井 隆士 (実務教員) : 医学部 整形外科学 准教授
 筒井 完明 (実務教員) : 医学部 整形外科学 講師
 清野 毅俊 (実務教員) : 医学部 整形外科学 講師
 丸山 博史 (実務教員) : 医学部 整形外科学 講師
 吉川 泰司 (実務教員) : 医学部 整形外科学 講師
 鈴木 佳宣 (実務教員) : 医学部 脳神経外科学 兼任講師
 石垣 征一郎 (実務教員) : 医学部 内科学神経内科学部門 兼任講師
 詫間 隆博 (実務教員) : 医学部 内科学臨床感染症学部門 講師

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために、主な系統的疾患 (運動器、脳神経疾患、感染症) 疾患の病態生理・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 主な運動器系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
2. 主な脳・神経系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
3. 感染症の概念・分類・発生の機序とその原因菌、感染経路について説明できる。
4. 主な感染症疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。

●アクティブ・ラーニング

一部グループワークを行う (感染症)

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
稲垣 克記	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	katsu@med.showa-u.ac.jp
永井 隆士	電子メールでも質問を受け付ける。	ppp4989@med.showa-u.ac.jp
鈴木 佳宣	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
石垣 征一郎	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	s.gaki1117@med.showa-u.ac.jp
詫間 隆博	電子メールでも質問を受け付ける。	takuma@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各種疾患の病態生理・症状・治療・検査について実例を示しながら解説する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	疾患と看護⑦ 運動器	荻野浩 他著	メディカ出版	2020
テキスト	疾患と看護⑤ 脳・神経	永廣信治 他著	メディカ出版	2020
テキスト	疾患と看護④ 血液/アレルギー・膠原病/感染症	薊 隆文 他著	メディカ出版	2020
参考図書	東京都感染症マニュアル	東京都感染症マニュアル 検討委員会監修	東京都情報連絡室	

●準備学習(予習・復習)

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

13回または14回をグループワークとし、グループ毎に与えられたテーマについて、パワーポイント等の発表形式にまとめ14回終了までに提出すること。提出された資料は、15回に講義形式で解説する際に使用し、補足や改良点などフィードバックされる。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅱ～Ⅴ、フィジカル・アセスメント
 2年 治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、各領域の科目
 3年の科目全般

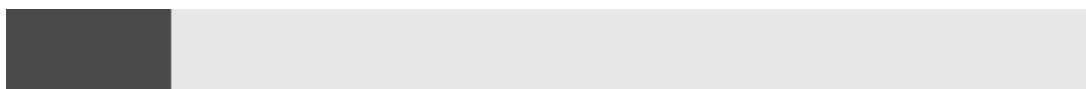
●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2022. 1. 15	土	1	主な運動器系の検査	【遠隔: オンデマインド】 1. 関節可動域 2. 関節造影 3. 脊髄造影 4. 骨密度 骨粗鬆症領域(骨粗しょう症)	1	永井
2	2022. 1. 29	土	1	主な運動器系疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔: オンデマインド】 手外科領域(骨折、神経麻痺、血管損傷、ばね指、テニス肘、ギプス、牽引、運動療法、水治療法、温熱療法、作業療法、手術療法、義肢、装具など)		筒井
3	2022. 2. 05	土	1	主な運動器系疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔: オンデマインド】 スポーツ・膝領域(靱帯損傷、骨折、脱臼、捻挫)	1	清野
4	2022. 2. 08	火	1	主な運動器系疾患の病態生理・症状・検査・治療③	【遠隔: オンデマインド】 脊椎外科(脊髄損傷、腰椎椎間板ヘルニア、骨髄炎、骨腫瘍、重症筋無力症など)		丸山
5	2022. 2. 14	月	1	主な運動器系疾患の病態生理・症状・検査・治療④	【遠隔: オンデマインド】 股関節、小児領域(変形性関節症、小児整形外科疾患)		吉川

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
6	2021. 9. 13	月	4	主な脳・神経系疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔: オンデマインド】 1. 意識障害、高次機能障害 運動機能障害、感覚機能障害 反射性運動の障害、頭蓋内圧亢進症状、 髄膜刺激症状、頭痛	2	鈴木
7	2021. 10. 4	月	4	主な脳・神経系疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔: オンデマインド】 2. 血管造影、CT、MRI、MRA、脳波、筋電図		
8	2021. 10. 18	月	4	主な脳・神経系疾患の病態生理・症状・検査・治療③	【遠隔: オンデマインド】 3. クモ膜下出血、脳内出血、脳梗塞 脳腫瘍、脳外傷、頭蓋内感染症		
9	2021. 10. 25	月	4	主な脳・神経系疾患の病態生理・症状・検査・治療④	【遠隔: オンデマインド】 4. 神経変性疾患(パーキンソン病)、認知症		石垣
10	2021. 11. 01	月	4	主な脳・神経系疾患の病態生理・症状・検査・治療⑤	【遠隔授業: オンデマインド】 5. 筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症、クロイツフェルト・ヤコブ病、脱髄性疾患(多発性硬化症)、ギランバレー症候群、てんかん		
11	2021. 11. 22	月	4	主な脳・神経系疾患の病態生理・症状・検査・治療⑥	【遠隔: オンデマインド】 6. 薬物療法、手術療法、放射線療法 理学療法、神経ブロック、電気治療		
12	2021. 11. 29	月	4	主な感染症検査	【遠隔: オンデマインド】 1. 血液検査、特異的血清学的診断 2. 塗抹検査、培養検査	3 4	詫間
13	2021. 12. 06	月	4	感染症疾患の病態生理・症状・治療・対策①	【遠隔: オンデマインド】 1. 細菌性感染症、抗酸菌感染症 2. ウイルス感染症 3. 真菌感染症、寄生虫感染症		
14	2021. 12. 13	月	4	感染症疾患の病態生理・症状・治療・対策②	【遠隔: オンデマインド】 4. 動物由来感染症、院内感染、日和見感染症 5. 薬物療法、手術療法、血清療法 ※グループ毎 レポート課題提出		
15	2021. 12. 20	月	4	感染症まとめ	【遠隔: オンタイム】 レポートのフィードバック、解説		

1 年

専門分野 I



看護学概論

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 神尾 由紀

授業形式等 : 講義 (対面、遠隔) 演習 (対面)

担当教員 : 五嶋 洋子 (実務教員) 福永 聖子 (実務教員) 神尾 由紀 (実務教員)
藤田 明里咲 (実務教員) 浅田 恵子 (実務教員) 秋庭 良子 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

専門職である看護師としての役割を考察するために、看護の基本となる概念を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 看護の役割と実践について説明できる。
2. 看護実践に関する法律と法的責任について説明できる。
3. 看護の発展と今後の課題を説明できる。
4. 看護の理論的枠組みである「看護」「人間」「環境」「健康」を説明できる。
5. 病院内における他部門の役割と看護師との連携について説明できる。
6. 基礎看護学実習での学びをケアリングの視点で振り返り記述できる。

●評価方法

評価方法と内訳

レポート (15%) ・ 課題 (45%) ・ 発表 (20%) ・ グループワーク (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブラーニング

「人間」「環境」「健康」「看護」の理論的枠組みを、理論家の考えを基にまとめ、発表することで他学生と学びを共有する。病院における他部門の役割について各自の調べた知識をグループで共有する。さらに、看護職と他部門の連携や看護職の役割の独自性についてグループで討議し、考察を深める。基礎看護学実習 I の体験からの学びをケアリングの視点でまとめ、グループで共有する。他者の体験からの学びは学生の追体験を促し、新たな発見や看護への関心を高める。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
福永 聖子	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 電子メールで質問を受け付ける。(9 時～17 時)	fukunaga@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護の役割について、歴史的視点・法律的視点・他部門からの視点・看護理論的視点など多角的視点から理解する。これらは、今後保健医療福祉の専門職として、人々の健康・生活へどのようにアプローチしていくかを考え上での礎となる。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、看護の概要について教授する。

●ディプロマポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーにおける「プロフェッショナルリズム」「チーム医療」「専門的実践能力」「自己研鑽」「アイデンティティ」を育むための科目として位置づけられる。看護の役割を多角的視点から学び、学生自身が専門職である看護の役割を考察する基盤となることを目指す。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 著	メディカ出版	2017
参考図書	看護覚え書	フローレンス・ナイチンゲール 湯槇ます 他訳	現代社	2016
参考図書	看護の基本となるもの	バージニア・ヘンダーソン 小玉香代子 訳	日本看護協会 出版	2006

●準備学習（予習・復習）

【予習】テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。

【学生同士のディスカッション】発表内容が他者に伝わるように事前準備を行ったうえで臨む。討議では、グループへ貢献できるよう、グループ内での役割や討議へ参加することを意識して臨む。

【復習】テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める。

●全学年を通しての関連科目

1 年：医療概論、公衆衛生学と関係法規、看護理論、共通基本技術、日常生活援助《理論編》、日常生活援助《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ

2 年：基礎看護学実習Ⅱ、分野別実習、領域横断演習

3 年：分野別実習、統合実習

●予定表

※AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4. 12	月	3	看護の変遷	【遠隔：オンデマンド】 1. 看護の変遷	1	五嶋
2	2021. 4. 19	月	3	看護の役割と実践	【遠隔：オンデマンド】 1. 看護の定義 2. 看護の役割と実践	2	五嶋
3	2021. 4. 26	月	2	看護実践に関する 法律と法的責任	【遠隔：オンデマンド】 1. 保健師助産師看護師法 2. 看護基礎教育と養成施設・制度 3. 看護職者の就業状況と継続教育 4. 看護師等の人材確保の促進に関する法律	3 4	五嶋

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
4	2021. 4. 26	月	3	看護の理論的枠組み（１）	【遠隔：オンデマンド】 1. 「人間」「健康」「環境」「看護」とは	5	五嶋
5	2021. 5. 10	月	3	看護の理論的枠組み（２）	【遠隔：オンデマンド】 2. 「人間」「健康」「環境」「看護」とは	5	五嶋
6	2021. 5. 12	水	1	看護の理論的枠組み（３）	【対面：演習】 1. 「人間」「健康」「環境」「看護」の定義について、理論家の考えをもとに深める	5	五嶋 他
			2				
7	2021. 5. 24	月	1	看護の理論的枠組み（４）	【対面】 2. 「人間」「健康」「環境」「看護」の定義について、理論家の考えをもとに深める	5	五嶋 他
			2				
8	2021. 5. 31	月	1	看護の理論的枠組み（５）	【対面：演習】 1. 発表とまとめ	5	五嶋 他
			2				
9	2021. 6. 7	月	1	他部門の役割と看護職の連携（１）	【対面：演習】 1. 病院内における他部門の役割	6	福永 他
			2				
10	2021. 6. 18	金	2	他部門の役割と看護の連携（２）	【遠隔：オンデマンド】 1. 病院内における他部門の役割について知識を深める	6	福永
11	2021. 6. 25	金	1	他部門の役割と看護の連携（３）	【対面：演習】 1. 他部門の役割について発表	6	福永 他
			3				
12	2021. 6. 25	金	2	他部門の役割と看護の連携（４）	【対面：演習】 1. 看護職と他部門との連携および看護の独自性の考察	6	福永 他
			4				
13	2021. 10. 21	木	1	ケアリングの概念（１）	【遠隔：オンデマンド】 1. ケアリングとは 2. 各理論家が考えるケアリング	7	福永
			4				
14	2021. 11. 18	木	1	ケアリングの概念（２）	【遠隔：オンデマンド】 1. 基礎看護学実習Ⅰでの学び ケアリングの視点で振り返り、まとめる。	7	福永
15	2021. 11. 25	木	1	ケアリングの概念（３）	【遠隔：オンタイム】 1. ケアリングレポートの発表と意見交換	7	福永
			2				

看護理論

対象学年 : 1 学年 通年
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 神尾 由紀
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 五嶋洋子 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

科学的看護の実践について考察するために、看護実践の基礎となる代表的な看護理論について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 看護理論の必要性について説明できる。
2. ナイチンゲール理論の実践への活用について説明できる。
3. ヘンダーソン理論の実践への活用について説明できる。
4. 科学的看護論の実践への活用について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（80%）、課題（20%）

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●ディプロマポリシーとの関連

本科目は、ディプロマポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「専門実践能力」の基礎を中心に学ぶ。ナイチンゲール、ヘンダーソンの看護理論より、看護師としての責務を自覚することで、医療実践するための行動理解の基盤とする。また、科学的看護論より、科学的根拠に基づき、身体的、心理的、社会的背景から対象を理解し、今後の看護過程の展開につなげるための基礎知識とする。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
五嶋 洋子	電子メールで質問を受け付ける。 (9:00~17:00)	yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護の主要な理論から、対象のニーズを充足するための看護技術、看護アプローチの方法を学修し、学問としての看護を考える。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、看護理論を看護実践に活用する知識を教授する。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
テキスト	看護覚え書	フローレンス・ナイチンゲール 湯楨 ます 他訳	現代社	2016
テキスト	看護の基本となるもの	バージニア・ヘンダーソン 小玉香代子訳	日本看護協会出版会	2006
参考図書	科学的看護論	薄井坦子	日本看護協会出版会	2008

●準備学習（予習・復習）

【予習】教科書の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を授業で確認し、明確な理解に達するようにする。

【復習】教科書、講義資料を用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。不明点は、オフィス・アワーを活用し確認する。

●全学年を通しての関連科目

1 年 看護学概論、日常生活援助《理論編》、日常生活援助《実践編》

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 9. 8	水	2	看護理論の必要性	【遠隔：オンデマンド】 1. 看護理論の定義 2. 看護理論の分類 3. ウェルネス	1	五嶋
2	2021. 9. 29	水	4 — 1	ナイチンゲール理論 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. フローレンス・ナイチンゲールの唱える看護 (1)	2	五嶋
3	2021. 10. 6	水	2	ナイチンゲール理論 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. フローレンス・ナイチンゲールの唱える看護 (2)	2	五嶋
4	2021. 10. 13	水	3	ヘンダーソン理論 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. バージニア・ヘンダーソンの唱える看護 (1)	3	五嶋
5	2021. 10. 20	水	3	ヘンダーソン理論 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. バージニア・ヘンダーソンの唱える看護 (2)	3	五嶋
6	2021. 10. 27	水	3	科学的看護論 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 薄井坦子の唱える科学的看護論 (1)	4	五嶋
7	2021. 11. 2	火	2	科学的看護論 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 薄井坦子の唱える科学的看護論 (2)	4	五嶋

共通基本技術

対象学年	: 1 学年 前期
単位・時間	: 1 単位 15 時間
責任者名	: 神尾 由紀
授業形式等	: 講義（遠隔） 演習（対面）
担当者	: 五嶋 洋子（実務教員） 藤田 明里咲（実務教員） 関根 和佳（実務教員） 桧山 優子（実務教員） 秋庭 良子（実務教員） 植田 光剛（実務教員）

●一般目標（GIO）

看護実践のあらゆる場面に共通する基本的な看護技術を修得するために、看護に必要な基本原則について理解する。

●行動目標（SBOs）

1. 看護技術の基本原則（安全・安楽・自立）について説明できる。
2. 看護におけるコミュニケーションの意義について説明できる。
3. 看護におけるコミュニケーションの基本的知識を説明できる。
4. 看護におけるコミュニケーションの基本的技術ができる。
5. 看護における観察・記録・報告の意義、目的について説明できる。
6. 看護における医療安全の意義と予防策について説明できる。
7. 感染予防の意義について説明できる。
8. 感染予防に必要な基本的知識・技術を説明できる。
9. 感染予防に必要な基本的技術が実施できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（80%）、課題（20%）

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
 2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブラーニング

演習では、講義で学んだスタンダードプリコーションを実施する。実施後は振り返りを行い、学生間で学びを共有する。さらに、日々の感染対策の徹底と、今後の演習や実習へとつなげていく。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
五嶋 洋子	電子メールで質問を受け付ける。 (9 時～17 時)	yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

人間関係を通して自己および他者の理解を深めるとともに、看護における「積極的関心」と「援助的関係」の意味を考える。また、看護実践のあらゆる場面に共通する基本的な看護技術を学修する。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、看護実践のあらゆる場面に共通する基本的な看護技術の知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマポリシー

本科目は、ディプロマポリシーの中で、「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「チーム医療」の基礎を中心に学ぶ。看護に必要な基本原則を理解することで、今後の看護実践に必要な知識・技術・態度の修得を目指す。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
テキスト	よくわかる看護者の倫理綱領	東京医科大学看護専門学校	照林社	2010

●準備学習（予習・復習）

【予習】テキストの該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を授業で確認し、明確な理解に達するようにする。また、関連動画を視聴する。

【復習】テキスト、講義資料を用いて、学修した内容を整理し理解を深める。不明点は、オフィス・アワーを活用し確認する。

●全学年を通しての関連科目

1 年 看護学概論、日常生活援助《理論編》

●予定表 ＊時限一対面・演習時は上段から ABCD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 4. 9	金	3	看護技術の基本原則	【遠隔：オンデマンド】 1. 安全・安楽・自立 2. 基本原則の優先順位	1	五嶋
2	2021. 4. 12	月	4	人間関係を成立・発展させるための技術（1）	【遠隔：オンデマンド】 1. コミュニケーション技術 2. 看護場面での効果的な コミュニケーション技術 3. 看護と人間尊重	2 3 4	五嶋
3	2021. 4. 16	金	3	人間関係を成立・発展させるための技術（2）	【遠隔：オンデマンド】 1. 観察・記録・報告の実際 1) 意義 2) 基本的知識・技術 3) 記録物の種類と管理方法	5	五嶋

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
4	2021. 4. 19	月	4	安全を守る技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 医療安全の意義と確保 2. 主な医療事故とその予防 3. 外傷、チューブ・ラインの 予防策 4. 誤薬の予防策 5. 誤嚥・窒息の予防策 6. 放射線・薬剤暴露の予防策	6	五嶋
5	2021. 4. 26	月	4	感染予防を推進する技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 感染予防の意義 2. 感染症に関する法律 3. 感染症を成立させる要素と 成立過程 4. 感染症を予防するための プロセス 5. 感染予防のための援助方法	7 8	五嶋
6	2021. 4. 30	金	3	感染予防を推進する技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 感染症発症時の対応	8	五嶋
7	2021. 5. 19	水	1 2 3 4	感染予防を推進する技術	【対面：演習】 1. 実習室にて、感染予防のた めの援助を実施する。 1) 手指衛生の実際 2) エプロンの着脱 3) 手袋の着脱	9	五嶋

日常生活援助《理論編》

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 神尾 由紀
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 五嶋 洋子 (実務教員) 藤田 明里咲 (実務教員) 秋庭 良子 (実務教員)
 塩川 優子 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

看護技術の基本的な成り立ちおよび人間の生活の特徴の理解に基づき、さまざまな状況にある人間の生活を整えるために、必要な看護技術の知識を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 患者を取り巻く生活環境の整備を説明できる。
2. 患者と看護師の双方が、安全・安楽な体位で、援助する方法を説明できる。
3. 車椅子、ストレッチャーへの移動・移送について説明できる。
4. 患者に応じた休息・睡眠のとり方を説明できる。
5. 患者が日常生活を送るために必要な排泄の援助方法が説明できる。
6. 患者が日常生活を送るために必要な清潔の援助方法を説明できる。
7. 栄養と食事のニーズを充足するための援助方法を説明できる。
8. 危篤・終末時における援助を説明できる。

●評価方法

評価方法：定期試験（筆記試験）（80%），課題（20%）

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

＊成績の再考を求めたりするものは受付けできない。
 ＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 ＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
五嶋 洋子	電子メールで質問を受け付ける。 (9:00~17:00)	yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
藤田 明里咲		a1218@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護技術の基本的な成り立ちおよび人間の生活過程の特徴の理解に基づき、さまざまな状況にある人間の生活過程を整えるために必要な看護を学修する。看護実践において対象の日常生活に関わるニーズを判断し、個別性を考慮する。そして、科学的根拠に基づく適切な方法で、人間の尊厳や権利の擁護、安全・安楽・自立に配慮した援助を実施するための知識・スキル・態度を学修する。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、多様な生活様式を持ちながら日常生活を送っている対象を理解し、基本的ニーズを充足する看護援助を行うために必要な生理的メカニズム、アセスメントの視点、看護援助方法の知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

科学的根拠に基づく適切な方法で、人間の尊厳や権利の擁護を行うことを理解することで、「プロフェッショナルリズム」の達成を学ぶ。安全・安楽・自立に考慮した援助を実施するための知識・スキル・態度を修得することで、「コミュニケーション能力」「チーム医療」「自己研鑽」の達成を学ぶ。また、さまざまな状態にある人間の生活家庭を整えるために個別性を考慮し、必要な看護を理解することで、「専門実践能力」の達成を学ぶ。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
参考図書	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・梶谷佳子 編著	メヂカル フレンド社	2015

●準備学習（予習・復習）

【予習】各講義の SB0s を確認し、テキストを予習する。わからない用語や内容はノートにまとめておき、講義時に確認する。また、関連動画を視聴する。

【復習】講義時の配布資料、テキストを復習する。講義で理解したこと、気付いたこと、感じたことを自分の言葉で整理すること。不明な点があれば、オフィス・アワーを活用し担当教員に直接質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学、生化学、人間関係論、医療概論、心理学、家族関係論、栄養学、病理学、臨床医学、リハビリテーション論、看護学概論、看護理論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、日常生活援助《実践編》、臨床看護総論、成人看護目的・対象論、老年看護対象・目的論

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 4. 13	火	1	快適な環境をつくる技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 環境の意義 2. 環境を整える技術 1) 患者の状態に合わせた方法の選択 2) 留意点、患者への配慮 3. 環境のアセスメント	1	秋庭
2	2021. 4. 16	金	4	効率的で安全な動きをつくり出す技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 安楽な体位 2. ボディメカニクス	2	秋庭

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
3	2021. 4. 20	火	1	活動・運動を支援する技術 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 活動・運動の意義 2. 活動・運動の生理学的メカニズム 3. 活動・運動のニーズのアセスメント	2 3	秋庭
4	2021. 4. 23	金	4	活動・運動を支援する技術 (2)	【遠隔：オンデマンド】 4. 活動・運動を支援する援助の実際 1) 体位変換 2) 移動・移送	2 3	秋庭
5	2021. 4. 27	火	1	休息・睡眠を促す技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 休息・睡眠の意義 2. 休息・睡眠のメカニズム 3. 休息・睡眠のニーズに関するアセスメント 4. 休息・睡眠を促す援助の実際	4	秋庭
6	2021. 4. 30	金	4	排泄を援助する技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 排泄・排便の意義 2. 排尿・排便の生理学的メカニズム 3. 排尿・排便のニーズのアセスメント 4. 排尿・排便障害の種類 5. 排尿・排便の援助	5	塩川
7	2021. 5. 7	金	3	身体の清潔を援助する技術 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 清潔の意義 2. 皮膚・粘膜の生理的メカニズムとケア 3. 清潔のニーズのアセスメント	6	藤田
8	2021. 5. 11	火	1	身体の清潔を援助する技術 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 陰部洗浄の援助方法と根拠	6	塩川
9	2021. 5. 14	金	3	身体の清潔を援助する技術 (3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 入浴・シャワー浴の援助方法と根拠	6	藤田
10	2021. 5. 18	火	1	身体の清潔を援助する技術 (4)	【遠隔：オンデマンド】 1. 手浴、足浴の援助方法と根拠	6	藤田
11	2021. 5. 28	金	2	身体の清潔を援助する技術 (5)	【遠隔：オンデマンド】 1. 洗髪の援助方法と根拠	6	藤田
12	2021. 6. 1	火	2	身体の清潔を援助する技術 (6)	【遠隔：オンデマンド】 1. 寝衣交換の援助方法と根拠	6	秋庭
13	2021. 6. 11	金	2	身体の清潔を援助する技術 (7)	【遠隔：オンデマンド】 1. 清拭の援助方法と根拠	6	秋庭

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
14	2021. 6.25	金	1 4	食事・栄養摂取を促す援助	【遠隔：オンデマンド】 1. 食事・栄養の意義 2. 食事に関する生理学的メカニズム 3. 食事と栄養に関する基礎知識 4. 栄養状態のメカニズム 5. 食事・栄養に関する援助の実際 1) 経口栄養 2) 経管栄養法 3) 空腸瘻法 4) 口腔ケア	7	藤田
15	2021. 7.1	木	1 4	危篤・終末時における援助	【遠隔：オンデマンド】 1. 人間にとっての危篤・終末時の意味 2. 危篤・終末時の心理的变化 3. 危篤・終末時の患者と家族の心理的ケア、身体的ケア 4. 危篤・終末時の生理的变化とケア 5. 終末を迎えた後のケア	8	藤田

日常生活援助《実践編》

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 45 時間

責任者名 : 神尾 由紀

授業形式等 : 演習 (対面)

担当教員 : 五嶋 洋子 (実務教員)	福永 聖子 (実務教員)	宮崎 志穂 (実務教員)
浅田 恵子 (実務教員)	神尾 由紀 (実務教員)	秋庭 良子 (実務教員)
関根 和佳 (実務教員)	植田 光剛 (実務教員)	柴田 恵美 (実務教員)
江副 秀美 (実務教員)	五味 淳子 (実務教員)	桧山 優子 (実務教員)
長谷川 和美 (実務教員)	小塚 智子 (実務教員)	矢嶋 裕里 (実務教員)
田中 比露美 (実務教員)	塩川 優子 (実務教員)	柴田 浩子 (実務教員)
藤田 明里咲 (実務教員)	菅原 睦子 (実務教員)	加賀美 美穂子 (実務教員)
花井 恵美子 (実務教員)	玉川 百里 (実務教員)	築瀬 真由美 (実務教員)
英 千秋 (実務教員)		

●一般目標 (GIO)

看護技術の基本的な成り立ちおよび人間の生活の特徴の理解に基づき、さまざまな状況にある人間の生活を整えるために、必要な看護技術を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 患者を取り巻く生活環境の整備が実施できる。
2. ボディメカニクスが、援助過程において実施できる。
3. 患者と看護師の双方が、安全・安楽な体位で、効果的・効率的にケアを実施できる。
4. 車椅子への移動・移送を実施できる。
5. ストレッチャーへの移動・移送を実施できる。
6. ベッドメイキングが実施できる。
7. 臥床患者のシーツ交換が一人で実施できる。
8. 患者が健康的な生活を送るために必要な排泄の援助方法を実施できる。
9. 患者が健康な生活を送るために必要な清潔の援助方法を効果的・効率的に実施できる。
10. 患者への配慮が援助過程において実施できる。
11. 日常生活援助に興味・関心を持ち、学生同士で協力し合い、グループで意見を言える。

●評価方法

評価方法 : 実技試験 (80%) 演習態度 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブ・ラーニング

演習時は事前学習での学びを活かし、看護技術を実施し、安全・安楽・自立について学びを深める。実施後は振り返りを行い、学びを共有する。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
秋庭 良子	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
藤田 明里咲		chobi@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

日常生活援助《理論編》の学習に基づき、援助技術とは何かということを探究し、看護実践において対象の日常生活に関わるニーズを判断し、個別性を考慮する。そして、科学的根拠に基づく適切な方法で、人間の尊厳や権利の擁護、安全・安楽・自立に配慮した援助を実施するための対象のニーズを充足するための基本的知識・スキル・態度を模擬患者への援助を実施することで、援助の技術を修得する。 担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、日常生活援助の知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

科学的根拠に基づく適切な方法で、人間の尊厳や権利の擁護を行うことを理解することで、「プロフェッショナルリズム」の達成を学ぶ。安全・安楽・自立に考慮した援助を実施するための知識・スキル・態度を修得することで、「コミュニケーション能力」「チーム医療」「自己研鑽」の達成を学ぶ。また、さまざまな状態にある人間の生活家庭を整えるために個別性を考慮し、必要な看護を理解することで、「専門実践能力」の達成を学ぶ。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
参考図書	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・梶谷佳子 編著	メヂカルフレンド 社	2015

●準備学習（予習・復習）

【予習】テキストと関連書籍の該当頁、日常生活援助《理論編》の講義資料を熟読するとともに、理解できない箇所を授業で確認し、明確な理解に達するようにする。また、関連動画がある場合は視聴する。 【復習】演習終了後演習の振り返りを行い、理解できなかったことは演習終了後もしくはオフィス・アワーを活用し担当教員に直接質問すること。
--

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学、生化学、人間関係論、医療概論、医療情報、心理学、家族関係論、栄養学、病理学、臨床医学、リハビリテーション論、看護学概論、看護理論、共通基本技術、臨床看護総論、日常生活援助《理論編》、フィジカル・アセスメント、成人看護目的・対象論、老年看護対象・目的論

●予定表 *時限一対面・オンタイム時は上段から ABCD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 5.26	水	1	快適な環境をつくる技術	1. 環境整備の実施	1	秋庭 藤田 福永
			2			10	
			3			11	
			4				
2	2021. 6.2	水	1	効果的で安全な動きをつくり出す技術（1）	1. ボディメカニクスの実施 2. 体位変換の実施 3. 移動・移送の実施	1	秋庭 藤田 福永
			2			2	
			3			3	
			4			4 5 10 11	
3	2021. 6.9	水	1	効果的で安全な動きをつくり出す技術（2）	1. ボディメカニクスの実施 2. 体位変換の実施 3. 移動・移送の実施	1	秋庭 藤田 福永
			2			2	
			3			3	
			4			4 5 10 11	
4	2021. 6.16	水	1	効果的で安全な動きをつくり出す技術（3）	1. ボディメカニクスの実施 2. 体位変換の実施 3. 移動・移送の実施	1	秋庭 藤田 福永
			2			2	
			3			3	
			4			4 5 10 11	
5	2021. 6.23	水	3	快適な環境をつくる技術（1）	1. ベッドメイキングの実施 1) ボディメカニクス 2) 体位変換	1	秋庭 藤田 福永
			4	効果的で安全な動きをつくり出す技術（1）		2	
			1	活動・運動を支援する技術（1）		3	
			2			6 7 10 11	
6	2021. 6.30	水	3	快適な環境をつくる技術（2）	1. ベッドメイキングの実施 1) ボディメカニクス 2) 体位変換	1	秋庭 藤田 福永
			4	効果的で安全な動きをつくり出す技術		2	
			1	（2）		3	
			2	活動・運動を支援する技術（2）		6 7 10 11	
7	2021. 7.1	木	3	快適な環境をつくる技術（3）	1. ベッドメイキングの実施 1) ボディメカニクス 2) 体位変換	1	秋庭 藤田 福永
			4	効果的で安全な動きをつくり出す技術（3）		2	
			1	活動・運動を支援する技術（3）		3	
			2			6 7 10 11	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
8	2021. 7. 7	水	3	排泄を促す技術	1. 排尿・排便の援助実施	1	塩川 秋庭
			4			2	
			1			3	
			2			8 10 11	
9	2021. 7. 14	水	3	身体の清潔を援助する技術 (1)	1. 陰部洗浄の援助の実施	1	塩川 秋庭
			4			2	
			1			3	
			2			8 9 10 11	
10	2021. 7. 16	金	3	身体の清潔を援助する技術 (2)	1. 足浴の援助の実施	1	藤田 秋庭 五嶋
			4			2	
			1			3	
			2			9 10 11	
11	2021. 9. 15	水	1	身体の清潔を援助する技術 (3)	1. 足浴の援助の実施	1	藤田 秋庭 五嶋
			2			2	
			3			3	
			4			9 10 11	
12	2021. 9. 28	火	1	身体の清潔を援助する技術 (4)	1. 足浴の援助の実施	1	藤田 秋庭 五嶋
			2			2	
			3			3	
			4			9 10 11	
13	2021. 10. 5	火	1	身体の清潔を援助する技術 (5)	1. 洗髪の援助の実施	1	藤田 秋庭 五嶋
			2			2	
			3			3	
			4			9 10 11	
14	2021. 10. 12	火	1	身体の清潔を援助する技術 (6)	1. 洗髪の援助の実施	1	藤田 秋庭 五嶋
			2			2	
			3			3	
			4			9 10 11	
15	2021. 11. 16	火	1	身体の清潔を援助する技術 (7)	1. 洗髪の援助の実施	1	藤田 秋庭 五嶋
			2			2	
			3			3	
			4			9 10 11	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
16	2021. 11.30	火	3	身体の清潔を援助する技術 (8)	1. 寝衣交換の援助の実施 1) 臥床患者 2) 骨折している患者 3) 点滴ラインが入っている患者	1	藤田 秋庭 五嶋
			4			2	
			1			3	
			2			9 10 11	
17	2021. 12.7	火	3	身体の清潔を援助する技術 (9)	1. 寝衣交換の援助の実施 1) 臥床患者 2) 骨折している患者 3) 点滴ラインが入っている患者	1	藤田 秋庭 五嶋
			4			2	
			1			3	
			2			9 10 11	
18	2021. 12.14	火	3	身体の清潔を援助する技術 (10)	1. 清拭・整容の実施 1) 臥床患者の全身清拭	1	藤田 秋庭 五嶋
			4			2	
			1			3	
			2			9 10 11	
19	2021. 12.21	火	3	身体の清潔を援助する技術 (11)	1. 清拭・整容の実施 1) 臥床患者の全身清拭	1	藤田 秋庭 五嶋
			4			2	
			1			3	
			2			9 10 11	
20	2022. 1.19	水	3	身体の清潔を援助する技術 (12)	1. 清拭・整容の実施 1) 臥床患者の全身清拭	1	藤田 秋庭 五嶋
			4			2	
			1			3	
			2			9 10 11	
21	2022. 1.25	火	3	実技の統合 (1)	1. まとめ	1	担当 教員 参照
			4			2	
			1			3	
			2			9 10 11	
22	2022. 1.26	水	3	実技の統合 (2)	1. まとめ	1	担当 教員 参照
			4			2	
			1			3	
			2			9 10 11	

実技試験	2022. 2.2	金	1~4	技術試験	試験内容：未定
------	--------------	---	-----	------	---------

臨床看護総論

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 神尾 由紀

授業形式等 : 講義 (遠隔) 演習 (対面)

担当教員 : 神尾 由紀 (実務教員) 藤田 明里咲 (実務教員) 野間 もえぎ (実務教員)
中畠 理香 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

あらゆる健康段階、診療過程に適した看護を実践するために、それぞれの健康段階の特徴・診療の基礎知識と看護について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 診療過程における看護の役割について説明できる。
2. 健康状態の経過にもとづく対象の特徴と看護について説明できる。
3. 多様化する看護活動の場と保健医療における看護の役割について説明できる。
4. 多職種の役割、多職種間との協働と連携、チーム医療の仕組みなどについて説明できる。
5. 病気を自覚していない健康な段階から急性期・回復期・慢性期・終末期へと、各段階に必要な看護活動を説明できる。
6. 検査・治療の意義、検査治療における看護者の役割を説明できる。
7. 化学療法の基礎知識と看護について説明できる。
8. 放射線療法を受ける患者の看護について説明することができる。
9. 主症状のメカニズムとその看護について説明することができる。
10. 主体的・積極的な学修態度で講義・グループワークに取り組むことができる。

●アクティブラーニング

グループワークでは、複数ある症状を分担して担当し、担当した症状のメカニズムとその看護について学習する。個人で学習した内容をグループで共有し、グループとしての学習の成果をまとめる。さらに、他の症状を担当しているグループへ担当した症状のメカニズムとその看護についてプレゼンテーションを行うことで、学びを共有し学習を深める。

●評価方法

評価方法：定期試験（筆記試験）（80％）課題（20％）

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
神尾 由紀	電子メールで（9:00～17:00）質問を受け付ける。	yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
藤田 明里咲		chobi@cmed.showa-u.ac.jp
野間 もえぎ		mao2000@cmed.showa-u.ac.jp
中畠 理香		r-nakajima@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

臨床看護総論では、あらゆる健康段階にある対象の特徴と診療の意義を学習する。さらに、グループワークを通して「症状のメカニズムとその看護」について考えられるようにする。担当教員は病院で勤務した経験があり、実務経験に基づいて診療の意義と看護の役割について教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

臨床看護総論は、本学ディプロマ・ポリシーにおける「コミュニケーション能力」、「専門的実践能力」、「自己研鑽」を育むための科目として位置づけられている。

あらゆる健康段階にある対象に対する看護について学習をすることで、専門的実践能力の基盤を育み、グループワークを通してコミュニケーション能力を育む。講義・グループワークでは主体的・積極的な学修態度を求めることで、自己研鑽を育む。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論	任和子 他 著	メディカ出版	2014
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 他 著	メディカ出版	2017
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント	松尾ミヨ子 他 著	メディカ出版	2018
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 他 著	メディカ出版	2017

●準備学習（予習・復習）

【予習】テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。SB0sを確認し教科書を予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点は聴講時に確認すること。

【復習】テキストおよびプリントを見直し、理解できなかった点については次回講義時またはオフィス・アワーに質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	健康科学、薬理学、健康教育論、形態機能学、生化学、病理学、臨床医学、看護学概論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント
2 年	看護過程の展開、治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 6. 22	火	1	臨床看護総論の枠組み	【遠隔：オンデマンド】 1. 臨床看護総論とは 2. 看護師の役割 3. 看護師の臨床判断プロセス	1 2	藤田
2	2021. 6. 29	火	1	看護活動の視点	【遠隔：オンデマンド】 1. 看護活動の場および機会 2. 患者の経過段階と看護	3 4 5	藤田
3	2021. 7. 5	月	3	検査・治療を安全かつ 正確に行う技術 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 検査の意義・目的・看護の 役割 2. 生体検査 3. 穿刺による検査	6	藤田
4	2021. 7. 9	金	2	検査・治療を安全かつ 正確に行う技術 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 検査の意義・目的・看護の 役割 2. 生体検査 3. 穿刺による検査	6	藤田
5	2021. 7. 12	月	3	検査・治療を安全かつ 正確に行う技術 (3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 検査の意義・目的・看護の 役割 2. 生体検査 3. 穿刺による検査	6	藤田
6	2021. 7. 19	月	3	検査・治療を安全かつ 正確に行う技術 (4)	【遠隔：オンデマンド】 1. 検査の意義・目的・看護の 役割 2. 生体検査 3. 穿刺による検査	6	藤田
7	2021. 10. 11	月	3 4	化学療法を受ける患者の 看護 (1)	【対面：講義】 1. 化学療法とは 2. 化学療法時の看護	7	野間
8	2021. 10. 22	金	4 3	化学療法を受ける患者の 看護 (2)	【対面：講義】 1. 化学療法とは 2. 化学療法時の看護	7	野間
9	2021. 10. 11	月	4 3	放射線療法を受ける患者 の看護 (1)	【対面：講義】 1. 放射線療法とは 2. 放射線療法時の看護	8	中寫
10	2021. 10. 28	金	4 3	放射線療法を受ける患者 の看護 (2)	【対面：講義】 1. 放射線療法とは 2. 放射線療法時の看護	8	中寫

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
11	2021. 12. 20	月	2	症状のメカニズムとその 看護 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 呼吸機能障害 1) 咳嗽・喀痰のメカニズム 関連図を含む 2) 咳嗽・喀痰時の看護	9 10	神尾
12	2022. 1. 17	月	4 3	症状のメカニズムとその 看護 (2)	【対面：演習】 1. 各症状のメカニズムとその 看護についてのグループワー クを実施 1) 呼吸困難 2) チアノーゼ 3) 胸痛 4) 浮腫 5) 吐き気・嘔吐 6) 吐血・喀血	9 10	神尾
13	2022. 1. 24	月	4 3	症状のメカニズムとその 看護 (3)	【対面：演習】 1. 各症状のメカニズムとその 看護についてのグループワー クを実施	9 10	神尾 他
14	2022. 1. 31	月	4 3	症状のメカニズムとその 看護 (4)	【対面：演習】 1. 発表	9 10	神尾 他
15	2022. 2. 10	水	4 3	症状のメカニズムとその 看護 (5)	【対面：演習】 1. まとめ	9 10	神尾 他

フィジカル・アセスメント

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 45 時間

責任者名 : 神尾 由紀

授業形式等 : 講義 (遠隔) 演習 (対面)

担当教員 : 五嶋 洋子 (実務教員) 福永 聖子 (実務教員) 浅田 恵子 (実務教員)
神尾 由紀 (実務教員) 秋庭 良子 (実務教員) 矢嶋 裕里 (実務教員)
藤田 明里咲 (実務教員) 中畠 理香 (実務教員) 野間 もえぎ (実務教員)
仲保 徹 (昭和大学保健医療学部 理学療法学科 : 准教授)

●一般目標 (GIO)

看護におけるフィジカルアセスメントを修得するために、患者の一般状態の観察や系統的な身体診査の技術を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. ヘルスアセスメントの意義および必要性を説明できる。
2. 人間を身体的・心理的・社会側面的にとらえる重要性を説明できる。
3. 環境の調整、対象者の準備、看護師の準備ができる。
4. 必要物品の特徴と使用用途について説明できる。
5. 対象者にわかりやすい言葉を使用し問診できる。
6. 視診、触診、打診、聴診ができる。
7. 身体計測と基本的技法を説明できる。
8. バイタルサインの正確な測定方法ができる。
9. 各系統別の構造と機能について説明できる。
10. 各系統別の身体的情報から対象者の健康レベルや正常・異常の判断をし、報告・記述できる。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%), 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブラーニング

演習では、講義で学習した知識を活用してフィジカルアセスメントを実践し、技術の習得を目指す。また、対象者への声掛けや配慮などフィジカルアセスメントに必要な看護者としての態度についても考える場とする。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
仲保 徹	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	nakabo@nr.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
矢嶋 裕里		yuriyajil128@cmed.showa-u.ac.jp
中畠 理香		r-nakajima@cmed.showa-u.ac.jp
野間 もえぎ		mao2000@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、対象者の健康状態を身体的・心理的・社会的側面から総合的にアセスメントをするための知識と基本的技術を学ぶ。特に身体的アセスメント（フィジカル・アセスメント）については、フィジカル・アセスメント技術の修得を図る。さらに対象者から得た身体の情報については、正常・異常の判断ができるよう学習を深める。担当教員は、病院で理学療法士や看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、フィジカル・アセスメントに必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

本科目は、ディプロマ・ポリシーにおける「プロフェッショナリズム」、「コミュニケーション能力」、「専門的実践能力」、「自己研鑽」を育むための科目として位置づけられている。フィジカルアセスメントの実践を通して、看護師に必要な知識・技術・態度の習得も目指す。さらに、実践を振り返り自己の課題を発見することで、自己研鑽を育む。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント	松尾ミヨ子他 著	メディカ出版	2018
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子他 著	メディカ出版	2017
テキスト	看護実践のための根拠がわかる 基礎看護学技術	角濱春美 他 著	メヂカルフレンド社	2020
参考図書	臨床ナースと学ぶ ケース別 フィジカルアセスメント のコツ	田中晶子・ 大崎千恵子 著	丸善出版	2020

●準備学習（予習・復習）

【予習】テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。授業の該当身体部位については、人体の構造と機能で学習したことを復習し、専門用語を確認しておく。

【復習】テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。自分の身体を用いて、発する音や反応を確認する。日常生活の中での身体変化に注意を向ける。

【演習】フィジカルイグザミネーション方法をまとめ演習に臨み、実践を振り返り事後学習して整理する。

●全学年を通しての関連科目

1 年	形態機能学、生化学、栄養学、リハビリテーション論、臨床医学、人間関係論、心理学、病理学、看護学概論、共通基本技術、臨床看護総論、日常生活援助《理論編》、日常生活援助《実践編》、成人看護目的・対象論、老年看護対象・目的論、基礎看護学実習Ⅰ
2 年	看護過程の展開

●予定表

* 演習時は ABCD の 4 クラス制で行う。時限ー上段から ABCD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 6. 2	水	4 1	ヘルスアセスメントと看護の役割	【遠隔：オンデマンド】 1. 身体を理解とそれに基づく判断力の重要性 2. ヘルスアセスメントとは 3. フィジカルアセスメントとは 4. フィジカルアセスメントの展開 5. 身体を理解と判断力の日常的鍛錬	1 2 3 4 5 6	神尾
2	2021. 6. 9	水	4 1	フィジカルアセスメントの必要物品とアセスメントのテクニック	【遠隔：オンデマンド】 1. アセスメントに臨む姿勢 2. フィジカルアセスメントの必要物品 3. 問診 4. 視診、触診、打診、聴診	1 2 3 4 5 6	神尾
3	2021. 6. 30	水	1 4	身体計測と基本的技法	【遠隔：オンデマンド】 1. 身体計測とは 2. 身体計測の方法の実際 3. アセスメントの進め方	7	神尾
4	2021. 7. 7	水	1 4	生命の徴候を観察する技術 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 観察とは 2. バイタルサインとは 1) 意識 2) 呼吸 3) 脈拍 4) 血圧 5) 体温	8	神尾
5	2021. 7. 14	水	1 4	生命の徴候を観察する技術 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. バイタルサインの測定の実際 2. バイタルサインの測定解釈と報告方法	8	神尾
6	2021. 9. 7	火	1 2 3 4	生命の徴候を観察する技術 (3)	【対面：演習】 1. バイタルサインの測定の実際 2. バイタルサインの測定解釈と報告方法	8	神尾 五嶋
7	2021. 9. 14	火	1 2 3 4	生命の徴候を観察する技術 (4)	【対面：演習】 1. バイタルサインの測定の実際 2. バイタルサインの測定解釈と報告方法	8	神尾 五嶋

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
8	2021. 9. 29	水	1	生命の徴候を観察する 技術	【対面：演習】 1. バイタルサインの測定の 実際 2. バイタルサインの測定解釈 と報告方法	8	神尾 五嶋
			2				
			3				
			4				
9	2021. 10. 19	火	1	生命の徴候を観察する 技術 (5)	【対面：演習】 1. バイタルサインの測定の 実際 2. バイタルサインの測定解釈 と報告方法	8	神尾 五嶋
			2				
			3				
			4				
10	2021. 10. 26	火	1	生命の徴候を観察する技 術 (6)	【対面：演習】 1. バイタルサインの測定の 実際 2. バイタルサインの測定解釈 と報告方法	8	神尾 五嶋
			2				
			3				
			4				
11	2021. 11. 2	火	3	肺（呼吸器系） のアセスメント (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 肺（呼吸器系）の構造と 機能 2. 肺（呼吸器系）の問診 3. 肺（呼吸器系）の視診、 触診、打診、聴診 4. アセスメントの進め方	9 10	中寫
12	2021. 11. 25	水	2	心臓・血管系（循環器 系）のアセスメント (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 心臓・血管系の構造と機能 2. 心臓・血管系の問診 3. 心臓・血管系の視診、 触診、打診、聴診 4. アセスメントの進め方	9 10	神尾
			1				
13	2021. 12. 1	水	1	筋・骨格系 のアセスメント	【遠隔：オンデマンド】 1. 筋・骨格系の構造と機能 2. 筋・骨格系の問診 3. 筋・骨格系の視診、触診 4. アセスメントの進め方	9 10	仲保
14	2021. 12. 3	金	1	腹部（消化器系） のアセスメント	【遠隔：オンデマンド】 1. 腹部（消化器系）の構造と 機能 2. 腹部（消化器系）の問診 3. 腹部（消化器系）の視診、 聴診、打診 4. アセスメントの進め方	9 10	野間 秋庭
15	2021. 12. 9	木	3	肺（呼吸器系） のアセスメント	【対面：演習】 1. 肺（呼吸器）のアセスマ ントの実際	10	中寫 秋庭
			4				
			1				
			2				
16	2021. 12. 10	金	3	心臓・血管系（循環器 系）のアセスメント	【対面：演習】 1. 心臓・血管系（循環器系） のアセスメントの実際	10	神尾 矢島
			4				
			1				
			2				

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
17	2021. 12. 13	月	3	神経系のアセスメント	【遠隔：オンデマンド】 1. 神経の構造と機能 2. 神経系のアセスメントの目的 3. 脳神経のアセスメント 4. 神経系の問診 5. 神経系の診査 1) 腱反射 2) 感覚 3) 小脳機能	9 10	仲保
18	2021. 12. 15	水	3 4 1 2	腹部（消化器系） のアセスメント	【対面：演習】 1. 腹部（消化器系）の アセスメントの実際	10	野間 秋庭
19	2021. 12. 22	水	3 4 1 2	肺（呼吸器系） 心臓・血管系 （循環器系） 腹部（消化器系） のアセスメント	【対面：演習】 1. 肺（呼吸器）の アセスメントの実際 2. 心臓・血管系（循環器系） のアセスメントの実際 3. 腹部（消化器系）の アセスメントの実際	10	神尾 他
20	2022. 1. 6	木	3 4 1 2	筋・骨格系の アセスメント 神経系のアセスメント	【対面：演習】 1. 筋・骨格系のアセスメント の実際 2. 神経系のアセスメントの 実際	10	秋庭 矢嶋
21	2022. 1. 13	木	3 4 1 2	筋・骨格系の アセスメント 神経系のアセスメント	【対面：演習】 1. 筋・骨格系のアセスメント の実際 2. 神経系のアセスメントの 実際	10	秋庭 矢嶋
22	2022. 1. 20	木	3 4 1 2	生命の徴候を観察する 技術	【対面：演習】 1. バイタルサインの測定の 実際 2. バイタルサインの測定解釈 と報告方法	8	担当 教員 参照

基礎看護学実習 I

対象学年 : 1 学年 後期

単位・時間数 : 1 単位 45 時間

責任者名 : 神尾 由紀

授業形式等 : 臨地実習

担当教員	: 五嶋 洋子 (実務教員)	福永 聖子 (実務教員)	花井 恵美子 (実務教員)
	浅田 恵子 (実務教員)	神尾 由紀 (実務教員)	秋庭 良子 (実務教員)
	関根 和佳 (実務教員)	植田 光剛 (実務教員)	柴田 恵美 (実務教員)
	江副 秀美 (実務教員)	桧山 優子 (実務教員)	加賀美 美穂子 (実務教員)
	菅原 睦子 (実務教員)	富崎 志穂 (実務教員)	長谷川 和美 (実務教員)
	小塚 智子 (実務教員)	矢嶋 裕里 (実務教員)	田中 比露美 (実務教員)
	塩川 優子 (実務教員)	柴田 浩子 (実務教員)	藤田 明里咲 (実務教員)
	玉川 百里 (実務教員)	築瀬 真由美 (実務教員)	英 千秋 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

看護専門科目の学習への動機づけをするために、入院生活を送る患者に対する援助の見学、バイタルサイン測定・コミュニケーションの体験を通して、講義・演習で学習した対象理解に必要な知識・技術・態度を認識する。

●行動目標 (SBOs)

1. 身体的な状態を理解するために必要な学習を実施できる
2. 入院生活を送る患者の思いを記述できる
3. 見学を通して、環境整備の必要性を記述できる。
4. 人と信頼関係を築くために必要な態度・行動について記述できる
5. バイタルサイン測定の必要物品の準備・点検が実施できる
6. バイタルサイン測定について患者へ説明し、同意を得られる
7. バイタルサイン測定指導項目用紙に沿ってバイタルサイン測定を実施できる
8. バイタルサイン測定実施後の報告ができる
9. 学習者としてふさわしい態度をとることができる

●評価方法

評価方法：実習内容（80％）実習態度（20％）

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
 2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブラーニング

実習で体験したことを振り返り、授業・演習での学習内容を関連させて考察する。カンファレンスでは自身の意見を持ち相手に伝えると同時し、相手の意見を取り入れて自身の学びとする。

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること。

主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導にあたる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
神尾 由紀	実習中は、電話にて質問を受け付ける。	yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
福永 聖子		fukunaga@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp
小塚 智子		tomoko@cmed.showa-u.ac.jp
矢嶋 裕里		yuriyajill28@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 浩子		tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子		sari2452@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百合		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp
富崎 志穂		artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
梁瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

援助の見学、バイタルサインの測定・コミュニケーションの体験、課題学習を通して、入院生活を送る患者を理解するために必要な知識・技術・態度を認識する。また、実習での体験を通して、今後の看護学の学修に向けて、看護実践能力獲得の視点から自己の課題を明確にする。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、実習指導者と連携をし、対象理解に関する知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本実習は、ディプロマ・ポリシーにおける「プロフェッショナリズム」、「コミュニケーション能力」、「チーム医療」、「専門的実践能力」、「自己研鑽」、「アイデンティティ」の達成を中心に学ぶ。臨地実習において看護師、患者、教員、他学生との関わりから、これらの基本的能力を身に着ける必要性について考える。自己を振り返り、自己の課題を明確にすることで、これらの基本的能力の基盤を身に着けることを目指す。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論	任和子 他 著	メディカ出版	2014
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 他 著	メディカ出版	2017

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント	松尾ミヨ子 他 著	メディカ出版	2018
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 他 著	メディカ出版	2017
テキスト	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱 晴美 他 著	メヂカルフレ ンド社	2020

●準備学習（予習・復習）

【予 習】	バイタルサイン測定、日常生活援助、療養環境、感染対策、看護者の倫理綱領など実習の目標達成に必要な課題や学習を行う。バイタルサイン測定に必要な技術の自己練習を行う。
【実習中】	実習において分からないことがある場合には、指導者やシャドーイングの看護師へ積極的に質問し、自己学習につなげられるようにする。
【復 習】	テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、実習で体験した内容を整理し、実習の学びをまとめる

●全学年を通しての関連科目

1 年	形態機能学、生化学、人間関係論、医療概論、医療情報、心理学、社会福祉、家族関係論、栄養学、病理学、臨床医学、リハビリテーション論、看護学概論、共通基本技術、看護理論、日常生活援助《理論編・実践編》、臨床看護総論、フィジカル・アセスメント、成人看護目的・対象論、老年看護対象・目的論
2 年	看護過程の展開

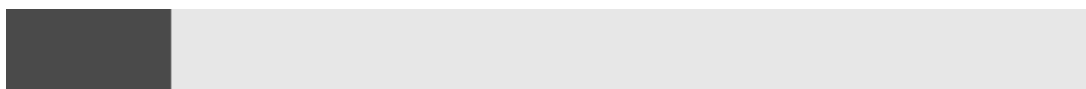
●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
オリエンテーション	2021.			実習オリエンテーション 事前課題	【遠隔：オンデマンド】 1. 実習要項、看護学実習手引きについて 2. バイタルサイン測定、日常生活援助、療養環境、感染対策、看護者の倫理綱領	1 2 3 4 5 6 7 8 9	担当 教員 参照
オリエンテーション	2021. 10. 22	金	3 ・ 4	実習オリエンテーション	1. 実習の自己目標の設定 2. 質疑に対する返答	1 2 3 4 5 6 7 8 9	担 当 教 員 参 照

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
病棟 実習 1 日目	前半 2021. 11. 8	月	1 ～ 4	病棟オリエンテーション シャドーイング 患者とのコミュニケーション カンファレンス	1. 病棟の特徴、病棟の構造・設備や物品 2. 療養生活に関する患者の思い 3. 入院環境の実際 4. 人と信頼関係を築くために必要な態度・行動	1 2 3 4 8 9	担 当 教 員 参 照
	後半 2021. 11. 10	水					
病棟 実習 2 日目	前半 2021. 11. 9	火	1 ～ 4	バイタルサイン測定 シャドーイング 患者とのコミュニケーション カンファレンス	1. バイタルサイン測定、物品の点検、説明と同意、反応の観察、報告 2. 療養生活に関する患者の思い 3. 入院環境の実際 4. 人と信頼関係を築くために必要な態度・行動	2 3 4 5 6 7 8 9	担当 教員 参照
	後半 2021. 11. 11	木					
課題 実習 1 日目	前半 2021. 11. 10	水	1 ～ 4	対象理解に必要な学習	1. 身体的状態の理解に必要な知識	1 3 4 9	担当 教員 参照
	後半 2021. 11. 8	月					
課題 実習 2 日目	前半 2021. 11. 11	木	1 ～ 4	対象理解に必要な学習	1. 身体的状態の理解に必要な知識	1 3 4 9	担当 教員 参照
	後半 2021. 11. 9	火					
ま と め	2021. 11. 12	金	1 ～ 4	実習のまとめ	1. 実習の学びの共有 2. 自己の課題の明確化	1 2 3 4 5 6 7 8 9	担当 教員 参照

1 年

専門分野Ⅱ



成人看護対象・目的論

対象学年 : 1 学年 通年
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 関根 和佳
 授業形式等 : 講義 (遠隔・対面)
 担当教員 : 関根 和佳 (実務教員) 柴田 恵美 (実務教員) 植田 光剛 (実務教員)
 英 千秋 (実務教員) 野間 もえぎ (実務教員)
 砂川 正隆 : 医学部 生理学講座生体制御学部門教授
 田中 大介 : 健康管理センター所長

●一般目標 (GIO)

成人期にある対象の看護実践に必要な基礎的知識を修得するために、社会的動向の特徴と関連させて成人期の身体的、精神的、社会的特徴と健康増進の方法について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 成人の生活の特徴について説明できる。
2. 成人各期の特徴を説明できる。
3. 成人期の家族・社会における役割やその変化を説明できる。
4. 発達段階における成人の発達課題を具体的に記述できる。
5. 成人期における生活習慣病の特徴と健康増進の方法について説明できる。
6. 職業性疾患の特徴と対応策を説明できる。
7. 成人学習者の特徴と学習方法について説明できる。
8. ストレスに関連する健康課題と対処法について説明できる。
9. 代替医療の中の東洋医学について述べられる。
10. セクシュアリティに関連する健康障害を述べられる。

●アクティブ・ラーニング

演習はグループワークでディスカッションを行い、成人期の特性について理解を深める。さらにプレゼンテーションを行う事で学生間の学びの共有に繋げる。

●評価方法

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) ・ 演習態度 (5%) ・ レポート (15%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績のご記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの

＊成績の再考を求めたりするものは受付できない。

＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
砂川 正隆	クラスルーム内で質問を受け付ける。	suna@med.showa-u.ac.jp
田中 大介		datalabo@nr.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 恵美	クラスルーム内で質問を受け付ける。	emishib@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

成人期の発達段階をふまえた身体的・精神的・社会的な特徴を理解する中に、多様性のある生活形態をもった対象への看護アプローチについてグループワーク・ディスカッション等を取り入れながら、看護として必要とされる知識、技術、態度についての考察を深める。

さらに、成人の健康増進については、代替医療の中でも東洋医学に焦点を当て、漢方や鍼、お灸、ツボ押しの基礎をセルフケアの視点もふまえて学修する。また社会的認知度が高まっている性の多様化については、幅広い視野を持ち、その特性についての理解を深める。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナルリズム」「コミュニケーション能力」「専門的実践能力」を中心に学ぶ。成人期の対象を理解し、看護実践に活かす手法の基礎的な知識・技術・態度の習得を目指す。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	成人看護学① 成人看護学概論	安酸史子 他	メディカ出版	2019
参考図書	看護師のための東洋医学入門	下平唯子 他	医歯薬出版株式会社	2012
プリント	成人期の特性、ストレスコーピング、東洋医学など			

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0₂、学習内容を確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。成人看護学の授業においては授業終時にリアクションペーパーを配布して学生からの意見、感想、疑問点などを共有したいと考えているが、早期に解決したいこと、理解したいことなどはオフィス・アワーを活用し、担当教員に直接質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 看護学概論、看護理論、公衆衛生学と関係法規、栄養学、健康教育論、家族関係論、人間関係論、教育学、社会学

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 5. 10	月	4	成人期の発達の特徴	【遠隔：オンデマンド】 1. 成人期にある人の理解 1) 成人の定義 2) 成人の特徴について 2. 成人の発達段階 1) 発達段階に関する理論 2) 各期の特徴 3. 成人の身体機能の特徴	1 4	柴田

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
2	2021. 5. 17	月	3	成人期の発達課題の特徴	【遠隔：オンデマンド】 1. 生活とは何か 2. 成人の生活の場 1) 生活の場 2) 生活様式 3. 成人期における生活の特徴	1 2	柴田
3	2021. 5. 25	火	1	成人期の家族・社会における役割と変化	【遠隔：オンデマンド】 1. 成人の役割 2. 健康観	1 3	柴田
4	2021. 5. 31	月	2 1	事例で考える成人の発達課題と役割	【講義：対面】 事例を用いたグループワーク	1 2 3 4	関根 植田 英 野間 柴田
5	2021. 6. 3	木	4	生活習慣に関連する健康障害	【遠隔：オンデマンド】 1. 生活習慣病の要因 2. 健康障害と対応策 1) 生活様式における食生活 2) 行動パターン 3) ストレス	5	柴田
6	2021. 6. 10	木	2	職業性疾患の特徴と課題	【遠隔：オンデマンド】 1. 職業に関連する健康障害と特徴 1) じん肺・有機溶剤中毒 2) 振動性障害 3) VDT 作業による健康障害 4) 過労死	6	柴田
7	2021. 6. 14	月	3	成人学習者の特性と学習方法	【遠隔：オンデマンド】 1. おとなの学びの特徴 2. 成人教育学の概念 1) アンドゴラシーモデル 3. おとなの学びの目標	7	柴田
8	2021. 6. 21	月	3	ストレスコーピング理論	【遠隔：オンデマンド】 1. ストレスコーピング理論 1) ストレスコーピング 2) ラザルスのストレスコーピング理論	8	柴田
9	2021. 6. 28	月	3	危機理論	【遠隔：オンデマンド】 1. 危機の特徴 1) アギューラを活用した危機介入 2) フィンクの危機介入	8	柴田
10	2021. 7. 2	金	1	代替医療の中の東洋医学(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 東洋医学について 1) 西洋医学との違い 2) 医療の歴史	9	砂川

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
11	2021. 7. 9	金	4	代替医療の中の東洋医学 (2)	【遠隔：オンデマンド】 2. 東洋医学の基本となる概念 1) 気・血・水 2) 陰陽	9	砂川
12	2021. 7. 15	木	4	代替医療の中の東洋医学 (3)	【遠隔：オンデマンド】 3. 東洋医学の治療方法 1) 漢方薬の特徴 2) 治療の特徴	9	砂川
13	2021. 9. 7	火	4 1	東洋医学を活用した看護ケ ア	【遠隔：オンデマンド】 1. ツボ押しのポイント 1) 症状緩和のツボ 2) ツボ押しの実際	9	砂川
14	2021. 9. 15	水	4 1	セクシュアリティとジェン ダー及びヒトの発生・性分 化のメカニズム・性の多様 性	【遠隔：オンデマンド】 1. セクシュアリティと健康に 関連する概念 1) セクシュアリティ 2) ジェンダー 2. ヒトの発生・性分化のメカ ニズム 1) 遺伝性 2) 性腺の分化 3) 性分化疾患 3. LGBT 4. 性同一性障害(GID)	10	田中
15	2021. 11. 4	木	1	まとめ (1～15 回)		1～ 10	柴田 関根 植田 英 野間

老年看護対象・目的論

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 桒山 優子

授業形式等 : 講義 (遠隔) 演習

担当教員 : 桒山 優子 (実務教員) 菅原 睦子 (実務教員)

江副 秀美 (実務教員) 柴田 雅子 (実務教員) 中畠理香 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

老年看護や役割を担うために、老年期を生きる人の特徴を加齢変化から理解し、高齢社会の動向と保健医療福祉施策や社会問題について修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 高齢者を多角的にとらえ、老年期を生きる人々のライフステージと健康問題について説明できる。
2. 高齢者の生理的老化がおよぼす日常生活への影響について説明できる。
3. 高齢者を取り巻く社会状況・保健医療福祉の動向を知り、サポートシステムについて述べることができる。
4. 老年看護の基本的な考え方と関連制度、倫理的課題について述べることができる。
5. 高齢者の特性をふまえた看護の役割について説明できる。

●アクティブ・ラーニング

演習は自己学習をふまえ、グループ内でディスカッションを行いながら学びを共有し、1 つの課題に取り組み、学びを深める。

●評価方法

定期試験 (65%) 課題 (25%) レポート (10%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

＊成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
桒山優子	講義終了後に質問を受け付ける。 電子メールもしくは Google クラスルーム内でも、土・日、祭日を除く 9:00~17:30 までに質問を受け付ける。	yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
菅原睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

「老いる」とは、どういうことなのかを知り、看護に必要な知識を学ぶ。現代の世界・日本で生きぬく高齢者の生活に目を向け、高齢者の生きてきた時代・背景に関心をもてるようにワークを取り入れながら、高齢者の身体面・心理面・社会的側面の理解を深められるようにする。また超高齢社会の背景や高齢者医療制度の変遷から倫理的課題を踏まえた、老年看護の役割を学ぶ。担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「専門的実践能力」の達成を中心に学ぶ。健康な高齢者の特徴を理解し、老年看護学の基礎を学ぶ科目である。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ① 高齢者の健康と障害	堀内 ふき他編	メディカ出版	2021
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ② 高齢者看護の実践	堀内 ふき他編	メディカ出版	2021

●準備学修（予習・復習）

各講義の SBOs を確認し、テキストを読み、わからないことを明確にして講義に臨む。関連動画がある場合は視聴する。復習してもわからない点はノートにまとめ、聴講時に確認する。

●全学年を通しての関連科目

1 年 倫理学、コミュニケーション論、家族関係論、形態機能学Ⅰ～Ⅳ、公衆衛生学と関係法規
社会福祉、健康教育論、看護理論、共通基本技術、老年看護援助論Ⅰ

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス。ABCD の 4 クラス制で行う場合は、時限 - 上段から ABCD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 5. 28	金	1	高齢者の理解 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者とは 1) ライフサイクルからみた高齢者の理解 2) 加齢と老化 3) 老化理論	1 2	桒山
2	2021. 6. 3	木	2	高齢者の理解 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 老年期の特徴と理解 1) 老年期の発達課題 2) 高齢者の多様性 3) 生活史を通じた理解	1 2	桒山
3	2021. 6. 4	金	1	高齢者にとっての健康と QOL	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者にとっての健康の意義 1) 老年期の健康と健康の目標 2) 高齢者の健康状態のアセスメント 2. 高齢者の健康増進 3. 高齢者にとっての QOL	1 2 3	桒山

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
4	2021. 6.10	木	1	加齢に伴う変化(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 身体機能の生理的変化(1) 1) 循環器系の変化 2) 呼吸器系の変化 3) 消化器系の変化 4) 腎・泌尿器系の変化	2	菅原
5	2021. 6.11	金	1	加齢に伴う変化(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 身体機能の生理的変化(2) 1) 感覚系の変化 2) 外皮系の変化 3) 骨・筋・運動系の変化	2	菅原
6	2021. 6.18	金	1	加齢に伴う変化(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 身体機能の生理的変化(3) 1) 内分泌系の変化 2) 免疫系の変化 2. 心理・精神機能の変化 1) 老いへの適応 2) 高齢者の認知能力の変化 3) 加齢と人格	2	菅原
7	2021. 7.2	金	4 2	高齢者を取りまく 社会	【遠隔：オンタイム】 グループワーク 1. 社会的機能の変化 2. 高齢者の生活と家族 1) 高齢者がいる家族 2) 高齢者と家族の関係 3. 高齢者が生活する場 4. 社会参加	3	桒山 菅原 江副
8	2021. 7.9	金	1	高齢者のコミュニケーション	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者の理解とコミュニケーション 1) 高齢者の聴覚・視覚機能 2) 高齢者の精神機能 3) 高齢者のコミュニケーションを 困難にするその他の要因 4) 看護とコミュニケーション技術	2 5	菅原
9	2021. 7.16	金	4 3 2 1	老化がおよぼす日 常生活への影響	1. 高齢者疑似体験 1) 高齢者の日常生活の体験 2) 高齢の日常生活の援助のあり かたについて考える	2	桒山 菅原 江副 柴田(雅) 中寫
10	2021. 11.5	金	1	高齢者を支える制度 と社会資源(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者を支える制度 1) 高齢者を支える制度の全体像 2) 医療保険制度 3) 介護保険制度	3 4	桒山
11	2021. 11.17	水	3	高齢者を支える制度 と社会資源(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者を支える社会資源 1) 社会資源とは 2) 社会資源の種類 3) 高齢者看護・介護とテクノロジー	3 4	桒山

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
12	2021. 11. 24	水	3	多様な生活の場における看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 地域包括ケア 1) 介護保険施設 2) 地域密着型サービス 3) ディサービス・デイケア	3 4	桧山
13	2021. 12. 1	水	3	高齢者の権利擁護と関連制度 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者看護における倫理 (1) 1) 高齢者の自己決定 2) 高齢者虐待と身体拘束	4	菅原
14	2021. 12. 8	水	3	高齢者の権利擁護と関連制度 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者看護における倫理 (2) 1) 尊厳死と延命治療 2) 成年後見制度	4	菅原
15	2021. 12. 18	土	1	高齢者看護の基本	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者看護の特性 2. 高齢者に関わる諸理論	5	桧山

老年看護援助論 I

対象学年 : 1 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 桧山 優子
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 江副 秀美 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

高齢者の健康を維持・向上と看護を援助するために、老年期を生きる人々の生活および多様性を多角的に理解し、老年看護に必要な基礎的知識と技術を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 高齢者のヘルスアセスメントについて説明できる。
2. 高齢者の日常生活を支えるための基本的なケアについて述べることができる。
3. 高齢者が感染症にかかりやすい背景を知り、罹患しやすい感染症の看護について述べるができる。
4. 高齢者のリスクマネジメントについて述べるができる。

●評価方法

定期試験 (80%) レポート (20%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

*成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
江副秀美	講義終了後に質問を受け付ける。 電子メールもしくは Google クラスルーム内でも、 土・日、祭日を除く 9:00～17:30 までに質問を受け付ける。	h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

超高齢社会の中で、高齢者の特徴を踏まえた看護の基礎を学ぶ。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナルリズム」「コミュニケーション能力」「専門的実践能力」の達成を中心に学ぶ。健康な高齢者が加齢に適応し、健康の維持が図れるような看護援助の基本を学ぶ。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ① 高齢者の健康と障害	堀内 ふき他編	メディカ出版	2021
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ② 高齢者看護の実践	堀内 ふき他編	メディカ出版	2021

●準備学修（予習・復習）

高齢者の特徴を踏まえながら、高齢者の健康状態のアセスメントや看護を展開するために必要な基礎的知識と援助方法を学ぶ。老年看護対象・目的論での高齢者の特徴を復習し、授業に臨む。また関連動画がある場合は視聴する。講義ごとに関連する他の授業内容とともに復習する。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、微生物学、栄養学、健康教育論、共通基本技術、日常生活援助<理論編>日常生活援助<実践編>、フィジカル・アセスメント、老年看護対象・目的論

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 11.18	木	2	高齢者に対するア セスメント(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者の健康状態のアセスメン ト 1) 日常生活動作 2) 高齢者総合的機能評価	1 2	江副
2	2021. 12.4	土	2	高齢者に対するア セスメント(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者に対するフィジカル・ア セスメント 2. 高齢者のバイタルサイン	1	江副
3	2021. 12.16	木	2	高齢者の食生活を 支える看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 食生活 2. 生活習慣病 2. フレイル	2	江副
4	2021. 12.23	木	2	高齢者の排泄を支 える看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 排泄 2. 尿失禁 3. 排便障害	2	江副
5	2022. 1.14	金	4	高齢者の清潔・衣 生活を支える看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 清潔・衣生活 2. 感染症	2 3	江副
6	2022. 1.21	金	4	高齢者の活動と休 息を支える看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 活動と休息 2. 視覚・聴覚の障害 3. 睡眠障害 4. セクシュアリティ	2	江副
7	2022. 2.1	火	2	高齢者のリスクマ ネジメント	【遠隔：オンデマンド】 1. リスクマネジメントの要素と展 開 2. 高齢者が暮らす場におけるリス ク 3. 災害時の高齢者の実態	4	江副

小児看護対象論

対象学年 : 1 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 花井 恵美子
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 花井 恵美子 (実務教員) 柴田 浩子 (実務教員) 玉川 百里 (実務教員)
 副島 賢和 (昭和大学大学院保健医療学研究科 准教授)
 田中 大介 (保健管理センター所長)

●一般目標 (GIO)

子どもと家族がより良い健康状態を保ちながら生活できるように援助するために、成長・発達の特徴と健康状態の保持・増進のために子どもと家族に必要な援助方法を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 子どもの成長・発達の特徴が説明できる。
2. 小児各期 (乳児期・幼児期・学童期・思春期) における健康状態の保持・増進のための子どもと家族への看護が説明できる。
3. 子どもと家族を取り巻く環境が説明できる。

●アクティブ・ラーニング

- ・0～6 歳児の発達段階の特徴 (情緒・言語・運動機能) や基本的生活習慣の自立過程についてグループで発表しあいおもちゃ作成の企画書作りのグループワークへとつなげていく。
- ・幼児期の成長発達の理解を深め、遊びの意義を深めるために、グループでおもちゃ作成の企画書を作成し発表する。

●評価方法

定期試験 (筆記試験 70%)、レポート (20%)、発表 (内容・態度) (10%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

*成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
花井 恵美子	(月)～(金) 16:30～17:30 の時間帯に、随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。 電子メールでも質問を受け付ける。	sari2452@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 浩子		tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百里		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp
田中 大介		daisuket@med.showa-u.ac.jp
副島 賢和		akahana@nr.showa-u.ac.jp

●授業概要

子どもの成長・発達を支援する看護を理解するために、発達理論を活用し、子どもと家族の特徴と生活について学ぶ。また子どもを取り巻く社会の環境・子育てに関する現状と課題を知り、支援方法を学ぶ。

特に幼児期の成長・発達を考えるためにおもちゃ作り企画のグループワークを通して学びを深める。

担当教員は、医師や看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて小児看護に関する必要な知識を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目では子どもの成長発達の理解や子どもや家族の健康状態の維持・増進のための看護や環境の学びを通して、ディプロマ・ポリシーの「プロフェッショナルリズム」「専門的実践能力」を育む。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護	中野 綾美 編者	メディカ出版	2019
参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論	奈良間美保 他著	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

看護学概論で学修した看護の対象について、復習してから授業に臨む。授業後、各発達段階の子ども・家族の特徴について、復習する。

●全学年を通しての関連科目

1年 看護学概論、母性看護対象・目的論、家族関係論

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 11. 02	火	4	小児医療・小児看護の変遷 子どもの成長・発達の原則と影響因子	【遠隔：オンデマンド】 1. 小児医療・小児看護の変遷と課題 2. 成長・発達の概念 3. 成長・発達の原則 4. 成長・発達に影響する因子 5. 発達課題・発達理論	1	柴田
2	2021. 12. 04	土	1	子どもの成長・発達の アセスメント	【遠隔：オンデマンド】 1. 形態的成長と機能的発達の評価 2. 身体発育の評価 3. 発達検査 4. 心理・社会的発達の評価 5. 養育環境	1	柴田

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
3	2021. 12. 10	金	1 4	小児期における成長・発達の特徴(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 神経系・運動器系・感覚器系循環器系・免疫系・呼吸器系・消化器系・代謝系・泌尿器系・体温調節 2. 大泉門・小泉門 3. 生歯	1	柴田
4	2021. 12. 18	土	2	小児期における成長・発達の特徴(2)	【遠隔：オンデマンド】 4. 認知・思考 5. 社会性・道徳性 6. コミュニケーション・言語 7. 情緒 8. アタッチメント・分離不安	1	柴田
5	2021. 12. 23	木	1	乳児期の成長・発達に応じた生活への支援	【遠隔：オンデマンド】 1. 栄養と離乳 2. 運動と遊び 3. 感染予防と予防接種 4. 事故防止 5. 親子関係の確立 6. 家族の育児技術の獲得	2	柴田
6	2022. 1. 07	金	4	幼児期の成長・発達に応じた生活への支援(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 食生活と食育 2. 運動と遊び 3. 生活リズムの確立 4. 感染予防と予防接種	2	柴田
7	2022. 1. 12	水	4	幼児期の成長・発達に応じた生活への支援(2)	【遠隔：オンデマンド】 5. 事故防止と安全教育 6. 親子関係の確立 7. 社会化 8. 育児技術の獲得	2	柴田
8	2022. 1. 14	金	1	学童期の成長・発達に応じた生活への支援(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 肥満や食生活の乱れ 2. う歯の予防 3. 近視の予防 4. スポーツ外傷の予防 5. 学校感染症の予防 6. 生活習慣の予防 7. 事故防止と安全教育 8. セルフケアと保健教育 9. 食生活と食育	2	柴田

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
9	2022. 1. 19	水	1 4	思春期の成長・発達に応じた生活への支援(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 体格と体力 2. 第二性徴 3. アイデンティティの確立 4. 情緒的変化と家族関係 5. 仲間との関係 6. 性（セクシャリティ）意識の変化と逸脱行動 7. 異性への関心 8. ライフスタイルと生活リズムの変化 9. 喫煙・飲酒の防止 10. 不登校の実態と支援 11. いじめ・校内暴力の防止 12. 自殺の防止	2	柴田
10	2022. 1. 20	木	1 4	思春期の成長・発達に応じた生活への支援(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 思春期の発達課題と支援の特徴	2	田中
11	2022. 1. 25	火	1 4	子どもと家族を取り巻く社会資源の活用	【遠隔：オンデマンド】 1. 母子保健施策の活用 2. 小児保健医療福祉施策の活用	3	柴田
12	2022. 2. 01	火	3	幼児期の成長・発達に応じた生活への支援(3)	【遠隔：オンタイム】 1. 幼児期の子どもへのおもちゃ 作成(1回目)	2	柴田 花井 玉川
13	2022. 2. 09	水	3	幼児期の成長・発達に応じた生活への支援(4)	【遠隔：オンタイム】 2. 幼児期の子どもへのおもちゃ 作成(2回目)	2	柴田 花井 玉川
14	2022. 2. 16	水	3	学童期の成長・発達に応じた生活への支援(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 学習と遊び 2. 仲間との関係や学校への適応 3. 学童期の発達課題と支援の特徴	2	副島
15	2022. 2. 17	木	1	幼児期の成長・発達に応じた生活への支援(5)	【遠隔：オンタイム】 3. 幼児期の子どもへのおもちゃ 作成(3回目)	2	柴田 花井 玉川

母性看護対象・目的論

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 矢嶋 裕里

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 : 矢嶋 裕里 (実務教員) 小塚 智子 (実務教員) 塩川 優子 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

リプロダクティブヘルス/ライツの観点から女性とその家族をより健康に導くための看護の基礎を修得するために、母性の対象およびその特性や母性看護における社会的ニーズを知り、母性の健康維持、増進する方法を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 母性の看護にかかわる諸概念および母性看護の目的を理解することで母性看護の役割を説明できる。
2. 母性を取り巻く環境を理解し、次世代育成を社会全体で行うための施策・方略を説明できる。
3. 人間の性と生殖、リプロダクティブヘルス/ライツを理解することで女性の健康を守る方法を説明できる。
4. 母性・父性及び親性の特徴を知りそれぞれの違いを説明できる。
5. 女性のライフサイクル各期の特徴を理解することで必要な保健指導を説明できる。
6. 女性をめぐる文化・社会的問題を理解し、必要な看護が説明できる。
7. 女性を取り巻く性と生殖の倫理的問題について自己の考えが記述できる。

●評価方法

評価方法：定期試験（筆記試験）（70％）課題の提出状況・レポート（30％）

評価（教学上の判定）概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
 2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 - * 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 - * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブ・ラーニング

保健指導案をグループワークで作成し、対象者に行う指導を発表する。指導案の作成過程では学習内容を分担し、グループで学びを共有しあいながら、より良いものになるよう協力し合う。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
矢嶋 裕里	電子メールで質問を受け付ける。 (平日：9時～17時) 対面での質問を希望する場合は、事前に電子メールでアポを取り、時間調整をする。	yuriyajil128@cmed.showa-u.ac.jp

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小塚 智子	電子メールで質問を受け付ける。 (平日：9時～17時)	tomokozu@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子	対面での質問を希望する場合は、事前に電子メールでアポを取り、時間調整をする。	uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

この授業は母性看護の対象である女性とその家族がどのような看護のニーズを持っているかを様々な角度から学修する。皆さんには授業を通して次世代を育成するために看護が社会から期待されている役割について考えてほしい。
担当教員は病院で看護師・助産師として勤務した経験があり、実務経験に基づき母性看護に必要な知識を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目では、リプロダクティブヘルス/ライツの観点から女性とその家族をより健康に導くための看護の基礎を学修することで、ディプロマ・ポリシーの「プロフェッショナルリズム」「専門的実践能力」を育む。またグループワークで保健指導案を作成し、グループメンバーと協力することで「コミュニケーション能力」を育む。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論	森恵美 他著	医学書院	2021
テキスト	国民衛生の動向	吉崎正義 編	財団法人 厚生統計協会	2021 発行

●準備学習（予習・復習）

既修科目である形態機能学Ⅱの「男性生殖器及び女性生殖器の構造、機能」と「人体の発生について」復習しておくこと。また授業前に各講義の SBOs を確認し教科書を予習してから臨むこと。授業終了後教科書、プリントを見直しても理解できなかった点は講義終了後や次回の講義時またはオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学Ⅱ・関係法規・家族関係論・小児看護対象論
2 年 臨床医学Ⅵ・母性看護援助論Ⅰ・母性看護援助論Ⅱ
3 年 母性看護学実習

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

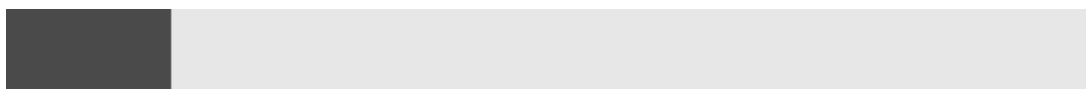
回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021 11. 22	月	3	母性の看護にかかわる諸概念および母性看護の目的	【遠隔：オンデマンド】 1. 母性の概念 2. 親になることと母性 3. 母性の特性 4. 母性看護の理念	1 6	小塚

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
2	2021 11. 29	月	3	人間の性と生殖、リプロダクティブヘルス/ライツ (1)	【遠隔：オンデマンド】 1.人間の性と生殖 2.リプロダクティブヘルス/ライツ 3.ヘルスプロモーション	3	小塚
3	2021 12. 6	月	3	人間の性と生殖、リプロダクティブヘルス/ライツ (2)	【遠隔：オンデマンド】 4.性周期 5.性機能		
4	2021 12. 13	月	3	母性・父性及び親性の特徴	【遠隔：オンデマンド】 1.現代女性のライフサイクルとライフコース 2.家族の発達 3.母性の発達・成熟・継承 4.母性行動と母子関係 5.母性意識の発達 (母子相互作用) 6.父性の発達	2 4	
5	2021 12. 15	水	1 4	母性を取り巻く環境と母性の健康を守る施策・方略(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 母子保健の変遷 2. 母性看護の課題と展望 3. 母子保健にかかわる施策	2	塩川
6	2021 12. 20	月	3	母性を取り巻く環境と母性の健康を守る施策・方略(2)	【遠隔：オンデマンド】 4. 母子保健統計の推移 5. 母性にかかわる法律		
7	2021 12. 22	水	1 4	女性のライフサイクル各期の特徴と必要な保健指導(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 思春期の対象の身体的・生理的・社会的特徴と保健指導について	5	矢嶋
8	2022 1. 6	木	1 4	女性のライフサイクル各期の特徴と必要な保健指導(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 成熟期の対象の身体的・生理的・社会的特徴と保健指導について		
9	2022 1. 13	木	1 4	女性のライフサイクル各期の特徴と必要な保健指導(3)	【遠隔：オンデマンド】 1 更年期の対象の身体的・生理的・社会的特徴と保健指導について		
10	2022 1. 21	金	3	女性のライフサイクル各期の特徴と必要な保健指導(4)	【遠隔：オンタイム】 グループワーク 1. 思春期・成熟期・更年期の保健指導案の作成	5	小塚 矢嶋 塩川
11	2022 2. 1	火	1	女性のライフサイクル各期の特徴と必要な保健指導(5)	【遠隔：オンタイム】 グループワーク 1. 思春期・成熟期・更年期の保健指導案の作成		

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
12	2022 2. 9	水	1	女性のライフサイクル各期の特徴と必要な保健指導(6)	【遠隔：オンタイム】 グループワーク 1. 思春期・成熟期・更年期の保健指導案の作成	5	小塚 矢嶋 塩川
13	2022 2. 14	月	1	女性のライフサイクル各期の特徴と必要な保健指導(7)	【遠隔：オンタイム】 2. 思春期・成熟期・更年期の保健指導案の発表		
14	2022 2. 17	木	2	女性とその家族めぐる文化・社会的問題(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 家族計画と避妊法 2. 性感染症とその看護 3. ドメスティック・バイオレンス	6 7	小塚
15	2022 2. 17	木	3	女性とその家族めぐる文化・社会的問題(2)	【遠隔：オンデマンド】 4. 性暴力被害者への援助 5. 母性看護の国際化 6. 災害時の母子支援	5	

1 年

統合分野



地域・在宅看護概論Ⅰ

対象学年 : 1 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 石田 千絵
 授業形式 : 講義（対面・遠隔）
 担当教員 : 石田 千絵（実務教員）：日本赤十字看護大学
 長谷川 和美（実務教員）加賀美 美穂子（実務教員）田中比露美（実務教員）

●一般目標（GIO）

社会の動向に応じた看護活動を理解するために、地域の特性と保健医療福祉の関係について説明できる。

●行動目標（SBOs）

1. 公衆衛生及び地域・在宅の概念や保健医療福祉の関係職種について説明できる。
2. 地域・在宅における健康問題とそのとらえ方について説明できる。
3. 地域診断の手法を用いて、特定地域の特性を抽出できる。

●アクティブ・ラーニング

フィールドワーク、ディスカッション、グループ間での学びの共有を行いながら地域・在宅の健康問題のとらえ方の理解を深める。

●評価方法

発表（内容・態度）（100%）

評価の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

*成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
石田 千絵	電子メールで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	c-ishida@redcross.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
田中比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

地域で暮らす療養者を支え地域包括ケアシステムを推進するためには、地域特性に応じた看護活動が必要となる。そこで、この科目では地域に関わる概念を整理し、地域・在宅における健康問題のとらえ方を学ぶ。さらに、特定の地域を実際に歩いたのち、主観的・質的データと客観的・量的データを統合し、地域の特性を抽出する。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験と地域看護の知識をもっており、実務経験に基づいて訪問看護や病院での地域連携に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「専門的実践能力」の達成を中心に学ぶ。地域で看護職として活動する意義、目的、方法と地域の健康課題を明らかにするための地区踏査の手法を理解する。これらを通して地域社会で活躍する看護職に必要な知識・スキル・態度の習得を目指す。

●教材（テキスト、推奨図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア	石田 千絵他	メディカ出版	2019 年
テキスト	地域保健福祉活動のための地域看護 アセスメントガイド	佐伯 和子編著	医歯薬出版	2018 年
プリント	生活環境と健康、地域の概念、地区踏 査の視点			

●準備学習（予習・復習）

講義の SBOs を確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として理解できたこと、できなかったことを整理し、できなかったことは積極的に質問すること。グループワークでは各自の役割を明確にし、責任感を持って行う。

●全学年を通しての関連科目

1 年 社会学、社会福祉、公衆衛生学と関係法規、老年看護対象・目的論、母性看護対象・目的論
2 年 地域・在宅看護概論Ⅱ、地域・在宅看護援助論Ⅰ～Ⅲ、老年看護学実習Ⅰ
3 年 地域・在宅看護論実習

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021 12. 08	水	1	生活環境と健康	【遠隔：オンタイム】 1. 自然環境の変化と人々の健康問題 2. 少子・高齢化現象 3. 社会環境の変化と人々の健康問題 4. 文化的な環境と人々の健康	1	石田
2	2021 12. 08	水	2	地域の概念	【遠隔：オンタイム】 1. 地域、地域社会とは 2. 地域包括とは 3. 地域の特性を捉える方法①	2	石田
3	2021. 12. 24	金	2 1	地域理解（1）	【対面】 1. 地域の特性を捉える方法② 2. 演習の進め方	3	長谷川 加賀美 田中
4	2022. 1. 07	金	1	地域理解（2）	【フィールドワーク】 地区踏査①：ワークのテーマ 『地域を歩き、地域特性を見出す（検討する）』 1) 調査対象地域 (1) 品川区 (2) 世田谷区 (3) 江東区 (4) 青葉区・都筑区		長谷川
5	2022. 1. 07	金	2	地域理解（3）	【フィールドワーク】 地区踏査②		

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0 _s	担当
6	2022. 1. 11	火	4	地域理解 (4)	【対面】 地区踏査の発表準備	1～3	長谷川 加賀美 田中
			3				
7	2022. 1. 18	火	4	地域理解 (5)	【対面】 地区踏査の発表	1～3	石田 長谷川 加賀美 田中
			3				

医療安全 I

対象学年	: 1 学年 後期
単位・時間数	: 1 単位 15 時間
責任者名	: 植田 光剛
授業形式等	: 講義(対面、遠隔)・演習
担当教員	: 柴田 雅子(実務教員) 植田 光剛(実務教員) 浅田 恵子(実務教員) 江副 秀美(実務教員) 柴田 恵美(実務教員) 塩川 優子(実務教員) 桧山 優子(実務教員) 神尾 由紀(実務教員) 英 千秋(実務教員)

●一般目標 (GIO)

安全な医療を提供するために、看護業務と医療事故の現状や医療事故対策の基礎知識を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 看護業務の特性と医療事故について説明できる。
2. 医療安全と医療の質の保証のために必要な対策について説明できる。

●評価方法

1. 評価方法と内訳

課題レポート (50%) ・ 演習参加態度 (50%)

2. フィードバック

課題レポートは評価後に返却する。

3. 評価 (教学上の判定) 概要について

- 1) 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- 2) 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- 3) 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

＊成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブ・ラーニング

演習は、実際の事例を通じて、臨床現場で行われている医療安全対策の取り組みについての学びを深める。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 雅子	授業終了後、講義室または、電子メールで質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902acmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

医療安全における基本的な知識と、看護職の責務と役割について学習する。また、医療現場における危険の予知と回避、事故防止などの安全対策の理論と方法を学習する。
担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて医療安全に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

1. プロフェッショナリズム：看護職として必要とされる良識、倫理観、責任感をもって看護を提供する為の知識を習得する。また、医療を実践する為に、看護職として必要とされる規律・ルールを理解し、医療安全・事故防止対策に対する基礎知識を習得する。
2. 自己研鑽：医療現場における危険の予知と回避、事故防止など、創造力・探求心をもち、専門知識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践②医療安全	松下 由美子 他編	メディカ出版	2021
テキスト	看護学生してはいけないケース ファイル 臨地実習禁忌集	下司栄一 他著	丸善出版	2013

●準備学習(予習・復習)

【予習】医療安全に関する動画を視聴する。テキストの該当頁を確認し、内容理解に努める。理解できない箇所を明らかにし、講義で確認する。
【学生同士のディスカッション】講義の内容を復習し、事前に与えられた課題を各自行い、演習・ディスカッションに参加する。各グループでのディスカッションは、メンバー全員が意見を出し、活発なディスカッションとなるように協力する。
【復習】再度医療安全動画を視聴する。講義内容を確認する。講義、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、オフィス・アワーを活用し、解決する。

●全学年を通しての関連科目

1 年 医療概論、倫理学、コミュニケーション論、看護学全般
2 年 看護学全般
3 年の科目全般

●予定表

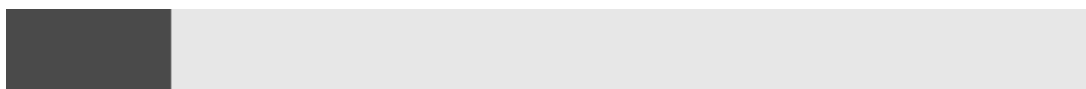
※4・5・6回：AB 合同クラス、CD 合同クラスの2クラス制で行う。
時限ー上段：AB クラス、下段ーCD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 10. 04	月	2	医療安全と看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 医療安全の意味 2. 看護の法的規定と医療安全 3. 医療安全への取り組みと医療の質評価	1	柴田 (雅)
2	2021. 10. 06	水	3	リスクマネジメント	【遠隔：オンデマンド】 1. 事故発生メカニズム 2. 自己分析、事故対策	1	

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBO _s	担当
3	2021. 10.13	水	2	安全文化	【遠隔：オンデマンド】 1. 患者・家族との共同 2. 安全文化、安全文化の醸成 3. 看護業務と事故発生要因	1	柴田 (雅)
4	2021. 10.21	木	1	看護学生の実習と安全1.	【対面】 1) インシデント・アクシデントレポート 2) 事故の法的責任と保障	2	柴田 (雅) 植田 浅田 江副 柴田 (恵) 桧山 神尾 塩川 英
			3				
5	2021. 10.21	木	2	看護学生の実習と安全2.	【対面】 3) KYT(イラスト KYT) 4) KYT(4 ラウンド法)	2	
			4				
6	2021. 10.28	木	3	看護学生の実習と安全3.	【対面】 5) KYT(指示出し、指示受け) 6) SBAR	2	
			4				
7	2021. 11.17	水	4	まとめ	【遠隔：オンタイム】 まとめ	1 2	柴田 (雅)

2 年

専門基礎分野



緩和医療

対象学年 : 2 学年 後期

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 五嶋 洋子

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 : 五嶋 洋子 (実務教員)

牧 克仁 (昭和大学病院 緩和ケアセンター 緩和ケア認定看護師)

我妻 志保 (実務教員) 保健医療学部 看護学科講師

●一般目標 (GIO)

苦痛緩和や生活の質を高めるための緩和ケアを実践するために、基礎的能力を身につける。

●行動目標 (SBOs)

1. 緩和ケアとは何かを理解し、看護の役割についての説明ができる。
2. 緩和ケアにおけるコミュニケーションや意思決定支援についての説明ができる。
3. 症状マネジメントについての説明ができる。
4. 精神的ケア・社会的ケア・スピリチュアルケアについての説明ができる。
5. 家族・遺族ケアについての説明ができる。
6. 緩和ケアにおける倫理的課題についての説明ができる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%)、課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・ 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・ シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・ その他、明確な理由があると思われるもの
- ※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
- ※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
- ※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「専門的実践能力」「自己研鑽」「アイデンティティ」を学ぶ。苦痛緩和の対象者や家族を精神的ケア・社会的ケア・スピリチュアルケア面から理解し、生活の質を高めるためのケアの実践に活かす知識・技術・態度の修得を目指す。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
五嶋 洋子	電子メールで質問を受け付ける。 (9 時～17 時)	yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
牧 克仁		katsuhito-maki@cmed.showa-u.ac.jp
我妻 志保		swagatsuma@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通してQOLを向上させるアプローチである。そこで、本授業は、緩和ケアに対する理解を深め、苦痛緩和や生活の質を高めるための援助を学び、緩和ケアを実践するための基礎的能力を養う内容とする。

●教材（テキスト、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア	宮下 光令 編	メディカ出版	2016

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワー質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 臨床医学Ⅰ～Ⅴ、各領域の科目
2年 各領域の科目
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 10. 21	木	2	緩和ケアの歴史と現状	1. 定義、歴史 2. わが国での緩和ケアの現状と 看護の役割 3. わが国のがん対策と緩和ケア	1	五嶋
2	2021. 10. 28	木	3	コミュニケーションや意思 決定支援	1. 患者が納得して医療を受ける ためのコミュニケーション 2. 意思決定を共有するためのコ ミュニケーションスキル	2	五嶋
3	2021. 11. 11	木	2	症状マネジメント (1)	1. 症状のメカニズムとマネジメ ント 1) 疼痛 2) 悪心 3) 嘔吐 4) 呼吸困難感 5) 食欲不振 6) 全身倦怠感など	3	牧
4	2021. 11. 12	金	1	症状マネジメント (2)	1. 症状のメカニズムとマネジメ ント 1) 疼痛 2) 悪心 3) 嘔吐 4) 呼吸困難感 5) 食欲不振 6) 全身倦怠感など	3	牧

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
5	2021. 11. 30	火	3	精神的ケア・社会的ケア スピリチュアルケア (1)	1. 精神的ケア 1) 精神的ケアの理論と実践 2. 精神症状のマネジメントとケア 1) 適応障害 2) うつ病 3) せん妄 4) 不眠など	4	我妻
6	2021. 12. 2	木	2	精神的ケア・社会的ケア スピリチュアルケア (2)	3. 社会的ケア 1) 社会的苦痛 2) 社会的苦痛へのアプローチ 4. スピリチュアルケア 1) スピリチュアリティとは 2) スピリチュアルペインの把握 3) スピリチュアルケアの実践	4	我妻
7	2022. 1. 7	金	2	家族ケアと緩和ケアにおける倫理的課題	1. 家族の理解とケア 1) ニードの充足 2) 予期的悲嘆への援助 3) 遺族ケアなど 2. 緩和ケアをめぐる倫理的課題 1) 鎮静について 2) アドバンス・ケア・プランニング 3) アドバンスディレクティブ 4) リビングウィル	5 6	我妻

臨床医学VI

対象学年	: 2 学年 前期
単位・時間数	: 1 単位 30 時間
責任者名	: 柴田 雅子
授業形式等	: 講義 (遠隔)
担当教員	: 下平 和久 (実務教員): 大学院保健医療学研究科 医学部産婦人科学講座 教授 宮上 景子 (実務教員): 医学部 産婦人科 助教 関口 紗弓 (実務教員): プレストセンター 乳がん看護認定看護師 高橋 彩子 (実務教員): 医学部 精神医学 講師 谷 将之 (実務教員): 医学部 精神医学 准教授 岡島 由佳 (実務教員): 医学部 精神医学 准教授 高橋 太郎 (実務教員): 医学部 精神医学 兼任講師 加藤 高裕 (実務教員): 医学部 精神医学 非常勤講師

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために疾患の病態生理・症状・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 妊娠の成立が説明できる。
2. 妊娠中の異常な病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
3. 分娩時の異常な病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
4. 主な婦人科系疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
5. 乳腺疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
6. 精神疾患の分類・診断について述べることができる。
7. 主な精神疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。

●評価方法

評価方法: 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) に ついて周知する。
 - ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの
- *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
- *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
- *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
下平 和久	授業終了後、クラスルームで質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	shimo@med.showa-u.ac.jp
宮上 景子		mygmikik@med.showa-u.ac.jp
関口 紗弓		flc0217@med.showa-u.ac.jp
高橋 彩子		看護専門学校教員室を窓口とする。
谷 将之		看護専門学校教員室を窓口とする

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
岡島 由佳		okajima@med.showa-u.ac.jp
担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
高橋 太郎	授業終了後、クラスルームで質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を窓口とする
加藤 高裕	電子メールでも質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を窓口とする

●授業概要

各分野の代表的疾患について、解剖学・生理学・病理学で学んだことを振り返りながら、原因・病態・診断法・治療法・予後について解説する。可能な限り実例を提供する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論	森 恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論	森 恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	疾患と看護⑨ 女性生殖器	苛原稔 渡辺浩子他 著	メディカ出版	2020
テキスト	精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本	出口 貞子 他 編	メディカ出版	2017
プリント	各担当教員がクラスルームで資料として投稿			

●準備学習(予習・復習)

事前にシラバスの講義予定を踏まえ、教科書の関連内容を確認しておく。講義後は、理解できたこと、できなかったことを整理し、テキストなどで調べ学習を行うと共に、オフィス・アワーを活用し、担当教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅱ、形態機能学Ⅳ、薬理学、病理学、成人看護援助論Ⅰ、母性看護対象・目的論
 2年 母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱ、小児看護援助論Ⅰ、精神看護対象論、精神看護目的論、精神看護援助論Ⅰ、成人看護学実習Ⅰ、成人看護学実習Ⅱ
 3年 母性看護学実習、精神看護学実習

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021 4.14	水	1	妊娠の成立	【遠隔:オンデマンド】 1. 妊娠の成立、徴候、診断、胎盤の形成、胎児の発育と生理、予定日決定	1	下平
2	2021 4.21	水	1	妊娠中の異常な病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔:オンタイム】 1. 妊娠期の異常(悪阻、子宮外妊娠、流産、早産、胎状奇胎、妊娠高血圧症候群、感染症)	2	
3	2021 4.28	水	1	妊娠中の異常な病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔:オンデマンド】 2. 合併妊娠 (糖尿病合併妊娠、心疾患合併妊娠)		

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
4	2020 5. 12	水	1	妊娠中の異常な病態生理・症状・検査・治療③	【遠隔:オンデマンド】 3. 妊娠後期の出血 (前置胎盤、常位胎盤早期剥離)	2	下平
5	2021 5. 19	水	1	分娩時の異常な病態生理・症状・検査・治療④	【遠隔:オンタイム】 1. 帝王切開 (適応、方法) 鉗子分娩・吸引分娩 2. 骨盤位分娩 3. 弛緩出血 4. 子癇	3	下平
6	2021. 5. 26	水	1	乳腺疾患の病態生理・症状・検査・治療	【遠隔:オンデマンド】 1. 乳腺の検査、疾患、治療 (乳癌)	5	関口
7	2021 4. 7	水	4	主な婦人科系疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔:オンデマンド】 1. 婦人科に関する解剖、内分泌の基礎	4	宮上
8	2021 4. 14	水	4	主な婦人科系疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔:オンデマンド】 2. 婦人科系疾患の主な検査法		
9	2021 4. 21	水	4	主な婦人科系疾患の病態生理・症状・検査・治療③	【遠隔:オンデマンド】 3. 婦人科系疾患と治療法		
10	2021 4. 19	月	1	総論	【遠隔:オンデマンド】 1. 精神疾患の捉え方 2. 精神疾患の診断と分類 3. 精神疾患の基本的な症状 1) 思考 2) 感情 3) 意欲 4) 知覚 5) 意識 6) 記憶の障害	6 7	高橋 太郎
11	2021 4. 26	月	1	統合失調症	【遠隔:オンデマンド】 1. 原因 2. 診断 3. 症状・治療・経過・予後		加藤
12	2021 5. 10	月	1	気分障害 (うつ病、双極性障害)	【遠隔:オンデマンド】 1. 原因 2. 診断 3. 症状・治療・経過・予後		高橋 彩子
13	2021 5. 17	月	1	睡眠障害 成人の人格・行動障害	【遠隔:オンデマンド】 1. 睡眠障害 2. ナルコレプシー 3. パーソナリティ障害 4. 神経発達障害群 1) 知的能力障害 2) 成人の発達障害の特徴		岡島

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
14	2021 5.24	月	1	神経症性障害 ストレス関連障害など	【遠隔:オンデマンド】 1. 不安障害 2. 強迫性障害 3. ストレス障害 4. 適応障害 5. 解離性障害など		高橋 彩子
15	2021 5.31	月	1	薬物・アルコール依存症	【遠隔:オンデマンド】 1. 原因 2. 診断 3. 症状 4. 治療・離脱症状 5. 経過・予後	6 7	谷

臨床医学Ⅶ

対象学年	: 2 学年 前期
単位・時間数	: 1 単位 30 時間
責任者名	: 柴田 雅子
授業形式等	: 講義 (遠隔)
担当教員	: 小川 良雄 (実務教員) : 医学部 泌尿器科学 教授
	岩渕 成祐 (実務教員) : 医学部 眼科学 教授 (員外)
	浜崎 泰佑 (実務教員) : 医学部 耳鼻咽喉科学 講師
	野垣 岳稔 (実務教員) : 医学部 耳鼻咽喉科学 講師
	小松崎 敏光 (実務教員) : 医学部 耳鼻咽喉科学 講師
	笠 ゆりな (実務教員) : 医学部 皮膚科学 助教
	栗原 祐史 (実務教員) : 歯学部 顎口腔疾患制御外科学 講師
	土佐 泰祥 (実務教員) : 医学部 形成外科学 准教授

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために疾患の病態生理・症状・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 主な泌尿器系疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
2. 主な眼疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
3. 主な耳鼻咽喉疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
4. 主な皮膚疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
5. 主な歯・口腔疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
6. 主な形成外科の疾患と基本的な手術について説明できる。

●評価方法

評価方法: 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) に ついて周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し 行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの

*成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

*「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

*科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小川 良雄	講義終了後、クラスルームで質問などを受け付ける。電子メールでも質問を受け付ける。	ogawayos@med.showa-u.ac.jp
岩渕 成祐		iwabuchi@med.showa-u.ac.jp
浜崎 泰佑		taisukeh@med.showa-u.ac.jp
野垣 岳稔		nogaki@med.showa-u.ac.jp
小松崎敏光		t.komatsu@med.showa-u.ac.jp
笠 ゆりな		yurina.k@med.showa-u.ac.jp

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
栗原 祐史		ykurihara@dent.showa-u.ac.jp
担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
土佐 泰祥	講義終了後、クラスルームで質問などを受け付ける。電子メールでも質問を受け付ける。	ytosa@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各分野の代表的疾患について、解剖学・生理学・病理学で学んだことを振り返りながら、原因・病態・診断法・治療法・予後について解説する。可能な限り実例を提供する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	疾患と看護⑧ 腎・泌尿器	西山 博之 他著	メディカ出版	2020
テキスト	疾患と看護⑥ 眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚	永井 由巳 他著	メディカ出版	2020
参考図書	ナースのための新形成外科学	鬼塚卓弥 編	金原出版	2015
プリント	各担当教員がクラスルームで資料として投稿			

●準備学習(予習・復習)

事前にシラバスの講義予定を踏まえ、教科書の関連内容を確認しておく。講義後は、理解できたこと、できなかったことを整理し、テキストなどで調べ学習を行うと共に、オフィス・アワーを活用し、担当教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	形態機能学Ⅱ～Ⅳ・薬理学・病理学Ⅰ
2 年	成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ・基礎看護学実習Ⅱ・成人看護学実習Ⅰ
3 年	成人看護学実習Ⅱ・老年看護学実習Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021 4.9	金	3	主な泌尿器系疾患の病態 生理・症状・検査・治療 ①	【遠隔：オンデマインド】 1. 主な症状と検査 1) 尿量の異常、蓄尿・排尿の異常、 血尿、腎・泌尿器系の疼痛 2) 尿検査 3) 腎・泌尿器画像検査 4) 生検 5) 泌尿器科的処置 6) 尿路管理法	1	小川
2	2021 4.16	金	3	主な泌尿器系疾患の病態 生理・症状・検査・治療 ②	【遠隔：オンデマインド】 2. 主な疾患と病態生理と治療 1) 尿管結石症 2) 尿路・性器感染症 3) 尿路・性器腫瘍		

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
3	2021 4. 23	金	3	主な泌尿器系疾患の病態生理・症状・検査・治療③	【遠隔：オンデマインド】 4) 下部尿路機能障害 5) 先天異常 6) 男性生殖機能の異常 7) 内分泌療法、手術療法、薬物療法、免疫療法など		
4	2021 4. 9	金	4	主な眼疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔：オンデマインド】 1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) 白内障 2) 緑内障 3) 網膜剥離、	2	岩渕
5	2021 4. 16	金	4	主な眼疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔：オンデマインド】 4) 角膜ヘルペス 5) 充血、眼脂、眼瞼浮腫、眼痛、視力障害、眼精疲労など		岩渕
6	2021 4. 23	金	4	主な眼疾患の病態生理・症状・検査・治療③	【遠隔：オンデマインド】 2. 主な検査と治療 1) 視力・屈折検査 2) 色覚検査 3) 光覚検査 4) 眼圧検査 5) 眼底 6) 写真撮影、涙液分泌検査など 7) 手術療法、光凝固、冷凍凝固など	2	岩渕
7	2021 4. 28	水	4	主な耳鼻咽喉疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔：オンデマインド】 1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) メニエール病 2) 難聴、耳鳴、めまい、耳漏、 2. 主な検査と治療 1) 聴力検査、平衡機能検査、眼振検査 2) 手術療法	1	浜崎
8	2021 5. 12	水	4	主な耳鼻咽喉疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔：オンデマインド】 1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) 副鼻腔炎 2) アレルギー性鼻炎 3) 鼻閉、鼻出血、嗅覚障害 2. 主な検査と治療 1) 噴霧、吸引 2) 手術療法	1	野垣
9	2021 5. 19	水	4	主な耳鼻咽喉疾患の病態生理・症状・検査・治療③	【遠隔：オンデマインド】 1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) 咽喉頭癌 2) 嚥下障害 3) 音声・言語障害 2. 主な検査と治療 1) 喉頭鏡検査 2) 手術療法	1	小松崎

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
10	2021 4.30	金	3	主な皮膚疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔：オンデマインド】 1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) 湿疹 2) アトピー性皮膚炎 3) 帯状疱疹、疥癬 4) かゆみ、発疹、蕁麻疹、熱傷など	4	笠
11	2021 5.7	金	3	主な皮膚疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔：オンデマインド】 2. 主な検査と治療 1) パッチテスト 2) 直接鏡検 3) ガラス板圧診法 4) サーマグラフィなど 5) 凍結療法、光線療法、レーザー療法		
12	2021 4.30	金	4	主な歯・口腔疾患の病態生理・症状・検査・治療①	【遠隔：オンデマインド】 1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) 歯肉出血 2) 開口障害 3) 咀嚼障害 4) 口臭、歯髄炎など	5	栗原
13	2021 5.7	金	4	主な歯・口腔疾患の病態生理・症状・検査・治療②	【遠隔：オンデマインド】 2. 主な検査と治療 1) 歯周ポケット検査 2) 歯石除去 3) 歯肉剥離掻爬 4) 固定		
14	2021 5.26	水	4	主な形成外科の疾患と基本的な手術①	【遠隔：オンデマインド】 1. 主な形成外科疾患 1) 口唇口蓋裂 2) 合指・多指症など	6	土佐
15	2021 6.2	水	4	主な形成外科の疾患と基本的な手術②	【遠隔：オンデマインド】 2. 基本的な手術療法 1) 縫合法、植皮術など		

臨床医学Ⅷ

対象学年	: 2 学年 通年
単位・時間数	: 1 単位 30 時間
責任者名	: 柴田 雅子
授業形式等	: 講義 (遠隔)
担当教員	: 神谷 太郎(実務教員) : 医学部 小児科学講座 (小児科部門) 講師 三川 武志(実務教員) : 医学部 小児科学小児科学講座 (小児科部門) 助教 長谷部 義幸(実務教員) : 医学部 小児科学講座 (小児科部門) 助教 岡田 祐樹(実務教員) : 医学部 小児科学講座 (小児科部門) 講師 小林 梢(実務教員) : 医学部 小児科学講座 (小児科部門) 講師 加古 結子(実務教員) : 医学部 小児科学講座 (小児科部門) 助教 藤井 隆成(実務教員) : 医学部 小児科学講座 (小児科部門) 准教授 永原 敬子(実務教員) : 医学部 小児科学講座 (小児科部門) 講師 阿部 祥英(実務教員) : 医学部 小児科学講座 (小児科部門) 准教授 渡井 有(実務教員) : 医学部 外科学 (小児外科学部門) 教授

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために子どもの疾患の病態生理・症状・検査・治療・予防について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 子どもの主な疾患について、その特徴を説明できる。
2. 子どもの主な疾患の検査・治療・予防について説明できる。
3. 小児救急の特殊性と処置について説明できる。

●評価方法

評価方法：定期試験（筆記試験）（80％） 課題（20％）

評価（教学上の判定）の概要について

- ① 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
- ② 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- ③ 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ・成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ・シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ・その他、明確な理由があると思われるもの

＊成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。

＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
神谷 太郎	講義終了後、クラスルームで、質問などを受け付ける。電子メールでも質問を受け付ける。	kamiya-t@med.showa-u.ac.jp
渡井 有		amisyu@med.showa-u.ac.jp
長谷部 義幸		yobu_hase@med.showa-u.ac.jp
三川 武志		tmikawa@med.showa-u.ac.jp
岡田 祐樹		y.okada@med.showa-u.ac.jp

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小林 梢	講義終了後、クラスルームで、質問などを受け付ける。電子メールでも質問を受け付ける。	kozue322@med.showa-u.ac.jp
加古 結子		yk208@med.showa-u.ac.jp
藤井 隆成		看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
永原 敬子		kpxph393@med.showa-u.ac.jp
阿部 祥英		看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

各分野の代表的疾患について、解剖学・生理学・病理学で学んだことを振り返りながら、原因・病態・診断法・治療法・予後について解説する。可能な限り実例を提供する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

「専門的実践能力」「自己研鑽」に関連した科目である

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

講義時にプリントを配布する。

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護	中村 友彦他著	メディカ出版	2020
プリント	各担当教員がクラスルームで資料として投稿			

●準備学習(予習・復習)

事前にシラバスの講義予定を踏まえ、教科書の関連内容を確認しておく。講義後は、理解できたこと、できなかったことを整理し、テキストなどで調べ学習を行うと共に、オフィス・アワーを活用し、担当教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ・生化学・薬理学・病理学・栄養学・微生物学・小児看護対象論・小児看護目的論
2年 小児看護援助論Ⅰ・Ⅱ
3年 小児看護学実習・在宅看護論実習

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象SBOs	担当
1	2021 4.8	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-1-	【遠隔：オンデマンド】 1. 新生児の疾患 1) 呼吸窮迫症候群 2) 胎便吸引症候群 3) 新生児仮死 4) 脳室周囲白質軟化症 5) 新生児黄疸		長谷部
2	2021 4.15	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-2-	【遠隔：オンデマンド】 2. 遺伝性疾患・染色体異常 1) マルファン症候群 2) 軟骨無形成症 3) 神経線維腫症Ⅰ型 4) 21トリソミー 5) 18トリソミー 6) 13トリソミー 7) ターナー症候群 8) マルファン症候群	1 2	長谷部

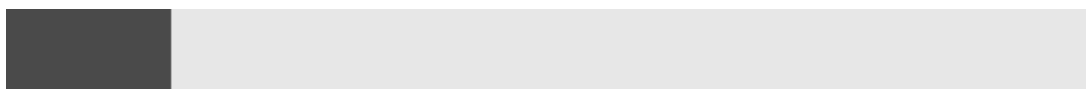
回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
3	2021 4.22	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-3-	【遠隔：オンデマンド】 3. 代謝・内分泌疾患 1) 新生児マススクリーニング 2) 家族性高コレステロール血症 3) 糖尿病（1型・2型） 4) 成長ホルモン分泌不全性 低身長症 5) 甲状腺機能亢進症 6) 先天性甲状腺機能低下症 7) 21 水酸化酵素欠損症 8) 中枢性思春期早発症 9) 性分化異常症	1 2	永原
4	2021 5.6	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-4-	【遠隔：オンデマンド】 4. 免疫・アレルギー・膠原病 1) アトピー性皮膚炎 2) 食物アレルギー 3) リウマチ熱 4) 若年性特発性関節炎 5) 全身性エリテマトーデス 6) 若年性皮膚筋炎・多発筋炎 7) 川崎病 8) ヘルペス・シェンライン紫斑病		岡田
5	2021 5.6	木	2	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-5-	【遠隔：オンデマンド】 5. 感染症 1) 中耳炎 2) 髄膜炎 3) 腸管感染症 4) 麻疹 5) 風疹 6) 水痘 7) 流行性耳下腺炎 8) インフルエンザ 9) R S ウィルス感染症 10) 結核 11) 百日咳/ジフテリア/破傷風/ ポリオ 12) 溶連菌感染症		神谷
6	2021 5.20	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-6-	【遠隔：オンデマンド】 6. 呼吸器疾患 1) かぜ症候群 2) 扁桃炎 3) 急性喉頭蓋炎 4) クループ症候群 5) 小児気管支喘息 6) 急性気管支炎/急性細気管支 炎 7) 肺炎		神谷

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
7	2021 5.20	木	2	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-7-	【遠隔：オンデマンド】 7. 循環器疾患 1) 心室中隔欠損症、 2) 心房中隔欠損症、 3) 房室中隔欠損症 4) 動脈管開存症 5) ファロー四徴症 6) 完全大血管転位症 7) 心筋炎	1 2	藤井
8	2021 5.27	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-8-	【遠隔：オンデマンド】 8. 腎・泌尿器疾患 1) 腎炎 2) ネフローゼ症候群 3) 尿路感染症 4) 先天性水腎症 5) 急性腎障害 6) 慢性腎障害 7) 溶血性尿毒症症候群		阿部
9	2021 6.3	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-9-	【遠隔：オンデマンド】 9. 消化器疾患 1) 胃・十二指腸潰瘍 2) 急性虫垂炎 3) 炎症性腸疾患 4) 腸重積症 5) 肝炎 6) 周期性嘔吐症		三川
10	2021 6.24	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-10-	【遠隔：オンデマンド】 10. 血液・腫瘍疾患 1) 未熟児貧血/鉄欠乏性貧血/ 溶血性貧血 2) 特発性血小板減少性紫斑病 3) 血友病 4) 白血病 5) 悪性リンパ腫 6) 神経芽腫 7) 腎芽腫（ウィルムス腫瘍） 8) 脳腫瘍		加古
11	2021 7.1	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-11-	【遠隔：オンデマンド】 11. 神経・筋・精神疾患 1) てんかん 2) 熱性けいれん 3) 脳性麻痺 4) 急性脳症/脳炎/ インフルエンザ脳症 5) 筋ジストロフィー 6) 自閉スペクトラム症 7) 神経性やせ症 2. 虐待の特徴、予防		小林

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
12	2021 10. 05	火	2	各年齢期における知っておくべき外科疾患の概念・症状・検査・治療 -1-	【遠隔：オンデマンド】 1. 小児外科の守備範囲 2. 小児外科診療の特徴 3. ヒューマンエラー 4. 新生児の外科疾患(1) 1) 食道閉鎖症 2) 先天性腸閉鎖症 3) ヒルシュスプルング病	1 2	渡井
13	2021 10. 19	火	2	各年齢期における知っておくべき外科疾患の概念・症状・検査・治療 -2-	【遠隔：オンデマンド】 5. 新生児の外科疾患(2) 1) 直腸肛門奇形 2) 消化管穿孔 3) 横隔膜ヘルニア 4) 臍帯ヘルニア・腹壁破裂 6. 小児の胆道系疾患(1) 1) 胆道閉鎖症		藤井
14	2021 11. 02	火	2	各年齢期における知っておくべき外科疾患の概念・症状・検査・治療 -3-	【遠隔：オンデマンド】 7. 乳幼児の外科疾患(1) 1) 鼠径ヘルニア・陰嚢水腫など 8. 乳幼児の外科疾患(2) 1) 肥厚性幽門狭窄症 2) 腸重積症 3) 急性虫垂炎 9. 小児の胆道系疾患(2) 1) 胆道拡張症		神谷
15	2021 11. 09	火	2	各年齢期における知っておくべき外科疾患の概念・症状・検査・治療 -4-	【遠隔：オンデマンド】 10. 小児三大悪性固形腫瘍 1) 神経芽腫 2) 肝芽腫 3) ウイルムス腫瘍（腎芽腫） 11. 小児救急 1) 消化管異物 2) 腹部鈍的外傷		永原

2 年

専門分野 I



看護過程の展開

対象学年 : 2 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 神尾 由紀
 授業形式等 : 講義(対面・遠隔)・演習
 担当教員 : 浅田 恵子(実務教員)・神尾 由紀(実務教員)・福永聖子(実務教員)
 五嶋 洋子(実務教員)・秋庭 良子(実務教員)・藤田明里咲(実務教員)

●一般目標 (GIO)

看護を实践するうえで必要な看護過程の基礎知識とプロセスを身につけるために、紙面上の事例を用いて看護過程の展開技術を身につける。

●行動目標 (SBOs)

1. 看護過程の意義について説明できる。
2. 看護過程の展開の基礎となる考え方について説明できる。
3. 情報収集から看護問題の明確化に至るプロセスを説明できる。
4. 看護問題の明確化から、期待される成果(目標)設定・具体策の立案・実施・評価のプロセスを説明できる。
5. 紙上事例を用いて、看護過程を展開することができる。

●評価方法

定期試験：筆記試験 (70 %)、課題記録(30 %)

評価(教学上の判定)の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要(平均点、不合格者の人数など)について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 ※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 ※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブ・ラーニング

演習は、看護を展開するうえで患者の全体像を捉えることが重要となる。その為に必要な患者の情報とはどんなことか、必要な情報はどのように収集するのかについて、グループディスカッションを行う。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
浅田 恵子	対面授業終了時、講義室または教員室で質問を受け付ける。もしくは、時間調整を行う。 電子メールでも質問を受け付ける。 (平日 9 時～17 時)	showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
福永 聖子		fukunaga@cmed.showa-u.ac.jp
藤田 明里咲		a1218@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護の対象となるあらゆる人々に合わせた看護を提供する為の方法論の一つである看護過程を学ぶ。ここで学んだ基礎知識は、基礎看護学実習Ⅱで実践する。その為にも、臨地実習での実践の準備として、事例を活用し、看護過程の展開の実践能力を養う。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、看護過程の展開の実践能力の知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマポリシーとの関連

1. プロフェッショナリズム：看護職として必要とされる良識、倫理観、責任感をもって看護を提供する為の知識を習得する。
2. 専門的実践能力：看護を適切にするために学んできた科学的な根拠と統合的な能力を基盤に、心理社会的背景を考慮した看護過程の展開能力を身につける。
3. 自己研鑽：自ら発見した課題に対して、専門知識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 他編	メディカ出版	2017
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
テキスト	看護過程の解体新書	石川ふみよ 編著	（株）学研メディカル秀 潤社	2015
参考図書	看護がみえる vol.4 看護過程の展開	永田明 他	株式会社 メディックメディア	2020

●準備学修（予習・復習）

予 習	1 学年時で学んだ発達段階の特徴・課題、薄井坦子の唱える科学的看護論を復習する。 各講義の SB0 sを確認し、教科書を予習する。わからない用語や内容はノートにまとめておき、講義時やオフィス・アワーを活用して確認する。
学生同士のディスカッション	事前に与えられた課題を各自行い、演習・ディスカッションに参加する。 各グループでのディスカッションは、メンバー全員が意見を出し、活発なディスカッションとなるように協力する。
復 習	各講義毎に、配布資料、教科書を復習する。わからない点があれば、講義時やオフィス・アワーを活用して確認する。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、看護学概論、看護理論、共通基本技術、
フィジカル・アセスメント、日常生活援助(理論編・実践編)、臨床看護総論、
基礎看護学実習Ⅰ
- 2 年 臨床医学Ⅵ～Ⅸ、治療処置における援助(理論編・実践編)

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4.7	水	1	看護過程の基礎知識	【遠隔：オンデマンド】 1. 看護過程とは 2. 看護過程の役割・意義 3. 看護過程の構成要素 ・アセスメント ・看護問題の明確化 ・計画 ・実施 ・評価	1 2	浅田
2	2021. 4.9	金	2	看護過程のプロセス (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. アセスメント ① 情報収集、 ② 分析・解釈	2 3	浅田
3	2021. 4.13	火	1 3	看護過程のプロセス (2)	【対面・講義】 1. アセスメント ① 情報収集	2 3	浅田
4	2021. 4.13	火	2 4	看護過程のプロセス (3)	【対面・講義】 1. アセスメント ① 情報収集	2 3	担当教 員参照
5	2021. 4.16	金	2	看護過程のプロセス (4)	【遠隔：オンデマンド】 1. アセスメント ② 析・解釈	2 3	浅田
6	2021. 4.20	火	2	看護過程のプロセス (5)	【遠隔：オンデマンド】 1. アセスメント ③ 全体像 ④ 関連図	2 3	浅田
7	2021. 4.23	金	2	看護過程のプロセス (6)	【遠隔：オンデマンド】 2. 看護問題の明確化 ① 問題リスト 3. 計画立案 ① 期待される成果 ② 具体策	2 3 4	浅田
8	2021. 4.27	火	1 2	看護過程のプロセス (7)	【対面：講義】 4. 実施 5. 評価	2 4	担当教 員参照
9	2021. 5.7	金	2	紙上事例による看護 過程の展開 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. アセスメント	5	浅田
10	2021. 5.11	火	1 2	紙上事例による看護 過程の展開 (2)	【対面：講義】 1. アセスメント	5	担当教 員参照
11	2021. 5.12	水	2	紙上事例による看護 過程の展開 (3)	【遠隔：オンデマンド】 2. 看護問題の明確化 3. 計画	3 4 5	浅田
12	2021. 5.18	火	1	紙上事例による看護 過程の展開 (4)	【対面：講義】 2. 看護問題の明確化 3. 計画	3 4 5	担当教 員参照
13	2021. 5.20	木	3	紙上事例による看護 過程の展開 (5)	【遠隔：オンデマンド】 4. 実施 5. 評価	3 4 5	浅田

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
14	2021. 5.25	火	1	まとめ (1)	【対面：演習】 講義全体のまとめ 実習の記録用紙について	1 2 3 4	浅田
15	2021. 7.13	火	4	まとめ (2)	【対面：演習】 まとめ	1 2 3 4	担当教 員参照

治療処置における援助《理論編》

対象学年 : 2 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 神尾 由紀

授業形式等 : 講義(遠隔)

担当教員 : 浅田 恵子 (実務教員) 藤田 明里咲 (実務教員) 神尾 由紀 (実務教員)
 築瀬 真由美 (実務教員) 英 千秋 (実務教員) 玉川 百里 (実務教員)
 田中 比露美 (実務教員) 塩川 優子 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づき、確実かつ安全・安楽に診療に伴う看護援助を提供する為に、根拠および理論的・法的側面を踏まえて、基本的知識(原理・原則)を修得することができる。

●行動目標 (SBOs)

1. 人間の排泄を理解し、患者が健康的な生活を送るために必要な援助方法について説明できる。
2. 呼吸の生理学的メカニズムを理解し、呼吸困難を軽減する援助方法について説明できる。
3. 体温調節の生理学的メカニズムを理解し、効果的・効率的な電法の援助方法について説明できる。
4. 検査・治療の意義および検査・治療における看護者の役割や援助方法について説明できる。
5. 与薬・輸血を正しく行う為の6Rの確認を説明することができる。
6. 与薬(薬物療法)を受ける患者への看護援助について説明できる。
7. 輸血療法を受ける患者への看護援助について説明できる。
8. 創傷を管理する為の知識・技術について説明できる。
9. 救命の連鎖の重要性を理解し、一次救命処置について説明できる。

●評価方法

定期試験 (80%)、課題 (20%)

評価(教学上の判定)の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要(平均点、不合格者の人数など)について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
浅田 恵子	電子メールでも質問を受け付ける。 (平日 9 時～17 時)	showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百里		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
梁瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護者が提供する治療や処置などの診療に伴う援助において、根拠および倫理的・法的側面の知識をふかめるとともに、患者に提供される治療や処置などの診療に伴う援助技術が、健康の回復・増進を目的とする科学的根拠および理論的枠組みおよび理論的枠組みに基づくことを理解し、基本的知識を深める。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマポリシーとの関連

1. プロフェッショナリズム：看護職として必要とされる良識、倫理観、責任感をもって看護を提供する為の知識を習得する。
2. 専門的実践能力：看護を適切にするために学んできた科学的な根拠と統合的な能力を基盤に、検査・治療・処置における援助に必要な知識・技能を習得する。
3. 自己研鑽：自ら発見した課題に対して、専門知識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 他編	メディカ出版	2017
テキスト	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・ 梶谷佳子 編著	メヂカルフレンド社	2020
プリント				

●準備学習（予習・復習）

予習	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。
復習	テキストおよびプリントを見直し、理解できなかった点については次回講義時または、オフィス・アワーに質問すること。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 形態機能学Ⅰ～Ⅲ、薬理学、微生物学、臨床医学Ⅰ～Ⅱ、看護学概論、共通基本技術、日常生活援助《理論編・実践編》、臨床看護総論、フィジカル・アセスメント
- 2 年 治療処置における援助《実践編》、成人看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱ、基礎看護学実習Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4. 15	木	4	皮膚・創傷を管理する技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 創傷の分類 2. 創傷治癒過程 3. 創傷管理 （ドレーン挿入部の処置含む） 1) 創洗浄 2) 包帯法 3) ドレッシング材 4. 滅菌物の取り扱い	1	浅田

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
2	2021. 4. 20	火	3	呼吸を楽にする技術 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 呼吸を楽にする援助方法と留意点 1) 効率的な呼吸方法 2) 体位排痰法 3) 吸入療法 4) 酸素療法	2	田中
3	2021. 4. 22	木	4	呼吸を楽にする技術 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 呼吸を楽にする援助方法と留意点 1) 効率的な呼吸方法 2) 体位排痰法 3) 吸入療法 4) 酸素療法	2	田中
4	2021. 5. 6	木	4	体温を調節する技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 温罨法の援助方法と留意点 2. 冷罨法の援助方法と留意点	3	藤田
5	2021. 5. 19	水	3	排泄を促す技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 排尿の援助方法と留意点 1) 導尿 2) 膀胱留置カテーテル挿入 2. 排便の援助方法と留意点 1) 浣腸 2) 摘便	4	塩川
6	2021. 5. 26	水	3	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 与薬とは 2. 与薬における法的根拠 3. 与薬のための基礎知識 4. 与薬のための援助技術 5. 与薬における安全管理	5 6	神尾
7	2021. 9. 7	火	1	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 経口与薬 1) バッカル 2) 舌下 3) 内服 2. 吸入 3. 点眼 4. 点鼻 5. 外用薬、経皮 6. 直腸内与薬	5 6	神尾
8	2021. 9. 13	月	2	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術 (3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 注射の基礎知識と援助技術 1) 皮下注射 2) 皮内注射	5 6	梁瀬
9	2021. 9. 14	火	1	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術 (4)	【遠隔：オンデマンド】 1. 注射の基礎知識と援助技術 3) 筋肉内注射 4) 静脈内注射	5 6	梁瀬

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
10	2021. 9. 28	火	2	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術 (5)	【遠隔：オンデマンド】 1. 注射の基礎知識と援助技術 5) 点滴静脈内注射 6) 中心静脈カテーテル (留置時の介助、中心静脈内栄養)	5 6	梁瀬
11	2021. 10. 6	水	2	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術 (6)	【遠隔：オンデマンド】 1. 主な ME 機器の取り扱い (管理の注意点) 1) 輸液ポンプ 2) シリンジポンプ 2. モニタリングの目的 3. 援助技術	6	英
12	2021. 12. 1	水	3	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術 (7)	【遠隔：オンデマンド】 1. 輸血の基礎知識 2. 輸血のための援助技術と留意点	5 7	英
13	2021. 12. 1	水	4	検査・治療を安全かつ正確に行う技術 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 検査・治療の意義 2. 検査・治療における看護者の役割 3. 検査・治療の種類 1) 血液検査 2) 尿検査 3) 便検査 4) 喀痰検査	8	玉川
14	2021. 12. 2	木	3	検査・治療を安全かつ正確に行う技術 (2)	【遠隔：オンデマンド】 4. 検査・治療実施時の注意点 5. 検査・治療実施時の介助方法 6. 検体の採取方法 7. 検査・治療における看護援助	8	玉川
15	2021. 12. 2	木	4	救急救命処置を行う技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 救急時における敏速な介入の必要性 2. 救急時における看護者の役割 3. 一次救命処置 4. 応急処置 5. 救急救命処置の開始・中止・断念 6. 感染予防	9	英

治療処置における援助《実践編》

対象学年 : 2 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 神尾 由紀

授業形式等 : 演習

担当教員 : 浅田 恵子(実務教員) 神尾 由紀(実務教員) 藤田明里咲(実務教員)
福永 聖子(実務教員) 田中 比露美(実務教員) 塩川 優子(実務教員)
玉川 百合(実務教員) 英 千秋(実務教員) 梁瀬 真由美(実務教員)

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づき、確実かつ安全・安楽に診療に伴う看護援助を提供する為に、根拠および理論的・法的側面を踏まえて、基本的技術・態度を修得することができる。

●行動目標 (SBOs)

1. 創傷処置のための無菌操作（滅菌物の取り扱い）、包帯法が実施できる。
2. モデル人形で酸素吸入療法を実施できる。
3. モデル人形で口腔内・鼻腔内・気管内吸引ができる。
4. 酸素ボンベの取り扱いができる。
5. モデル人形に導尿、膀胱留置カテーテルの挿入ができる。
6. モデル人形に浣腸、排便ができる。
7. 誤薬防止の手順に沿った与薬ができる。
8. 経口薬、点眼の投与ができる。
9. モデル人形で皮下注射、筋肉注射ができる。
10. モデル人形で点滴静脈内注射（翼状針）の管理ができる。
11. 輸液ポンプ、シリンジポンプ使用時の管理が実施できる。
12. モデル人形で静脈採血ができる。
13. モデル人形で一次救命処置(BLS)が実施できる

●評価方法

定期試験（実技試験）（80%）、演習時態度（20%）

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
福永 聖子	対面授業終了時、講義室で質問を受け付ける。もしくは、時間調整を行う。 電子メールでも質問を受け付ける。 (平日 9 時～17 時)	fukunaga@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
藤田 明里咲		a1218@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
梁瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百里		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

治療処置における援助《理論編》で学んだ根拠をもとに、実際の医療器具を使用して実践する。
担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて治療処置における必要なスキル、態度を教授する。

●ディプロマポリシーとの関連

1. プロフェッショナルリズム：看護職として必要とされる良識、倫理観、責任感をもって看護を提供する為の知識を習得する。
2. コミュニケーション能力：演習をとおして、看護実践に必要なコミュニケーション能力を身につける。
3. 専門的実践能力：看護を適切にするために学んできた科学的な根拠と統合的な能力を基盤に、検査・治療・処置における援助に必要な技術を習得する。
4. 自己研鑽：自ら発見した課題に対して、専門知識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 他編	メディカ出版	2017
テキスト	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・梶谷佳子 編著	メヂカルフレンド社	2020

●準備学習（予習・復習）

予習	治療処置に伴う援助(理論編)での講義内容、テキストの該当頁を確認する。 理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。
復習	テキストおよびプリントを見直し、理解できなかった点については次回講義時またはオフィス・アワーに質問する。

●全学年を通しての関連科目

1 年次 形態機能学Ⅰ～Ⅲ、薬理学、微生物学、臨床医学Ⅰ～Ⅱ、看護学概論、共通基本技術、臨床看護総論、フィジカル・アセスメント、日常生活援助《理論編・実践編》、臨床看護総論、
2 年次 治療処置における援助《理論編》、成人看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱ、小児看護目的論、基礎看護学実習Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 9. 2	木	3	皮膚・創傷を管理する 技術	1. 滅菌物の取り扱い 2. 創傷管理の実際 (ドレーン挿入部の処置含む) 1) 創洗浄 2) 包帯法 3) ドレッシング材	1	浅田 神尾
			4				
			1				
			2				
2	2021. 9. 3	金	3	呼吸を楽にする技術 (1)	1. 口腔内・鼻腔内吸引の実際 2. 閉鎖式気管内吸引用カテーテルの体験 3. 酸素吸入療法の実際 4. 酸素ボンベの取り扱いの実際	2 3 4	田中 神尾
			4				
			1				
			2				
3	2021. 9. 9	木	3	呼吸を楽にする技術 (2)	1. 口腔内・鼻腔内吸引の実際 2. 閉鎖式気管内吸引用カテーテルの体験 3. 酸素吸入療法の実際 4. 酸素ボンベの取り扱いの実際	2 3 4	田中 神尾
			4				
			1				
			2				
4	2020. 9. 10	金	3	排泄を促す技術	1. 一時的導尿の実際 2. 膀胱留置カテーテル挿入・管理の実際 3. 浣腸の実際	5 6	塩川 神尾
			4				
			1				
			2				
5	2021. 9. 16	木	3	与薬・輸血を安全かつ 正確に行う技術 (1)	経口与薬、点眼の実際	7 8	神尾 福永
			4				
			1				
			2				
6	2021. 9. 17	金	3	与薬・輸血を安全かつ 正確に行う技術 (2)	皮下注射の実施	7 9	神尾 福永 他
			4				
			1				
			2				
7	2021. 10. 11	月	1	与薬・輸血を安全かつ 正確に行う技術 (3)	筋肉注射の実施	7 9	神尾 福永 他
			2				
			3				
			4				
8	2021. 10. 18	月	1	与薬・輸血を安全かつ 正確に行う技術 (4)	点滴静脈注射の管理	7 10	梁瀬 神尾 他
			2				
			3				
			4				
9	2021. 10. 25	月	1	与薬・輸血を安全かつ 正確に行う技術 (5)	点滴静脈注射の管理	7 10	梁瀬 神尾 他
			2				
			3				
			4				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
10	2022. 1. 11	火	3	与薬・輸血を安全かつ 正確に行う技術 (6)	点滴静脈注射の管理	7 10	梁瀬 神尾 他
			4				
			1				
			2				
11	2022. 1. 12	水	3	与薬・輸血を安全かつ 正確に行う技術 (7)	1. 輸液ポンプの取り扱い 2. シリンジポンプ取り扱い	11	英 五嶋
			4				
			1				
			2				
12	2022. 1. 17	月	3	検査・治療を安全かつ 正確に行う技術	静脈採血の実際	12	玉川 浅田 他
			4				
			1				
			2				
13	2022. 1. 21	金	3	救急救命処置を行う技 術	一次救命処置の実際 1. 回復体位 2. 軽度脈の蝕知 3. 気道確保 頭部後屈顎先挙上法 下顎挙上法 1. 人工呼吸 2. 胸骨圧迫 3. AED	13	英 藤田 五嶋 花井 玉川
			4				
			1				
			2				
14	2022. 1. 24	月	3	実技の統合 (1)	1. まとめ	未定	担当 教員 参照
			4				
			1				
			2				
15	2022. 2. 7	月	3	実技の統合 (2)	1. まとめ	未定	担当 教員 参照
			4				
			1				
			2				

実技試験	2022. 2. 15	火	1～4	技術試験	試験内容：未定
------	----------------	---	-----	------	---------

基礎看護学実習Ⅱ

対象学年 : 2 学年 前期

単位・時間数 : 2 単位 90 時間

責任者名 : 神尾 由紀

授業形式等 : 臨地実習

担当教員	: 福永 聖子 (実務教員)	五嶋 洋子 (実務教員)	浅田 恵子 (実務教員)
	神尾 由紀 (実務教員)	秋庭 良子 (実務教員)	関根 和佳 (実務教員)
	植田 光剛 (実務教員)	柴田 恵美 (実務教員)	江副 秀美 (実務教員)
	桧山 優子 (実務教員)	菅原 睦子 (実務教員)	英 千秋 (実務教員)
	小塚 智子 (実務教員)	矢嶋 裕里 (実務教員)	塩川 優子 (実務教員)
	柴田 浩子 (実務教員)	花井 恵美子 (実務教員)	玉川 百里 (実務教員)
	富崎 志穂 (実務教員)	築瀬 真由美 (実務教員)	加賀美 美穂子 (実務教員)
	長谷川 和美 (実務教員)	田中 比露美 (実務教員)	野間 もえぎ (実務教員)
	中嶋 理香 (実務教員)		

●一般目標 (GIO)

看護を展開する基礎的能力を養うために、患者と直接かかわり、患者の基本的ニーズへの援助活動を通して看護過程の展開の実践方法を身につける。

●行動目標 (SBOs)

1. 患者の情報を「生命を維持する過程」、「生活習慣を獲得し発展させる過程」、「社会関係を維持発展させる過程」の視点で収集できる。
2. 患者の反応が意味することを分析・解釈し、看護問題をあげることができる。
3. アセスメントに基づき患者の関連図を図示し、患者の全体像を文章化できる。
4. 看護問題に対し、目標の優先順位をつけることができる。
5. 看護問題に対する期待される成果（看護目標）を設定し、記述できる。
6. 看護計画を具体的に記述できる。
7. 患者を尊重し、インフォームド・コンセントに基づいた援助ができる。
8. 患者とコミュニケーションを取りながら援助ができる。
9. 患者の反応を確認しながら援助の実施ができる。
10. 安全・安楽・自立を考えた援助ができる。
11. 患者に合わせて創意・工夫した援助ができる。
12. 実施した援助の結果を客観的に記述することができる。
13. 看護目標に基づいて達成度を評価し、記述することができる。
14. 看護における疑問や問題に気づき、その解決に向けて積極的に取り組むことができる。
15. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●評価方法

実習内容 (80%) 実習態度 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受付けない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブ・ラーニング

実習での体験と、授業・演習での学習内容を関連付けて考察する。

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること。

主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導にあたる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
神尾 由紀	実習中は、電話にて質問を受け付ける。	yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
福永 聖子		fukunaga@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp
小塚 智子		tomokozu@cmed.showa-u.ac.jp
矢嶋 裕里		yuriyajil128@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 浩子		tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子		sari2452@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百合		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp
富崎 志穂		artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
梁瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
藤田 明里咲		a1218@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

【概要】机上で学んだ知識、紙上事例で行った看護過程の展開を、実際の患者で実践することで看護の過程における思考の方法（看護過程）を身につける。また、看護専門職として、患者のニーズを満たし、質を保証するケア提供の技術を提供する。

【教員】担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて看護過程の展開に必要な知識、スキル、臨床での態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

1. プロフェッショナルリズム：看護職として必要とされる良識、倫理観、責任感をもって看護を提供する為の知識と技術を身につける。
2. コミュニケーション能力：看護師として患者・家族・医療スタッフとの関わりを通して、人間関係やコミュニケーション能力を身につける。
3. 専門的実践能力：授業で学習した科学的な根拠と統合的な能力を基盤に、心理社会的背景を考慮した看護を展開する能力を身につける。
4. 自己研鑽：看護過程の展開を通して、自ら発見した課題に対して、専門知識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学②ヘルスアセスメント	松尾ミオ子 編	メディカ出版	2018
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤臨床看護総論	任和子・ 大西弘高 編	メディカ出版	2014
テキスト	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・ 梶谷佳子 編著	メヂカルフレンド社	2020
テキスト	看護過程の解体新書	石川ふみよ 編 著	㈱学研メディカル 秀潤社	2015
参考図書	看護がみえる vol.4 看護過程の展開	永田明 他	株式会社 メディックメディア	2020
参考図書	科学的看護論	薄井坦子	日本看護 協会出版会	2008
プリント	基礎看護学実習に関連した科目の 講義時のプリント			

●準備学習（予習・復習）

予 習	実習病棟の特徴を踏まえ、必要な知識の理解ができるよう、疾患・治療・看護について学習しておく。また、看護技術、フィジカル・アセスメントの技術においても実施できるように練習をしておく。
実習中	知識があいまいな点は、テキスト、資料に戻り確認する。
復 習	実習記録を基に、実践した看護をテキストに戻り振り返りを行う。

●全学年を通しての関連科目

1 年	教育学、心理学、認識論、人間関係論、生活科学、健康科学、家族関係論、コミュニケーション論、 形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、薬理学、医学概論、栄養学、健康教育論、リハビリテーション論、病理学、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、看護学概論、看護倫理、共通基本技術、日常生活援助《理論編・実践編》、臨床看護総論、フィジカル・アセスメント、基礎看護学実習Ⅰ
2 年	看護過程の展開、治療処置における援助《理論編・実践編》、成人看護対象・目的論、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅲ、精神看護対象論、精神看護目的論、在宅看護援助論、看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ

●予定表

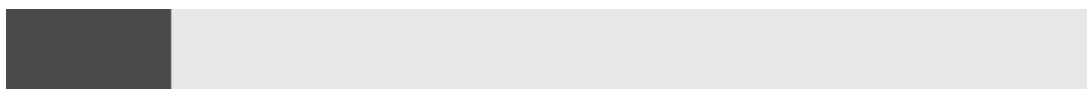
回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
第 1 週	2021. 5.27	木	3～4	オリエンテーション	実習オリエンテーション	15	担当 教員 参照
第 2 週	2021. 6.7	月	1～4	オリエンテーション アセスメント 情報収集 分析・解釈	病棟オリエンテーション 受け持ち患者決定 アセスメント(情報収集、分析・ 解釈) 患者とのコミュニケーション 看護援助の見学、参加	1 2 15	担当 教員 参照

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
第2週	2021. 6. 8	火	1～4	アセスメント 情報収集 分析・解釈 全体像 関連図 看護問題の明確化 看護計画立案	情報の整理 アセスメント (情報収集、分析・解釈) 全体像、関連図作成 患者とのコミュニケーション 看護援助の見学、参加 バイタルサイン測定 看護問題の明確化 (問題リスト、優先順位 の決定) 看護計画の立案 (期待される成果、具体策) 患者とのコミュニケーション バイタルサイン測定 看護援助の実施	1 2 3 15 1 2 3 4 5 6 15	担当 教員 参照
	2021. 6. 9	水	1～4	アセスメント 情報収集 分析・解釈 全体像 関連図 看護問題の明確化 看護計画立案	情報の整理 アセスメント (情報収集、分析・解釈) 全体像、関連図作成 患者とのコミュニケーション 看護援助の見学、参加 バイタルサイン測定 看護問題の明確化 (問題リスト、優先順位 の決定) 看護計画の立案 (期待される成果、具体策) 患者とのコミュニケーション バイタルサイン測定 看護援助の実施	1 2 3 15 1 2 3 4 5 6 15	担当 教員 参照
	2021. 6. 10	木	1～4	看護援助の実施、評価	看護計画に沿った援助の実施 実施した援助の評価 実施した援助の記録	7 8 9 10 11	担当 教員 参照
	2021. 6. 11	金	1～4	看護援助の実施、評価 実習に対する中間評価	看護計画に沿った援助の実施 実施した援助の評価 実施した援助の記録	12 14 15	担当 教員 参照
第3週	2021. 6. 14	月	1～4	看護援助の実施 看護計画の修正	看護計画の見直し、修正 修正後の看護計画に沿った援助 の実施 実施した援助の記録	7 8 9 10 11 12 14 15	担当 教員 参照

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
第 3 週	2021. 6. 15	火	1～4	看護援助の実施、評価	修正後の看護計画に沿った援助 の実施 実施した援助の記録	7 8 9 10 11 12 14 15	担当 教員 参照
	2021. 6. 16	水	1～4	看護援助の実施、評価	修正後の看護計画に沿った援助 の実施 実施した援助の記録	7 8 9 10 11 12 14 15	担当 教員 参照
	2021. 6. 17	木	1～4	看護援助の実施、評価 最終カンファレンス 実習に対する最終評価	修正後の看護計画に沿った援助 の実施 実施した援助の記録	7 8 9 10 11 12 14 15	担当 教員 参照
	2021. 6. 18	金	1～4	看護計画の結果、評価 記録のまとめ	日々の実施記録をもとに、看護 計画の結果、評価 受け持ち患者の病態のまとめ	13 14 15	担当 教員 参照
第 4 週	2021. 6. 21	月	1～4	実習のまとめ	【対面授業：演習】 受け持ち患者のまとめの発表	13 14 15	

2 年

専門分野Ⅱ



成人看護援助論 I

対象学年 : 2 学年 通年
 単位・時間数 : 2 単位 45 時間
 責任者名 : 関根 和佳
 授業形式等 : 講義 (対面、遠隔)・演習
 担当教員 : 関根 和佳 (実務教員) 柴田 恵美 (実務教員) 植田 光剛 (実務教員)
 英 千秋 (実務教員) 野間 もえぎ (実務教員)
 三浦 まき (実務教員) : 大学病院 救急看護認定看護師
 関口 紗弓 (実務教員) : 大学病院 プレストセンター 乳がん看護認定看護師

●一般目標 (GIO)

生命の危機状態にある成人の看護を実践するために、健康状態が急激に変化する対象の特性について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 急激な生命の危機状態にある成人の身体的・心理的・社会的特徴が説明できる。
2. 周術期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。
3. 周術期 (手術や麻酔) に関連した生体侵襲・回復過程について説明できる。
4. 呼吸器系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。
5. 運動器系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。
6. 消化器系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。
7. 脳神経系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。
8. 女性生殖器系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。
9. 事例に基づいた看護過程を系統的に記述できる。

●アクティブ・ラーニング

演習は術直後の観察や周術期に必要な看護援助を実際に体験することで理解を深める。さらに、事例展開から術後の看護計画を立案し、実際に学内演習で実施することで臨地実習に繋げる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 臨時試験・定期試験 (筆記試験) (80%)・演習態度 (10%)・課題レポート (10%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績のご記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受付できない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
三浦 まき	クラスルーム内で質問を受け付ける。	tmaki@cmed.showa-u.ac.jp
関口 紗弓		flc0217@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

生命の危機に直結する急性期にある患者の看護について、救命救急や ICU、手術室など特殊な環境での治療について学修し、必要な看護援助について理解する。さらに、急性期にある患者の看護計画を立案し、実際に学内演習で実施することで臨地実習に向けた必要な知識と技術、態度についての理解を深める。担当教員は看護師としての実務経験があり、経験に基づいて成人看護に必要な知識、スキル、態度を教授する。また、救急看護、乳がん看護は、現在も医療現場で活躍している認定看護師から直接教授を受ける。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「専門的実践能力」を中心に学ぶ。成人期の急性期にある対象の特性、疾患の看護を理解し、看護実践に活かす知識・技術・態度の修得を目指す。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論	安酸史子 他	メディカ出版	2015
テキスト	系統看護学講座 別巻 救急看護学	山勢博彰 他著	医学書院	2018
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器	浅野浩一郎 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器	金田 智 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経	竹村信彦 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑨ 女性生殖器	池田 正 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器	田中 栄 他著	医学書院	2019
テキスト	経過別成人看護学② 周術期看護	赤石 恵子 他	メヂカルフレンド社	2020
参考図書	周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と 生体反応から導く看護	鎌倉やよい・深田順子	医学書院	2016

●準備学習（予習・復習）

成人看護援助論 1 は、学習内容が多岐にわたり、授業時間も長いことから、各授業の前には、必ず事前に使用テキストを確認して、学習内容の項目に目を通しておくこと。
授業終了後には、テキスト、講義資料、参考文献を整理して、事後学修をすすめること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	形態機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、薬理学、生化学、リハビリテーション論、病理学、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、成人対象・目的論
2 年	看護過程の展開、治療処置における援助《理論編》・《実践編》

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス。ABCD の 4 クラス制で行う場合は、時限 - 上段から ABCD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4. 8	木	2	生命の危機状態にある成人の身体的・心理的・社会的特徴	【遠隔：オンデマンド】 1. 救急看護の特徴 1) 救急看護とは 2) 対象の特徴	1	三浦
2	2021. 4. 15	木	2	生命の危機状態に陥り易い主な疾患の看護（1）	【遠隔：オンデマンド】 1. 救急患者の主要病態と治療・処置 1) ショック状態 2) 心肺停止状態 3) 急性症状の応急処置 4) 外傷・熱傷・中毒の応急処置 5) 環境要因による障害の応急処置	1	三浦
3	2021. 4. 20	火	4	生命の危機状態に陥り易い主な疾患の看護（2）	【遠隔：オンデマンド】 2. 救急患者の看護	1	三浦
4	2021. 4. 22	木	2	ICU の特性と看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 環境の特性 2. ICU に入室する患者の特性 3. ICU の看護 1) 人工呼吸器（非侵襲含む）	1	植田
5	2021. 4. 28	水	3	周術期における成人の身体的・心理的・社会的特徴	【遠隔：オンデマンド】 1. 周術期の成人の特徴 2. 身体の一部を喪失した患者の特徴	1 2 3	植田
6	2021. 5. 18	火	4	周術期（手術や麻酔）に関連した生体侵襲・回復過程	【遠隔：オンデマンド】 1. 周術期看護の特徴 1) 手術療法 2) 侵襲 3) ムーア	1 2 3	植田
7	2021. 6. 2	水	2	周術期の段階に応じた看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 手術前の患者の特徴 2. 手術中の患者の特徴 3. 手術後の患者の特徴 4. 術前・術後の身体評価 1) 看護のアセスメント 2) コーチⅡ 3) ハフティング	1 2 3	植田

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
8	2021. 6. 22	火	1	女性生殖器系に障害を持つ成人の周術期看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 乳房切除術を受ける患者の看護 1) 皮下ドレーンの管理 2) リンパマッサージ 3) 乳房の触診	2 3 8	関口
9	2021. 6. 24	木	3	呼吸器系に障害を持つ成人の周術期看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 肺切除術を受ける患者の特性 2. 肺切除術を受ける患者の看護 1) 胸腔ドレーン	2 3 4	植田
10	2021. 6. 30	水	4	運動器系に障害を持つ成人の周術期看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 整形外科的な手術を受ける患者の特性 2. 整形外科的な手術を受ける患者の看護 1) 下肢静脈血栓の予防	2 3 7	植田
11	2021. 7. 16	金	1	脳神経系に障害を持つ成人の周術期看護（1）	【遠隔：オンデマンド】 1. 脳神経外科的な手術を受ける患者の特性	2 3 5	植田
12	2021. 9. 13	月	3	脳神経系に障害を持つ成人の周術期看護（2）	【遠隔：オンデマンド】 2. 脳神経外科的な手術を受ける患者の看護 1) 脳室ドレーン	2 3 7	植田
13	2021. 9. 15	水	4	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護（1）	【遠隔：オンデマンド】 1. 食道切除・再建術を受ける患者の特性 2. 食道切除・再建術を受ける患者の看護 1) 腹腔ドレーンの管理 2) 看護のアセスメント	2 3 6	植田
14	2021. 9. 29	水	1	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護（2）	【遠隔：オンデマンド】 1. 胃切除術を受ける患者の特性 2. 胃切除術を受ける患者の看護 1) 開腹術を受ける患者の看護 2) 腹腔鏡下術を受ける患者の看護 3) 看護のアセスメント	2 3 6	関根
15	2021. 10. 6	水	1	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護（3）	【遠隔：オンデマンド】 1. 事例学習を実施 1) 情報収集 2) 関連図の作成 3) 看護問題の抽出 4) 看護目標の設定 5) 看護計画の立案	2 3 6 9	関根

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
16	2021. 10. 12	火	3	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護（４）	【遠隔：オンデマンド】 1. 事例学習を実施 1) 情報収集 2) 関連図の作成 3) 看護問題の抽出 4) 看護目標の設定 5) 看護計画の立案	2 3 6 9	関根
17	2021. 10. 15	金	1 2 3 4	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護（５）	【対面】 1. 事例を用いたグループワーク 1) 看護援助の方法の検討	2 3 6 9	関根 柴田(恵) 植田 英 野間
18	2021. 10. 22	金	1 3	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護（６）	1. 術後管理の実際の演習 1) ドレーン管理 2) 下肢静脈血栓の予防 3) 水分出納管理 4) 点滴管理 5) 乳房リンパマッサージ 2. 術後の観察	2 3 6 9	関根 柴田(恵) 植田 英 野間
19	2021. 10. 22	金	2 4	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護（７）	1. 術後管理の実際の演習 1) ドレーン管理 2) 下肢静脈血栓の予防 3) 水分出納管理 4) 点滴管理 5) 乳房リンパマッサージ 2. 術後の観察	2 3 6 9	関根 柴田(恵) 植田 英 野間
20	2021. 10. 29	金	1 3	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護（７）	1. 事例で計画した看護計画の実施 1) 術後患者の清潔援助の演習	2 3 6 9	関根 柴田(恵) 植田 英 野間
21	2021. 11. 5	金	1 3	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護（８）	【対面】 1. 看護展開の実際の発表 1) グループ発表	2 3 6 9	関根 柴田(恵) 植田 英 野間
22	2022. 1. 14	金	1	まとめ（１～２１回）		1～9	関根 柴田(恵) 植田 英 野間

成人看護援助論Ⅱ

対象学年 : 2 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 関根 和佳

授業形式等 : 講義(遠隔、対面)・演習

担当教員 : 関根 和佳 (実務教員) 柴田 恵美 (実務教員) 植田 光剛 (実務教員)
英 千秋 (実務教員) 野間 もえぎ (実務教員)

●一般目標 (GIO)

長期間にわたる療養生活が必要な成人の看護を実践するために、慢性期にある対象の特性について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 長期にわたり疾病コントロールを必要とする対象の特性が説明できる。
2. 腎機能障害にある対象の看護について説明できる。
3. 呼吸器障害にある対象に看護について説明できる。
4. 肝機能障害にある対象の看護について説明できる。
5. 内分泌・代謝障害にある対象の看護について説明できる。
6. 血液・造血器系に障害を持つ対象の看護について説明できる。
7. 看護過程を活用し、対象のセルフマネジメントを推進する援助方法を説明できる。
8. インスリン自己注射の技術を説明できる。
9. 自己の血糖測定を実施する。

●アクティブ・ラーニング

演習で経験した技術を、事例を基に看護計画を立案することで看護過程の経過を学内で学修する。さらにプレゼンテーションを行う事で学生間の学びの共有に繋げる。

●評価方法・評価基準

評価方法：臨時試験・定期試験（筆記試験）（90%）・演習態度（5%）・課題レポート（5%）

評価（教学上の判定）概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数なお）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ① 成績のご記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受付できない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
関根 和佳	クラスルーム内で質問を受け付ける。	waka001@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

慢性疾患の代表的な疾患を主軸にして、長期療養が必要な患者の看護の特徴を学修する。自己血糖測定の実習を実施し、看護計画を立案することで自己血糖測定、必要な指導方法の課程を具体的にイメージできるように事例を活用する。担当教員は看護師としての実務経験があり、経験に基づいて成人看護に必要な知識、スキル、態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「専門的実践能力」を中心に学ぶ。慢性疾患の代表的な疾患を通し、長期療養を強いられる対象に必要な看護を理解し、看護実践に活かす手法の理解、技術、態度の修得を目指す。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論	安酸史子 他	メディカ出版	2015
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器	浅野浩一郎 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器	金田 智 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝	黒江ゆり子 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器	大東貴志 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 血液・造血器	飯野京子 他著	医学書院	2019
参考図書	経過別成人看護学③ 慢性期看護	黒江 ゆり子 他	メヂカルフレンド社	2020

●準備学習（予習・復習）

事前に人体の構造と機能（脾臓・肝臓・腎臓）疾病の成り立ちと回復の促進（糖尿病・肝炎・肝硬変・肝がん・腎不全）についてテキストを活用して課題学習を行う。
授業後には問題点を明確にして、各授業の理解を深められるように事後学修をすすめること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、臨床看護総論、成人対象・目的論
2年 看護過程展開、治療処置における援助《理論編》・《実践編》

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス。ABCD の 4 クラス制で行う場合は、時限 - 上段から ABCD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 4. 27	火	4	慢性疾患にある患者の特徴	【遠隔：オンデマンド】 1. 慢性疾患の看護の基本 1) 長期にわたる疾病コントロール 2) 慢性疾患に必要な看護の視点 3) 病みの軌跡理論	1	柴田 (恵)
2	2021. 4. 30	金	1	腎機能障害患者の看護 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 腎不全にある患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置	1 2	関根
3	2021. 5. 10	月	2	腎機能障害患者の看護 (2)	【遠隔：オンデマンド】 2. 腎不全にある患者の看護 1) 看護のアセスメント	1 2	関根
4	2021. 5. 12	水	3	肝機能障害患者の看護 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 肝炎・肝硬変・肝臓がんにある患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置	1 4	関根
5	2021. 5. 20	木	4	肝機能障害患者の看護 (2)	【遠隔：オンデマンド】 2. 肝炎・肝硬変・肝臓がんにある患者の看護 1) 看護のアセスメント	1 4	関根
6	2021. 5. 31	月	2	肝機能障害患者の看護 (3)	【遠隔：オンデマンド】 3. 事例学習を実施 1) 関連図の作成 2) 看護のアセスメント	1 4	関根
7	2021. 6. 2	水	3	呼吸の看護吸器障害患者 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 慢性閉塞性肺疾患にある患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置	1 3	英
8	2021. 6. 23	水	1	呼吸の看護吸器障害患者 (2)	【遠隔：オンデマンド】 2. 慢性閉塞性肺疾患にある患者の看護 1) 看護のアセスメント	1 3	英
9	2021. 9. 7	火	3	血液・造血器系に障害を持つ成人の看護 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 急性骨髄性白血病にある患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置	1 6	柴田 (恵)
10	2021. 9. 14	火	3	血液・造血器系に障害を持つ成人の看護 (2)	【遠隔：オンデマンド】 2. 急性骨髄性白血病にある患者の看護 1) 看護のアセスメント	1 6	柴田 (恵)

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
11	2021. 9.30	木	4	内分泌・代謝障害患者の 看護（１）	【遠隔：オンデマンド】 1. 糖尿病患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置 2. 看護のアセスメント	1 5	英
12	2021. 10.4	月	2	内分泌・代謝障害患者の 看護（２）	【遠隔：オンデマンド】 3. 糖尿病患者に対する看護の実 際 1) 自己管理のポイント 2) インスリン自己注射	1 5	英
13	2021. 10.13	水	1 3	成人のセルフマネジメン トを推進する看護（１）	【対面】 1. 糖尿病患者の事例展開を実施 1) 自己血糖測定の手順計画の立 案	1 5 7 8 9	関根 柴田 (恵) 植田 英 野間
14	2021. 10.20	水	1 2 3 4	成人のセルフマネジメン トを推進する看護（２）	1. 自己血糖測定の手順	1 5 7 8 9	関根 柴田 (恵) 植田 英 野間
15	2021. 10.27	水	2 4	成人のセルフマネジメン トを推進する看護（３）	【対面】 2. 自己血糖測定の手順計画の見 直し 1) 指導方法の発表	1 5 7 8 9	関根 柴田 (恵) 植田 英 野間

成人看護援助論Ⅲ

対象学年 : 2 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 関根 和佳
授業形式等 : 講義 (遠隔)・演習
担当教員 : 関根 和佳 (実務教員) 柴田 恵美 (実務教員) 植田 光剛 (実務教員)
英 千秋 (実務教員) 浅田 恵子 (実務教員) 野間 もえぎ (実務教員)
秋間 悦子 (実務教員) : 昭和大学病院 感染管理認定看護師
井口 佳子 (実務教員) : 昭和大学病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

●一般目標 (GIO)

対象の QOL を維持または拡大する看護を実践するために、生活の再構築に必要な看護について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 生活行動に障害のある成人の特性と援助方法について説明できる。
2. 視聴覚機能障害のある成人の特性と援助方法について説明できる。
3. 脊髄神経機能障害にある成人の特性と援助方法について説明できる。
4. 身体防御機能の障害がある成人の特性と援助方法について説明できる。
5. 人工肛門造設術を受けた成人の特性と援助方法について説明できる。
6. 自己の死生観について述べられる。
7. 終末期にある成人に必要な看護の役割について、述べられる。

●アクティブ・ラーニング

グループワークでディスカッションを行い、自己の死生観について述べることで終末期にある成人の理解、看護の役割の理解を深める。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題レポート (20%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績のご記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受付できない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
秋間 悦子	クラスルーム内で質問を受け付ける。	ns.akima.e@cmed.showa-u.ac.jp
井口 佳子		keychan@cmed.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

成人期にある対象が障害によって、生活の再構築を余儀なくされる中で健康障害の程度に応じた看護援助の基礎を学修する。また、終末期にある対象と家族に寄り添うために、成人期である自己の死生観にも関心を向けつつ、看護師の役割について学修をすすめる。担当教員は看護師としての実務経験があり、経験に基づいて成人看護に必要な知識、スキル、態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナルリズム」「コミュニケーション能力」「専門的実践能力」を育むための科目として位置づけられている。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論	安酸 史子 他	メディカ出版	2015
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器	織田弘美 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護	武田 宜子他	医学書院	2015
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑭ 耳鼻咽喉	小松浩子 他著	医学書院	2020
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経	竹村信彦 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑪ アレルギー 膠原病 感染症	岩田健太郎 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑬ 眼	大鹿哲朗 著	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器	金田 智 他著	医学書院	2019

●準備学習（予習・復習）

各授業の前には、必ず事前に使用テキストを確認して、学習内容の項目に目を通しておくこと。授業後には問題点を明確にして、各授業の理解を深められるように事後学修をすすめること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 社会学、教育学、心理学、倫理学、人間教育論、家族関係論、コミュニケーション論、形態機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ、医療概論、公衆衛生学、関係法規、健康教育論、薬理学、リハビリテーション論、看護学概論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、成人対象目的論、日常生活援助、臨床看護総論、社会福祉
2 年 緩和医療

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 7. 2	金	1	中途障害のある成人の特性と看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 中途障害のある患者の特性 2. 中途障害のある患者の看護の特徴	1	関根
2	2021. 7. 14	水	3	感覚機能障害のある成人の特性と看護（1）	【遠隔：オンデマンド】 1. 視覚機能障害患者の看護 1) 看護アセスメント	2	関根
3	2021. 7. 20	火	2	感覚機能障害のある成人の特性と看護（2）	【遠隔：オンデマンド】 2. 聴覚機能障害患者の看護 1) 看護のアセスメント 3. 湿性患者の看護 1) 看護のアセスメント	2	関根
4	2021. 10. 5	火	3	生活行動に障害のある成人の特性と看護（1）	【遠隔：オンデマンド】 3. 脳梗塞患者の看護 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置 3) 看護のアセスメント	3	井口
5	2021. 11. 1	月	1	生活行動に障害のある成人の特性と看護（2）	【遠隔：オンデマンド】 4. 麻痺側のある患者の看護 1) 麻痺側のある患者の特徴 2) ケアの実践	3	井口
6	2021. 11. 8	月	1	生活行動に障害のある成人の特性と看護（3）	【遠隔：オンデマンド】 1. 脊髄損傷患者の特性 1) 病態の特徴 2) 治療・検査 3) 看護のアセスメント	1	関根
7	2021. 11. 9	火	1	感染により障害を受けた成人の特性と看護（1）	【遠隔：オンデマンド】 1. 感染により障害を受けた成人の特性と看護	1	秋間
8	2021. 11. 11	木	1	生活行動に障害のある成人の特性と看護（4）	【遠隔：オンデマンド】 2. 脊髄損傷患者の看護 1) 治療・検査・処置 2) 看護のアセスメント	4	関根
9	2021. 12. 3	金	3	人工肛門造設術を受けた成人の特性と看護（1）	【遠隔：オンデマンド】 1. 人工肛門造設術を受けた成人の特性	5	浅田
10	2022. 1. 11	火	1 4	人工肛門造設術を受けた成人の特性と看護（2）	【遠隔：オンデマンド】 2. 人工肛門造設術を受けた患者の看護	5	浅田
11	2022. 1. 13	木	1	感染により障害を受けた成人の特性と看護（2）	【遠隔：オンデマンド】 2. HIV 感染症・AIDS 患者の特性と看護	4	秋間
12	2022. 1. 17	月	1 4	終末期にある成人の特性	【遠隔：オンデマンド】 1. 終末期にある患者の特性 2. 終末期にある患者と家族のニーズと看護	6 7	柴田 (恵)

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
13	2022. 1. 21	金	1	自己の死生観	【対面】 1. 死生観とは 1) 個人ワーク、グループワークを実施する	6	柴田 (恵)
			4			7	
14	2022. 2. 3	木	2	終末期にある成人に必要な看護の役割	【対面】 1. 終末期にある成人に必要な看護 1) 看護のアセスメント 2. 具体的なケアの実際	6	柴田 (恵)
			1			7	
15	2022. 2. 17	木	1	まとめ（1～14 回）			

成人看護援助論Ⅳ

対象学年	：2 学年 通年		
単位・時間数	：1 単位 15 時間		
責任者名	：関根 和佳		
授業形式	：講義（遠隔）		
担当教員	：関根 和佳（実務教員）	柴田 恵美（実務教員）	植田 光剛（実務教員）
	英 千秋（実務教員）	野間 もえぎ（実務教員）	

●一般目標（GIO）

循環器疾患の特性をふまえた成人の看護を実践するために、病期や症状に応じた看護介入について理解することができる。

●行動目標（SB0s）

1. 循環器疾患の特性が成人の生活に及ぼす影響について説明できる。
2. 循環器疾患の特性が個々により変化し、それに応じた援助の必要性について説明できる。
3. 循環器疾患の特性をふまえて、病期に応じた援助方法を説明できる。
4. 循環器疾患の特性をふまえて、症状に応じた援助方法を説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（90%）、課題レポート（10%）

評価（教学上の判定）概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績のご記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの

＊成績の再考を求めたりするものは受付できない。

＊「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。

＊科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
関根 和佳	クラスルーム内で質問を受け付ける。	waka001@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

生活習慣病の1つである循環器疾患の特性を理解し、成人期にある患者の看護について病期に沿った援助方法を学修する。担当教員は看護師としての実務経験があり、経験に基づいて成人看護に必要な知識、スキル、態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

本科目は、本学ディプロマ・ポリシーにおける「プロフェッショナルリズム」「専門的实践能力」「アイデンティティー」を育むための科目として位置づけられている。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシンググ・ラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論	安酸史子 他	メディカ出版	2015
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器	上塚芳郎 他著	医学書院	2019

●準備学習（予習・復習）

各授業の前には、必ず事前に使用テキストを確認して、学習内容の項目に目を通しておくこと。
授業後には問題点を明確にして、各授業の理解を深められるように事後学習を進めること。

●全学年を通しての関連科目

1 年生 形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、リハビリテーション論、病理学、薬理学、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、臨床看護総論、フィジカルアセスメント、共通基本技術、成人対象目的論
2 年生 看護過程展開、治療処置における援助《理論編》《実践編》、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学修項目	学修内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 4. 12	月	2	循環器疾患のある成人 の特性と看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 循環器疾患のある患者の特性 2. 循環器疾患のある患者の看護の特性	1 2	植田
2	2021. 4. 19	月	2	循環機能障害患者の看護（1）	【遠隔：オンデマンド】 1. 不整脈のある患者の看護 1) 病態の特徴 2) 治療・検査 3) 看護のアセスメント	2 3 4	植田
3	2021. 4. 26	月	2	循環器系に障害を持つ 患者の周術期看護（1）	【遠隔：オンデマンド】 1. 急性心筋梗塞を発症した患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置	2 3 4	植田
4	2021. 4. 30	金	2	循環器系に障害を持つ 患者の周術期看護（2）	【遠隔：オンデマンド】 2. 急性心筋梗塞を発症した患者の看護 1) 看護のアセスメント 2) スワングアンツ 3) IABP	2 3 4	植田
5	2021. 5. 11	火	4	循環器系に障害を持つ 患者の周術期看護（3）	【遠隔：オンデマンド】 3. 事例学習を実施 1) 関連図の作成 2) 看護のアセスメント	2 3 4	植田
6	2021. 5. 17	月	2	循環機能障害患者の看護（2）	【遠隔：オンデマンド】 2. 心不全にある患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置	2 3 4	植田
7	2021. 5. 25	火	4	循環機能障害患者の看護（3）	【遠隔：オンデマンド】 3. 心不全にある患者の看護 1) 看護のアセスメント	2 3 4	植田

成人看護学実習 I

対象学年 : 2 学年 後期

単位・時間数 : 3 単位 135 時間

責任者名 : 関根 和佳

授業形式等 : 実習

担当教員 : 関根 和佳 (実務教員) 柴田 恵美 (実務教員) 植田 光剛 (実務教員)
 英 千秋 (実務教員) 桧山 優子 (実務教員) 江副 秀美 (実務教員)
 菅原 睦子 (実務教員) 五嶋 洋子 (実務教員) 福永 聖子 (実務教員)
 浅田 恵子 (実務教員) 恩田 奈美 (実務教員) 藤田明里咲 (実務教員)
 神尾 由紀 (実務教員) 秋庭 良子 (実務教員) 加賀美美穂子 (実務教員)
 長谷川和美 (実務教員) 田中比露美 (実務教員) 柴田 浩子 (実務教員)
 花井恵美子 (実務教員) 小塚 智子 (実務教員) 矢嶋 裕里 (実務教員)
 塩川 優子 (実務教員) 富崎 志穂 (実務教員) 築瀬眞由美 (実務教員)
 玉川 百里 (実務教員) 野間もえぎ (実務教員) 中畠 理香 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

成人期にある対象の特性をふまえた看護を実践するために、必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 身体的・心理的・社会的 (家族も含む) 情報を得ることができる。
2. フィジカルイグザミネーションを使用して観察をすることができる。
3. 全体像 (発達段階・健康障害・治療上の規制・生活状況) を説明することができる。
4. 得られた情報を関連させて分析・解釈・判断の記述ができる。
5. 健康障害が対象に及ぼす影響を看護問題として抽出できる。
6. 問題を解決するための期待される成果 (看護目標) を設定することができる。
7. 個別性をふまえた看護計画を立案することができる。
8. 自己の傾向をふまえ、主体的に対象と関係を築くことができる。
9. 安全・安楽・自立を考慮した援助が実施できる。
10. 立案した看護計画の妥当性を評価し、修正できる。
11. 看護実践を振り返り、個性性 (対象のパワーリソース、生活環境、生活習慣) のある看護計画とは何かを考察し記述ができる。
12. 対象が持つ力を引き出す看護とは何かを考察し記述ができる。
13. 病棟の特徴を理解し、自らの看護実践に応用する。
14. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●アクティブ・ラーニング

実習は、実際に対象からコミュニケーションを通して情報を収集し、成人期にある対象の特性をふまえた看護の実践を理解する。さらに、臨地実習終了後に、実際に行った看護実践を理論を用いて振り返り、対象が持つ力を引き出す看護とは何かを追及する。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績のご記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの
- *成績の再考を求めたりするものは受付できない。

- * 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
- * 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること。主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
関根 和佳	電子メールで質問を受け付ける。 (平日：9時～17時)	waka001@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋	対面での質問を希望する場合は、事前にアポを取り時間調整をする。	chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

成人期にある対象を受け持ち、看護実践を展開する中でフィジカルイグザミネーションを使用した観察、発達段階、健康障害や治療上の規制など様々な側面から対象を理解し、個性性をふまえた看護のあり方を学修する。担当教員は看護師としての実務経験があり、経験に基づいて成人看護に必要な知識、スキル、態度を教授する。臨地実習については、臨床指導者と実務教員が指導を行う。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、本学ディプロマ・ポリシーにおける「専門的実践能力」「コミュニケーション能力」「チーム医療」「専門的実践能力」「自己研鑽」「アイデンティティ」を育むための科目として位置づけられている。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	系統看護学講座（基礎、専門Ⅰ・Ⅱ、別巻）全般		医学書院	
テキスト	成人看護学① 成人看護学概論	安酸史子 他	メディカ出版	2019
テキスト	経過別成人看護学② 周術期看護	明石恵子 他	メヂカルフレンド社	2020
プリント	成人看護学実習Ⅰに関連した科目の講義時のプリント			

●準備学習（予習・復習）

【予 習】病棟の特殊性をふまえた疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【実習中】受け持ち患者に関連した疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【復 習】実習記録を基に、実践した看護の振り返り

●全学年を通しての関連科目

1 年 社会学、教育学、心理学、倫理学、人間教育論、家族関係論、病理学、健康教育論、薬理学、生化学、コミュニケーション論、形態機能Ⅰ～Ⅳ、リハビリテーション論、病理学、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、看護学概論、看護理論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、成人対象目的論、臨床看護総論、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ、診療に伴う看護、日常生活援助《理論編》・《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ
 2 年 看護過程の展開、治療処置における援助《理論編》・《実践編》、緩和医療、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老人看護援助論Ⅱ・Ⅲ臨床医学Ⅵ・Ⅶ・Ⅸ、基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学修項目	学修内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 11. 17	水	1 ～ 3	・実習オリエンテーション ・事前学習（1）	1. 実習オリエンテーション 2. 事前学習 1) 特徴的な疾病・検査・治療に関する学習 2) フィジカルイグザミネーショントレーニング 3) 技術練習（ナーシングスキルの活用）	14	関根 柴田（恵） 植田 英 桧山 江副 菅原 五嶋 福永 浅田 恩田 藤田 神尾 秋庭 加賀 美 長谷 川 田中 柴田 （浩） 花井 小塚 矢嶋 塩川 富崎 築瀬 玉川 野間 中瀧
2	2021. 11. 22 12. 6	月	1 ～ 4	・事前学習（2）	1. 事前学習 1) 特徴的な疾病・検査・治療に関する学習 2) フィジカルイグザミネーショントレーニング 3) 技術練習（ナーシングスキルの活用）	14	
3	2021. 11. 24 12. 7	水・火	1 ～ 4	・事前学習（3）	1. 事前学習 1) 特徴的な疾病・検査・治療に関する学習 2) フィジカルイグザミネーショントレーニング 3) 技術練習（ナーシングスキルの活用）	14	
4	2021. 11. 25 12. 8	木・水	1 ～ 4	・事前学習（4）	1. 事前学習 1) 特徴的な疾病・検査・治療に関する学習 2) フィジカルイグザミネーショントレーニング 3) 技術練習（ナーシングスキルの活用）	14	
5	2021. 11. 22 12. 6	月	1 ～ 4	・病棟オリエンテーション ・病棟の特色の理解	1. 病棟オリエンテーション 2. 複数患者への検査・処置・ケアの見学、一部介助の実施 3. 疾患の追加学習	13 14	
6	2021. 11. 22 12. 7	月・火	1 ～ 4	・患者紹介、患者挨拶 ・情報収集	1. 患者紹介、患者挨拶 2. 情報収集 3. 得られた情報の整理 4. 受け持ち患者の援助の見学、一部介助の実施 5. 受け持ち患者のバイタルサイン測定	1 2 13 14	
7	2021. 11. 24 12. 8	水	1 ～ 4	・情報収集 ・情報の分析・解釈 ・全体像の把握 ・看護問題の抽出	1. 情報収集 2. 情報の整理 3. 情報の分析・解釈 4. 関連図の作成 5. 看護問題の抽出	1 2 3 4 5 14	

回	年月日	曜日	時限	学修項目	学修内容	対象 SBOs	担当
8	2021. 11.25 12.9	木	1 ～ 4	・看護計画の立案 ・期待される成果（看護目標）の設定 ・看護計画に沿って実施、評価	1. 看護問題の抽出 2. 看護計画の立案 3. 期待される成果（看護目標）の設定 4. 看護計画に沿って実施、評価	3 4 5 6 7 14	関根 柴田 (恵) 植田 英 桧山 江副 菅原 五嶋 福永 浅田 恩田 藤田 神尾 秋庭 加賀 美 長谷 川 田中 柴田 (浩) 花井 小塚 矢嶋 塩川 富崎 築瀬 玉川 野間 中島
9	2021. 11.26 12.10	金	1 ～ 4	・看護計画に沿って実施、評価	1. 看護計画の修正 2. 看護計画に沿って実施、評価	6 7 9 14	
10	2021. 11.29 12.13	月	1 ～ 4	・看護計画に沿って実施、評価 ・中間評価	1. 看護計画に沿って実施、評価 2. 中間評価	7 8 9 13 14	
11	2021. 11.30 12.14	火	1 ～ 4	・看護計画に沿って実施、評価 ・看護計画の追加、修正	1. 看護計画に沿って実施、評価	8 9 13 14	
12	2021. 12.1 12.15	水	1 ～ 4	・看護計画に沿って実施、評価 ・看護計画の追加、修正	1. 看護計画に沿って実施、評価	8 9 10 13 14	
13	2021. 12.2 12.16	木	1 ～ 4	・看護計画に沿って実施、評価 ・看護計画の追加、修正	1. 看護計画に沿って実施、評価	8 9 10 13 14	
14	2021. 12.3 12.17	金	1 ～ 4	・看護計画に沿って実施、評価 ・最終カンファレンス ・病棟実習評価	1. 看護計画に沿って実施、評価 2. 患者との関わりを振り返る 1) 2週間の看護実践を評価 2) 病棟で最終カンファレンス 3. 最終評価	8 9 10 13 14	
15	2021. 12.20	月	1 ～ 4	まとめ（1） ・対象の全体像と看護をまとめる	1. 対象の全体像と実施した看護を理論を活用し考察する。	11 12	
16	2021. 12.21	火	1 ～ 4	まとめ（2） ・対象の全体像と看護をまとめる	1. 対象の全体像と実施した看護を理論を活用し考察する。	11 12	
17	2021. 12.22	水	1 ～ 4	まとめ（3） ・実施した看護の振り返りをグループで共有し、対象の力を引き出す看護とは何かを考える。	【グループワーク：対面】 1. 各自の看護の振り返りをグループ発表し、学びを共有する。 2. 対象の力を引き出す看護とは何かをグループワークでまとめる。	11 12 14	
18	2021. 12.23	木	1 ～ 4	・まとめ（4） テーマ 対象の力を引き出す看護とは何か ・記録提出	【全体討議：対面】 1. テーマに沿って全体討議を行う 2. 記録のまとめ（提出）	11 12 14	

老年看護援助論Ⅱ

対象学年 : 2 学年 通年
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 桧山 優子
 授業形式等 : 講義 (遠隔・対面)
 担当教員 : 桧山 優子 (実務教員) 江副 秀美 (実務教員)
 菅原 睦子 (実務教員) 柴田 雅子 (実務教員) 中畠 理香 (実務教員)
 伊藤 雄一郎 (実務教員) : 昭和大学病院 認知症看護認定看護師
 石原 ゆきえ (実務教員) : 昭和大学江東豊洲病院 老人看護専門看護師

●一般目標 (GIO)

健康障害をもちながら生活する高齢者とその家族へ援助をするために、健康の段階に応じた高齢者看護について修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 認知症の病態を踏まえた高齢者の看護について説明できる。
2. 健康の段階に応じた高齢者の看護について説明できる。
3. 高齢者の特徴を踏まえ、健康障害にある高齢者の看護過程が展開できる。
4. 終末期の高齢者の看護について説明できる。

●アクティブ・ラーニング

看護過程の展開では、高齢者の加齢変化を踏まえたアセスメントから看護計画までの一連の過程をグループ学習に備えて自己学習を行う。グループワークでは、ディスカッションを行いながら共有し、学びを深める。

●評価方法

定期試験 (60%)、記録・参加態度 (40%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受付けない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問 する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
桧山優子	講義終了後に質問を受け付ける。 電子メールもしくはGoogle クラスルーム内でも、	yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副秀美	土・日、祭日を除く 9:00~17:30 までに質問を受け付ける。	h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
伊藤雄一郎	電子メールにて土・日、祭日を除く 9:00~17:30	hughie@cmed.showa-u.ac.jp
石原ゆきえ	までに質問を受け付ける。	atorichan@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

高齢者は複数の疾患を抱えて健康障害をもちながら生活していることが多い。高齢者が療養生活する中でも、特に多い疾患を授業内で学習する。また、入院から退院までの経過で高齢者に多くみられる症状、治療を継続する上での課題など、臨床現場の現状を学ぶ。事例展開では、看護上必要な援助について理解を深めていく。老年看護専門看護師、認知症看護認定看護師による専門的な知識・技術の教授、老年看護の臨床経験のある教員による講義を行う。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

高齢者の健康の段階に応じた看護を学び、知識を統合して看護過程の展開をすることにより「専門的実践能力」「プロフェッショナルリズム」「社会的貢献」を養う科目である。また、自己学習やグループワークを通して「コミュニケーション能力」を高め「チーム医療」での自己の役割について学ぶ。そして本学のアイデンティティを身につける。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ① 高齢者の健康と障害	堀内 ふき他編	メディカ出版	2020
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ② 高齢者看護の実践	堀内 ふき他編	メディカ出版	2020
参考動画	ナーシング・スキル		エルゼビア	

●準備学修（予習・復習）

各講義の SB0s を確認し、テキストを読み、わからないことを明確にして講義に臨む。関連動画がある場合は視聴する。復習してもわからない点はノートにまとめ、聴講時に確認する。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、薬理学、栄養学、公衆衛生学と関係法規、社会福祉
家族関係論、リハビリテーション論、看護理論、日常生活援助<理論編><実践編>
フィジカル・アセスメント、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ
- 2 年 臨床医学Ⅵ～Ⅶ、看護過程の展開、在宅看護概論、成人看護学援助論Ⅰ～Ⅱ
老年看護援助論Ⅲ

●予定表

※AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 4. 7	水	2	認知症(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 認知症の病態と要因 2. 認知機能の評価方法 3. 認知症の予防と治療	1	桒山
2	2021. 4. 14	水	2	認知症(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 認知症の症状の理解とケア 2. 認知症高齢者とのコミュニケー ション 3. 認知症の療法的アプローチ	1	伊藤
3	2021. 4. 21	水	2	認知症(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 認知症高齢者の家族への支援と サポート 2. 認知症高齢者の人権と権利擁護	1	伊藤
4	2021. 4. 28	水	2	認知症(4)	【遠隔：オンデマンド】 1. 認知症高齢者の終末期ケア	1	伊藤

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
5	2021. 9. 2	木	1	入院治療を受ける 高齢者の看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 事例展開の実際(1) 2. 生命を維持する過程の情報とア セスメント(1)	2 3	江副
			4				
6	2021. 9. 6	月	3	入院治療を受ける 高齢者の看護(2)	【講義：オンタイム】 グループワーク 1. 薬物療法 1) 加齢による生理学的変化 2) 薬物療法による有害反応 3) 服薬行動・服薬管理 2. 診察・検査 3. 生命を維持する過程の情報とア セスメント(2)	2 3	江副 桧山 菅原 柴田 (雅) 中寫
			4				
7	2021. 9. 9	木	1	入院治療を受ける 高齢者の看護(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 入院に伴う生活変化 2. うつ病とせん妄 1) 高齢者のうつ病の看護 2) せん妄を発症した高齢者への援 助	2 3	桧山
			4				
8	2021. 9. 10	金	1	入院治療を受ける 高齢者の看護(4)	【遠隔：オンデマンド】 1. リハビリテーション 1) 加齢とリハビリテーション 2) 経過別リハビリテーションの特 徴	2 3	桧山
			4				
9	2021. 10. 1	金	2	入院治療を受ける 高齢者の看護(5)	【対面】 グループワーク 1. 事例展開の実際(2) 1) 社会関係を維持発展させる過程 2) 生活習慣を獲得し発展させる過 程	2 3	江副 桧山 菅原 柴田 (雅) 中寫
			1				
10	2021. 10. 7	木	1	入院治療を受ける 高齢者の看護(6)	【対面】 グループワーク 1. 事例展開の実際(3) 1) 全体像と関連図	2 3	江副 桧山 菅原 柴田 (雅) 中寫
			2				
11	2021. 10. 14	木	2	入院治療を受ける 高齢者の看護(7)	【対面】 グループワーク 1. 事例展開の実際(4) 1) 問題の優先順位 2) 看護計画の立案	2 3	江副 桧山 菅原 柴田 (雅) 中寫
			4				
12	2021. 10. 19	火	1	手術療法を受ける 高齢者の看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者の手術 1) 大腿骨近位部骨折 2. 周手術期の看護 3. 家族への影響 4. 人工骨頭置換術を受ける高齢者 の看護 5. 術後せん妄への看護 6. 行動制限のリスク	2	江副

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
13	2021. 10. 21	木	3	退院に向けた高齢者の看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 退院 1) 退院を取り巻く社会状況 2) 退院計画と看護 2. 高齢者が使える各種サービス 3. 高齢者看護におけるチームアプローチ 1) 退院支援・退院調整	2	桒山
14	2021. 11. 29	月	2	高齢者の終末期 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者の死と医療・ケア 1) 終末期の概念と事前指示書 2) 終末期ケアにおける医療・ケアチーム	4	石原
15	2021. 11. 30	火	1	高齢者の終末期 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 終末期看護の実践 1) 身体的アセスメントと看護 2) 精神的苦痛や不安・混乱に対する看護 2. 看取りを終えた家族への看護	4	石原

老年看護援助論Ⅲ

対象学年 : 2 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 桧山 優子

授業形式等 : 講義 (遠隔) 演習

担当教員 : 菅原 睦子 (実務教員) 柴田 雅子 (実務教員) 浅田 恵子 (実務教員)

江副 秀美 (実務教員) 桧山 優子 (実務教員) 中嶋 理香 (実務教員)

路川 環 (実務教員) : 昭和大学病院 摂食嚥下障害認定看護師

●一般目標 (GIO)

高齢者が疾患や障害をもちながらも、その人が望む生活を考えながら援助するために、老年看護に必要な看護アプローチを修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 高齢者に特有な症候・疾患・障害の特徴を説明することができる。
2. 高齢者に特有な症候・疾患・障害をもちながら生活する対象を支えるために、必要なアセスメントを説明することができる。
3. 高齢者に特有な症候・疾患・障害をふまえ、高齢者の QOL を考えた援助方法を説明することができる。

●アクティブ・ラーニング

演習時は事前学習での学びを活かし、グループ内でディスカッションを行いながら援助技術を実施する。老年期の特徴にあった安全・安楽な看護介入について追及し、実施後は学生間で学びの共有をする。

●評価方法

定期試験 (65%)、課題 (15%)、レポート (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 - ※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - ※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - ※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問 する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
菅原睦子	講義終了後に質問を受け付ける。	suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp
柴田雅子	電子メールもしくは Google クラウドルーム内でも、土・日、祭日を除く 9:00~17:30 までに質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
浅田恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
路川 環	電子メールにて土・日、祭日を除く 9:00~17:30 までに質問を受け付ける。	t.m@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

高齢者に多くみられる症状・疾患とその看護について学ぶ。それぞれの症状について、学んだアセスメント方法を活用し、演習を通して援助方法を学ぶ。高齢者の尊厳を尊重し、その人が望む生活を支えるための援助について理解を深める。認定看護師による専門的な知識・技術の教授、老年看護の臨床経験がある教員による講義・演習を行う。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「チーム医療」「専門的実践能力」の達成を中心に学ぶ。高齢者に多い症候・疾患・障害を学び、老年期という発達段階の特徴をふまえて、高齢者が望む生活を支える看護の知識・技術・態度の修得を目指す。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ① 高齢者の健康と障害	堀内 ふき他編	メディカ出版	2020
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ② 高齢者看護の実践	堀内 ふき他編	メディカ出版	2020
参考動画	ナーシング・スキル		エルゼビア	
参考図書	写真でわかる生活支援技術	井藤英喜 他	インターメディカ	2011

●準備学修（予習・復習）

高齢者の特徴を踏まえながら、高齢者の健康状態のアセスメントや看護を展開するために必要な基礎的知識と援助方法を学ぶ。老年看護対象・目的論で高齢者の特徴を復習し、授業に臨む。また関連動画がある場合は視聴する。講義ごとに関連する他の授業内容とともに復習する。

●全学年を通しての関連科目

1年 コミュニケーション論、形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、栄養学、社会福祉
公衆衛生学と関係法規、リハビリテーション論、共通基本技術、
日常生活援助<理論編><実践編> フィジカル・アセスメント、老年看護学対象・目的論
老年看護援助論Ⅰ、
2年 臨床医学Ⅵ～Ⅶ、在宅看護概論、老年看護援助論Ⅱ

●予定表

※ ABCDの4クラス制で行う場合は、時限 - 上段から ABCD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 4.7	水	3	高齢者によくみられる疾患と特徴	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者に起こりやすい疾患 1) 全体的な特徴 2) 受診行動の特徴 2. 視覚・聴覚の障害とめまい 3. がん	1	菅原
2	2021. 4.9	金	1	高齢者のコミュニケーション	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者の理解とコミュニケーション 1) 高齢者の聴覚・視覚機能 2) 看護とコミュニケーション技術	1	菅原

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
3	2021. 4. 14	水	3	運動障害のある高齢者への看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 歩行・移動を支える看護 1) 高齢者と歩行・移動に関するアセスメント 2) 高齢者の身体・運動機能状態とその援助	2 3	菅原
4	2021. 4. 16	金	1	転倒・転落の予防、発生時の看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者の転倒 1) 住環境のアセスメント 2) 転倒・転落の要因と予防	2 3	柴田 (雅)
5	2021. 4. 21	水	3	掻痒感・脱水時の看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者のドライスキンによるかゆみ 1) スキンケア 2. 高齢者の脱水症の背景と特徴	2 3	柴田 (雅)
6	2021. 4. 23	金	1	浮腫・電解質異常の看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 浮腫の背景と特徴 1) 浮腫のアセスメントと看護 2) 心不全・腎不全 2. 電解質異常の背景と特徴 1) 電解質異常のアセスメントと看護	2 3	柴田 (雅)
7	2021. 5. 21	金	1 2 3 4	運動障害のある高齢者への看護の実際(1)	1. 運動障害のある高齢者への援助 (1) 1) 更衣 2) オムツ交換	3	菅原 柴田 (雅) 江副 桧山 中寫
8	2021. 5. 28	金	1 2 3 4	運動障害のある高齢者への看護の実際(2)	1. 運動障害のある高齢者への援助 (2) 1) 杖歩行・歩行器・シルバーカー 2) 麻痺のある患者の車いすの移送・移乗	3	菅原 柴田 (雅) 江副 桧山 中寫
9	2021. 6. 4	金	2	摂食嚥下障害のある高齢者への看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者の摂食嚥下障害の背景と特徴 2. 摂食嚥下障害のアセスメント 3. 摂食嚥下障害の看護と評価	2 3	路川
10	2021. 6. 23	水	3	呼吸機能障害のある高齢者への看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者の肺炎 1) 肺炎のアセスメントと看護 2) 肺炎の評価	2 3	柴田 (雅)
11	2021. 7. 20	火	1	循環機能障害のある高齢者への看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 高齢者の脳卒中 1) 脳卒中のアセスメントと看護 2) 高次脳機能障害の評価	2 3	柴田 (雅)

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
12	2021. 9.3	金	1	運動障害のある高 齢者への看護(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. パーキンソン病 1) パーキンソン病のアセスメント 2) パーキンソン病の看護と評価	2 3	菅原
			4				
13	2021. 9.8	水	3	摂食嚥下障害のある 高齢者への看護 の実際	1. 摂食・嚥下障害のある高齢者に対 する看護の実際 1) 誤嚥性肺炎の予防方法	3	菅原 柴田 (雅) 江副 桧山 中瀧
			4				
			1				
			2				
14	2021. 9.14	火	2	骨粗鬆症・骨折へ の看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 骨粗鬆症の背景と特徴 1) 骨粗鬆症のアセスメントと援助 2. 高齢者に多い骨折 1) 脊椎・腰椎圧迫骨折 3. 痛み・しびれ	2 3	菅原
15	2021. 10.12	火	2	廃用症候群予防の ための看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 廃用症候群の背景と特徴 1) 廃用性症候群の主な症状 2) 廃用性症候群の要因と特徴 2. 廃用症候群予防のためのアセスマ ントと看護 3. 褥瘡発生要因と予防	2 3	浅田

老年看護学実習Ⅰ

対象学年 : 2 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 45 時間

責任者名 : 桒山 優子

授業形式等 : 臨地実習

担当教員 : 桒山 優子 (実務教員) 江副 秀美 (実務教員) 菅原 睦子 (実務教員)
柴田 雅子 (実務教員) 中嶋 理香 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

地域の福祉施設を利用しながら生活する高齢者の健康を支える看護を理解するために、必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 高齢者の特徴を意識しながら、相手のペースに合わせたコミュニケーションを図ることができる。
2. 高齢者へ関心をもち、相手を尊重した関りができる。
3. 地域で生活している高齢者との関わりを通して、加齢変化の特徴について記述できる。
4. 高齢者を支える人々の活動状況を知り、健康を支える意味や支援の在り方について考察し、記述できる。

●アクティブ・ラーニング

実習での体験と講義・演習での学習内容を関連付けて考察する。

●評価方法

実習内容・記録 (80%)、態度 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 - ※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - ※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - ※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
桒山優子	実習中は、8:30～17:30 まで 電話にて質問・報告を受け付け ける。電子メールでも質問を 受け付ける。	yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
菅原睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp
柴田雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

高齢者在宅サービスセンター等福祉施設での実習で、様々な健康状態にある高齢者が通所する施設での関りをとおして、老年期にある対象の特性を理解し、その多様性に対しての看護について学ぶ。通所する高齢者や家族に対して「高齢者に対する国連原則」をもとに尊厳を持ったかかわり方、コミュニケーションの取り方や、アクティビティ、加齢現象による影響に対しての援助方法を学び体験をする。看護師として病院等で実務経験がある担当教員が、実務経験に基づき、必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本実習は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「チーム医療」「専門的実践能力」「社会的貢献」「自己研鑽」の達成を中心に学ぶ。地域で生活する老年期の対象の特徴を理解し、生活を支える人々の活動状況を知り、健康支援のために必要な知識・技術・態度の修得を目指す。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ① 高齢者の健康と障害	堀内 ふき他編	メディカ出版	2020
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ② 高齢者看護の実践	堀内 ふき他編	メディカ出版	2020
プリント	年表			
参考動画	ナーシング・スキル		エルゼビア	

●準備学修（予習・復習）

【予習】授業内容を復習し、わからないことを明確にして臨むこと。自己学習をしてから臨む。
【復習】実習後、自己の課題を明確にし、追加学習をおこなう。

●全学年を通しての関連科目

1年 家族関係論、コミュニケーション論、形態機能学Ⅰ～Ⅳ、公衆衛生学と関係法規、社会福祉リハビリテーション論、共通基本技術・日常生活援助<理論編><実践編>
フィジカル・アセスメント、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ
2年 老年看護援助論Ⅱ、Ⅲ、在宅看護概論

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
第 1 週	2021. 6.1	火	1 ～ 4	実習オリエンテーション	【対面】 1. 実習オリエンテーション 2. 実習要項配布 3. 自己学習	1 2	桧山 江副 菅原 柴田（雅） 野間
第 2 週	2021. 6.21 6.28 7.5	月	1 ～ 4	マナーオリエンテーション	【遠隔：オンタイム】 グループワーク 1. マナーオリエンテーション 2. 自己学習	1 2	
第 2 週	2021. 6.22 6.24 6.29 7.1 7.6 7.8	火 木	1 ～ 4	施設オリエンテーション コミュニケーション	1. 施設オリエンテーション 2. 高齢者とのコミュニケーション 3. 自己学習	1 2 3	桧山 江副 菅原 柴田（雅） 中畠

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
第 2 週	2021. 6.23 6.25 6.30 7.2 7.7 7.9	水 金		高齢者への支援	1. 1人の高齢者に着目し、支援を学ぶ 2. 最終カンファレンス 3. 自己学習	1 2 3	桒山 江副 菅原 柴田（雅） 中畠
第 3 週	2021. 7.12	月	1 ～ 4	実習のまとめ	【対面】 1. 実習のまとめ 2. グループワーク・発表 3. 記録の整理、提出	4	

小児看護目的論

対象学年 : 2 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 花井 恵美子

授業形式等 : 講義 (遠隔・対面)

担当教員 : 花井 恵美子 (実務教員)

副島 賢和 : 昭和大学大学院保健医療学部研究科 准教授

●一般目標 (GIO)

健康障害を持つ子どもと家族が、より良い健康状態を保ちながら生活できるよう援助するために、病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響と援助方法を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 子どもの権利を守るための小児医療・小児看護における倫理的配慮について説明できる。
2. 病気に対する子どもの理解について説明できる。
3. 病気や診療・入院が子どもに与える影響と看護を説明できる。
4. プレパレーションの方法および活用方法が説明できる。
5. 子どもの病気や診療・入院がきょうだい・家族に及ぼす影響と看護を説明できる。
6. 外来における子どもと家族への看護が説明できる。

●評価方法

定期試験 (筆記試験) (90%) 課題 (10%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
花井 恵美子	(月) ~ (金) 16 : 30 ~ 17 : 30 の時間帯に、随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。	sari2542@cmed.showa-u.ac.jp
副島 賢和	電子メールでも質問を受け付ける。 原則 (月) ~ (金) 9 : 00 ~ 17 : 00 の時間帯とする。	akahana@nr.showa-u.ac.jp

●授業概要

病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響について、小児各期（乳児期・幼児期・学童期・思春期）の認知発達の特徴から理解を深めるように学習する。
また、子どもの権利を守るために、看護者としてどのような倫理的配慮が必要かを学ぶ。
担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて小児看護に関する必要な知識を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

小児看護目的論は、病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響と援助方法を理解することで、「プロフェッショナルリズム」「専門的実践の能力」を身につけるために位置づけられている。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論	奈良間美保 他著	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

小児看護対象論の小児各期の成長・発達の特徴を復習してから授業に臨む。

●全学年を通しての関連科目

1 年 看護学概論、小児看護対象論

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOS	担当
1	2021. 5. 19	水	2	子どもの権利	【遠隔：オンデマンド】 1. 小児医療における子どもの権利の変遷 2. 小児医療・小児看護における倫理的配慮 3. 諸統計からみた子どもと家族の健康課題と倫理的配慮 4. 子どもと社会を取り巻く社会資源の活用	1	花井
2	2021. 5. 26	水	2	病気に対する子どもの理解と説明	【遠隔：オンデマンド】 1. 病気に対する子どもの理解の特徴 2. 子どもの理解に関係する要因 3. 発達に応じた病気の説明 4. インフォームド・アセント	2	花井
3	2021. 6. 04	金	3	プレパレーション	【遠隔：オンデマンド】 1. 子どもへの説明と同意 2. 家族の準備状態の把握 3. 検査・処置を受ける子どもと家族への支援	4	花井

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOS	担当
4	2021. 6. 24	木	2	病気や診療・入院が子どもに与える影響と看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 病気や診療・入院が成長・発達に及ぼす影響 2. 病気や診療・入院に伴うストレスと影響要因 3. 子どもの反応とストレス対処行動 4. 病気や入院に伴う子どもへの支援	3	花井
5	2021. 6. 25	金	4	子どもの病気や診療・入院がきょうだい・家族に及ぼす影響と看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 子どもの病気や診療・入院に伴うきょうだい・家族のストレス 2. きょうだい・家族のストレスへの支援	5	花井
6	2021. 7. 01	木	2	外来における子どもと家族への看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 外来における緊急時の把握・トリアージ 2. 外来における感染症対策 3. 受診時の子どもと家族の緊張と不安の軽減 4. 健康診査・育児相談	6	花井
7	2021. 9. 06	月	4 3	病気や診療・入院が子どもに与える影響と看護(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 病気や診療・入院が成長・発達に及ぼす影響 2. 病気や診療・入院に伴うストレスと影響要因 3. 子どもの反応とストレス対処行動 4. 病気や入院に伴う子どもへの支援	3	副島

小児看護援助論 I

対象学年 : 2 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 花井 恵美子

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 : 花井 恵美子(実務教員) 柴田 浩子(実務教員) 玉川 百里(実務表員)

星野 友佳里 (実務教員): 昭和大学病院 小児医療センター 小児救急看護認定看護師

鈴木 さおり (実務教員): 株式会社三成電器製作所 あいりす 訪問看護師

●一般目標 (GIO)

健康課題をもつ子どもと家族がより良い健康状態を保ちながら生活できるように援助するために、さまざまな健康障害や健康状態に応じた子どもと家族に必要な援助方法を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 急性期にある子どもと家族への看護の基本が説明できる。
2. 特別な状況に応じた子どもと家族への看護の基本が説明できる。
3. 慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護の基本が説明できる。
4. 終末期にある子どもと家族への看護が説明できる。

●評価方法

評価方法: 定期試験 (筆記試験) (80%) 課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 浩子	(月) ~ (金) 16:30~17:30 の時間帯に、随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。	tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子		sari2542@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百里		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp
星野 友佳里	電子メールでも質問を受け付ける。 原則 (月) ~ (金) 9:00~17:00 時間帯とする。	y.hayakawa@cmed.showa-u.ac.jp
鈴木 さおり		看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

小児に多い症状、および疾患の特徴を想起し、急性期・慢性期・終末期の各経過に合わせた看護の基本を系統的に学習する。また特別な状況である災害時、および虐待についての病態、診断、治療、看護について系統的に学習する。

子どもの発達段階に応じ、家族への働きかけが重要となる。

各経過に特徴的な診断・治療方針を想起し、子どもの成長・発達を妨げないで生活を整える支援の方法の基本を学ぶ。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて小児看護に関する必要な知識を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

さまざまな健康障害や健康状態に応じた子どもと家族に必要な援助方法を理解することで「プロフェSSIONナリズム」「専門的実践能力」を中心に学ぶ。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① ① 小児看護学概論 小児臨床看護総論	奈良間美保 他著	医学書院	2020
テキスト	ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ ③ 小児の疾患と看護	中村 友彦 編者	メディカ出版	2017
参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学② ② 小児臨床看護各論	奈良間美保 他著	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

臨床医学Ⅶで学修した小児特有の疾患の病態生理、診断基準、治療方針、経過をよく復習して臨むこと。また事前にテキストの該当箇所を熟読して講義に臨むこと。

●全学年を通しての関連科目

1 年 小児看護対象論、臨床看護総論
2 年 臨床医学Ⅷ、小児看護目的論

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う。時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOS	担当
1	2021. 7.14	水	4	急性期にある子どもと家族への看護の基本—1 (1)	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 急性症状のある子どもと家族への看護 1) 発熱 2) けいれん	1	柴田
2	2021. 7.16	金	3	急性期にある子どもと家族への看護の基本—1 (2)	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 急性症状のある子どもと家族への看護 3) 脱水 4) 下痢・嘔吐	1	柴田
3	2021. 9.08	水	1 4	急性期にある子どもと家族への看護の基本—1 (3)	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 急性症状のある子どもと家族への看護 5) 呼吸困難	1	柴田

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOS	担当
4	2021. 9.13	月	1	急性期にある子どもと家族 への看護の基本—1 (4)	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 急性症状のある子どもと家 族への看護 6) 痛み	1	柴田
5	2021. 9.30	木	1	急性期にある子どもと家族 への看護の基本—2	【遠隔授業：オンデマンド】 2. ハイリスク新生児と家族の 看護 1) ハイリスク新生児、低出生 体重児の特徴 2) ハイリスク新生児の集中 治療における援助 3) 親子、家族関係確立への 支援	1	玉川
6	2021. 10.04	月	3	急性期にある子どもと家族 への看護の基本—3	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 救急救命処置が必要な子ど もと家族への看護 1) 子どもの救急におけるトリ アージと対応 2) 子どもの意識レベル 3) 主な誤飲物質と処置 4) 子どもの熱傷の特徴・重傷 度および処置 5) 溺水と処置 6) 子どもの一次救命処置 7) 生命が危険な状況にある 子どもと家族への援助	1	星野
7	2021. 10.07	木	4	急性期にある子どもと家族 への看護の基本—4 (1)	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 周手術期における子どもと 家族への看護 1) 子どもの手術の特徴 2) 手術を要する健康障害と手 術の時期 3) 計画手術・緊急手術 4) 日帰り手術 5) 子どもと家族の術前準備 6) 子どもの安全。安楽への援 助	1	星野
8	2021. 10.11	月	4	急性期にある子どもと家族 への看護の基本—4 (2)	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 周手術期における子どもと 家族への看護 1) 手術中・手術直後の家族へ の援助 2) 手術後の身体状態のアセス メントと援助 3) 退院に向けての援助	1	星野
			1				

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOS	担当
9	2021. 10. 18	月	4 1	急性期にある子どもと家族 への看護の基本—5	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 活動制限が必要な子どもと 家族への看護 1) 目的 2) 身体的、心理社会的影響 3) 子どもの発達に応じた日常 生活への援助 2. 隔離が必要な子どもと家族 への看護 1) 目的・方法 2) 身体的、心理社会的影響 3) 子どもの発達に応じた日 常生活への援助 4) 家族の面会や付き添いにお ける援助	1	星野
10	2021. 10. 25	月	4 1	特別な状況にある子どもと 家族への看護の基本—1	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 虐待を受けている子どもと 家族への看護 1) 子どもへの虐待の特徴 2) 虐待のリスク要因と虐待の 早期発見 3) 虐待の未然防止に向けての 支援 4) 多機関・多職種の連携・協 働	2	玉川
11	2021. 10. 28	木	1	特別な状況にある子どもと 家族への看護の基本—2	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 災害を受けた子どもと家族 への看護 1) 災害による子どもへの影響 とストレス 2) 災害を受けた子どもと家族 への援助 3) 災害時における緊急度の 把握・トリアージ	2	花井
12	2021. 10. 28	木	2	慢性的な疾患・障害がある 子どもと家族への看護—1	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 慢性的な経過をたどる疾患 の特徴と治療 2. 小児慢性特定疾患治療研究 事業 3. 疾患による子どもと家族の 生活の変化 4. 学習支援・復学支援 5. 発達に応じたセルフケア能 力の獲得 6. セルフケア能力の獲得のた めの養育と家族への支援 7. 地域との連携・調整	3	鈴木

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOS	担当
13	2021. 11. 10	水	2	慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護-2	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 先天性疾患のある子どもと家族への看護 1) 先天異常の種類と特徴 2) 先天異常をもつ子どもの発達段階に応じた援助 3) 子どもの疾患に対する家族の理解と受容 4) 養育とケア技術獲得に関する家族への援助 2. 心身障害のある子どもと家族への看護 1) 心身障害の定義と種類 2) 家族と子どもの障害の受容 3) 重症心身障碍児と家族 4) 医療的ケアの必要な超重症児と家族	3	鈴木
14	2021. 11. 16	火	4	慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護-3	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 医療的ケアを必要として退院する子どもと家族への看護 1) 入院生活から在宅への移行に向けた支援 2) 多職種との連携と社会資源の活用 3) 在宅療養中の子どもと家族 4) 子どものセルフケア行動の促進	3	鈴木
15	2021. 11. 30	火	2	終末期にある子どもと家族への看護	【遠隔授業：オンデマンド】 1. 子どもの死の概念 2. 死に対する子どもの反応 3. 終末期にある子どもの心身状態と緩和ケア 4. 子どもの死を看取る家族の反応	4	花井

小児看護援助論Ⅱ

対象学年 : 2 学年 後期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 花井 恵美子

授業形式等 : 講義 (遠隔)、演習

担当教員 : 花井 恵美子 (実務教員) 柴田 浩子 (実務教員) 玉川 百里 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

各健康障害に応じた子どもと家族に必要な看護援助を実践するために、小児特有の疾患の基本的な知識と看護援助について修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 小児各期 (乳児期・幼児期・学童期・思春期) に必要な看護技術の基本が説明できる。
2. 代表的な健康課題をもつ子どもと家族の経過に基づく看護を説明できる。
3. 事例に基づいた看護過程の展開が記述できる。

●アクティブラーニング

小児期に必要な看護技術であるバイタルサインの測定、おむつ交換、ベッド柵の上げ下げの演習をグループに分かれて子どもへの声がけ、プレパレーションなどについてディスカッションしながら学んでいく。

●評価方法

定期試験 (80%)、課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
花井 恵美子	(月) ~ (金) 16 : 30 ~ 17 : 30 の時間帯に、随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。	sari2542@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 浩子		tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百里		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

急性期・慢性期・終末期の各経過に合わせた看護の基本を学修したことを想起しながら、代表的な小児疾患における具体的な病態、診断、治療に合わせた看護の方法を学修する。
健康障害を持ちながらも、成長・発達を続ける小児にとって、治療、入院生活を余儀なくされる体験をイメージしながら、子ども・家族の思いに寄り添い、生活を支援する方法を学ぶ。
また子どもの発達段階に応じた、看護技術を提供できるよう、原理・原則を学ぶ。
急性期の健康障害を持つ子どもの看護過程の展開を通して、アセスメントの具体的な方法を学ぶ。
担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて小児看護に関する必要な知識を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連

小児特有の疾患の基本的な知識と看護援助についての修得を通して「プロフェッショナルリズム」「専門的実践能力」を育んでいく。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論	奈良間 美保 他著	医学書院	2020
テキスト	ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護	中村 友彦 編者	メディカ出版	2017
テキスト	ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術	中野 綾美 編者	メディカ出版	2019
参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学② 小児臨床看護各論	奈良間 美保 他著	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

臨床医学Ⅶで学習した小児特有の疾患の病態生理、診断基準、治療方針、経過をよく復習して臨むこと。
また事前にテキストの該当箇所を熟読して講義に臨むこと。
看護技術に関しては、基礎看護学で学習した看護技術の目的、留意点をよく復習し、根拠を明確にして臨むこと。
看護過程の展開に関しては、看護過程の展開の知識を活用できるよう、復習を行うこと。

●全学年を通しての関連科目

1 年	日常生活援助技術、小児看護対象論
2 年	臨床医学Ⅷ、小児看護目的論、小児看護援助論Ⅰ

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス。ABCD の 4 クラス制で行う場合は、時限 - 上段から ABCD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 10. 06	水	3	小児各期に必要な看護技術 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 診療（検査、処置）に伴う技術と看護 1) プレパレーションと看護の実際—薬液吸入	1	花井

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
2	2021. 10.12	火	1	健康課題をもつ子どもと家族への経過に基づく看護 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 呼吸器疾患を持つ子どもと家族への看護の実際 ・事例を用いた個人ワーク	2	柴田 花井 玉川
3	2021. 10.20	水	4 1	健康課題をもつ子どもと家族への経過に基づく看護 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 呼吸器疾患を持つ子どもと家族への看護の実際 ・事例を用いた個人ワーク	2	柴田 花井 玉川
4	2021. 10.26	火	4	健康課題をもつ子どもと家族への経過に基づく看護 (3)	【遠隔：オンデマンド】 2. 急性期にある子どもと家族への援助の基本① 1) 川崎病患児の看護	2	花井
5	2021. 11.01	月	4	健康課題をもつ子どもと家族への経過に基づく看護 (4)	【遠隔：オンデマンド】 3. 急性期にある子どもと家族への援助の基本② 1) 気管支喘息患児の看護	2	柴田
6	2021. 11.08	月	4	健康課題をもつ子どもと家族への経過に基づく看護 (5)	【遠隔：オンデマンド】 4. 急性期にある子どもと家族への援助の基本③ 1) 尿路感染症患児の看護	2	柴田
7	2021. 12.02	木	1	健康課題をもつ子どもと家族への経過に基づく看護 (6)	【遠隔：オンデマンド】 5. 慢性期にある子どもと家族への援助の基本 1) ネフローゼ症候群患児の看護	2	玉川
8	2022. 1.06	木	1	健康課題をもつ子どもと家族への経過に基づく看護 (7)	【遠隔：オンデマンド】 6. 周手術期にある子どもと家族への援助の基本 1) 口唇口蓋裂形成手術を受ける患児の看護	2	花井
9	2022. 1.19	水	1	健康課題をもつ子どもと家族への経過に基づく看護 (8)	【遠隔：オンデマンド】 7. 慢性期にある子どもと家族への援助の基本 1) 心室中隔欠損症患児の看護（姑息術前）	2	柴田
10	2022. 1.17	月	4 3 2 1	小児各期に必要な看護技術 (2)	【対面】 1. バイタルサインの測定	1	柴田 花井 玉川
11	2022. 1.24	月	4 3 2 1	小児各期に必要な看護技術 (3)	【対面】 2. 日常生活援助 1) 排泄の援助（オムツ交換）	1	柴田 花井 玉川

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
12	2022. 2. 07	月	4	小児各期に必要な看護技術 (4)	【対面】 3. 安全を守る技術 1) 事故防止のための環境調整 ベッド柵の取り扱い 2) 環境整備	1	柴田 花井 玉川
			3				
			2				
			1				
13	2022. 1. 24	月	1	健康課題をもつ子どもと家 族への経過に基づく看護 (9)	【遠隔：オンデマンド】 1. 急性期にある子どもと家族 への援助の基本 1) 急性気管支炎患児と家族へ の看護 事例展開 (1)	3	柴田 花井 玉川
			4				
14	2022. 1. 27	木	1	健康課題をもつ子どもと家 族への経過に基づく看護 (10)	【遠隔：オンデマンド】 1. 急性期にある子どもと家族 への援助の基本 1) 急性気管支炎患児と家族へ の看護 事例展開 (2)		柴田 花井 玉川
			4				
15	2022. 2. 08	火	4	健康課題をもつ子どもと家 族への経過に基づく看護 (11)	【遠隔：オンデマンド】 1. 急性期にある子どもと家族 への援助の基本 1) 急性気管支炎患児と家族へ の看護 事例展開 (3)		柴田 花井 玉川

母性看護援助論 I

対象学年 : 2 学年 通年

単位・時間数 : 2 単位 60 時間

責任者名 : 矢嶋 裕里

授業形式等 : 講義(遠隔)・演習

担当教員 : 矢嶋 裕里(実務教員) 小塚 智子(実務教員) 塩川 優子(実務教員)

●一般目標 (GIO)

周産期にある女性とその家族をウェルネスの観点から援助するために妊婦・産婦・褥婦・新生児および家族の身体的、心理的、社会的特徴と健康の保持増進、正常からの逸脱予防、親役割適応過程の支援について知り、必要な看護技術と実践方法を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 妊娠・分娩・産褥の生理や正常な経過を説明できる。
2. 妊婦の健康管理についてその意義と内容を説明できる。
3. 妊婦のセルフケア能力を高めるための保健指導の内容を説明できる。
4. 分娩経過をアセスメントする観察点を挙げることができ、分娩各期における看護について記述できる。
5. 産褥期における復古促進・乳汁分泌促進・母乳育児のための援助を説明できる。
6. 褥婦のセルフケア能力を高めるための保健指導の内容を説明できる。
7. 妊婦・産婦・褥婦の心理的・社会的特徴を説明でき、親役割獲得のための支援について説明できる。
8. 新生児の生理的特徴と胎外生活適応の過程について説明できる。
9. 新生児期の看護を説明できる。
10. 周産期にある対象の看護に必要な援助技術を実施できる。
11. 周産期にある対象が看護者に求める役割について説明できる。
12. 演習に積極的に参加できる。

●評価方法

評価方法：臨時試験・定期試験（筆記試験）(90%)・課題の提出状況・レポート(10%)

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問 する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブ・ラーニング

妊婦・褥婦の看護、新生児の看護についての演習では、授業で学習した知識をもとに、フィジカルアセスメント等の観察技術を実施し、学びを深める。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
矢嶋 裕里	電子メールで質問を受け付ける。 (平日：9時～17時) 対面での質問を希望する場合は、事前に電子メールでアポを取り、時間調整をする。	yuriyaji1128@cmed.showa-u.ac.jp
小塚 智子		tomoko@med.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

母性看護の対象の中でも特に変化が激しい周産期にある女性のその家族に必要な看護を学ぶ。ここで学ぶ知識は母性看護学実習において看護を実践する際、重要な知識である。担当教員は病院で看護師・助産師として勤務した経験があり、実務経験に基づき母性看護に必要な知識を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

周産期にある女性とその家族をウェルネスの観点から援助するために妊婦・産婦・褥婦・新生児および家族の身体的、心理的、社会的特徴と健康の保持増進、正常からの逸脱予防、親役割適応過程の支援について知り、必要な看護技術と実践方法を修得することで、ディプロマポリシーの「プロフェッショナリズム」と「専門的実践能力」を養う。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論	森恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論	森 恵美 他著	医学書院	2021

●準備学習（予習・復習）

既習科目である臨床医学Ⅵを講義前に復習しておくこと。授業前に各講義の SBOs を確認し教科書を予習してから臨むこと。授業終了後教科書、プリントを見直しても理解できなかった点は講義終了後や次の講義時またはオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	母性看護対象・目的論
2 年	臨床医学Ⅵ・母性看護援助論Ⅱ
3 年	母性看護学実習

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス。ABCD の 4 クラス制で行う場合は、時限 - 上段から ABCD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 4. 28	水	4	正常妊娠における母体の生理的变化	【遠隔：オンデマンド】 1. 正常妊娠（母体の生理的变化） 1) 妊娠の生理 2) 母体の生理的变化	1	小塚
2	2021 5. 7	金	1	妊婦の心理的・社会的特徴	【遠隔：オンデマンド】 1. 妊婦の心理的・社会的特徴 1) 妊婦の心理 2) 妊婦とその家族	7	小塚
3	2021 5. 17	月	4	妊娠の診断と胎児の発育	【遠隔：オンデマンド】 1. 正常妊娠(胎児の発育) 1) 妊娠とその診断 2) 妊娠期に行う検査 3) 胎児の発育と健康状態の診断	1	小塚
4	2021 6. 3	木	3	妊婦と胎児の経過の判断	【遠隔：オンデマンド】 1. 妊娠経過の診断 2. 妊婦と胎児の身体的健康状態の判断 3. 妊婦の日常生活に関する判断	2	小塚
5	2021 6. 4	金	4	妊婦と家族の看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 妊婦の保健指導 1) 栄養指導	2 3 11	小塚
6	2021 6. 23	水	4	妊婦と家族の看護(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 妊婦の保健指導 2) 生活指導	2 3 11	小塚
7	2021 6. 25	金	2	妊婦と家族の看護(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 妊婦の保健指導 3) マイナートラブル	2 3 11	小塚
8	2021 6. 25	金	3	妊婦と家族の看護(4)	【遠隔：オンデマンド】 1. 妊婦の保健指導 4) 親になるための準備教育	2 3 11	小塚
9	2021 6. 30	水	1	分娩の正常経過(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 分娩の定義・分娩の三要素	4 7 11	小塚
10	2021 7. 2	金	2	分娩の正常経過(2)	【遠隔：オンデマンド】 2. 分娩機序・分娩各期の特徴 3. 産痛のメカニズム・母子への影響	4 7 11	小塚
11	2021 7. 14	水	1	分娩の正常経過(3)	【遠隔：オンデマンド】 4. 産婦の心理社会的特徴	4 7 11	小塚

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
12	2021 9. 28	火	3	分娩経過をアセスメント する観察点	【遠隔：オンデマンド】 1. 産婦と胎児の健康状態の判断 2. 産婦と家族の心理社会的特徴	4 7 11	小塚
13	2021 10. 4	月	4	分娩各期における看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 3. 産婦の看護 1) 分娩期の看護目標 2) 安全な分娩の看護 3) 安楽な分娩の看護	4 7 11	小塚
14	2021 10. 12	火	4	分娩各期における看護(2)	【遠隔：オンデマンド】 3. 産婦の看護 4) 出産体験が肯定的になるための看護 5) 基本的ニーズに関する看護 6) 家族発達を促す看護 7) 分娩各期の看護	4 7 11	小塚
15	2021 10. 26	火	1	妊婦の保健指導	【遠隔：オンデマンド】 動画を見て練習 1) 妊婦体験	2 3 10 11	矢嶋
16	2021 10. 26	火	2	妊婦の分娩準備教育	【遠隔：オンデマンド】 動画を見て練習 2) 分娩準備教育（呼吸法）	2 3 10 11	小塚
17	2021 11. 2	火	1	正常な産褥経過	【遠隔：オンデマンド】 1. 産褥経過 1) 子宮の復古と悪露 2) 乳汁分泌 3) 全身の変化	1	矢嶋
18	2021 11. 10	水	1	褥婦の心理的・社会的特徴と親役割獲得への援助	【遠隔：オンデマンド】 1. 褥婦の心理的・社会的特徴と看護	7	矢嶋
19	2021 11. 11	木	3	産褥期における復古促進・乳汁分泌促進・母乳保育のための援助(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 褥婦の健康状態の判断 1) 退行性変化 2) 進行性変化	5 6 11	矢嶋
20	2021 11. 30	火	4	褥婦のセルフケア能力を高めるための援助、親役割獲得のための援助(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 褥婦の健康状態の判断 4) 不快症状と対処行動 5) 心理的変化 6) 親役割獲得 7) サポート体制	5 6 11	矢嶋

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
21	2021 12. 1	水	1	産褥期における復古促進・乳汁分泌促進・母乳保育のための援助(2)	【遠隔：オンデマンド】 2. 褥婦の看護 1) 身体機能の回復促進 2) セルフケア能力獲得 3) 退行性変化促進 4) 母乳育児	5 6 11	矢嶋
22	2022 1. 7	金	4	褥婦のセルフケア能力を高めるための援助、親役割獲得のための援助(2)	【遠隔：オンデマンド】 2. 褥婦の看護 5) 育児技術獲得 6) 退院後の生活	5 6 11	矢嶋
23	2022 1. 14	金	4	新生児の生理的特徴と胎外生活への適応過程(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 新生児の生理 2. 新生児の機能	8 9	小塚
24	2022 1. 20	木	3	新生児の生理的特徴と胎外生活への適応過程(2)	【遠隔：オンデマンド】 3. 新生児の診断 4. 新生児の健康状態の判断 1) 基礎的情報から考えるリスク因子 2) 子宮外生活適応の判断	8 9	小塚
25	2022 1. 27	木	1 4	新生児の看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 4. 新生児の健康状態の判断 3) 新生児の哺乳状態 4) 保育環境 5. 新生児の看護 1) 出生直後の看護	8 9	小塚
26	2022 1. 31	月	4	新生児の看護(2)	【遠隔：オンデマンド】 2) 出生後から退院までの経過に合わせた看護 3) 退院時の看護	8 9	小塚
27	2022 2. 9	水	3 4 1 2	産褥期における復古促進・乳汁分泌促進・母乳保育のための援助	【対面授業：演習】 1. 演習 1) 妊婦・褥婦の看護 (妊婦・褥婦の観察方法、妊婦体験等)	5 10 11 12	小塚 矢嶋 塩川
28	2022 2. 14	月	3 4 1 2	新生児に必要な援助技術	【対面授業：演習】 1. 演習 2) 新生児の看護(沐浴など)	9 10 11 12	小塚 矢嶋 塩川
29	2022 1. 14	月	1 4	新生児の看護(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 新生児の異常と看護 1) 新生児仮死 2) 分娩外傷	9	小塚
30	2022 2. 17	木	3	新生児の看護(4)	【遠隔：オンデマンド】 1. 新生児の異常と看護 3) 低出生体重児 4) 高ビリルビン血症	9	小塚

母性看護援助論Ⅱ

対象学年 : 2 学年 後期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 矢嶋 裕里

授業形式等 : 講義(遠隔)・演習(遠隔)

担当教員 矢嶋 裕里(実務教員) 小塚 智子(実務教員) 塩川 優子(実務教員)

佐藤 陽子(昭和大学病院 母性看護 専門看護師)

檜崎 里美(昭和大学病院 不妊症看護認定看護師)

薄井 里美(昭和大学病院 助産師) 山田千絵 (昭和大学病院 助産師)

山田 真実子(昭和大学病院 助産師)

●一般目標 (GIO)

周産期にある女性とその家族を援助するために正常から逸脱した妊婦・産婦・褥婦・新生児および家族の身体的、心理的、社会的特徴と必要な援助と、正常な褥婦と早期新生児の事例を用いて看護展開する方法を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 妊娠経過に異常のある妊婦の身体的、心理的、社会的特徴と必要な援助が説明できる。
2. 分娩経過に異常のある産婦の身体的、心理的、社会的特徴と必要な援助が説明できる。
3. 産褥経過に異常のある褥婦の身体的、心理的、社会的特徴と必要な援助が説明できる。
4. 褥婦に起こりやすい健康問題と必要な援助について説明できる。
5. 周産期に起こりうる予期しない危機状態に必要な援助が説明できる。
6. 性生活に伴う健康障害の身体的、心理的、社会的特徴と必要な援助が説明できる。
7. 褥婦・新生児の状態をウェルネスの観点でとらえ、情報を分析・統合できる。
8. 褥婦・新生児の看護上の問題を導き出し、より良い状態となる具体的な援助を記述できる。

●評価方法

評価方法：定期試験（70%） 課題の提出状況・レポート（30%）

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 - ※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 - ※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 - ※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブ・ラーニング

授業にて学修して知識をもとに、紙上事例を看護展開する。

事例検討では、グループワークでの学びを共有しながら、自己の学びを深めることができる。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
矢嶋 裕里	電子メールで質問を受け付ける。 (平日：9時～17時) 対面での質問を希望する場合は、事前に電子メールでアポを取り、時間調整をする。 時間・場所など	yuriyajil128@cmed.showa-u.ac.jp
小塚 智子		tomokozy@cmed.showa-u.ac.jp
佐藤 陽子		satoyoh@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

母性看護の対象の中でも特に変化が激しい周産期にある女性とその家族について、正常から逸脱した場合に必要な看護を学ぶ。周産期に関して正常・異常を学習した上で、褥婦・新生児の看護上の問題を導き出し、具体的な援助方法について考えてほしい。

担当教員は病院で看護師・助産師として勤務した経験があり、実務経験に基づき母性看護に必要な知識を教授する。

●ディプロマポリシーとの関係性

周産期にある女性とその家族を援助するために、正常から逸脱した妊婦・産婦・褥婦・新生児および家族の身体的、心理的、社会的特徴を必要な援助と、正常な褥婦と早期新生児を事例を用いて看護展開する方法を習得することで、プロフェッショナリズムや専門的実践能力を育む。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論	森 恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論	森 恵美 他著	医学書院	2021

●準備学習（予習・復習）

既習科目である臨床医学Ⅵを講義前に復習しておくこと。授業前に各講義の SBOs を確認し教科書を予習してから臨むこと。授業終了後教科書、プリントを見直しても理解できなかった点は講義終了後や次の講義時またはオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学Ⅱ・母性看護対象・目的論
2 年 臨床医学Ⅵ・母性看護援助論Ⅰ
3 年 母性看護学実習

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBO	担当
1	2021 9.13	月	4	妊娠経過に異常のある妊婦の看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 妊娠初期・中期に起こりやすい主な異常の看護（悪阻、流産）	1	佐藤

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0	担当
2	2021 9. 28	火	4	妊娠経過に異常のある妊婦の看護(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 妊娠後期に起こりやすい主な異常の看護 (早産、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、妊娠高血圧症候群) 周産期医療のシステム(母体搬送)	1	佐藤
3	2021 9. 29	水	4	分娩経過に異常のある産婦の看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 分娩三要素(産道・娩出力・胎児とその付属物)における異常の看護 骨盤位、多胎、臍帯下垂・脱出、前期・早期破水、	2	薄井
4	2021 10. 5	火	4	分娩経過に異常のある産婦の看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 分娩三要素(産道・娩出力・胎児とその付属物)における異常の看護 骨盤位、多胎、臍帯下垂・脱出、前期・早期破水、	2	薄井
5	2021 10. 19	火	4	分娩経過に異常のある産婦の看護(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 分娩三要素(産道・娩出力・胎児とその付属物)における異常の看護 帝王切開、会陰裂傷、頸管裂傷	2	薄井
6	2021 10. 27	水	4	産褥経過に異常のある褥婦の看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 子宮復古不全 2. 乳房・乳頭トラブル 3. 感染症(産褥熱、乳腺炎、尿路感染症)	3	佐々木 (佑)
			1				
7	2021 11. 1	月	3	産褥経過に異常のある褥婦の看護(2)	【遠隔：オンデマンド】 4. 産褥血栓症 5. 産後うつ病、産褥精神病	3	佐々木 (佑)
8	2021 11. 5	金	4	感染症をもっている褥婦の看護	【遠隔：オンデマンド】 1. B型肝炎、 2. ATL、 3. AIDS 4. 不妊治療を受けている夫婦の看護	4 6	檜崎
			1	性生活に伴う健康障害と看護			
9	2021 11. 9	火	3	妊娠経過に異常のある妊婦の看護(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. ハイリスク妊婦の看護 (高年・若年妊婦、多胎妊娠) 2. 合併症妊婦の看護 (糖尿病、心疾患)	1	山田 真

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0	担当
10	2021 11. 29	月	3	予期しない危機状態にある対象への看護	【遠隔：オンデマンド】 1. 母子分離時の褥婦の看護 2. 児を亡くした褥婦・家族の看護	5	山田 真
11	2022 1. 7	金	3	褥婦の状態をウェルネスの観点でとらえ、情報を分析・統合	【遠隔：オンデマンド】 1. 事例検討 1) 正常な経過にある褥婦情報の分析・判断	7	小塚 矢嶋 塩川
12	2022 1. 19	水	3	褥婦の看護上の問題を導き出し、より良い状態となる具体的な援助の計画(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 事例検討 1) 正常な経過にある褥婦看護計画の立案	8	小塚 矢嶋 塩川
13	2022 1. 25	火	2	褥婦の看護上の問題を導き出し、より良い状態となる具体的な援助の計画(2)	【遠隔：オンタイム】 1. 事例検討 1) 正常な経過にある褥婦看護計画の検討	8	小塚 矢嶋 塩川
14	2022 2. 2	水	1 4	褥婦の看護上の問題を導き出し、より良い状態となる具体的な援助の計画(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 事例検討 1) 正常な経過にある褥婦看護計画の修正	8	小塚 矢嶋 塩川
15	2022 2. 7	月	1 4	新生児の状態をウェルネスの観点でとらえ、情報を分析・統合 新生児の看護上の問題を導き出し、より良い状態となる具体的な援助	【遠隔：オンデマンド】 1. 事例検討 2) 正常な経過にある早期新生児	7 8	小塚 矢嶋 塩川

精神看護対象論

対象学年 : 2 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 富崎 志穂

授業形式等 : 講義 (遠隔)

担当教員 : 富崎 志穂 (実務教員) 築瀬 真由美 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

精神看護の対象となる人間理解を深めるために、精神障害の基本的な考え方や人間の心と行動人格の発達と情緒体験、看護の対象としての家族とその支援、精神障害がセルフケアに与える影響について理解する。

●行動目標 (SBO)

1. 精神障害の基本的な考え方について説明できる。
2. 人間の心と行動について説明できる。
3. 人格の発達と情緒体験について説明できる。
4. 家族とその支援について説明できる。
5. オレムのセルフケア不足理論について説明できる。

●評価方法

定期試験 (80%)、課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問 する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
富崎 志穂	クラスルームで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
築瀬 真由美	クラスルームで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

精神看護の対象となる人間理解を深めるために、精神の健康、精神の健康に影響を与える要因、精神障害が日常生活に及ぼす影響を学修する。さらに、精神障害をもつ対象に必要な看護を導き出すためのアセスメント方法として用いるオレム看護理論についても学修していく。担当教員は臨床での実務経験があり、精神看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマポリシーとの関連性

精神看護対象論は、本学のディプロマポリシーにおける「プロフェッショナリズム」と「専門的実践能力」、「アイデンティティ」を育むための科目として位置付けられている。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学①情緒発達と精神看護の基本	出口禎子他 編	メディカ出版	2020
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学②精神障害と看護の実践	出口禎子他 編	メディカ出版	2020
テキスト	看護モデルを使う① オレムのセルフケア・モデル	スティーブンJ・カバナ	医学書院	2005
参考図書	オレム 看護論 第4版 看護実践における基本概念	小野寺 杜紀	医学書院	2005

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0s と学習内容を確認し、テキスト等で予習し、わからない用語や疑問点を整理したうえで授業に臨むこと。また、授業内での課題を活用しながら復習し、理解できなかったところは教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	心理学、倫理学、家族関係論、成人看護対象・目的論
2 年	臨床医学Ⅵ、緩和医療、精神看護目的論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 4.12	月	3	精神の健康の概念	【遠隔：オンデマンド】 1. こころの健康とは 2. 障害のとらえ方 3. 社会の変化とメンタルヘルス 4. 精神障害が生じるきっかけとプロセス 5. 対象理解の難しさ	1	築瀬
2	2021. 4.19	月	4	人間のこころと行動	【遠隔：オンデマンド】 1. こころと脳の構造 2. こころとこころの動き 3. フロイトの精神力動理論 4. こころをみる看護の視点 5. こころと環境 1) 欲求 2) 心理的成熟 3) ストレスとストレッサー 4) 適応と不適応 5) コーピング 6) こころの防衛機制 7) こころの危機 8) 回復（リカバリー） ・ ストレングス（強み） ・ エンパワーメント ・ レジリエンス	2	築瀬

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
3	2021. 4. 22	木	3	人格の発達と情緒体験	【遠隔：オンデマンド】 1. 対象関係論の立場から 2. 対象との出会い 3. 母子関係の発展 4. ライフサイクル各期における特徴と危機	3	築瀬
4	2021. 5. 06	木	3	家族とその支援	【遠隔：オンデマンド】 1. 家族とは何か 2. 家族を見る視点 3. 家族の課題 4. 精神疾患と家族	4	築瀬
5	2021. 5. 17	月	3	セルフケアへの援助 オレム看護理論(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. セルフケアとは何か 2. セルフケア要件	5	富崎
6	2021. 6. 03	木	2	セルフケアへの援助 オレム看護理論(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. セルフケアの不足 2. セルフケアリング 3. 看護援助	5	富崎
7	2021. 6. 04	金	1	セルフケアへの援助 オレム看護理論(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 看護過程 2. ケア計画の立案	5	富崎

精神看護目的論

対象学年 : 2 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 富崎 志穂
 授業形式等 : 講義 (遠隔)
 担当教員 : 富崎 志穂 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

精神保健看護に必要な諸制度の基本的内容を修得するために、精神医療の変遷および精神保健福祉に関する基本的な枠組み、法律・制度を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 精神医療の歴史と看護について説明できる。
2. 精神保健福祉の現状と課題について説明できる。
3. 精神保健医療福祉をめぐる法律・制度について説明できる。
4. 看護の倫理と人権擁護について説明できる。

●評価方法

定期試験(80%)、課題 (20%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 ※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 ※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス
富崎 志穂	クラスルームで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

精神医療の歴史的変遷と関連する法律や制度、社会資源の活用とケアマネジメント、現在の精神障害をもつ対象を取り巻く状況を学び、精神看護の目的について考えていく。担当教員は臨床での実務経験があり、精神看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマポリシーとの関連性

精神看護対象論は、本学のディプロマポリシーにおける「プロフェッショナリズム」と「専門的実践能力」、「社会的貢献」、「自己研鑽」、「アイデンティティ」を育むための科目として位置付けられている。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学①情緒発達と精神看護の基本	出口禎子他 編	メディカ出版	2020
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学②精神障害と看護の実践	出口禎子他 編	メディカ出版	2020
参考図書	生活支援―精神障害者生活支援の理念と方法	谷中 輝雄	やどかり出版	1996
参考図書	日本精神科看護史	浦野 シマ	牧野出版	1982
参考図書	精神看護学 1 精神保健学 第 6 版	吉松 和也 編	ヌーベルヒロカワ	2015

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0s と学習内容を確認し、テキスト等で予習し、わからない用語や疑問点を整理したうえで授業に臨むこと。また、授業内での課題を活用しながら復習し、理解できなかったところは教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 心理学、医療概論、社会福祉、公衆衛生学、関係法規

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 6. 25	金	1	精神保健医療福祉の変遷と看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 YouTube 動画を視聴し、自己の精神障がいに対するイメージとその要因について考える	2	富崎
2	2021. 6. 29	火	1	精神保健医療福祉の変遷と看護(2)	【遠隔：オンデマンド】 諸外国の精神医療の変遷	1	富崎
3	2021. 6. 30	水	3	精神保健医療福祉の変遷と看護(3)	【遠隔：オンデマンド】 日本の精神医療の変遷（古代～昭和）	1	富崎
4	2021. 7. 02	金	3	精神保健医療福祉の変遷と看護(4)	【遠隔：オンデマンド】 日本の精神医療の変遷（平成～現代）	1	富崎
5	2021. 7. 14	水	2	精神看護の基本となる法律・制度(1)	【遠隔：オンデマンド】 精神保健福祉法	3	富崎
6	2021. 7. 15	木	3	精神看護の基本となる法律・制度(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. アドボカシー、障害者権利条約、合理的配慮 2. 障害者総合支援法 3. 個別の課題に対応した法律	3 4	富崎
			2	患者の権利擁護〈アドボカシー〉			
7	2021. 7. 20	火	3	精神看護の基本となる法律・制度(3)	【遠隔：オンデマンド】 精神障がい者の地域生活を支援していくための福祉サービス	3	富崎

精神看護援助論 I

対象学年：2 学年 通年

単位・時間数：1 単位 30 時間

責任者名：富崎 志穂

授業形式等：講義（遠隔）

担当教員：富崎 志穂（実務教員） 梁瀬 真由美（実務教員） 恩田 美奈（実務教員）

平井 尚子：昭和大学附属烏山病院 精神看護専門看護師

●一般目標（GIO）

精神保健看護の保持増進・疾病予防と回復に必要な看護援助方法を修得するために、看護師のストレスマネジメントや、精神看護専門看護師、主な精神科診療および精神科診療に伴う看護の方法、社会資源の活用について理解する。

●行動目標（SBOs）

1. 看護師のストレスマネジメントについて説明できる。
2. 精神看護に関わる資格認定について説明できる。
3. 精神科における安全管理（セーフティマネジメント）について説明できる。
4. 災害時地域精神保健医療活動について説明できる。
5. 医学的検査と心理検査について説明できる。
6. 精神疾患の主な治療について説明できる。
7. 主な精神疾患とその症状・検査・治療・看護について説明できる。
8. 精神保健活動とリハビリテーションについて説明できる。
9. 地域精神保健活動における社会資源の活用について説明できる。
10. 在宅医療と連携について説明できる。

●評価方法

定期試験(80%)、課題 (20%)

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受付けない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問 する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
富崎 志穂	クラスルームで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
梁瀬 真由美	クラスルームで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp
恩田 美奈	クラスルームで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	mina.onda@cmed.showa-u.ac.jp

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
平井 尚子	クラスルームで質問を受け付ける。	

●授業概要

精神保健看護を実践するための基盤を構築するために、主な精神科診療および精神科診療に伴う看護の方法 について学修する。本授業は、精神科の臨床現場で働く看護師と精神科専門看護師、リエゾン精神専門看護師、精神科認定看護師も担当し、実践での専門的な知識を基盤に授業を行う。

●ディプロマポリシーとの関連性

精神看護対象論は、本学のディプロマポリシーにおける「プロフェッショナリズム」と「チーム医療」、「専門的実践能力」、「社会的貢献」を育むための科目として位置付けられている。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学 ① 情緒発達と精神看護の基本	出口禎子他 編	メディカ出版	2020
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学 ② 精神障害と看護の実践	出口禎子他 編	メディカ出版	2020

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs と学習内容を確認し、テキスト等で予習し、わからない用語や疑問点を整理したうえで授業に臨むこと。また、授業内での課題を活用しながら復習し、理解できなかったところは教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 心理学、倫理学、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ
2 年 緩和医療、在宅看護概論、臨床医学Ⅵ、精神看護目的論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱ

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 9. 29	水	3	看護師のストレスマネジメント	【遠隔：オンデマンド】 1. 看護師とストレス 2. 精神科で働く看護師のストレス 3. 自分のストレスに気付くこと 4. ストレスマネジメントの方法	1	築瀬
2	2021. 10. 04	月	1	精神看護に関わる資格認定	【遠隔：オンデマンド】 1. 専門看護師（リエゾンナース） 2. 専門看護師の活動の実際 3. 認定看護師 4. その他の資格認定	2	築瀬

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
3	2021. 10. 14	木	4 1	精神科における安全管理（セーフティマネジメント）	【遠隔：オンデマンド】 1. 病棟環境の整備と行動制限 2. 自殺・自殺企図・自傷行為 3. 攻撃的行動, 暴力, 暴力予防プログラム 4. 隔離・身体拘束 5. 災害時の精神病棟の安全の確保	3	築瀬
4	2021. 10. 21	木	1	災害時地域精神保健医療活動 医学的検査と心理検査	【遠隔：オンデマンド】 1. 災害時の精神保健医療活動 2. 災害時の精神保健初期対応 3. 災害時の精神障害者への治療継続への援助 4. 医学的検査 1) 臨床検査における看護師の役割 2) 脳波検査 3) 画像検査: 脳検査 4) 脳脊髄液検査 5. 心理検査 1) 知能検査・発達検査 2) 性格検査 3) 神経心理学的検査 4) その他の心理検査	4 5	恩田
5	2021. 10. 26	火	3	精神科での治療(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 精神科における治療の特徴 1) 治療契約と治療構造 2) 他職種によるチーム医療 3) 治療におけるリスクマネジメント 2. 薬物療法 1) 抗精神病薬 2) 抗うつ薬 3) 気分安定薬 4) 睡眠薬 5) 抗不安薬 6) 抗てんかん薬 7) 薬物療法の課題	6	恩田
6	2021. 10. 29	金	4 1	精神科での治療(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 精神療法 1) 支持的精神療法 2) 認知行動療法 3) 精神分析的な精神療法 4) 家族療法 5) 集団精神療法	6	恩田

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
7	2021. 11. 01	月	2	精神科での治療(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 社会療法 1) 社会療法とは 2) 病院内で行われる社会療法 3. 電気けいれん療法 1) 電気けいれん療法の現状 2) 電気けいれん療法の適応 3) 電気けいれん療法の実施方法 4) 有害事象と実施時の注意点	6	恩田
8	2021. 11. 10	水	4	精神疾患とその症状・ 検査・治療・看護(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 精神疾患総論 2. 神経発達症：成人期の自閉症 スペクトラム障害（ASD）	7	平井
9	2021. 11. 29	月	1	精神疾患とその症状・ 検査・治療・看護(2)	【遠隔：オンデマンド】 統合失調症	7	平井
10	2022. 1. 06	木	2	精神疾患とその症状・ 検査・治療・看護(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 抑うつ障害と双極性障害 2. 不安障害	7	平井
11	2022. 1. 13	木	3	精神疾患とその症状・ 検査・治療・看護(4)	【遠隔：オンデマンド】 1. 強迫性障害 2. ストレス因関連障害 3. 解離性障害	7	平井
12	2022. 1. 18	火	1	精神疾患とその症状・ 検査・治療・看護(5)	【遠隔：オンデマンド】 1. 身体症状症及び関連症 2. 摂食障害 3. 睡眠・覚醒障害 4. 物質関連障害	7	平井
13	2022. 1. 19	水	4	精神疾患とその症状・ 検査・治療・看護⑥	【遠隔：オンデマンド】 1. 神経認知障害 2. パーソナリティ障害 3. 身体疾患と精神症状	7	平井
14	2022. 1. 25	火	1	精神保健活動とリハビリテーション	【遠隔：オンデマンド】 1. 精神科リハビリテーションの え方 2. 精神科におけるリハビリテーション はどう理解されてきた か。 3. 精神科リハビリテーションが 立ち遅れた理由 4. 障害論に基づくリハビリテーション 論 5. 障害者にとってのリハビリ テーション 6. 全人的リハビリテーション	8	恩田

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
15	2022. 1. 31	月	3	地域精神保健活動における社会資源の活用・在宅医療と連携	【遠隔：オンデマンド】 1. 治療を継続するための場 2. 障害者総合支援法におけるサービス 3. 雇用及び就労支援 4. 家族や当事者によるサポート 5. 精神科チームによる連携 6. 在宅医療への調整とは 7. 在宅調整において留意すること	9 10	恩田

精神看護援助論Ⅱ

対象学年：2 学年 通年

単位・時間数：1 単位 30 時間

責任者名：富崎 志穂

授業形式等：講義（遠隔）演習

担当教員：富崎 志穂（実務教員）築瀬 真由美（実務教員）恩田 美奈（実務教員）

●一般目標（GIO）

様々な精神疾患・症状をもつ患者とその家族に必要な看護を提供できるように、専門的な援助関係の構築方法やプロセスレコードの書き方、オレムのセルフケア不足理論の考え方に基づいた看護過程を理解する。

●行動目標（SBOs）

1. 精神疾患・精神症状がある患者とその家族との信頼関係構築と回復促進のための援助技術について説明できる。
2. プロセスレコードが記述できる。
3. セルフケア不足理論の考え方に基づき、患者の特徴を考えながら看護過程の展開について説明できる。

●アクティブ・ラーニング

対面での演習では、自己のプロセスレコードについてカンファレンスを行い、「自己・他者理解」を深めることにより、「必要な関わり」をグループ間で討議する。遠隔での演習では、個人で患者の特徴を考えながアセスメント力を養う。

●評価方法

定期試験（50%）、プロセスレコード（20%）、看護過程の展開（30%）

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問 する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス
富崎 志穂	クラスルームで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
築瀬 真由美	クラスルームで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp
恩田 美奈	クラスルームで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	mina.onda@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

様々な精神疾患・症状をもつ患者とその家族に必要な看護を提供できるように、専門的な援助関係の構築方法やプロセスレコードの書き方を学ぶ。また、オレム看護理論の考え方にに基づき事例展開を行いながら学修する。担当教員は臨床での実務経験があり、精神看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマポリシーとの関連性

精神看護対象論は、本学のディプロマポリシーにおける「プロフェッショナリズム」と「コミュニケーション能力」、「チーム医療」、「専門的実践能力」、「社会的貢献」、「自己研鑽」、「アイデンティティ」を育むための科目として位置付けられている。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学 ① 情緒発達と精神看護の基本	出口禎子他 編	メディカ出版	2020
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学 ② 精神障害と看護の実践	出口禎子他 編	メディカ出版	2020
テキスト	看護モデルを使う ① オレムのセルフケア・モデル	スティーブン J・カバナ	医学書院	2005
参考図書	援助技法としてのプロセスレコードー自己一致からエンパワメントへ	宮本 真巳 編	精神看護出版	2003
参考図書	オレム 看護論 第4版 看護実践における基本概念	小野寺 杜紀	医学書院	2005

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0s と学習内容を確認し、テキスト等で予習し、わからない用語や疑問点を整理したうえで授業に臨むこと。また、授業内での課題を活用しながら復習し、理解できなかったところは教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 心理学、倫理学、成人看護対象・目的論、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ
2 年 緩和医療、臨床医学Ⅵ、在宅看護概論、精神看護目的論、精神看護援助論Ⅰ・精神看護援助論Ⅱ

●予定表

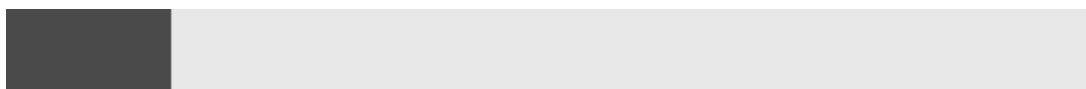
※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 9. 16	木	1 4	援助関係の構築(1)	【遠隔：オンデマンド】 入院環境と治療的アプローチ	1	富崎
2	2021. 9. 17	金	1 4	援助関係の構築(2)	【遠隔：オンデマンド】 精神科看護におけるケアの方法	1	富崎
3	2021. 10. 05	火	1	援助関係の構築(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 人格の発達と情緒体験 2. ライフサイクルとメンタルヘルス	2	富崎
4	2021. 10. 13	水	4 1	援助関係の構築(4)	【遠隔：オンデマンド】 1. プロセスレコードの目的 2. プロセスレコードの書き方 3. プロセスレコードカンファレンスの実施方法	2	富崎

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
5	2021. 11. 02	火	4	援助関係の構築 (5)	【遠隔：オンデマンド】 なんとなく気になる場面や感情的に消化できていないと感じる場面についてプロセスレコードを記載する	2	富崎
6	2021. 11. 05	金	2	援助関係の構築 (6)	プロセスレコードカンファレンス：自己のプロセスレコードについてグループ内で討議する	2	富崎 築瀬 恩田
			4				
7	2021. 11. 18	木	1	看護過程 (1)	【遠隔：オンデマンド】 セルフケア不足理論の考え方に基づいた情報収集、分析 (1)	3	富崎
8	2022. 1. 06	木	3	看護過程 (2)	【遠隔：オンデマンド】 セルフケア不足理論の考え方に基づいた情報の分析 (2)	3	富崎
9	2022. 1. 12	水	1	看護過程 (3)	【遠隔：オンデマンド】 セルフケア不足理論の考え方に基づいた情報の分析 (3)	3	富崎
			4				
10	2022. 1. 18	火	2	看護過程 (4)	【遠隔：オンデマンド】 セルフケア不足理論の考え方に基づいた情報の分析 (4)	3	富崎
11	2022. 1. 20	木	1	看護過程 (5)	【遠隔：オンデマンド】 セルフケア不足理論の考え方に基づいた情報の分析 (5)	3	富崎
12	2022. 1. 25	火	4	看護過程 (6)	【遠隔：オンデマンド】 セルフケア不足理論の考え方に基づいた情報の分析 (6)	3	富崎
13	2022. 1. 27	木	4	看護過程 (7)	【遠隔：オンデマンド】 関連図からの問題抽出	3	富崎
14	2022. 2. 03	木	4	看護過程 (8)	【遠隔：オンデマンド】 問題の抽出、優先順位の決定、長期目標・短期目標の決め方	3	富崎
15	2022. 2. 09	水	1	看護過程 (9)	【遠隔：オンデマンド】 看護計画立案、セルフケア不足理論の考え方に基づいた看護過程のまとめ	3	富崎
			4				

2 年

統合分野



対象学年 : 2 学年 前期
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 長谷川 和美
授業形式等 : 講義 (対面・遠隔)
担当教員 : 長谷川 和美 (実務教員) 加賀美 美穂子 (実務教員) 田中 比露美 (実務教員)
田中 千賀子 (実務教員) : 田園調布医師会立訪問看護ステーション
訪問看護認定看護師
渡邊 由美 (実務教員) : あげいん訪問看護 訪問看護認定看護師
乗松 和宏 : 社会福祉法人春光福祉会
藤元 流八郎 : 荏原ホームケアクリニック

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
藤元 流八郎	対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	fujimoto-r@homecareclinic.or.jp

●授業概要

我が国で在宅看護が推進される社会的背景及び在宅看護の変遷を学修する。また、地域包括ケアシステム・地域療養を支える制度・訪問看護を学修し、「地域で生き生きとその人らしく療養生活を送る」ために看護師が果たす役割・責任を考えられるようにする。さらに、今後の在宅看護の動向と発展に向けた取り組みについて理解できるようにする。担当教員は在宅医療に従事している医師、福祉施設に勤務する社会福祉士、病院や訪問看護ステーションで看護師として勤務している者が担当する。これらの実務経験に基づいて在宅看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「チーム医療」「看護実践能力」「社会的貢献」の達成を中心に学ぶ。地域・在宅看護を展開するために必要となる在宅看護の概念・対象の特徴・制度・地域包括支援センターにおける在宅看護を理解する。これらを通し地域社会で活躍する看護職に必要な知識・スキル・態度の習得を目指す。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域医療を支えるケア	臺由香 他	メディカ出版	2019
参考図書	看護の現場で役立つ地域包括ケアのキホン	荒神裕之 他	秀和システム	2020
プリント	在宅看護の背景と活動、地域連携システム、多職種・多機関連携、地域療養を支える制度、ケアマネジメント、療養の場の移行に伴う看護、在宅看護の動向と展望			

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0s を確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。事前課題として「日常生活において他者に頼っていることは何か」を記述し、提出すること。講義終了後は事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは、オフィス・アワーを活用し、担当教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 社会福祉、関係法規、家族関係論、社会学、地域・在宅看護概論Ⅰ、基礎看護学概論
 2 年 老年看護援助論Ⅰ～Ⅲ、地域・在宅看護援助論Ⅰ～Ⅲ
 3 年 地域・在宅看護論実習

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス。

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 4. 08	木	3	在宅看護の背景と看護活動（1）	【遠隔：オンデマンド】 1. 在宅看護が社会に必要とされる社会背景 2. 日本の在宅看護の変遷と今後	1	田中
2	2021. 4. 08	木	4	在宅看護の背景と看護活動（2）	【遠隔：オンデマンド】 1. 在宅看護の対象の特徴 2. 在宅看護活動の特徴	2 3	田中

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
3	2021. 4. 12	月	1	地域連携システム	【遠隔：オンタイム】 1. 地域包括ケアシステムとは 2. 生活の場に応じた看護とサービス提供機関 1) 提供されるサービス 2) 今後の課題とナースの役割 3. 地域包括支援センター 1) 機能・業務・包括的支援事業	4	乗松
4	2021. 4. 19	月	3	地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携 (1)	【遠隔：オンタイム】 1. 地域包括支援センターとの連携 1) 在宅ケアで連携する主な保健・医療・福祉関連職種 2) 居宅介護支援事業所との連携 3) 住民との連携と見守りネットワーク 4) 専門職以外の人々と地域との目 2. 地域包括ケアと地域ケア会議	5	乗松
5	2021. 4. 26	月	3	地域療養を支える制度 (1)	【遠隔：オンタイム】 1. 社会資源の活用 1) 看護職の役割 2. 医療保険と介護保険 (1) 1) 介護保険制度	6	乗松
6	2021. 5. 10	月	3	地域療養を支える制度 (2)	【遠隔：オンタイム】 1. 医療保険と介護保険 (2) 1) 介護保険制度における居宅サービス	6	乗松
7	2021. 5. 10	月	4	地域療養を支える制度 (3)	【遠隔：オンタイム】 1. 医療保険と介護保険 (3) 1) 訪問看護の利用者の年齢と疾病からみた介護保険・医療保険の訪問看護の対象者 2) 介護保険と医療保険の使い方 3) 障害者総合支援・難病法	6	乗松
8	2021. 5. 24	月	3 4	地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携 (2)	【対面】 演習の発表とまとめ	4 5 6	乗松 加賀美 田中 長谷川
9	2021. 6. 02	水	1	在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント	【遠隔：オンタイム】 1. 看護が担うケースマネジメント/ケアマネジメントの概要 2. 介護保険制度におけるケアマネジメント 3. ケースマネジメント/ケアマネジメントの過程	4	乗松
10	2021. 6. 03	木	4	療養の場の移行にともなう看護 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 療養の場の移行にともなう看護 (1) 1) 患者・家族の意思決定支援と調整 2) 退院支援・退院調整	7	田中 千賀子

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
11	2021. 6. 22	火	2	療養の場の移行にともなう看護 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 療養の場の移行にともなう看護 (2) 1) 退院支援のプロセスと退院支援に関するしくみ 2) 入退院時の医療機関との連携 3) 医療施設や介護施設などとの連携	7	田中 千賀子
12	2021. 6. 23	水	2	在宅療養を支える訪問看護 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 訪問看護ステーションの規程 2. 訪問看護利用までの手順 3. 訪問看護の費用 (利用料)	7	渡邊
13	2021. 6. 29	火	2	在宅療養を支える訪問看護 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 訪問看護サービスの質保証 2. 訪問看護サービスの管理・運営 3. 訪問看護の記録	7	渡邊
14	2021. 6. 30	水	2	在宅看護の動向と展望 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 在宅看護の先駆的な取り組み 2. これからの在宅看護の発展	8	田中 千賀子
15	2021. 7. 02	金	4	在宅看護の動向と展望 (2)	【遠隔：オンデマンド】 在宅医療の現状と課題	8	藤元

地域・在宅看護援助論 I

対象学年 : 2 学年 通年
 単位・時間数 : 2 単位 45 時間
 責任者名 : 長谷川 和美
 授業形式 : 講義（対面、遠隔） 演習
 担当教員 : 加賀美 美穂子（実務教員） 田中 比露美（実務教員） 長谷川 和美（実務教員）

●一般目標（GIO）

在宅で療養する人々と家族を生活者としてとらえ、そのニーズを尊重した看護援助をするために療養生活の支援方法について理解する。

●行動目標（SBOs）

1. 在宅で療養する人々と家族を生活者としてとらえることができる。
2. 家族の支援方法について説明できる。
3. 在宅療養の場に応じた援助技術の方法について説明できる。
4. 療養者の状況に応じた在宅看護の特異的なケアを実施できる。
5. 在宅療養の場における安全管理について記述できる。

●アクティブ・ラーニング

1. グループディスカッション・学びの共有を行いながら在宅療養と家族の支援、療養の場における安全管理についての理解を深める。
2. 演習により、在宅看護に必要なスキルを身につける。

●評価方法

定期試験(70%)、成果物(30%)

評価（教学上の判定）の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
加賀美 美穂子	電子メールで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

在宅看護は、あらゆる年代、あらゆる健康状態にある人々を対象としている。医療依存度の高い人や複数の疾患を有する人も地域で療養生活をしており、多くの医療処置が実施されている。ここでは、在宅で療養する人々と家族への支援について学ぶ。具体的には、療養者のとらえ方・家族支援の際に必要な理論・安全管理・在宅療養の場における援助技術のアセスメントと具体的な展開方法を学ぶものとする。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて訪問看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「専門的実践能力」の達成を中心に学ぶ。在宅で療養する人々と家族への理解を深める過程および安全管理を学ぶことで、看護師としての責務を自覚する。また、演習を通して在宅看護を実践するために必要なスキルの習得を目指す。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 ①地域医療を支えるケア	臺由香 他	メディカ出版	2019
プリント	在宅療養者と家族の支援、安全管理、在宅看護技術			
参考図書	看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術	正野逸子・本田影子 編著	メヂカルフレンド社	2019
参考図書	在宅看護実習ガイド	山田雅子編	照林社	2011
参考図書	新版 在宅看護論	木下由美子編著	医歯薬出版	2009
参考図書	写真でわかる訪問看護アドバンス	押川真喜子監修	インターメディアカ	2020

●準備学習（予習・復習）

予習においては、テキストの該当項、関連書籍の該当項を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においては、テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 看護学概論、看護理論、共通基本技術、日常生活援助《理論編》・日常生活援助《実践編》、フィジカル・アセスメント、成人看護目的・対象論、老年看護対象・目的論
- 2 年 地域・在宅看護概論Ⅱ、治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、老年看護援助論Ⅲ、小児看護目的論、小児看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ
- 3 年の科目全般

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス。ABCD の 4 クラス制で行う場合は、時限 - 上段から ABCD クラス。

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 7. 15	木	1	在宅療養者と家族の支援 (1)	【遠隔：オンタイム】 1. その人らしく地域で生活するための支援 1) 疑似体験	1	長谷川 加賀美 田中
2	2021. 7. 15	木	2	在宅療養者と家族の支援 (2)	【遠隔：オンタイム】 在宅で療養する人がその人らしく療養生活を送るための看護の視点の検討と発表	1	長谷川 加賀美 田中
		木	3				

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
3	2021. 7. 16	金	2	在宅療養者と家族の支援 (3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 家族の支援 (1) 1) 療養者を介護する家族の 特徴	2	長谷川
4	2021. 7. 20	火	4	在宅療養者と家族の支援 (4)	【遠隔：オンデマンド】 1. 家族の支援 (2) 1) 家族に関する基礎理論	2	長谷川
5	2021. 10. 06	水	4	在宅療養者と家族の支援 (5)	【遠隔：オンデマンド】 1. 家族の支援 (3) 1) 家族形態に応じた支援	2	長谷川
6	2021. 10. 14	木	1 3	在宅療養者と家族の支援 (6)	【対面】 発表とまとめ	2	長谷川 加賀美 田中
7	2021. 10. 19	火	3	在宅療養の場における安全 管理 (1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 安全管理の特徴 2. 訪問看護の場で起こりやすい ヒヤリハット・事故事例と対 策	5	加賀美
8	2021. 10. 21	木	4	在宅療養の場における安全 管理 (2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 訪問看護の場での感染予防 2. 事故対策 3. 災害に対する準備と対応	5	加賀美
9	2021. 10. 27	水	1 3	在宅療養の場における安全 管理 (3)	【対面】 訪問看護の現場に潜む危険と対 策について演習で検討する	5	長谷川 加賀美 田中
10	2021. 10. 28	木	4	訪問看護技術	【遠隔：オンデマンド】 1. 家庭訪問・初回訪問 2. 訪問看護師の1日 3. 訪問看護師の接遇	3	加賀美
11	2021. 11. 02	火	3	在宅療養の場における日常 生活援助技術(1)	【遠隔：オンデマンド】 清潔	3	加賀美
12	2021. 11. 04	木	1	在宅療養の場における日常 生活援助技術(2)	【遠隔：オンデマンド】 排泄	3	加賀美
13	2021. 11. 08	月	2	在宅療養の場における日常 生活援助技術(3)	【遠隔：オンデマンド】 住環境	3	加賀美
14	2021. 11. 11	木	4	在宅療養の場における日常 生活援助技術(4)	【遠隔：オンデマンド】 移動	3	加賀美
15	2021. 11. 29	月	4	在宅療養の場における処置 に伴う援助技術(1)	【遠隔：オンデマンド】 在宅中心静脈栄養法	3	田中
16	2022. 1. 06	木	4	在宅療養の場における処置 に伴う援助技術(2)	【遠隔：オンデマンド】 在宅酸素療法	3	加賀美
17	2022. 1. 13	木	4	在宅療養の場における処置 に伴う援助技術(3)	【遠隔：オンデマンド】 1. 在宅人工呼吸法 1) 在宅人工呼吸療法の適応 2) 人工呼吸器の種類と特徴 3) 在宅人工呼吸療法導入支 援と看護技術の実践	3	加賀美
18	2022. 1. 18	火	4	在宅療養の場における処置 に伴う援助技術(4)	【遠隔：オンデマンド】 腹膜透析	3	加賀美

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
19	2022. 1. 19	水	2	在宅療養の場における処置に伴う援助技術(5)	【遠隔：オンデマンド】 在宅経腸栄養法（胃瘻法経鼻経管栄養法・空腸瘻法）	3	田中
20	2022. 1. 28	金	3	在宅療養の場における看護技術の実際(1)	洗髪	4	加賀美 長谷川 田中
			4				
			1				
			2				
21	2022. 2. 02	水	3	在宅療養の場における看護技術の実際(2)	1. 在宅経腸栄養法 1) 胃ろう 2) 経鼻経管栄養法	4	田中 加賀美 長谷川
			4				
			1				
			2				
22	2022. 2. 10	木	3	在宅療養の場における看護技術の実際(3)	1. 訪問看護の接遇 2. 移動	4	加賀美 長谷川 田中
			4				
			1				
			2				

地域・在宅看護援助論Ⅱ

対象学年 : 2 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 長谷川 和美
 授業形式 : 講義 (対面・遠隔)
 担当教員 : 渡邊 由美 (実務教員) : あげいん訪問看護 訪問看護認定看護師
 加賀美 美穂子 (実務教員) 田中 比露美 (実務教員) 長谷川 和美 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

在宅で療養する人々と家族を生活者としてとらえ、多職種と協働して看護するために療養者・家族の状態に応じた支援方法を理解できる。

●行動目標 (SBOs)

1. 在宅看護介入時期の特徴について説明できる。
2. 在宅療養者と家族が望む在宅療養を実現するための支援方法を説明することができる。

●アクティブ・ラーニング

提示された課題の自己学習内容を基に、グループ内でディスカッションを行いながら、療養者とその家族の状況に応じた支援方法の理解を深める。

●評価方法

定期試験 (70%)、成果物 (30%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 ※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 ※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
渡邊 由美	電子メールで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
加賀美 美穂子		m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.-u.ac.jp

●授業概要

在宅看護は、あらゆる年代、あらゆる健康状態にある人を対象としている。また、医療依存度の高い人や複数の疾患を有する人も地域で療養生活をしており、多くの医療処置が実施されている。ここでは、さまざまな事例から療養者と家族、その取り巻く環境と状況に応じた支援方法の実際を学び、既存の看護の知識を応用し、在宅看護の実践に結びつけることができようとする。担当教員は訪問看護ステーションに勤務している訪問看護認定看護師及び病院で看護師として勤務していた。その実務経験に基づいて訪問看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「チーム医療」「専門的実践能力」の達成を中心に学ぶ。様々な、看護介入時期や疾患を有する療養者とその家族の状況に応じた支援に必要な知識・スキル・態度の習得を目指す。

●教材（テキスト、推奨図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域医療を支えるケア	臺由香 他	メディカ出版	2019
参考図書	看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術	正野逸子・本田影子 編著	メヂカルフレンド社	2019
プリント	在宅看護の介入期の特徴、対象に応じた支援方法			

●準備学習（予習・復習）

講義に向かう前には、事前に関連する項目をテキストで予習し、わからないことはレポートにまとめ講義に臨むこと。講義終了後には、テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学修内容を整理し、理解できなかったことは、オフィス・アワーを活用し、担当教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	看護学概論、看護理論、共通基本技術、日常生活援助《理論編》、日常生活援助《実践編》、フィジカル・アセスメント、臨床看護総論、成人看護対象・目的論、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ、地域・在宅看護概論Ⅰ
2 年	地域・在宅看護概論Ⅱ、治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ、老年看護援助論Ⅱ～Ⅲ
3 年	在宅看護論実習

●予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 9. 06	月	1	在宅看護介入期の特徴	【遠隔：オンデマンド】 1. 準備期・移行期・安定期 2. 急性憎悪期 3. 終末期（看取り期） 4. 在宅療養終了期	1	渡邊
2	2021. 9. 07	火	4	対象に応じた支援方法 (1)	【遠隔：オンデマンド】 壮年期の ALS 療養者（1）	2	渡邊
3	2021. 9. 15	水	2 1	対象に応じた支援方法 (2)	【対面】 壮年期の ALS 療養者（2） 事例を用いてグループワーク・発表	2	渡邊 田中 加賀美 長谷川
4	2021. 9. 28	火	1	対象に応じた支援方法 (3)	【遠隔：オンデマンド】 日中独居の認知症療養者	2	渡邊
5	2021. 9. 29	水	2	対象に応じた支援方法 (4)	【遠隔：オンデマンド】 ストーマ管理を開始する療養者	2	渡邊
6	2021. 9. 30	木	2	対象に応じた支援方法 (5)	【遠隔：オンデマンド】 在宅で終末期を迎える療養者①	2	渡邊
7	2021. 10. 13	水	2 4	対象に応じた支援方法 (6)	【対面】 在宅で終末期を迎える療養者② グループワーク・発表	2	渡邊 田中 加賀美 長谷川

地域・在宅看護援助論Ⅲ

対象学年 : 2 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 長谷川 和美
 授業形式等 : 講義 (対面・遠隔)
 担当教員 : 田中 比露美 (実務教員) 加賀美 美穂子 (実務教員) 長谷川 和美 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

療養の場で、多職種と協働し看護援助をする上で必要な能力を修得するために、具体的な事例を用いて看護過程を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 療養者と家族の生活上の課題を抽出することができる。
2. 療養者と家族が望む療養生活を支えるための支援方法を記述できる。

●アクティブ・ラーニング

グループメンバーとのディスカッションを通して、在宅看護の看護過程について理解を深める。

●評価方法

課題 (100%)

評価 (教学上の判定) の概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
田中 比露美	電子メールで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

在宅療養の場における看護は、何よりも療養者を生活者としてとらえ、フォーマル・インフォーマルサービスをケアマネジメントしながら多職種と看護を展開していくことが重要となる。そのため、ここでは、在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ。在宅で多くみられる事例をとおり、療養者と家族の生活、その環境などを具体的に理解し、学修した知識を想起・活用・統合しながら在宅看護の実践について主体的に考え、看護過程の基礎的能力を培う。
 担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり実務経験に基づいて在宅看護に必要な知識を教授する。

● ディプロマ・ポリシーとの関連性

本科目は、ディプロマ・ポリシーの中で「プロフェッショナリズム」「チーム医療」「専門的実践能力」の達成を中心に学ぶ。事例を用いて、在宅看護を継続するために必要な課題を見出し、解決するために必要な看護を考える。地域で提供されているサービスを取り入れ、在宅看護を実践するために必要な知識・スキルの習得を目指す。

● 教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論①地域医療を支えるケア	臺有 桂 他	メディカ出版	2019
参考図書	看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術	正野逸子・本田影子 編著	メヂカルフレンド社	2019
プリント	在宅における看護過程			

● 準備学習（予習・復習）

予習においては、テキストの該当項、関連書籍の該当項を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においては、テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める。

● 全学年を通しての関連科目

1 年 看護学概論、看護理論、成人看護対象・目的論、老年看護対象・目的論、地域・在宅看護概論Ⅰ
 2 年 地域・在宅看護概論Ⅱ、地域・在宅看護援助論Ⅰ～Ⅱ、老年看護援助論Ⅲ、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ、老年看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ
 3 年の科目全般

● 予定表

※ AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う場合は、時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 12. 03	金	1	在宅における看護過程(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 在宅における看護過程の特徴 1) 問題解決型 2) 目標志向型 ICF の概念を活用	1	田中
2	2021. 12. 03	金	2	在宅における看護過程(2)	【遠隔：オンデマンド】 事例紹介	1 2	田中
3	2022. 1. 26	水	3 1	在宅における看護過程(3)	【対面】 1. 事例検討① 1) 情報収集 2) アセスメント	1 2	田中 加賀美 長谷川
4	2022. 1. 26	水	4 2	在宅における看護過程(4)	【対面】 1. 事例検討② 1) 看護計画の立案 2) 実施・評価・修正	1 2	田中 加賀美 長谷川

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
5	2022. 2. 10	木	1	在宅における看護過程(5)	【遠隔：オンデマンド】 事例検討のまとめ①	1 2	田中
			4				
6	2022. 2. 16	水	3	在宅における看護過程(6)	【対面】 事例検討の修正	1 2	田中 加賀美 長谷川
			1				
7	2020. 2. 16	水	4	在宅における看護過程(7)	【対面】 1. 発表 2. まとめ②	1 2	田中 加賀美 長谷川
			2				

看護研究

対象学年	: 2 学年 通年		
単位・時間数	: 1 単位 30 時間		
責任者名	: 植田 光剛		
授業形式等	: 講義（遠隔、対面）		
担当教員	: 福永 聖子(実務教員) 江副 秀美(実務教員) 植田 光剛(実務教員) 柴田 雅子(実務教員) 浅田 恵子(実務教員) 柴田 恵美(実務教員) 塩川 優子(実務教員) 桧山 優子(実務教員) 神尾 由紀(実務教員) 英 千秋 (実務教員)		

●一般目標 (GIO)

看護への探究心の向上・根拠に基づいた実践を行うために必要な研究活動の基本を身につけるために、看護研究の意義とプロセスを理解する。

●行動目標 (SBOS)

1. 看護における研究の意義と目的を説明できる。
2. 看護における研究の主な種類・特徴・方法が説明できる。
3. 看護研究のプロセスの概要を理解し説明できる。
4. 看護研究に必要なリサーチクエスションについて説明できる。
5. 看護研究に必要な主なデータ収集について説明できる。
6. 看護研究における倫理的配慮について説明できる。
7. 研究テーマの決定から研究計画書までのプロセスを独自のテーマで説明できる。
8. 看護研究に必要な文献検索の方法について説明できる。
9. 他者の研究成果の発表からの学びと自己の課題を説明できる。

●アクティブ・ラーニング

研究テーマの決定・文献検索・研究計画書の作成では、小グループで共同作業を行い、難易度の高い作業ではお互いに補完しながら理解を深める。全作業を通じ、積極的な意見交換を行い、他者の様々な意見から自分自身の見識や興味の範囲を拡充する場としていく。学会では、実際の研究成果の発表方法を学ぶ。

●評価方法

1. 評価方法と内訳

課題: リサーチクエスション・文献レビュー・研究計画書 (40%)

レポート: 学会参加の学び (20%) 講義まとめ (10%)

発表・討議: 研究計画書・学会参加の学び (30%)

2. 評価（教学上の判定）概要について

- 1) 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要（平均点、不合格者の人数など）について周知する。
- 2) 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- 3) 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

* 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

* 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

* 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
福永 聖子	授業終了後、講義室または、電子メールで質問を受け付ける。	fukunaga@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護の質を高められるよう看護研究に取り組むことが専門職として不可欠である。今後の研究活動の基盤となるように、研究の目的・種類やプロセスについて学ぶ。未来の研究者へつながるよう、研究の軸となるテーマの決定や研究計画書は独自のテーマで記述し、スキルを身につけていく。 担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて倫理や研究に必要な知識・スキル・態度を教授する。
--

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

自己研鑽：看護研究の基礎を理解することで、講義や演習、実習を通して、自ら発見した疑問や課題に対して、高度な専門知識と専門識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につけ、常に創造力・探求心を持ち続ける自己研鑽できる意欲と態度の基盤を養う。

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護研究	坂下玲子	医学書院	2020
参考図書	改訂 4 版 看護研究サポートブック	足立はるゑ	メディカ出版	2017
参考図書	書いて身につく!らくらく実践トレーニング 看護研究ワークブック	恩田和世	メディカ出版	2007
参考図書	楽しくなる看護研究	上野栄一/出口洋二/ 一ノ山隆司	メヂカルフレンド社	2019

●準備学習(予習・復習)

【予習】テキストの該当頁を確認し、必要時参考図書を活用することで内容理解に努める。理解できない箇所を明らかにしておく。 【学生同士のディスカッション】 研究プロセスの演習では、自分の意見を持って参加する。他者の意見にもよく耳を傾け、互いに納得する内容で、テーマの決定や研究計画書が作成できることを目指す。発表では、内容が他者に伝わるように事前準備を行ったうえで臨む。討議では意見交換を行い自他共に学びが深まることを意識して臨む。 【復習】テキスト・講義資料・参考文献をもとに学修内容を整理し、理解を深める。
--

●全学年を通しての関連科目

1年	専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野における全ての科目
2年	専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野における全ての科目
3年	専門分野Ⅱ・統合分野における全ての科目

●予定表

※4・5・9・14回：AB 合同クラス、CD 合同クラスの2クラス制で行う。

時限一上段：AB クラス、下段一CD クラス

※6 回：ABCD の4クラス制で行う。時限一上段からAクラス・Bクラス・Cクラス・Dクラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 9. 06	月	2	看護研究の概要	【遠隔：オンデマンド】 1. 看護研究の意義・目的・歴史 2. 看護研究のプロセス	1 3	福永
2	2021. 9. 07	火	2	看護研究の基礎(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 看護研究の種類 (研究デザイン) 2. データの収集方法	2 5	福永
3	2021. 9. 14	火	4	看護研究の基礎(2) 看護研究プロセスの実 際(1)	【遠隔：オンデマンド】 1. 研究における倫理 2. 研究テーマの模索 (仮のリ サーチクエスションの設定)	4 6	福永
4	2021. 9. 30	木	3	看護研究プロセスの実 際(2)	【遠隔：オンデマンド】 1. 文献検索方法 2. 文献レビュー作成方法 3. 研究計画書作成方法	4 7 8	福永
5	2021. 10. 7	木	2 1	看護研究プロセスの実 際(3)	【対面】 1. 文献検索 2. 文献レビュー作成 3. 仮のリサーチクエスションの 決定	4 7 8	福永 ・他
6	2021. 10. 15	金	2 1 4 3	看護研究プロセスの実 際(4)	【対面】 1. リサーチクエスションの決定 2. 文献検索 3. 文献レビュー作成	4 7 8	福永 ・他
7	2021. 10. 19	火	5	看護研究プロセスの実 際(5)	【遠隔：オンタイム】 研究計画書の作成	7	福永
8	2021. 10. 21	木	5	看護研究プロセスの実 際(6)	【遠隔：オンタイム】 研究計画書の作成	7	福永
9	2021. 10. 29	金	2 4	看護研究プロセスの実 際(7)	【対面】 研究計画書の発表	7	福永 ・他
10	2021. 12. 01	水	2	看護研究論文のまとめ 方と発表方法	【遠隔：オンデマンド】 1. 論文のまとめ方 2. 論文の発表 3. 文献クリティーク	3	福永

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
11	未定			看護学生看護研究学会参加(1)	【学会参加：対面またはオンライン】 看護学生研究学会参加(1)	9	福永
12	未定			看護学生看護研究学会参加(2)	【学会参加：対面またはオンライン】 看護学生研究学会参加(2)	9	福永
13	2022. 1. 25	火	3	研究成果発表の場からの学び(1)	【遠隔：オンデマンド】 学会参加に関するレポート作成	9	福永
14	2022. 2. 01	火	4 1	研究成果発表の場からの学び(2)	【遠隔：オンタイム】 学会参加に関するレポート発表	9	福永・他
15	2022. 2. 17	木	4	これまでの講義のまとめ	【遠隔】 オンタイム まとめ	1～9	福永

医療安全Ⅱ

対象学年 : 2 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 植田 光剛
 授業形式等 : 講義(遠隔・対面)
 担当教員 : 柴田 雅子(実務教員) 植田 光剛(実務教員) 浅田 恵子(実務教員)
 江副 秀美(実務教員) 柴田 恵美(実務教員) 塩川 優子(実務教員)
 桧山 優子(実務教員) 神尾 由紀(実務教員) 英 千秋 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

対象に安全・安心な医療と看護を提供するために、基本的な医療安全について専門職として必要な知識を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 安全管理のシステムについて説明できる。
2. 医療事故防止について説明できる。
3. 医療事故が起きた際の対処法について説明できる。
4. 紙上事例を通して、医療事故防止策を分析することができる。

●アクティブ・ラーニング

演習は、実際の事例を通じて、臨床現場で行われているコミュニケーションエラー防止や医療事故防止の取り組みについての学びを深める。

●評価方法

1. 評価方法と内訳
 課題レポート (50%) 演習参加態度 (50%)
2. フィードバック
 課題レポートは評価後に返却する。
3. 評価 (教学上の判定) 概要について
 - 1) 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - 2) 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - 3) 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 雅子	授業終了後、講義室または、電子メールで質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

対象に安全な医療サービスを提供することは医療における最優先課題である。臨床では多重業務・業務の中断・チーム医療というヒューマンエラーを引き起こしやすい業務形態の中で看護師はその責務を果たさなければならない。そのため、医療安全の基礎知識を習得し、医療安全に対する意識を高め、事故防止に対応する能力を養えるよう、講義・演習を行っていく。

担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて医療安全に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

1. プロフェッショナリズム：看護職として必要とされる良識、倫理観、責任感をもって看護を提供する為の知識を習得する。また、医療を実践する為に、看護職として必要とされる規律・ルールを理解し、医療事故防止対策に対する基礎知識を習得する。
2. 専門的実践能力：看護職として安全な医療サービスを提供する為、医療事故が起きた場合の再発防止の対処法について必要な知識・技能を身につける。
3. 自己研鑽：医療安全、医療事故防止における質の高い看護を提供する為に、常に創造力・探求心を持ち、専門識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

授業時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践②医療安全	松下 由美子 他編	メディカ出版	2021
テキスト	看護学生してはいけないケース ファイル 臨地実習禁忌集	下司栄一 他著	丸善出版	2013
テキスト	TeamSTEPPS®を活用した ヒューマンエラー防止策	東京慈恵医科大学附属病 院看護部・医療安全管理 部 編著	日本看護協会 出版会	2017

●準備学習（予習・復習）

【予習】医療安全に関する動画を視聴する。テキストの該当頁を確認し、内容理解に努める。理解できない箇所を明らかにし、講義で確認する。

【学生同士のディスカッション】講義の内容を復習し、事前に与えられた課題を各自行い、演習・ディスカッションに参加する。各グループでのディスカッションは、メンバー全員が意見を出し、活発なディスカッションとなるように協力する。

【復習】再度医療安全動画を視聴する。講義内容を確認する。講義、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、オフィス・アワーを活用し、解決する。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱ、医療安全Ⅰ
- 2 年 専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野
- 3 年 専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

※6・7回：AB 合同クラス、CD 合同クラスの2クラス制で行う。時限－上段：AB クラス、下段－CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2022. 1. 07	金	1	安全管理のシステム	【遠隔：オンデマンド】 1) 医療安全の推進と背景 2) 医療安全の取り組み 3) 医療者の社会的責任としての医療安全 医療訴訟の現状	1	柴田 (雅)
2	2022. 1. 13	木	2	チームステップス 1.	【遠隔：オンデマンド】 1) 協働におけるチームワーク 2) 日本の組織文化	2 3 4	柴田 (雅)
3	2022. 1. 18	火	3	チームステップス 2.	【遠隔：オンデマンド】 1) グループとチーム 2) 安全を高めるためのチーム医療とコミュニケーション 3) チームステップスとは		
4	2022. 1. 20	木	3	チームステップス 3.	【遠隔：オンデマンド】 1) チーム構成 2) チームワークを良好にする コアスキル		
5	2022. 1. 31	月	2	チームステップス 4.	【遠隔：オンタイム】 演習(グループワーク)		
6	2022. 2. 01	火	1 3	チームステップス 5.	【対面】 グループ作業、グループワーク	1～4	柴田 (雅)
7	2022. 2. 01	火	2 4	まとめ	【対面】 まとめ		他

災害看護

対象学年 : 2 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 植田 光剛
 授業形式等 : 講義(遠隔)、演習
 担当教員 : 舍利倉 幸香(実務教員) : 昭和大学病院 災害看護専門看護師
 山本 友依(実務教員) : 昭和大学病院 集中ケア認定看護師
 植田 光剛(実務教員) 浅田 恵子(実務教員) 柴田 雅子(実務教員)
 江副 秀美(実務教員) 柴田 恵美(実務教員) 桧山 優子(実務教員)
 神尾 由紀(実務教員) 塩川 優子(実務教員) 英 千秋(実務教員)

●一般目標 (GIO)

対象に安全・安心な医療と看護を保障する為に、基本的な災害看護について専門職として必要な基礎的知識を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 災害の定義と分類を説明できる。
2. 災害医療の特性を説明できる。
3. 災害発生時の看護の役割について説明できる。
4. 災害急性期の看護について説明できる。
5. 慢性期～中長期の特徴と看護について説明できる。
6. 被災者および遺族の心の変化の特徴を知ることができる。
7. 救済者ストレスについて知ることができる。
8. 災害発生時に必要な援助を実施することができる。

●アクティブ・ラーニング

演習は、講義で学んだ災害発生時に必要な看護の実際を体験し、知識だけでなく技術を学ぶ。

●評価方法

1. 評価方法と内訳

定期試験 (70%) 課題 (20%) 演習参加度 (10%)

2. フィードバック

課題は評価後に返却する。

3. 評価 (教学上の判定) 概要について

- 1) 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
- 2) 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
- 3) 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。

- ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
- ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
- ③ その他、明確な理由があると思われるもの

*成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。

*「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。

*科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。

直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
舍利倉 幸香	授業終了後、講義室または、電子メールで質問を受け付ける。	sharikura@cmed.showa-u.ac.jp
山本 友依		tomoe0519@cmed.showa-u.ac.jp

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
植田 光剛	授業終了後、講義室または、電子メールで質問を受け付ける。	mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

災害看護は災害による一時的、二次的な被害を含め生命や健康、生活に及ぼす被害を可能な限り少なくするための看護活動である。資源や人材が潤沢にある平常時と異なる医療環境を学び、緊急時に対応できる技術を実際の演習を通して学んでいく。また、災害時における看護師の役割について考えられる機会とする。

担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて災害看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

1. プロフェッショナルリズム：看護職として必要とされる良識、倫理観、責任感をもって看護を提供する為の知識を習得する。また、安全・安心な医療を保障する為に、看護職として必要とされる基本的な災害看護についての基礎知識を習得する。
2. チーム医療：災害発生時に必要なチーム医療の中で、看護師としての役割を実践できるための基礎知識を習得する。
3. 専門的実践能力：災害発生時に看護職として看護を適切に実践する為に、災害時に必要な技術を身につける。
4. 自己研鑽：災害現場における質の高い看護を提供する為に、常に創造力・探求心をもち、専門知識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

授業時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護	酒井 明子 他著	メディカ出版	2017
参考図書	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐 康子 他著	メディカ出版	2017

●準備学習（予習・復習）

【予習】講義のSBOsを確認し、教科書を予習してから講義に臨む。わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、理解できない箇所を明らかにし、講義で確認する。

【復習】講義内容を確認する。講義、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、オフィス・アワーを活用し、解決する。

●全学年を通しての関連科目

- 1年 基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ
- 2年 専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野
- 3年 専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 6. 22	火	3	災害看護の概要と災害サイクルに応じた看護(1)	【遠隔:オンデマンド】 ① 災害の定義・分類 ② 災害医療の特性 ③ 災害サイクルに応じた看護	1 2 3 4 5	舍利倉 山本
2			4	災害看護の概要と災害サイクルに応じた看護(1)	【遠隔:オンデマンド】 ④ 災害急性期の看護	4 5	
3	2021. 7. 01	木	3	災害看護の概要と災害サイクルに応じた看護(1)	【遠隔:オンデマンド】 ⑤ 慢性期～中長期の看護	6	
4			4	災害看護の概要と災害サイクルに応じた看護(1)	【遠隔:オンデマンド】 ⑥ 災害時の心のケア		
5	2021. 9. 01	水	2	災害発生時に必要な看護の実践(1)	【対面】 ① トリアージ ② 応急処置の原則 ③ 搬送・移送	7	舍利倉 山本 統合担 当教員
6			3	災害発生時に必要な看護の実践(2)	【対面】 ① トリアージ ② 応急処置の原則 ③ 搬送・移送		
7			4	災害発生時に必要な看護の実践(3)	【対面】 ① トリアージ ② 応急処置の原則 ③ 搬送・移送		

看護の統合と実践 I

対象学年 : 2 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 植田 光剛
 授業形式等 : 講義(対面、遠隔)
 担当教員 : 柴田 雅子(実務教員)
 落合 香保里(聖路加国際大学大学院看護学研究科修士課程国際看護学)
 高原 静子: 東京都看護連盟 会長

●一般目標 (GIO)

看護サービスマネジメントに必要な基本的知識を修得するために、看護管理の基礎知識、国際看護、看護政策について理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 看護の動向と看護政策について説明できる。
2. 看護の役割と機能を人々の生活と関連付けて考えることができる。
3. 看護の活動の場の拡がりについて説明できる。
4. 看護管理の対象とそれらに対する看護管理者の役割について説明できる。
5. 国際社会に貢献するために必要な支援について説明できる。
6. 国際看護の専門性と責任を説明できる。

●評価方法

1. 評価方法と内訳
 定期試験 (80%) ・ 課題 (20%)
2. フィードバック
 課題は評価後に返却する。
3. 評価 (教学上の判定) の概要について
 - 1) 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - 2) 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - 3) 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

※ 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 ※ 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 ※ 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 雅子	授業終了後、電子メールで質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
落合 香保里		看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
高原 静子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

看護管理の中心的概念は、患者－看護師関係で患者に提供する「ケア」をマネジメントすること、患者に提供する「ケア」を組織的にマネジメントするのが「看護サービス」のマネジメントである。さらに看護サービスを提供する場である組織と社会との関連を説明する制度・政策がある。これらについて学んでいく。

また、グローバル化が進んだ現代の世界においては、わが国だけでなく地球上のあらゆる人々の健康上の問題を知り、人々の苦しんでいることや、それに対して何ができるかを考えるのが国際看護学である。この授業では実際に国際看護の体験を聞き、現状と課題を知り、国際看護における看護師の役割について学ぶ。

担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて看護管理、国際看護、看護の動向について必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

1. プロフェッショナリズム：看護者が患者や家族に、看護ケア、治療への助力、安楽を与えるために行われている看護管理としての知識を習得する。また、看護の対象は、我が国だけでなく国際的に多様化している。その為、日本を含めて世界に視野を広げて、現状と課題、その中で専門職として看護師の役割を学習する。
2. 専門的実践能力：看護を提供する組織の中で、専門職としての役割を果たすために必要な知識を身につける。また、
3. 自己研鑽：看護を提供する為に必要な組織、多様化する国際的な視野を持ち、質の高い看護を提供する為に、常に創造力・探求心をもち、専門識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理	吉田 千文 他編	メディカ出版	2018
参考図書	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐 康子 他著	メディカ出版	2017

●準備学習（予習・復習）

【予習】講義の SBOs を確認し、教科書を予習してから講義に臨む。わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、理解できない箇所を明らかにし、講義で確認する。

【復習】講義内容を確認する。講義、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、オフィス・アワーを活用し、解決する。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ
 2 年 専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野
 3 年 専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 11.10	水	4	I. 看護管理の基礎 1. 看護活動を取り巻く制度	【対面】 1) 保健医療福祉政策と最近の動向 2) 看護と専門機関・職能団体	1	高原

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
2	2021. 11. 16	火	5	2. 人々の生活と看護のかかわり	【遠隔：オンデマンド】 1) 人々の生活と看護のかかわり 看護職の活動の変遷	2 3	柴田 (雅)
3	2022. 1. 18	火	5	3. 看護管理の基本となるもの(1)	【遠隔：オンタイム】 1) 看護管理とは 2) 看護管理の基盤となる知識	4	柴田 (雅)
4	2022. 1. 20	木	4	3. 看護管理の基本となるもの(2)	【遠隔：オンタイム】 3) 看護管理のプロセス 4) 専門職とは 5) 市民と多職種との連携・協働		
5	2022. 2. 03	木	5	4. 看護職とキャリア(1)	【遠隔：オンタイム】 1) 社会人になるということ 2) 看護の教育体系	5	
6	2022. 2. 04	金	4	4. 看護職とキャリア(2)	【遠隔：オンタイム】 1) 看護職としてのキャリア		
7	2022. 2. 08	火	5	Ⅱ. 国際社会に貢献するために必要な支援	【遠隔：オンデマンド】 1. グローバリゼーションと看護 2. 保健医療の国際協力 3. 国際看護活動 4. 国際看護の専門性と責任	7 8	落合

領域横断演習

対象学年 : 2 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 植田 光剛
 授業形式等 : 講義(対面、遠隔)・演習(対面)
 担当教員 : 柴田 雅子(実務教員) 福永 聖子(実務教員) 植田 光剛(実務教員)
 浅田 恵子(実務教員) 江副 秀美(実務教員) 柴田 恵美(実務教員)
 関根 和佳(実務教員) 桧山 優子(実務教員) 神尾 由紀(実務教員)
 五嶋 洋子(実務教員) 藤田 明里咲(実務教員) 秋庭 良子(実務教員)
 英 千秋(実務教員) 菅原 睦子(実務教員) 柴田 浩子(実務教員)
 花井 恵美子(実務教員) 玉川 百合(実務教員) 小塚 智子(実務教員)
 矢嶋 裕里(実務教員) 塩川 優子(実務教員) 富崎 志穂(実務教員)
 恩田 美奈(実務教員) 築瀬 真由美(実務教員) 長谷川 和美(実務教員)
 田中 比露美(実務教員) 加賀美 美穂子(実務教員) 中畠 理香(実務教員)
 野間 もえぎ(実務教員)
 木内祐二: 医学部 薬理学(医科薬理学部門)
 土屋静馬: 医学部 医学教育推進室 他 医学部講師

●一般目標 (GIO)

患者の立場に立ち、多職種が協働・連携して適切な医療ができるようになるために、揭示症例について、医師と看護師が多様な視点で情報共有と解析を行い、患者を支援するプロセスとその意義を理解する。

●行動目標 (SBGs)

1. PBL チュートリアルによる症例解析手順を述べることができる。
2. 患者・家族に関わる多様な情報を収集して、解析できる。
3. 収集した患者・家族の情報を適切に説明できる。
4. 患者・家族の思い(ナラティブ)と生活に配慮した治療・ケアの支援を提案することができる。
5. チーム間の良好なコミュニケーションを構築できる。
6. 多職種が情報を共有し、協働・連携して患者をサポートすることの有用性を討議できる。

●アクティブ・ラーニング

医学部生と看護専門学校の看護学生の合同グループで、揭示された症例についてグループ討議することで、チーム医療を体験し、その重要性和実際を学ぶ。

●評価方法

1. 評価方法と内訳
参加態度と積極性(60%)、課題(20%)、ポートフォリオ(20%)
2. フィードバック
課題、ポートフォリオは評価後に返却する。
3. 評価(教学上の判定)概要について
 - 1) 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要(平均点、不合格者の人数など)について周知する。
 - 2) 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - 3) 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 雅子	授業終了後、講義室または電子メールで質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
福永 聖子		fukunaga@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子		sari2452@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
藤田 明里咲		a1218@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 浩子		tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百合		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp
小塚 智子		tomokozu@cmed.showa-u.ac.jp
矢嶋 裕里		yuriyajil128@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
富崎 志穂		artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
恩田 美奈		mina.onda@cmed.showa-u.ac.jp
梁瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
野間 もえぎ		mao2000@cmed.showa-u.ac.jp
中畠 理香		r-nakajima@cmed.showa-u.ac.jp
木内 祐二		ykiuchi@cmed.showa-u.ac.jp
土屋 静馬		shizu18@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

医学部生と看護専門学校の看護学生の合同グループで、掲示された症例について、グループ討議で問題点を抽出し、各自がこれらの問題点について自学自習する。自学自習した内容をグループ内で共有して、患者のケアや生活の視点も加えた討議と提案を行う。

担当教員は病院で勤務した実務経験があり、実務経験に基づいてタスクフォース、ファシリテーターとして支援する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

1. プロフェッショナルリズム：看護職として必要とされる良識、倫理観、責任感をもって看護を提供する為の知識を習得する。また、医療を実践する為に、看護職として必要とされる知識・技能を深める。
2. コミュニケーション能力：医学部生との合同グループでのディスカッションを行うことで、多職種連携に必要なコミュニケーション能力を養う。
3. チーム医療：チーム医療のシミュレーションにより、多職種間の相互理解と連携・協力することの理解、必要性を深める。
4. 専門的実践能力：看護を実践する為に学んできた必要な知識・技能を活用し、理解や必要性を深める。
5. 自己研鑽：質の高い看護を提供する為に、チーム医療を通して、常に創造力・探求心をもち、専門識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を深める。

6. アイデンティティ：医学部生との連携を通して、看護師としてのプライドをもって医療に貢献する看護師を目指す。

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

授業時にプリントを配布する。

●準備学習(予習・復習)

【予習】講義の SBOs を確認し、教科書を予習してから講義に臨む。わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、理解できない箇所を明らかにし、講義で確認する。
【学生同士のディスカッション】オリエンテーションでの内容を確認し、ディスカッションに臨む。 各グループでのディスカッションは、メンバー全員が意見を出し、活発なディスカッションとなるように協力する。
【復習】わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめ、講義時やオフィス・アワーを活用し、確認する。

●全学年を通しての関連科目

1 年	基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ
2 年	専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

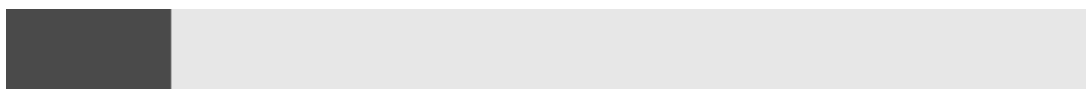
※1 回目：AB 合同クラス、CD 合同クラスで行う。時限 - 上段：AB クラス、下段 - CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021.10.01	金	1 2	オリエンテーション	【対面】 PBL チュートリアル概要	1 2 3 4 5 6	担当教員参照
2	2021.11.04	木	3	1. 医学部合同演習 1) コアタイム 1(1)	【対面】 ① 掲示症例からキーワードの列挙 ② 議論する問題点の抽出 ③ 討議プロセスのまとめ		
3			4	1) コアタイム 1(2)	【対面】 ④ プロブレムマップの作成 ⑤ 学習項目の明確化		
4	2021.11.08	月	3	1) コアタイム 1(3)	【遠隔：オンデマンド】 課題：学習項目		
5	2021.11.12	金	3	2) コアタイム 2(1)	【対面】 ① 学習成果の説明、共有		
6	2021.11.12	金	4	2) コアタイム 2(2)	【対面】 ② 医療チームとしての具体的な対応の検討	1 2 3 4 5 6	担当教員参照
7	2021.11.18	木	3	3) 発表準備	【対面】 ① 発表準備		
8			4	4) 発表	【対面】 ② 発表 ③ 最終プロダクトの作成		
9	2022.1.27		1	2. 学内演習 1) コアタイム 1 (1)	【対面】 ① 掲示症例からキーワードの列挙 ② 議論する問題点の抽出 ③ 討議プロセスのまとめ		
10			2	1) コアタイム 1 (2)	【対面】 ④ プロブレムマップの作成 ⑤ 学習項目の明確化		

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
11	2022. 1. 31	月	1	1) コアタイム 1(3)	【遠隔：オンデマンド】 課題：学習項目	1 2 3 4 5 6	担当教 員参照
12	2022. 2. 04	金	1	2) コアタイム 2(1)	【対面】 ①学習成果の説明、共有		
13			2	2) コアタイム 2(2)	【対面】 ②医療チームとしての具体的な 対応の検討		
14	2022. 2. 08	火	1	3) 発表準備、発表	【対面】 ①発表準備		
15			2	4) 発表	【対面】 ②発表 ③最終プロダクトの作成		

3 年

専門分野Ⅱ



成人看護学実習Ⅱ

対象学年 : 3 学年 通年

単位・時間数 : 3 単位 135 時間

責任者名 : 関根 和佳

授業形式等 : 臨地実習

担当教員	柴田 雅子 (実務教員)	福永 聖子 (実務教員)	柴田 恵美 (実務教員)
	江副 秀美 (実務教員)	菅原 睦子 (実務教員)	浅田 恵子 (実務教員)
	五嶋 洋子 (実務教員)	関根 和佳 (実務教員)	植田 光剛 (実務教員)
	桧山 優子 (実務教員)	神尾 由紀 (実務教員)	秋庭 良子 (実務教員)
	英 千秋 (実務教員)	藤田明里咲 (実務教員)	中畠 理香 (実務教員)
	野間 もえぎ (実務教員)		

●一般目標 (GIO)

健康問題をもつ成人・老年期にある対象と家族の生活を支える看護を実践するために、必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 対象の身体 (加齢変化)・心理 (発達段階・課題、価値観)・社会的 (生活背景・家族背景等) 側面を理解し、生活に与える影響に関する情報が収集できる。
2. 対象の特徴を踏まえて、患者及び家族と円滑なコミュニケーションが図れる。
3. 対象および家族との相互作用を通して関係の形成ができる。
4. 収集した情報を多角的な視点でとらえ「分析・解釈 (アセスメント)」の記述ができる。
5. 対象の全体像を捉え、顕在的問題や潜在的課題の優先順位が記述できる。
6. 対象の状況に合わせた具体的な看護計画の立案ができる。
7. 対象の強みを活かして、安全・安楽、自立に配慮した援助が実践できる。
8. 看護の実践を振り返り、看護計画の追加・修正ができる。
9. 自己の行った看護実践を客観的な視点で結果・評価の記述ができる。
10. 日々の振り返りと明日への課題が明確に記述できる。
11. 看護過程の要約を記述し、実習を通しての学びと自己の課題が明確に記述できる。
12. 看護の実践体験から理論を用いて自己のおこなった看護について裏付けができる。
13. 入院生活が対象に与える影響について記述できる。

●アクティブラーニング

実習は、実際に対象と家族からコミュニケーションを通して情報を収集し、健康問題をもつ対象と家族の生活を支える看護を実践する。さらに、病棟実習終了後に、看護の実践体験を、理論を用いて自己のおこなった看護の裏付けをし、対象の生活を支える看護とは何かを迫る。

●評価方法・評価基準

実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績のご記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受付できない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
- 直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること

主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
関根 和佳	電子メールで質問を受け付ける。対面での質問を希望する場合は、事前に電子メールでアポを取り時間を調整する。	waka001@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

健康障害をもつ成人・老年期にある対象を受け持ち、身体・心理・社会的変化、日常生活への影響等を包括的視野からアセスメントし、対象と家族の生活を整えるための看護実践能力を身につける。
担当教員は臨床での実務経験があり、臨地実習においては、臨地実習指導者と実務教員が実習指導にあたる。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

成人看護学実習Ⅱは、本学ディプロマ・ポリシーにおける「プロフェッショナルリズム」「コミュニケーション能力」「チーム医療」「専門実践能力」「自己研鑽」「アイデンティティ」を育むための科目として位置づけられている。

●教材(テキスト、推奨参考図書、プリント等)

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	系統看護学講座(基礎、専門Ⅰ・Ⅱ、別巻)全般		医学書院	
テキスト	成人看護学 成人看護学概論	大西和子・岡部聡子 編	ヌーヴェルヒロカワ	2009
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論	矢永勝彦 他編	医学書院	2017
テキスト	周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護	鎌倉やよい・深田順子	医学書院	2016
プリント	成人看護学実習Ⅰに関連した科目の講義時のプリント			

●準備学習(予習・復習)

【予 習】病棟の特殊性をふまえた疾患(病態、症状)、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
【実習中】受け持ち患者に関連した疾患(病態、症状)、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
【復 習】実習記録を基に、実践した看護の振り返り

●全学年を通しての関連科目

1年 社会学、教育学、心理学、倫理学、人間教育論、家族関係論、病理学、健康教育論、薬理学、生化学、コミュニケーション論、形態機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、リハビリテーション論、病理学、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、看護学概論、看護理論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、成人対象・目的論、臨床看護総論、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ、診療に伴う看護、日常生活援助《理論編》・《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ
2年 看護過程の展開、治療処置における援助《理論編》・《実践編》、緩和医療、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老人看護援助論Ⅱ・Ⅲ臨床医学Ⅵ・Ⅶ・Ⅸ、基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ、成人看護学実習Ⅰ

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
第1週	2021. 4. 5	木	1 ～ 4	実習オリエンテーション 自己学習	実習オリエンテーション ・病棟疾患学習	13	柴田(雅) 福永 桧山 江副 菅原 関根 植田 柴田(恵) 英 神尾 浅田 五嶋 秋庭 藤田 野間 中畠
第2週	2021. 4. 12 5. 10 6. 21	月	1 ～ 4	病棟オリエンテーション	病棟オリエンテーション ・患者紹介、挨拶 ・援助の見学、一部介助 ・情報収集	1～4 10	
第2週	2021. 4. 13 5. 11 6. 22	火	1 ～ 4	情報収集	・情報収集 ・援助の見学、一部介助 ・身体診査 ・情報の分析、解釈	1～4 10	
第2週	2021. 4. 14～4. 15 5. 12～5. 13 6. 23～6. 24	水木	1 ～ 4	全体像と問題の抽出	・情報の整理 ・情報の分析・解釈 ・全体像 ・問題の抽出 ・看護問題の明確化 ・看護目標の設定	1～6 10	
第2週	2021. 4. 16 5. 14 6. 25	金	1 ～ 4	看護援助の実施	・初期計画の立案 ・援助の実施	2～8 10 13	
第3週	2021. 4. 19 5. 17 6. 28	月	1 ～ 4	看護援助の実施	・援助の実施 ・看護計画の追加、修正 ・中間評価	2～8 10 13	
第3週	2021. 4. 20～4. 21 5. 18～5. 19 6. 29～6. 30	火水	1 ～ 4	看護援助の実施	・援助の実施 ・看護計画の追加、修正	2～3 7～8 10 13	
第3週	2021. 4. 22 5. 20 7. 1	木	1 ～ 4	看護計画の結果と評価	・援助の実施 ・看護計画の結果、評価 ・看護計画の追加、修正	2～3 7～10 13	
第3週	2021. 4. 23 5. 21 7. 2	金	1 ～ 4	看護計画の結果と評価	・援助の実施 ・看護計画の結果、評価 ・最終カンファレンス ・最終評価	2～3 7～11 13	
第4週	2021. 4. 26～4. 27 5. 24～5. 25 7. 5～7. 6	月火	1 ～ 4	実習のまとめ	・看護の裏付け	12	
第4週	2021. 4. 28 5. 26 7. 7	水	1 ～ 4	実習のまとめ	【遠隔：オンタイム】 ・まとめの発表 ・まとめの修正	12	
第4週	2021. 5. 27 7. 8	木	1 ～ 4	実習のまとめ	・まとめの修正 ・記録の整理	12	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
第 4 週	2021. 4.30 5.28 7. 9	金	1 ～ 4	実習のまとめ	・ 記録の整理 ・ 記録提出	12	
第 5 週	2021. 8.19	木	1 ～ 4	実習の振り返り	・ 課題の提出	13	

老年看護学実習Ⅱ

対象学年 : 3 学年 前期

単位・時間数 : 3 単位 135 時間

責任者名 : 桧山 優子

授業形式等 : 臨地実習

担当教員 : 柴田 雅子 (実務教員) 福永 聖子 (実務教員) 中畠 理香 (実務教員)
 桧山 優子 (実務教員) 江副 秀美 (実務教員) 菅原 睦子 (実務教員)
 関根 和佳 (実務教員) 植田 光剛 (実務教員) 柴田 恵美 (実務教員)
 英 千秋 (実務教員) 野間もえぎ (実務教員) 神尾 由紀 (実務教員)
 浅田 恵子 (実務教員) 五嶋 洋子 (実務教員) 秋庭 良子 (実務教員)
 藤田明里咲 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

健康問題をもつ成人・老年期にある対象と家族の生活を支える看護を実践するために、必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 対象の身体 (加齢変化)・心理 (発達段階・課題、価値観)・社会的 (生活背景、家族背景等) 側面を理解し、生活に与える影響に関する情報が収集できる。
2. 対象の特徴を踏まえて、患者及び家族と円滑なコミュニケーションが図れる。
3. 対象および家族との相互作用を通して関係の形成ができる。
4. 収集した情報を多角的な視点でとらえ「分析・解釈 (アセスメント)」の記述ができる。
5. 対象の全体像を捉え、顕在的問題や潜在的問題の優先順位が記述できる。
6. 対象の状況に合わせた具体的な看護計画の立案ができる。
7. 対象の強みを活かして、安全、安楽、自立に配慮した援助が実践できる。
8. 看護の実践を振り返り、看護計画の追加・修正ができる。
9. 自己の行った看護実践を客観的な視点で結果・評価の記述ができる。
10. 日々の振り返りと明日への課題が明確に記述できる。
11. 看護過程の要約を記述し、実習を通しての学びと自己の課題が明確に記述できる。
12. 看護の実践体験から理論を用いて自己のおこなった看護について裏付けができる。
13. 入院生活が対象に与える影響について記述できる。

●アクティブラーニング

実習は、実際に対象と家族からコミュニケーションを通して情報を収集し、健康問題をもつ対象と家族の生活を支える看護を実践する。さらに、病棟実習終了後に、看護の実践体験を、理論を用いて自己のおこなった看護の裏付けをし、対象の生活を支える看護とは何かを迫る。

●評価方法

実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの

*成績の再考を求めたりするものは受付できない。
 *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること。主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
桒山 優子	実習中は、8:30～17:30の時間帯に教員室で質問を受け付ける。 電子メールでも月曜日～金曜日（祭日は除く）9:00～17:30の時間内で受け付ける。	yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

健康障害をもつ成人・老年期にある対象を受け持ち、身体・心理・社会的変化、日常生活への影響等を包括的視野からアセスメントし、対象と家族の生活を整えるための看護実践能力を身につける。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

本実習は、ディプロマ・ポリシーにおける「プロフェッショナルリズム」「コミュニケーション能力」「チーム医療」「専門実践能力」「自己研鑽」「アイデンティティ」を育むための科目として位置づけられている。高齢者の特徴と疾患をもつ対象や家族を支えるために、必要な知識・技術・態度の修得を目指す。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学	北川公子 他著	医学書院	2018
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患論	鳥羽研二 他著	医学書院	2018
参考図書	写真でわかる高齢者ケアアドバンス 高齢者の心と体を理解し生活の営みを支える	古田愛子 監修	インター メディカ	2017

●準備学修（予習・復習）

【予 習】病棟の特殊性をふまえた疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【実習中】受け持ち患者に関連した疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【復 習】実習記録を基に、実践した看護の振り返り

●全学年を通しての関連科目

1 年	社会学、教育学、心理学、倫理学、人間教育論、家族関係論、病理学、健康教育論、薬理学、生化学、コミュニケーション論、形態機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、リハビリテーション論、病理学、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、看護学概論、看護理論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、成人看護対象・目的論、臨床看護総論、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ、診療に伴う看護、日常生活援助《理論編》・《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ
2 年	看護過程の展開、治療処置における援助《理論編》・《実践編》、緩和医療、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護援助論Ⅱ・Ⅲ、臨床医学Ⅵ・Ⅶ・Ⅸ、基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ、成人看護学実習Ⅰ

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
第1週	2021. 4. 8	木	1 ～ 4	実習オリエンテーション 自己学習	実習オリエンテーション ・病棟疾患学習	13	柴田(雅) 福永 桧山 江副 菅原 中島 関根 植田 柴田(恵) 英 野間 神尾 浅田 五嶋 秋庭 藤田
第2週	2021. 4. 12 5. 10 6. 21	月	1 ～ 4	病棟オリエンテーション	病棟オリエンテーション ・患者紹介、挨拶 ・援助の見学、一部介助 ・情報収集	1～4 10	
第2週	2021. 4. 13 5. 11 6. 22	火	1 ～ 4	情報収集	・情報収集 ・援助の見学、一部介助 ・身体診査 ・情報の分析、解釈	1～4 10	
第2週	2021. 4. 14～4. 15 5. 12～5. 13 6. 23～6. 24	水木	1 ～ 4	全体像と問題の抽出	・情報の整理 ・情報の分析・解釈 ・全体像 ・問題の抽出 ・看護問題の明確化 ・看護目標の設定	1～6 10	
第2週	2021. 4. 16 5. 14 6. 25	金	1 ～ 4	看護援助の実施	・初期計画の立案 ・援助の実施	2～8 10 13	
第3週	2021. 4. 19 5. 17 6. 28	月	1 ～ 4	看護援助の実施	・援助の実施 ・看護計画の追加、修正 ・中間評価	2～8 10 13	
第3週	2021. 4. 20～4. 21 5. 18～5. 19 6. 29～6. 30	火水	1 ～ 4	看護援助の実施	・援助の実施 ・看護計画の追加、修正	2～3 7～8 10 13	
第3週	2021. 4. 22 5. 20 7. 1	木	1 ～ 4	看護計画の結果と評価	・援助の実施 ・看護計画の結果、評価 ・看護計画の追加、修正	2～3 7～10 13	
第3週	2021. 4. 23 5. 21 7. 2	金	1 ～ 4	看護計画の結果と評価	・援助の実施 ・看護計画の結果、評価 ・最終カンファレンス ・最終評価	2～3 7～11 13	
第4週	2021. 4. 26～4. 27 5. 24～5. 25 7. 5～7. 6	月火	1 ～ 4	実習のまとめ	・看護の裏付け	12	
第4週	2021. 4. 28 5. 26 7. 7	水	1 ～ 4	実習のまとめ	【遠隔：オンタイム】 ・まとめの発表 ・まとめの修正	12	
第4週	2021. 5. 27 7. 8	木	1 ～ 4	実習のまとめ	・まとめの修正 ・記録の整理	12	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
第 4 週	2021. 4.30 5.28 7. 9	金	1 ～ 4	実習のまとめ	・ 記録の整理 ・ 記録提出	12	
第 5 週	2021. 8.20	金	1 ～ 4	実習の振り返り	・ 課題の提出	13	

小児看護学実習

対象学年 : 3 学年 通年
単位・時間数 : 2 単位 90 時間
責任者名 : 花井 恵美子
授業形式等 : 臨地実習
担当教員 : 花井 恵美子 (実務教員) 柴田 浩子 (実務教員) 玉川 百里 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

健康障害をもつ子どもおよびその家族の特性と必要な看護を理解するために必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 子どもの発達段階 (身体的・知的機能、情緒、社会性) の特徴を説明できる。
2. 健康状態、診断、治療、生活状況、発達段階などに関する情報を収集できる。
3. 自分の言動が子どもに与える影響を意識して、コミュニケーションを図ることができる。
4. 子どもの表現から、子どもの情緒や思いについて述べられる。
5. 収集した情報を整理し、病気や入院生活が子どもに及ぼす影響を踏まえて包括的な視野でアセスメントすることができる。
6. 子どもと家族の看護問題を抽出できる。
7. 倫理的配慮に基づき、安全を考え、子どもにとって最良の看護計画を具体的に記述できる。
8. 立案した計画に沿った援助を子どもの状況を考慮したうえで安全に実施できる。
9. 実施した援助の結果および実施した援助に対する子どもの反応を記述できる。
10. 援助行動が立案した計画通りであったか、期待される成果、具体策に照らして評価できる。
11. 病棟の特徴を理解し、自らの看護実践に活かせることを述べられる。
12. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●アクティブラーニング

実習は、実際に対象と家族からコミュニケーションを通して情報を収集し、健康問題をもつ対象と家族の生活を支える看護を実践する。さらに、病棟実習終了後に、看護の実践体験を振り返り自己の行った看護の裏付けをし、グループメンバーで共有し、発達段階や看護の学びを深める。

●評価方法

実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受付できない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること。主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
花井 恵美子	(月)～(金) 16:30～17:30 の時間帯に、教員室で質問を受け付ける。教員が不在の場合もあるため、事前の日時調整が望ましい。 電子メールでも質問を受け付ける。 原則 (月)～(金) 9:00～17:00 の時間帯とする。	sari2452@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 浩子		tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百里		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

受け持ち実習では乳児期・幼児期・学童期のいずれかの発達段階にある子どもを受け持ち、看護過程の展開をとおして小児看護の実際を学ぶ。また、臨床の看護師に付き看護のシャドーイングを通して、検査・処置時やケア時の子どもの反応から成長発達の理解を深め、小児看護の実際を学ぶ。
臨地実習においては、臨地実習指導者と実務教員が実習指導にあたる。

●ディプロマ・ポリシー

小児看護学実習は、本学ディプロマ・ポリシーにおける「プロフェッショナルリズム」「コミュニケーション能力」「チーム医療」「専門実践能力」「自己研鑽」「アイデンティティ」を育むための科目として位置づけられている。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
実習要項	小児看護学実習要項			2021
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護概論 小児臨床看護総論	奈良間 美保 他 著	医学書院	2015
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学② 小児臨床看護各論	奈良間 美保 他 著	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

【予 習】病棟の特殊性を踏まえた疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
【実習中】受け持ち患児に関連した疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
【復 習】実習記録を元に、実施した援助の振り返り

●全学年を通しての関連科目

1 年 看護学概論、日常生活援助《理論編》《実践編》、家族関係論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント・母性看護対象・目的論、小児看護対象論
2 年 小児看護目的論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
第1週	2021 4.05 / 4.07 6.01/6.03 6.08/6.10 6.22/6.24 6.29/7.01 7.06/7.08 7.20/7.22 7.27/7.29 8.24/8.26 9.14/9.16 10.21/ 10.25～10/29	火・水	1～4	実習オリエンテーション	実習オリエンテーション 事前学習 小児看護技術の学習	1.2.3.4.	花井 柴田 (浩) 玉川
	又は火・木	1～4	自己学習 演習	事前学習 小児看護技術の学習	1.2.3.4.		
第2週	2021. 5.10～5.14 5.17～5.21 6.07～6.11 6.14～6.18 6.28～7.02 7.05～7.09 7.12～7.16 7.26～7.30 8.02～8.06 8.30～9.03 9.27～10.01 11.01～11.05	月	1～4	病棟オリエンテーション	病棟オリエンテーション シャドーイング ・複数患児への検査処 置、ケアの見学、・部分 的な実施 受け持ち患児の提示	1.2.3.4.5. 6.7.8.9. 11.12	花井 柴田 (浩) 玉川
		火	1～4	情報収集 分析・解釈 看護目標 計画立案	患者紹介・挨拶 電子カルテおよび ケアに参加し情報収集 分析解釈・方向性の確認 看護計画立案	1.2.3.4.5. 6.7.8.9.10. 11.12	
		水	1～4	計画の実施	看護計画に沿った実施・ 評価	1.2.3.4.5. 6.7.8.9.10. 11.12	
		木	1～4	修正した計画実 施・評価	看護計画に沿った実施・ 評価・修正	1.2.3.4.5. 6.7.8.9.10. 11.12	
		金	1～4	修正した計画実 施・評価	看護計画に沿った実施・ 評価・修正 病棟最終カンファレンス	1.2.3.4.5. 6.7.8.9.10. 11.12	
第3週目	2021. 5.31～6.04 6.14～6.18 6.21～6.25 7.12～7.16 7.20～7.23 7.26～7.30 8.02～8.06 8.09～8.13 9.06～9.10 10.04～10.08 11.11	月～金	1～4	実習のまとめ 事例学習	受け持ち患児の発達 段階・病態・症状・ 治療・看護 グループメンバー間 で発表事例学習	1.2.3.4.5. 6.7.	花井 柴田 (浩) 玉川

母性看護学実習

対象学年 : 3 学年 通年
単位・時間数 : 2 単位 90 時間
責任者名 : 矢嶋 裕里
授業形式等 : 臨地実習
担当教員 : 矢嶋 裕里(実務教員)
小塚 智子(実務教員)
塩川 優子(実務教員)

●一般目標 (GIO)

周産期にある女性と子どもを中心とした家族の看護をウェルネスの観点から実践するために、褥婦と新生児を受け持ち援助することで必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

1. 周産期にある対象の健康状態に影響する因子を理解し、より良い状態を目指すための方法を理解できる。
2. 褥婦の健康状態を査定し、退行性変化、進行性変化を促す看護を実践できる。
3. 母子ともに高い健康状態を維持し続けるために必要なセルフケアを理解し、その能力獲得を支援する看護が実践できる。
4. 新生児の健康状態を査定し、子宮外生活への適応を促す看護を実践できる。
5. 褥婦と新生児の家族を全体としてとらえ、新生児を加えた家族関係の変化に気づき、適応を促す過程を支援し、家族に必要な社会的支援を理解することができる。
6. 母性看護対象目的論、母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱで獲得した知見及び、褥婦及び新生児の家族の看護実践から、周産期にある女性とその家族の看護について自らの考えを明らかにする。
7. 学習者としてふさわしい態度を示せる

●評価方法

実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受付できない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●アクティブラーニング

実習は、実際に対象と家族からコミュニケーションを通して情報を収集し、ウェルネスの観点から健康問題を考え、対象と家族をより健康に導く看護を実践する。

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
矢嶋 裕里	電子メールで質問を受け付ける。 (平日：9時～17時) 対面での質問を希望する場合は、事前に電子メールでアポを取り、時間調整をする。	yuriyajil128@cmed.showa-u.ac.jp
小塚 智子		tomokozy@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

この実習は周産期にある対象（褥婦、早期新生児）を受け持ち、ウェルネスの観点から看護を考え実践することで、女性とその家族をより健康に導く看護の基礎的能力を養うものである。担当教員は病院で看護師・助産師として勤務した経験があり、実務経験に基づき母性看護に必要な知識を教授する。

●ディプロマポリシー

母性看護学実習は、周産期にある女性と子どもを中心とした家族の看護をウェルネスの観点から実践するために、褥婦と新生児を受け持ち援助することで必要な知識・技術・態度を修得することで、「プロフェッショナルリズム」「コミュニケーション能力」「チーム医療」「専門実践能力」「自己研鑽」「アイデンティティ」を育む。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論	森恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論	森 恵美 他著	医学書院	2016

●準備学習（予習・復習）

【予 習】実習前に母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱの講義内容を復習してから臨むこと。母性看護学に関連する国家試験問題を1回以上解いてから実習に臨むこと。
 【実習中】実習中は母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱの講義プリントを携帯すること。
 【復 習】母性看護学に関連する国家試験問題を解く。

●全学年を通しての関連科目

1 年 母性看護対象・目的論
 2 年 臨床医学Ⅵ・母性看護援助論Ⅰ・母性看護援助論Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
第1週	2021 5.10～14 5.17～21 5.31～6.4 6.7～11 6.14～18 6.21～25 6.28～7.2 7.5～9 7.12～16 7.19～23 7.26～30 8.23～27 9.13～17	月～金	1～4	実習オリエンテーション	実習に関するオリエンテーション 病棟実習に向け文献学習・技術練習・紙上事例展開	1 5 7	小塚 矢嶋 塩川
第1週		月～金	1～4	実習オリエンテーション	実習に関するオリエンテーション 病棟実習に向け文献学習・技術練習・紙上事例展開	1 5 7	小塚 矢嶋 塩川
第2週		月	1～4	産褥期実習	情報収集・アセスメント 計画立案 (記録用紙 様式3 4 6)	1 2 3 4 5 6 7	小塚 矢嶋 塩川
第2週		火	1～4	産褥期実習	看護目標達成に向けて看護の展開 (記録用紙 様式7) 産褥期実習 看護目標達成に向けて看護の展開 (記録用紙 様式7)	1 2 3 4 5 6 7	小塚 矢嶋 塩川
第2週	2021 5.17～21 5.24～28 6.7～11 6.14～18 6.28～7.2 7.5～9 7.12～16 7.26～30 8.2～6 8.30～9.3 9.27～10.1	水	1～4	産褥期実習	看護目標達成に向けて看護の展開 (記録用紙 様式7) 産褥期実習 看護目標達成に向けて看護の展開 (記録用紙 様式7) 中間評価	1 2 3 4 5 6 7	小塚 矢嶋 塩川
第2週		木	1～4	産褥期実習 新生児期実習	看護目標達成に向けて看護の展開 (記録用紙 様式7) 新生児期実習 情報収集・アセスメント 計画立案 (記録用紙 様式6)	1 2 3 4 5 6 7	小塚 矢嶋 塩川
第2週		金	1～4	産褥期実習 新生児期実習	最終カンファレンス 最終評価	1 2 3 4 5 6 7	小塚 矢嶋 塩川

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
第 3 週	2021 6/15 16 6/22 23	火	1～4	実習のまとめ	実習のまとめ・統合 様式12-2 様式13	5 6 7	小塚 矢嶋 塩川
第 3 週	7/13 14 7/20 21 7/27 28 8/3 4 8/10 11 9/7 8 10/5 6	水	1～4	実習のまとめ	実習のまとめ・統合 様式12-2 様式13	5 6 7	小塚 矢嶋 塩川

精神看護学実習

対象学年 : 3 学年 通年

単位・時間数 : 2 単位 90 時間

責任者名 : 富崎 志穂

授業形式等 : 実習

担当教員 : 富崎 志穂 (実務教員)

: 築瀬 真由美 (実務教員)

: 恩田 美奈 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

精神障害をもつ対象の特性をふまえた看護を実践するために、必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 全人的な視点から情報を収集し、記述できる。
2. 対象のセルフケアに及ぼす影響を記述できる。
3. 対象の発達段階・課題がどの段階にあるか記述できる。
4. 対象の言動を否定や評価せずに、対象のあるがままを受け入れることができる。
5. 対人関係スキルを活用しながら関わりができる。
6. 対象の主体性を尊重し、自律を考慮した関りができる。
7. その人らしく自律した生活を送るための長期目標を記述できる。
8. 対象の特性を踏まえ、看護問題を抽出できる。
9. 看護問題を踏まえ、短期目標が記述できる。
10. 短期目標を達成するための援助を記述できる。
11. 個別性のある看護計画を立案・修正できる。
12. 自己の関りが、対象に与える影響について考察し記述できる。
13. 実施した看護を、SOAP 記録に記述できる。
14. 精神看護における看護師の役割についてカンファレンス・まとめて述べ、記述出来る。
15. デイケアの目的や活動内容、看護師の役割等について記述できる。
16. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●アクティブラーニング

実習は、実際に対象と家族からコミュニケーションを通して情報を収集し、健康問題をもつ対象と家族の生活を支える看護を実践する。さらに、病棟実習終了後に、看護の実践体験を振り返り自己の行った看護の裏付けをし、グループメンバーで共有し、発達段階や看護の学びを深める。

●評価方法

実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受付できない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること

主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
富崎 志穂	電子メールで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
築瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp
恩田 美奈		mina.onda@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

本実習は、精神看護の基礎的能力を養うために、精神科病棟（急性期・慢性期）において、セルフケア不足の視点で精神看護を考え実践していく。実習場では、臨地実習指導者と実務教員が実習指導にあたる。担当教員は病院で勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて実習に必要な知識・スキル・態度を教授します。

●ディプロマポリシーとの関連性

精神看護対象論は、本学のディプロマポリシーにおける「プロフェッショナリズム」と「専門的実践能力」、「社会的貢献」、「自己研鑽」、「アイデンティティ」を育むための科目として位置付けられている。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学 ①情緒発達と精神看護の基本	出口禎子他 編	メディカ出版	2020
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学 ②精神障害と看護の実践	出口禎子他 編	メディカ出版	2020
テキスト	看護モデルを使う① オレムのセルフケア・モデル	スティーブン J・カバナ	医学書院	2005

●準備学習（予習・復習）

【予 習】指定した事前学習内容を含め、精神看護に必要な看護技術の練習
 【実習中】受け持ち患者の退院後の生活を踏まえ、全人的に患者を捉え指導者や教員の助言を受けながら個別性のある精神看護について考えを深める。臨地実習において「分からないこと」がある場合は、そのままにせず、積極的に当該病棟の専門家に質問し、自己学修につなげられるようにすること。
 【復 習】実習記録を基に、実践した看護を振り返る。

●全学年を通しての関連科目

1 年 心理学、倫理学、家族関係論、成人看護対象・目的論、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ、医療概論、社会福祉、公衆衛生学、関係法規
 2 年 緩和医療、臨床医学Ⅵ、在宅看護概論、精神看護目的論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱ
 3 年 成人看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅱ、母性看護学実習、小児看護学実習、在宅看護論実習、統合実習

●予定表

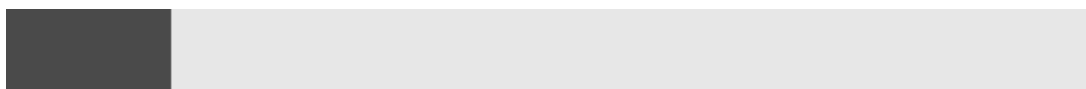
回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBO	担当
第1週	2021. 4.5～4.7 5.24～5.26 5.31～6.2 6.7～6.9 6.28～6.30 7.5～7.7 7.20～7.22 7.26～7.28 8.16～8.18 8.23～8.25 9.13～9.15	月 火 水	1～4	事前学習	事前学習	15、16	富崎 築瀬 恩田
第2週	2021. 4.12 5.31 6.7 6.14 7.5 7.12 7.26 8.2 8.23 8.30 9.27	月	1～4	オリエン テーショ ン、看護援 助、情報収 集、分析・解 釈	実習・病棟オリエンテー ション 患者との関り、情報収集、 分析・解釈、プロセスレ コード記入 精神科病棟・患者のに対し てのイメージの変化につい てカンファレンス	1～6、 12、 14、16	富崎 築瀬 恩田
第2週	2021. 4.13 6.1 6.8 6.15 7.6 7.13 7.27 8.3 8.24 8.31 9.28	火	1～4	情報収集、 分析・解 釈、関連図 作成	情報収集、分析・解釈、関 連図作成、患者との関り、 プロセスレコードカンファ レンス、デイカンファレン ス	1～6、 12、 14、16	富崎 築瀬 恩田
第2週	2021. 4.14 6.2 6.9 6.16 7.7 7.14 7.28 8.4 8.25 9.1 9.29	水	1～4	不足の情報 収集、看護 問題の抽 出、長期・ 短期目標設 定	不足の情報収集、看護問 題の抽出、長期・短期目 標設定、看護問題の把 握、患者との関り、デイ カンファレンス、中間評 価	1～6、 8、12、 14、16	富崎 築瀬 恩田

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBO	担当
第2週	2021. 4.15 6.3 6.10 6.17 7.8 7.15 7.29 8.5 8.26 9.2 9.30	木	1～4	看護計画立案	看護問題の把握、優先順位の決定、看護計画立案、患者との関り、デイカンファレンス	4～9、12、14、16	富崎 築瀬 恩田
第2週	2021. 4.16 6.4 6.11 6.18 7.9 7.16 7.30 8.6 8.27 9.3 10.1	金	1～4	看護援助、実践評価	看護計画修正、実施評価の記載、記録の修正、看護計画に添った看護援助、実践評価、最終評価	4～14、16	富崎 築瀬 恩田
第3週	2021. 4.19～4.20 6.7～6.8 6.14～6.15 6.21～6.22 7.12～7.13 7.20～7.21 8.2～8.3 8.9～8.10 8.30～8.31 9.6～9.7 10.4～10.5	月火	1～4	実習のまとめ	看護計画修正、実施評価の記載、記録の修正	1～3、7～11、13、16	富崎 築瀬 恩田
第3週	2021. 4.21 6.9 6.16 6.23 7.14 7.22 8.4 8.12 9.1 9.8 10.6	水	1～4	実習のまとめ	看護計画修正、実施評価の記載、記録の修正、実習のまとめ記載	1～3、7～11、13、16	富崎 築瀬 恩田

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0	担当
第 3 週	2021. 4.22 6.10 6.17 6.24 7.15 7.23 8.5 8.13 9.2 9.9 10.7	木	1～4	実習のまとめ	グループ学習、発表、実 習のまとめ記載	14、16	富崎 築瀬 恩田

3 年

統合分野



在宅看護論実習

対象学年 : 3 学年 通年

単位・時間数 : 2 単位 90 時間

責任者名 : 長谷川 和美

授業形式等 : 臨地実習

担当教員 : 長谷川 和美 (実務教員) 加賀美 美穂子 (実務教員) 田中 比露美 (実務教員)

●一般目標 (GIO)

在宅で療養する人々と家族を看護する基礎的能力を養うために必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 療養者と家族が生活するうえで大切にしていることをとらえ、療養上のニーズを説明することができる。
2. 療養者と家族への支援方法を理解したうえで、生活状況に応じて、療養者・家族とともに創意工夫しながら支援をしていくことの必要性が考えられる。
3. 療養者と家族が療養に対する思いや望みを充足するために社会資源を提案することができる。
4. 療養者が生活する地域の特徴について説明することができる。
5. 地域療養を支える多職種、多機関、地域連携・協働における看護師の役割について考えることができる。
6. 療養者と家族がその人らしく療養生活を送るために看護師が果たす役割について説明できる。
7. 学修者としてふさわしい態度を示せる。

●アクティブ・ラーニング

実習での体験と授業・演習での学習内容を関連づけて在宅看護の役割について考える。

●評価方法

実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価 (教学上の判定) 概要について

1. 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
2. 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
3. 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの
 - *成績の再考を求めたりするものは受付できない。
 - *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
 - *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
長谷川 和美	実習中は、電話にて質問を受け付ける。	m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

在宅看護論実習では、療養者と家族を地域社会における生活者としてとらえ、療養上のニーズとそれに対する支援活動を学ぶ。また、地域ケアシステムを構成する関係機関および専門職の活動と連携における看護職の役割・機能について学ぶ。
担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて訪問看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

1. プロフェッショナリズム：在宅看護の対象者の権利を理解し、倫理観を身につける。
2. コミュニケーション能力：療養者・家族及び多職種と信頼関係を築くためのコミュニケーション技術の習得を目指す。
3. チーム医療：在宅看護における多職種連携の実践を理解し多職種間の相互理解と連携方法の理解を深める。
4. 専門的実践能力：療養者と家族を生活者としてとらえ、療養環境に応じた看護の理解を深める。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
実習要項	在宅看護論実習要項			2021
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域医療を支えるケア	臺由香 他	メディカ出版	2019
テキスト	看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術	正野逸子・ 本田影子編著	メヂカル フレンド社	2019
参考図書	看護の現場で役立つ地域包括ケアのキホン	荒神裕之 他	秀和システム	2020

●準備学習（予習・復習）

【予 習】「在宅看護論実習の実習要項」を参照
【実習中】在宅療養者への看護を理解するために実習において分からないことがある場合には、実習施設の指導者または責任者に積極的に質問し、自己学修につなげられるようにすること。
【復 習】実習事例を通して、療養の場においてどのような看護が実際に行われているかを整理し、在宅療養におけるケアマネジメントや看護師の役割と責任についての理解を深める。

●全学年を通しての関連科目

- | | |
|-----|---|
| 1 年 | 家族関係論、公衆衛生学、関係法規、各領域の対象論・目的論、基礎看護学実習Ⅰ
社会福祉 |
| 2 年 | 在宅看護概論、在宅看護援助論Ⅰ～Ⅲ、各領域の対象論・目的論、各領域の援助論
基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅰ |
| 3 年 | 成人看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅱ、精神看護学実習、母性看護学実習、小児看護学実習
統合実習 |

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0	担当
第 1 週	2021. 4.12～4.14 5.10～5.12 6.07～6.09 6.14～6.16 6.21～6.23 7.05～7.07 8.30～9.01 9.27～9.30 10.11～10.13	月 ～ 水	1 ～ 4	オリエンテーション 学内実習	1. 実習オリエンテーション 2. 在宅介護支援センターに 関する学習	5 6 7	長谷川 加賀美 田中
第 2 週	2021. 4.19～4.23 5.17～5.21 6.14～6.18 6.28～7.02 7.12～7.16 9.06～9.10 10.04～10.08 10.18～10.22	月 ～ 金	1 ～ 4	施設実習 学内実習	1. 訪問看護ステーション 実習 2. 学内実習	1～7	
第 3 週	2021. 4.26～4.30 5.24～5.28 6.21～6.25 7.05～7.09 7.19～7.23 9.13～9.17 10.11～10.15 10.25～10.29	月 ～ 金	1 ～ 4	施設実習 学内実習	1. 訪問看護ステーション 実習 2. テーマカンファレンス	1～7	

看護の統合と実践Ⅲ

対象学年 : 3 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 植田 光剛
 授業形式等 : 講義(対面、遠隔)
 担当教員 : 柴田 雅子(実務教員)
 落合 香保里: 聖路加国際大学大学院看護学研究科修士課程国際看護学
 高原 静子: 東京都看護連盟 会長

●一般目標 (GIO)

看護サービスマネジメントに必要な基本的知識を修得するために、看護管理の基礎、国際看護における看護の役割を理解する。

●行動目標 (SBOs)

1. 看護組織・マネジメントに関する基礎的知識を説明できる。
2. 看護管理の対象とそれらに対する看護管理者の役割を説明できる。
3. 看護の質保証のための看護管理者の役割と機能を説明できる。
4. 医療・看護の質保証の観点から医療事故防止について説明できる。
5. 医療・看護を取り巻く諸制度について説明できる。
6. 国際社会に貢献するために必要な支援について説明できる。
7. 国際看護の専門性と責任を説明できる。

●評価方法

1. 評価方法と内訳
 定期試験 (80%) ・ 課題 (20%)
2. フィードバック
 課題は評価後に返却する。
3. 評価(教学上の判定) 概要について
 - 1) 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要(平均点、不合格者の人数など)について周知する。
 - 2) 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - 3) 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの
 *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
 直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 雅子	授業終了後、電子メールで質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
落合香保里		看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
高原 静子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

看護管理の中心的概念は、患者－看護師関係で患者に提供する「ケア」をマネジメントすること、患者に提供する「ケア」を組織的にマネジメントするのが「看護サービス」のマネジメントである。さらに看護サービスを提供する場である組織と社会との関連を説明する制度・政策がある。これらについて学んでいく。また、グローバル化が進んだ現代の世界においては、わが国だけでなく地球上のあらゆる人々の健康上の問題を知り、人々の苦しんでいることや、それに対して何ができるかを考えるのが国際看護学である。この授業では実際に国際看護の体験を聞き、現状と課題を知り、国際看護における看護師の役割について学ぶ。

担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて看護管理、国際看護、看護の動向について必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

1. プロフェッショナリズム：看護者が患者や家族に、看護ケア、治療への助力、安楽を与えるために行われている看護管理としての知識を習得する。また、看護の対象は、我が国だけでなく国際的に多様化している。その為、日本を含めて世界に視野を広げて、現状と課題、その中で専門職として看護師の役割を学習する。
2. 専門的実践能力：看護を提供する組織の中で、専門職としての役割を果たすために必要な知識を身につける。また、
3. 自己研鑽：看護を提供する為に必要な組織、多様化する国際的な視野を持ち、質の高い看護を提供する為に、常に創造力・探求心をもち、専門識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナースィング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理	吉田 千文 他編	メディカ出版	2018
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学① 看護学概論	藤崎 郁 他著	医学書院	2016

●準備学習（予習・復習）

【予習】講義のSB0sを確認し、教科書を予習してから講義に臨む。わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認する。

【復習】教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後にオフィス・アワーを活用し、教員に質問する。

●全学年を通しての関連科目

- | | |
|-----|-------------------------|
| 1 年 | 基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ |
| 2 年 | 専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野 |
| 3 年 | 専門分野Ⅱ・統合分野 |

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 11. 08	月	1	I. 看護管理過程 1. 組織とマネジメントを学ぶにあたって/看護管理	【遠隔：オンデマンド】 1) 看護管理とは 2) 看護管理の基盤となる知識 3) 看護管理のプロセス 4) 専門職とは 5) 市民と多職種との連携・協働	1 2	柴田 (雅)
2	2021. 11. 08	月	2	I. 看護管理過程 2. 看護師の仕事とその管理	【遠隔：オンタイム】 1) 何のために管理をするのか 2) 看護管理で重要なこと 3) 人材マネジメント、労務管理 4) 物品の管理 5) 情報の管理 6) コストの管理 7) 看護提供システム	1 2	柴田 (雅)
3	2021. 11. 08	月	3	II. 看護の質保証と看護管理 1. 安全管理体制	【遠隔授業：オンタイム】 1) 療を取り巻く環境の変化と医療安全 2) WHO 患者安全カリキュラムガイド 3) エラーが有害障害につながる とき 4) 組織で取り組む医療安全 5) 医療安全とチーム医療 6) 安全を優先させる組織文化へ の変革	3 4	柴田 (雅)
4	2021. 11. 09	火	1	II. 看護の質保証と看護管理 2. 医療・看護の質と評価	【遠隔：オンタイム】 1) 医療の質とは 2) 医療の質と EBP 3) クリニカルインディケーター 4) 第三者による評価	3 4	柴田 (雅)
5	2021. 11. 10	水	1	III. 看護管理のスキル	【遠隔：オンデマンド】 1. セルフマネジメントのスキル 2. 人とかわるためのスキル 3. 集団に働きかけるスキル	1 2 3	柴田 (雅)
				IV. 看護職とキャリア	1. 社会人になるということ 2. 看護の教育体系 3. 看護職としてのキャリア		
6	2021. 11. 10	水	2	VI. 国際社会に貢献するために必要な支援	【遠隔：オンデマンド】 1. グローバリゼーションと看護 2. 保健医療の国際協力 3. 国際看護活動	6 7	落合
7	2021. 11. 10	水	2	V. 看護活動を取り巻く制度	【対面】 1. 保健医療福祉政策と最近の動向 2. 看護と専門機関・職能団体	5	高原

看護の統合と実践Ⅳ

対象学年	: 3 学年 通年		
単位・時間数	: 1 単位 30 時間		
責任者名	: 植田 光剛		
授業形式等	: 講義(遠隔)、演習		
担当教員	: 植田 光剛(実務教員) 浅田 恵子(実務教員) 柴田 雅子(実務教員) 江副 秀美(実務教員) 柴田 恵美(実務教員) 桧山 優子(実務教員) 神尾 由紀(実務教員) 塩川 優子(実務教員) 英 千秋(実務教員)		

●一般目標 (GIO)

看護を総合的な視点で捉え実践する基盤を築くために、既習の知識・技術を統合し、事例や場面に応じた適切な援助を判断・実施できる。

●行動目標 (SBOs)

1. 紙上事例を用いて、複数患者受け持ちや多重課題に対処・解決していく為の基本的な考え方を説明できる。
2. 多重課題・時間切迫の状況下で、安全に優先順位を判断できる。

●アクティブ・ラーニング

複数受け持ちや多重課題などの掲示された事例や場面に対して、状況に合わせた優先順位の判断をグループ討議で検討する。また、考えた方法を演習で実践することで、学びを深める。

●評価方法

1. 評価方法と内訳
参加態度と積極性 (70%)、課題 (30%)
2. フィードバック
課題は評価後に返却する。
3. 評価 (教学上の判定) 概要について
 - 1) 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - 2) 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - 3) 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りと思われるもの
 - ② シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③ その他、明確な理由があると思われるもの

* 成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
* 「問合せ」の期間は、評価が開示されてから 1 週間以内とする。
* 科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
植田 光剛	授業終了後、講義室または電子メールで質問を受け付ける。	mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護に関する各科目において修得した内容をより臨床現場に近い状況で再度、学習し、臨床に適用できるように知識・技術の統合を図ることで、看護の実践者として患者の看護を総合的に展開できるようにする。

与えられた情報から状況を判断し、適切な方法で安全・安楽・自立を考慮した実施ができるように演習を通して自主的に学んでいく機会とする。

担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて臨床実践での必要なスキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

1. プロフェッショナリズム：臨床現場での様々な状況の中で、看護師としての良識、倫理観、責任感を持ち、看護を総合的に展開できるスキルを身につける。
2. コミュニケーション能力：臨床現場での様々な状況に合わせた患者・医療者とのコミュニケーション能力を身につける。
3. 専門的実践能力：臨床現場での様々な状況の中で、専門職としての役割を果たすために必要な知識を身につける。
4. 自己研鑽：臨床現場での様々な状況の中で、専門職として質の高い看護を提供する為に、常に創造力・探求心をもち、専門識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

1 年次、2 年次、3 年次に使用したテキストを準備する。

●準備学習（予習・復習）

【予習】講義の SB0s を確認し、特に、共通基本技術・日常生活援助（理論）・日常生活援助（実践）・治療処置における援助を復習して臨む。

【学生同士のディスカッション】メンバー全員が意見を出し、活発なディスカッションとなるように協力する。

【復習】与えられた情報の中で分からないことがある場合は、必ず調べる。

●全学年を通しての関連科目

1 年 基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ

2 年 専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野

3 年 専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表 ※グループに分かれて行う。（1・5 回を除く） グループは、授業時に伝える。

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2021. 11.29	月	1	1. 紙上事例を用いた状況に応じた優先順位・対処法の検討(1)	【遠隔：オンデマンド】 オリエンテーション	1	植田 浅田 柴田(雅) 江副 柴田(恵) 桧山 神尾 塩川 英
2	2021. 11.30	火	1	1. 紙上事例を用いた状況に応じた優先順位・対処法の検討(2)	【対面】 複数患者を受け持った場合の 1 日の行動計画の立案		
3			3	1. 紙上事例を用いた状況に応じた優先順位・対処法の検討(2)	【対面】 複数患者を受け持った場合の 1 日の行動計画の立案		
4	2021. 12.01	水	2	1. 紙上事例を用いた状況に応じた優先順位・対処法の検討(3)	【対面】 突発事項や状況変化への対応方法の検討		
			4	1. 紙上事例を用いた状況に応じた優先順位・対処法の検討(3)	【対面】 突発事項や状況変化への対応方法の検討		
			1	1. 紙上事例を用いた状況に応じた優先順位・対処法の検討(4)	【対面】 発表		
			2	1. 紙上事例を用いた状況に応じた優先順位・対処法の検討(4)	【対面】 発表		

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
5	2021. 12. 02	木	1	2. 多重課題・時間切迫の 状況下での優先順位の判 断	【遠隔：オンデマンド】 オリエンテーション	2	植田 浅田 柴田 (雅) 江副 柴田 (恵) 桧山 神尾 塩川 英
6	2021. 12. 03	金	3	2. 多重課題・時間切迫の 状況下での優先順位の判 断：設定 1. (1)	【対面】 1) 患者情報、状況設定把握 2) 具体的な対応方法につい ての検討		
			1				
7			4	2. 多重課題・時間切迫の 状況下での優先順位の判 断：設定 1. (2)	【対面】 2) 具体的な対応方法につい ての検討		
			2				
8	2021. 12. 06	月	3	2. 多重課題・時間切迫の 状況下での優先順位の判 断：設定 1. (3)	【対面】 3) シミュレーション実施① 4) 振り返りと対応方法の再 検討		
			1				
9			4	2. 多重課題・時間切迫の 状況下での優先順位の判 断：設定 1. (4)	【対面】 5) 発表 6) 振り返り		
			2				
10	2021. 12. 07	火	1	2. 多重課題・時間切迫の 状況下での優先順位の判 断：設定 2. (1)	【対面】 1) 患者情報、状況設定把握 2) 具体的な対応方法につい ての検討		
			3				
11			2	2. 多重課題・時間切迫の 状況下での優先順位の判 断：設定 2. (2)	【対面】 2) 具体的な対応方法につい ての検討		
			4				
12	2021. 12. 08	水	1	2. 多重課題・時間切迫の 状況下での優先順位の判 断：設定 2. (3)	【対面】 3) シミュレーション実施① 4) 振り返りと対応方法の再 検討		
			3				
13			2	2. 多重課題・時間切迫の 状況下での優先順位の判 断：設定 2. (4)	【対面】 5) 発表 6) 振り返り		
			4				
14	2021. 12. 09	木	1	まとめ	【遠隔：オンデマンド】 まとめ	1 2	
15	2021. 12. 10	金	1	まとめ	【遠隔：オンデマンド】 まとめ		

総合学習

対象学年	: 3 学年 通年
単位・時間数	: 2 単位 90 時間
責任者名	: 植田 光剛
授業形式等	: 講義(遠隔)
担当教員	: 植田 光剛(実務教員) 柴田 雅子(実務教員) 神尾 由紀(実務教員) 関根 和佳(実務教員) 桧山 優子(実務教員) 矢嶋 裕里(実務教員) 花井 恵美子(実務教員) 富崎 志穂(実務教員) 長谷川 和美(実務教員) 扇谷 芳光(実務教員): 医学部放射線医学(放射線科学部門) 安達 太郎(実務教員): 医学部内科学(循環器内科学部門) 山本 真弓(実務教員): 医学部内科学(呼吸器・アレルギー内科学部門) 長井 友子(実務教員): 医学部精神医学 五藤 哲 (実務教員): 医学部外科学(消化器・一般外科学部門) 吉田 仁 (実務教員): 医学部内科学(消化器内科学部門) 伊與田 雅之(実務教員): 医学部内科学(腎臓内科学部門) 広村 宗範 (実務教員): 医学部内科学(糖尿病・代謝・内分泌内科学部門) 若林 邦伸(実務教員): 医学部内科学(リウマチ・膠原病内科部門) 森 雄作 (実務教員): 医学部内科学(糖尿病・代謝・内分泌内科学研究部門) 齋藤 文護(実務教員): 医学部内科学(血液内科学部門) 永井 隆士(実務教員): 医学部 整形外科 鈴木 佳宜(実務教員): 医学部 脳神経外科学 詫間 隆博(実務教員): 医学部内科学(臨床感染症学部門) 小川 良雄(実務教員): 医学部 泌尿器科学 下平 和久(実務教員): 大学院保健医療学研究科 神谷 太郎(実務教員): 医学部 小児科学 渡井 有 (実務教員): 医学部外科学(小児外科部門) 森山 浩志: 医学部 解剖学講座 肉眼解剖部門 飯塚 眞喜人: 医学部 生理学講座(生体調節機能学部門) 砂川 正隆: 医学部 生理学講座(生体制御学部門) 箕浦 明 : 医学部 衛生学公衆衛生学講座 辻 まゆみ: 医学部 薬理学(医科薬理学部門) 矢持 淑子: 医学部 臨床病理診断学講座 福地 邦彦: 昭和大学 大学院保健医療学研究科 銚丸 俊一(実務教員): 昭和大学江東豊洲病院総合サポートセンター 舟橋 久幸: 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●一般目標 (GIO)

看護実践に必要な応用力を養うために既習知識の定着と統合ができる。

●行動目標 (SBOs)

1. 看護に必要な基礎的知識を想起し、確実な知識として説明できる。
2. 既習の知識を活用し、事例や場面から必要な看護を説明できる。

●評価方法

1. 評価方法と内訳
定期試験 (80%) 課題 (20%)
2. 評価 (教学上の判定) 概要について
 - 1) 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) に ついて周知する。
 - 2) 再試験対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - 3) 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対し行うことができる。

- ①成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 ③その他、明確な理由があると思われるもの
- *成績の再考を求めたりするものは受け付けできない。
 *「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
 *科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。直接、口頭で 質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
植田 光剛	電子メールで質問を受け付ける。 (平日 9時～17時)	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
矢嶋 裕里		yuriyajil128@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子		sari2452@cmed.showa-u.ac.jp
富崎 志穂		artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
扇谷 芳光		ohgiya@med.showa-u.ac.jp
安達 太郎		adachitaro@med.showa-u.ac.jp
山本 真弓		ymym0018@med.showa-u.ac.jp
長井 友子		chaizou2002@yahoo.co.jp
五藤 哲		sg46284628@med.showa-u.ac.jp
吉田 仁		hyoshida@med.showa-u.ac.jp
伊與田 雅之		iyoda@med.showa-u.ac.jp
広村 宗範		hiromura@med.showa-u.ac.jp
若林 邦伸		kuninobu@med.showa-u.ac.jp
森 雄作		u-mori@med.showa-u.ac.jp
詫間 隆博		takuma@med.showa-u.ac.jp
小川 良雄		ogawayos@med.showa-u.ac.jp
下平 和久		shimo@med.showa-u.ac.jp
神谷 太郎		kamiya-t@med.showa-u.ac.jp
渡井 有		amisyu@med.showa-u.ac.jp
森山 浩志		veloce@med.showa-u.ac.jp
飯塚 眞喜人		iizukam@med.showa-u.ac.jp
砂川 正隆		sunam@med.showa-u.ac.jp
箕浦 昭		minoaki@med.showa-u.ac.jp
辻 まゆみ		tsujim@med.showa-u.ac.jp
矢持 淑子		onizuka@med.showa-u.ac.jp
福地 邦彦		kfukuchi@med.showa-u.ac.jp
銚丸 俊一		s-hokomaru@cmed.showa-u.ac.jp
舟橋 久幸		看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
永井 隆士		
斉藤 文護		
鈴木 佳宣		

●授業概要

本科目は看護実践に必要な応用力を養うために既習知識の定着と統合ができることを目指している。看護に必要な基礎的知識を想起し、確実な知識として定着ができるよう学んでいく。また、既習の知識を活用し、事例や場面から必要な看護を考えることができるよう学ぶ。

担当教員は病院で医師・看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて看護実践に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

1. プロフェッショナリズム：今まで学んだ基礎知識を定着、統合することで、看護実践に必要な応用力を養う。
2. 専門的実践能力：臨床現場での様々な状況の中で、専門職としての役割を果たすために必要な知識を身につける。
3. 自己研鑽：基礎知識から看護実践の様々な状況の中で、専門職として質の高い看護を提供する為に、常に創造力・探求心をもち、専門識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

1年次、2年次、3年次に使用したテキスト・プリントを準備する。

●準備学習（予習・復習）

【予習】時間割を確認し、科目を復習しておく。わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておく。

【復習】予習時に、わからなかった単語や用語、疑問点を解決する。

講義、教科書を見直しても理解できなかった点については、講義終了後に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ
 2年 専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野
 3年 専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 8. 30	月	1	あらゆる健康の段階・対象 に対し、必要な看護を提供 できるための基礎的知識	形態機能学Ⅰ①	1 2	森山
2			2		形態機能学Ⅱ①		舟橋
3			3		形態機能学Ⅳ①		砂川
4			4		形態機能学Ⅳ②		砂川
5	2021. 8. 31	火	1		形態機能学Ⅲ①		飯塚
6			2		病理学		矢持
7			3		薬理学①		辻

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
8	2021. 9. 01	水	1	あらゆる健康の段階・対象 に対し、必要な看護を提供 できるための基礎的知識	臨床医学Ⅱ・循環器	1 2	安達
9			2		臨床医学Ⅱ・呼吸器		山本
10			3		臨床医学Ⅲ・消化器		五藤
11			4		臨床医学Ⅲ・消化器		吉田
12	2021. 9. 02	木	1		臨床医学Ⅲ・腎臓内科		伊與田
13			2		臨床医学Ⅳ・ アレルギー		若林
14			3		臨床医学Ⅳ・代謝		広村
15			4		臨床医学Ⅳ・内分泌		森
16	2021. 9. 03	金	1		臨床医学Ⅳ・血液		斉藤
17			2		臨床医学Ⅴ・感染症		詫間
18			3		臨床医学Ⅴ・脳外科		鈴木
19			4		臨床医学Ⅵ・精神		長井
20	2021. 9. 06	月	1		臨床医学Ⅵ・母性		下平
21			2		臨床医学Ⅵ・婦人科		下平
22			3		臨床医学Ⅶ・泌尿器		小川
23			4		臨床医学Ⅶ・整形外科		永井
24	2021. 9. 07	火	1		臨床医学Ⅷ・小児内科		神谷
25			2		臨床医学Ⅷ・小外科		渡井
26	2021. 9. 08	水	1		基礎看護学①		神尾
27			2		基礎看護学②		神尾
28			3		成人看護学①		関根

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
29	2021. 9. 09	木	1	あらゆる健康の段階・対象 に対し、必要な看護を提供 できるための基礎的知識	老年看護学	1 2	桧山
30			2		小児看護学		花井
31	2021. 9. 10	金	1		精神看護学		富崎
32	2021. 12. 06	月	1		形態機能学Ⅰ②		森山
333			2		形態機能学Ⅱ②		舟橋
34	2021. 12. 07	火	1		形態機能学Ⅲ②		飯塚
35			2		形態機能学Ⅳ③		砂川
336	2021. 12. 08	水	1		薬理学②		辻
37	2021. 12. 09	木	1		社会福祉		鉾丸
38			2		関係法規		箕浦
39			3		公衆衛生		箕浦
40	2021. 12. 13	月	1		基礎看護学③		神尾
41			2		成人看護学②		関根
42			3		在宅看護論		田中
43	2021. 12. 14	火	1		母性看護学①		矢嶋
44			2		母性看護学②		矢嶋
45			3		看護の統合と実践		植田

統合実習

対象学年	: 3 学年 後期
単位・時間数	: 2 単位 90 時間
責任者名	: 植田 光剛
授業形式等	: 臨地実習
担当教員	: 植田 光剛(実務教員) 浅田 恵子(実務教員) 江副 秀美(実務教員) 柴田 恵美(実務教員) 関根 和佳(実務教員) 桧山 優子(実務教員) 神尾 由紀(実務教員) 五嶋 洋子(実務教員) 藤田 明里咲(実務教員) 秋庭 良子(実務教員) 英 千秋(実務教員) 菅原 睦子(実務教員) 小塚 智子(実務教員) 矢嶋 裕里(実務教員) 塩川 優子(実務教員) 柴田 浩子(実務教員) 花井 恵美子(実務教員) 玉川 百里(実務教員) 富崎 志穂(実務教員) 恩田 美奈(実務教員) 築瀬 真由美(実務教員) 長谷川 和美(実務教員) 田中 比露美(実務教員) 加賀美 美穂子(実務教員) 中畠 理香(実務教員) 野間 もえぎ(実務教員)

●一般目標 (GIO)

看護を統合的な視点で捉え実践する基盤を築くために、これまでの学習内容を統合し、保健チームの一員として主体的に看護活動および医療に参加し看護職の役割に必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

1. 複数の患者の安全・安楽、緊急性、倫理性などをふまえたケアの優先度の根拠を説明できる。
2. 実施した看護援助とその意味を説明できる。
3. 看護チームの協働、リーダーシップ、フォローシップの実際とその意義について説明できる。
4. 看護管理者の行う看護管理の実際とその意義について説明できる。
5. 夜勤実習を通して看護が継続されている実際とその意義について説明できる。
6. 医療現場における医療安全対策や対応方法が説明できる。
7. 病棟における災害対策の実際について説明できる。
8. 専門職業人として看護師の責任と役割について説明できる。
9. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●評価方法

1. 評価方法と内訳
実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)
 2. フィードバック
実習記録は、評価後に返却する。
 3. 評価 (教学上の判定) 概要について
 - 1) 科目責任者がポータルサイトを通じて科目評価の概要 (平均点、不合格者の人数など) について周知する。
 - 2) 再実習対象者については、対象学生にのみ個別にポータルサイトで、その旨を伝える。
 - 3) 学生は次のいずれかに該当する場合に、科目評価に対する「問合せ」を科目責任者に対して行うことができる。
 - ①成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
 - ②シラバスにより周知している評価の方法から明らかに逸脱していると思われるもの
 - ③その他、明確な理由があると思われるもの
- *成績の再考を求めたりするものは受付できない。
*「問合せ」の期間は、評価が開示されてから1週間以内とする。
*科目責任者と直接メール等あるいは口頭で質問し、確認すること。
直接、口頭で質問する場合には、必ず事前にアポイントメントをとること。

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること。

主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導にあたる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
植田 光剛	実習中は、対面時または電話にて質問を受け付ける。	mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子		sari2452@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
藤田 明里咲		a1218@med.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 浩子		tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百合		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp
小塚 智子		tomokozu@cmed.showa-u.ac.jp
矢嶋 裕里		yuriyajil128@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
富崎 志穂		artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
恩田 美奈		mina.onda@cmed.showa-u.ac.jp
梁瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
野間 もえぎ		mao2000@cmed.showa-u.ac.jp
中畠 理香		r-nakajima@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護専門職として保健・医療・福祉チームの一員として、看護ケア・看護サービスの質を高めるために看護管理者・リーダーがどのような役割を果たしているかを学ぶ。また、看護が 24 時間継続して行われていることを申し送りや夜勤実習を通して学ぶ。そして、複数患者を受け持つ臨床実践の中で、優先度を適切に判断し実行していく技能を身につける機会とする。

担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて看護の統合と実践に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●ディプロマ・ポリシーとの関連性

1. プロフェッショナリズム：今まで学んだ基礎知識を定着、統合することで、看護実践に必要な応用力を養う。
2. コミュニケーション能力：看護師として患者・家族・医療スタッフとの関わりを通して、人間関係やコミュニケーション能力を身につける。
3. チーム医療：看護専門職として保健・医療・福祉チームの一員として、看護ケア・看護サービスの質を高めるために看護管理者・リーダーがどのような役割を果たしているかを学ぶ。
4. 専門的実践能力：複数患者を受け持つ臨床実践の中で、優先度を適切に判断し実行していく技能を身につける機会とする。
5. 自己研鑽：臨床現場の様々な状況の中で、専門職として質の高い看護を提供する為に、常に創造力・探求心をもち、専門識・科学的根拠に基づいた問題解決能力を身につける。

●教材（テキスト、推奨参考図書、プリント等）

統合実習に関連した科目の講義時のプリント

●準備学習（予習・復習）

【予習】実習病棟の特徴を踏まえ、必要な知識の理解ができるよう、疾患・治療・看護について学習しておく。また、看護技術、フィジカル・アセスメントの技術においても実施できるよう練習をしておく。

【実習中】知識があいまいな点は、テキスト、資料に戻り確認する。

【復習】実習記録を基に、実践した看護をテキストに戻り振り返りを行う。

●全学年を通しての関連科目

1 年 基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ

2 年 専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野

3 年 専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
第1週	2021. 11. 8	月	4～5	オリエンテーション 1)	【遠隔：オンタイム】 実習オリエンテーション 事前学習	9	担 当 教 員 参 照
	2021. 11. 12	金	1～4	オリエンテーション 2)	1) 病棟オリエンテーション	3 4 6 7 8 9	
				看護管理	1) 職員の指導・監督 2) 患者管理 3) リスク管理 4) 業務・労務・教育・物品の 管理 5) 他部門との協力関係		
				リーダー業務	1) 指示受け 2) 業務分担 3) チームの業務遂行の管理 4) チームカンファレンスの運営 5) 医師カンファレンスへの参加 6) 他部門との連絡調整		
	2021. 11. 13	土	1～4	課題学習	【遠隔：オンデマンド】 課題学習		
第2週	2021. 11.16 11.17 11.18 11.19	火 水 木 金	1～4	日勤実習	1) 複数患者のケアの優先度 (1) 実施する根拠・観察ポイント (2) 優先順位を考えた理由 (3) 看護援助の参加、実施	1 2 3 6 7 8 9	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
第 2 週	2021. 11.16	火 水 木 金	1～4	夜勤実習	2) 夜勤業務の見学・実施 (1) スタッフ間での連絡・ 報告（申し送り）含む	3	担 当 教 員 参 照
	11.17				(2) 看護記録の記載・入力	4	
	11.18				(3) 患者への対応	5	
	11.19				(4) 看護援助	6	
					(5) 指示された診療補助業務	7	
第 3 週	2021. 11.22	月	1～4	実習のまとめ	【対面】 テーマ「専門職業人としての責任 と役割」について グループ検討	1～9	
	2021. 11.24 11.25	水 木	1～4	実習のまとめ	記録のまとめ 課題学習	1～9	
	2021. 11.27	土	1～4		記録のまとめ 課題学習	1～9	

授業科目の索引

い

医療概論	61
医療情報と統計処理の基礎	22
医療安全Ⅰ	158
医療安全Ⅱ	284

え

栄養学	67
英語Ⅰ	31
英語Ⅱ	33

お

音楽	35
----	----

か

家族関係論	27
看護過程の展開	181
看護学概論	103
看護理論	106
看護研究	280
看護の統合と実践Ⅰ	290
看護の統合と実践Ⅲ	324
看護の統合と実践Ⅳ	327
緩和医療	163

き

基礎看護学実習Ⅰ	129
基礎看護学実習Ⅱ	193
共通基本技術	108
教育学	6

け

形態機能学Ⅰ	43
形態機能学Ⅱ	46
形態機能学Ⅲ	49
形態機能学Ⅳ	52
健康科学	19
健康教育論	77

こ

公衆衛生学と関係法規	70
国語文章論	37
国際関係論	25
コミュニケーション論	29

さ

在宅看護論実習	321
災害看護	287

し

社会学	3
社会福祉	73
小児看護援助論Ⅰ	234
小児看護援助論Ⅱ	239
小児看護学実習	307
小児看護対象論	145
小児看護目的論	231
心理学	8

せ

生化学	64
生活科学	17
精神看護援助論Ⅰ	257
精神看護援助論Ⅱ	262
精神看護学実習	314
精神看護対象論	252
精神看護目的論	255
成人看護援助論Ⅰ	201
成人看護援助論Ⅱ	206
成人看護援助論Ⅲ	210
成人看護援助論Ⅳ	214
成人看護学実習Ⅰ	216
成人看護学実習Ⅱ	299
成人看護対象・目的論	135

そ

総合学習	330
------	-----

ち

治療処置における援助《実践編》	189
治療処置における援助《理論編》	185
地域・在宅看護概論Ⅰ	155
地域・在宅看護概論Ⅱ	267
地域・在宅看護援助論Ⅰ	271
地域・在宅看護援助論Ⅱ	275
地域・在宅看護援助論Ⅲ	277

と

統合実習 335

に

人間関係論 15

日常生活援助《実践編》 115

日常生活援助《理論編》 111

ひ

微生物学 58

病理学 83

ふ

フィジカル・アセスメント 124

ほ

母性看護対象・目的論 149

母性看護援助論Ⅰ 243

母性看護援助論Ⅱ 248

母性看護学実習 310

や

薬理学 55

り

倫理学 12

臨床医学Ⅰ 86

臨床医学Ⅱ 89

臨床医学Ⅲ 92

臨床医学Ⅳ 95

臨床医学Ⅴ 98

臨床医学Ⅵ 166

臨床医学Ⅶ 170

臨床医学Ⅷ 174

臨床看護総論 120

リハビリテーション論 79

領域横断演習 293

ろ

論理学 10

老年看護援助論Ⅰ 143

老年看護援助論Ⅱ 220

老年看護援助論Ⅲ 224

老年看護学実習Ⅰ 228

老年看護学実習Ⅱ 303

老年看護対象・目的論 139

SYLLABUS

(授業計画)

2021年4月1日発行

編集発行 昭和大学医学部附属看護専門学校

〒142-0064 東京都品川区旗の台1-2-26

TEL 03 (3784) 8095 教員室

TEL 03 (3784) 8097 事務室
